

**第3期大和高田市  
子ども・子育て支援に関する  
ニーズ調査  
結果報告書**

**令和6年3月  
大和高田市**



# 目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施要領	1
3. 報告書の見方	2
II-1. 就学前児童調査の結果	3
1. 子どもと家族の状況	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境	6
3. 保護者の就労状況	11
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	19
5. 地域の子育て支援拠点事業の利用状況	30
6. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	40
7. 病気の際の対応	45
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	50
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方	56
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	66
11. 子育て全般	78
II-2. 小学生調査の結果	100
1. 子どもと家族の状況	100
2. 子どもの育ちをめぐる環境	103
3. 保護者の就労状況	108
4. 放課後の過ごし方	117
5. 病気の際の対応	130
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	135
7. 子育て全般	139
調査票	155



# I. 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、令和7年度(2025年度)を始期とする「第3期大和高田市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、市の幼児期の教育・保育及び子ども・子育て支援事業（幼稚園や認定こども園などの教育・保育施設、放課後児童クラブ（児童ホーム）や一時預かり、病児保育などの子育てに関する支援サービスなど）のニーズを把握することを目的として実施したものです。

## 2. 実施要領

	調査区分	
	就学前児童	小学生
(1) 調査対象	市内在住の就学前児童の保護者 (住民基本台帳による無作為抽出)	市内在住の小学生の保護者 (住民基本台帳による無作為抽出)
(2) 調査期間	令和6年3月12日(火)～3月27日(水)	
(3) 調査方法	郵送配布、郵送回収	
(4) 配布数	1,500件	1,000件
(5) 有効回収数 [有効回収率]	673件 [44.9%]	369件 [36.9%]

### 3. 報告書の見方

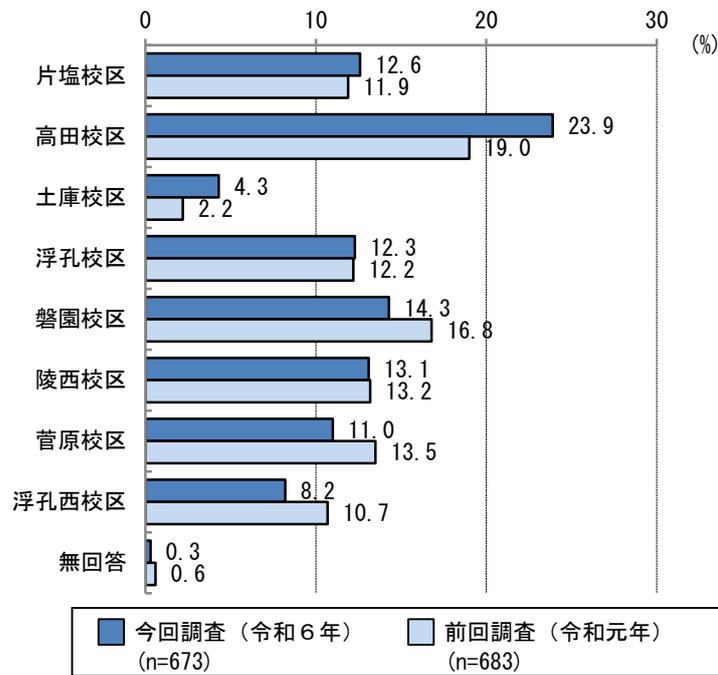
- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
  - ・ M A % ( Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3 L A % ( 3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合これ以外の場合は、特に断りがない限り、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (6) 表中の ■ は一番目に多い割合の項目、■ は二番目に多い割合の項目、■ は三番目に多い割合の項目を示しています。
- (7) 令和元年実施の前回調査と比較可能な設問においては、前回調査の結果との比較を行っています。

## Ⅱ-1. 就学前児童調査の結果

### 1. 子どもと家族の状況

#### 〔1〕居住地

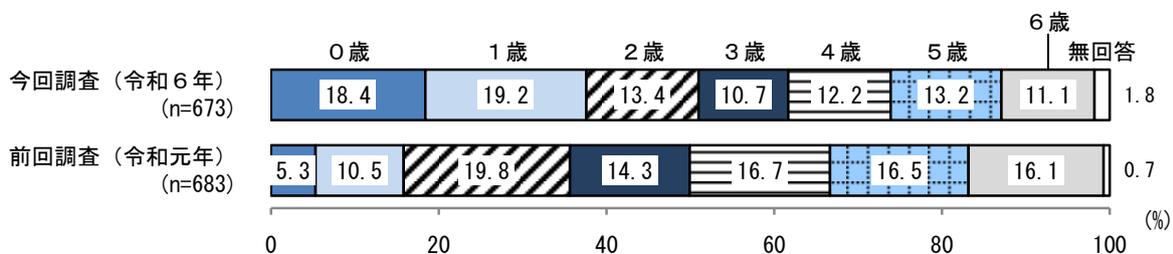
問1-1 お住まいの校区と地区についてお答えください。(○は1つ)



回答者の居住地（小学校区）は、「高田校区」が 23.9%と最も多く、次いで、「磐園校区」が 14.3%、「陵西校区」が 13.1%となっています。

#### 〔2〕子どもの年齢

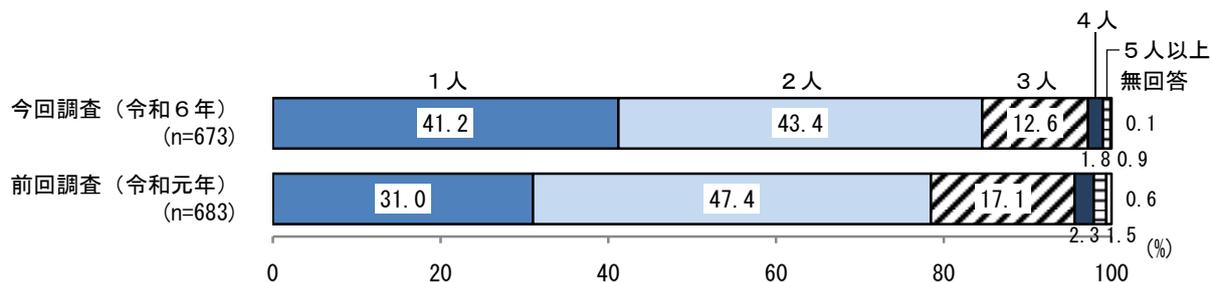
問1-2 対象のお子さんの生年月をお答えください。(口内に数字を記入)



対象の子どもの年齢（令和6年3月現在）は、「1歳」が 19.2%と最も多く、次いで、「0歳」が 18.4%、「2歳」が 13.4%となっています。

〔3〕子どもの人数

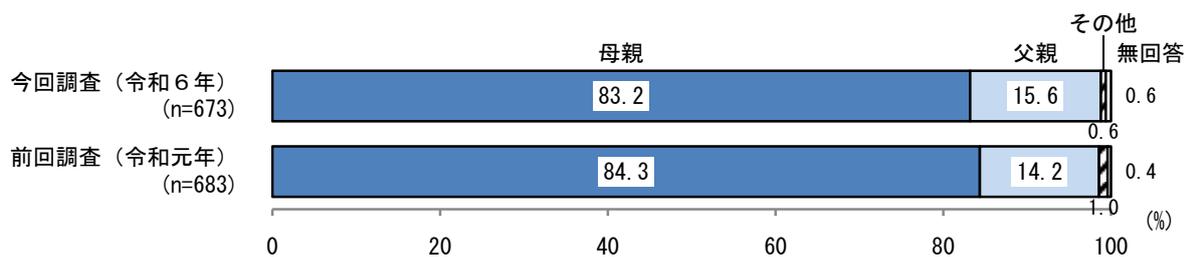
問1-3 お子さんは全員で何人ですか。(口内に数字を記入)



対象の子どもを含む子どもの人数は、「2人」が43.4%と最も多く、次いで、「1人」が41.2%、「3人」が12.6%となっています。前回調査に比べて「1人」が10.2ポイント増加しています。

〔4〕調査票の回答者

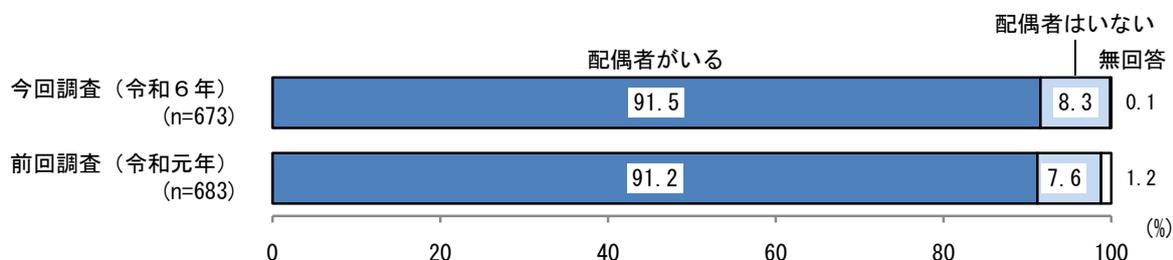
問1-4 調査票に記入いただく方はどなたですか。  
対象のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



調査票の回答者は、「母親」が83.2%、「父親」が15.6%となっています。

〔5〕回答者の配偶関係

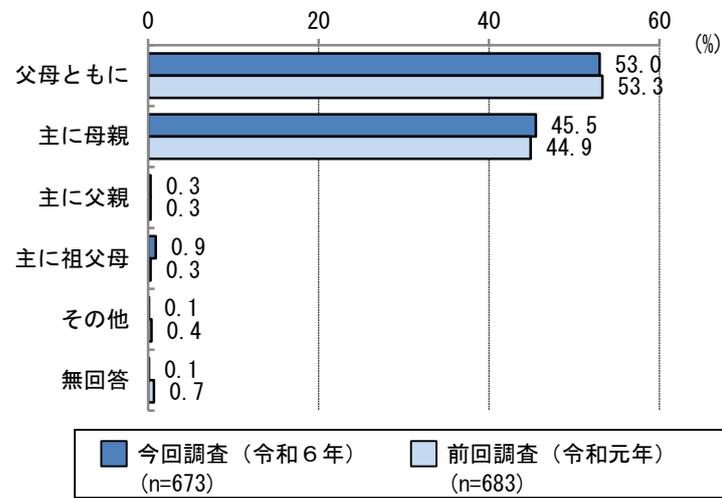
問1-5 調査票に記入いただいている方の配偶者についてお答えください。(○は1つ)



回答者の配偶者は、「いる」が91.5%、「いない」が8.3%となっています。

〔6〕子育ての主体

問1-6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。  
 お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

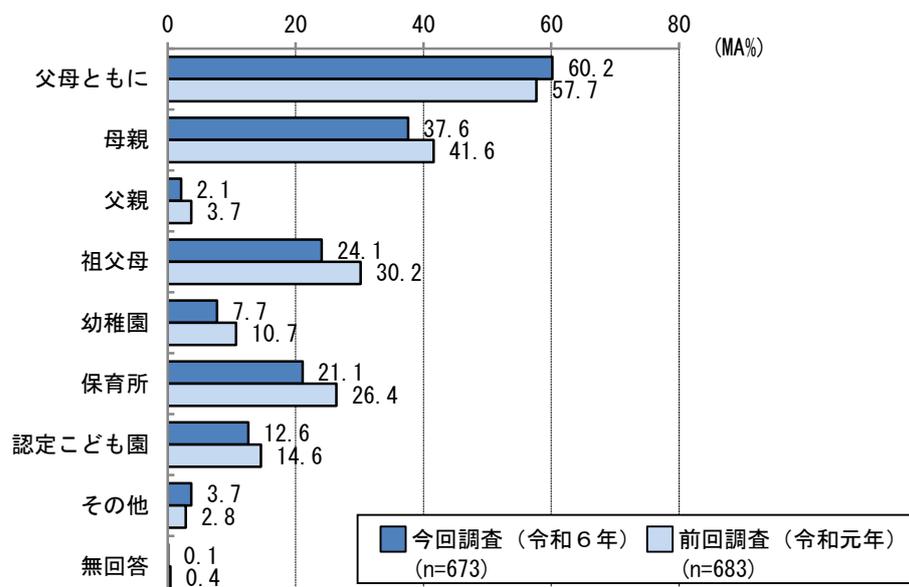


子育て（教育を含む）の主体は、「父母ともに」が 53.0%と最も多く、次いで、「主に母親」が 45.5%となっています。

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境

### [1] 子育てに日常的にかかわっている人

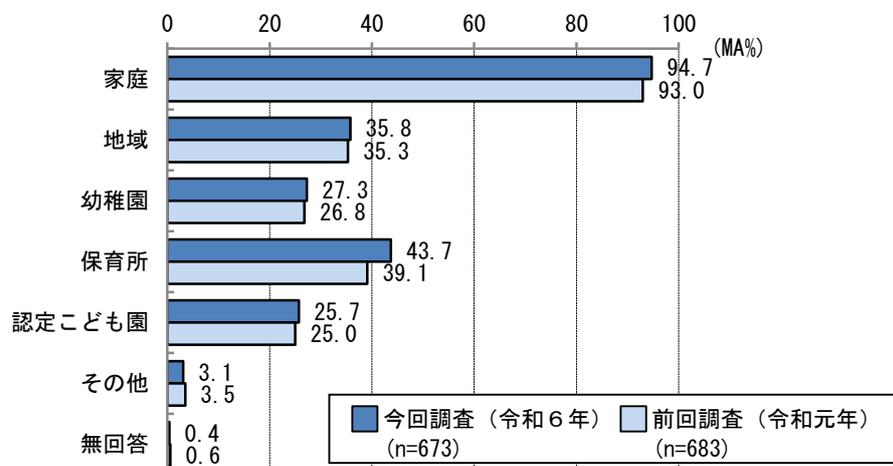
問2-1 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている方はどなた(どこ)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。  
(当てはまる全てに○)



子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている人は、「父母ともに」が60.2%と最も多く、次いで、「母親」が37.6%、「祖父母」が24.1%となっています。

### [2] 子育てに影響する環境

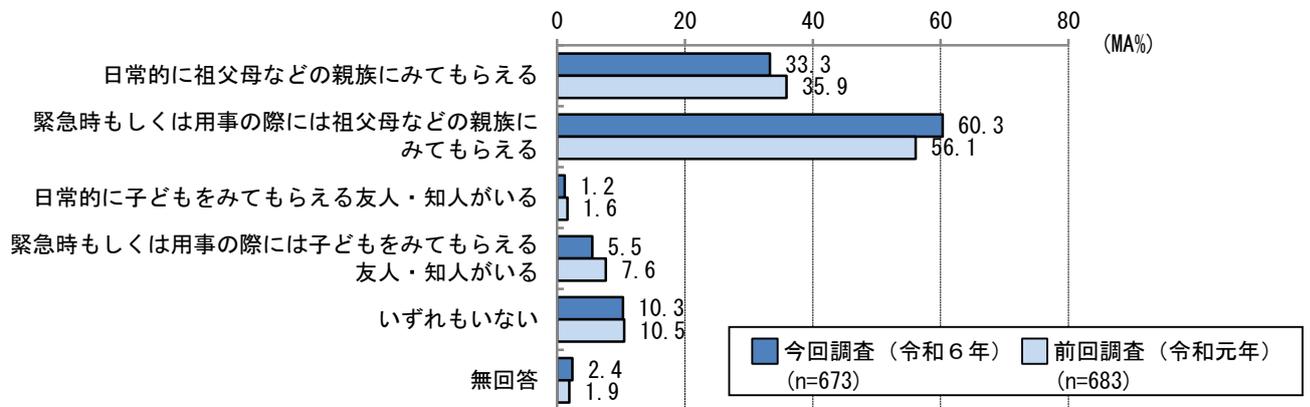
問2-2 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思う環境はどれですか。  
(当てはまる全てに○)



子育て(教育を含む)に影響すると思う環境は、「家庭」が94.7%と最も多く、次いで、「保育所」が43.7%、「地域」が35.8%となっています。

〔3〕子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問2-3 日頃、対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。  
(当てはまる全てに○)

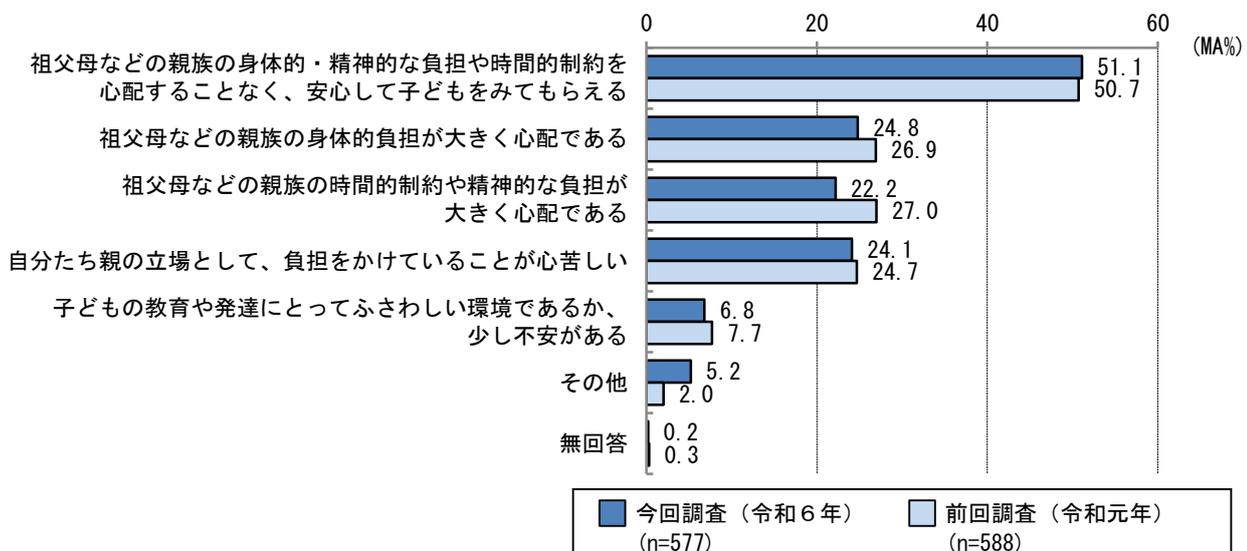


子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が60.3%と最も多く、次いで、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が33.3%、「いずれもない」が10.3%となっています。

〔4〕祖父母などの親族に子どもをみてもらうことについて

問2-3で「1」または「2」(祖父母などにみてもらえる)に○をつけた方にうかがいます。

問2-4 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
(当てはまる全てに○)



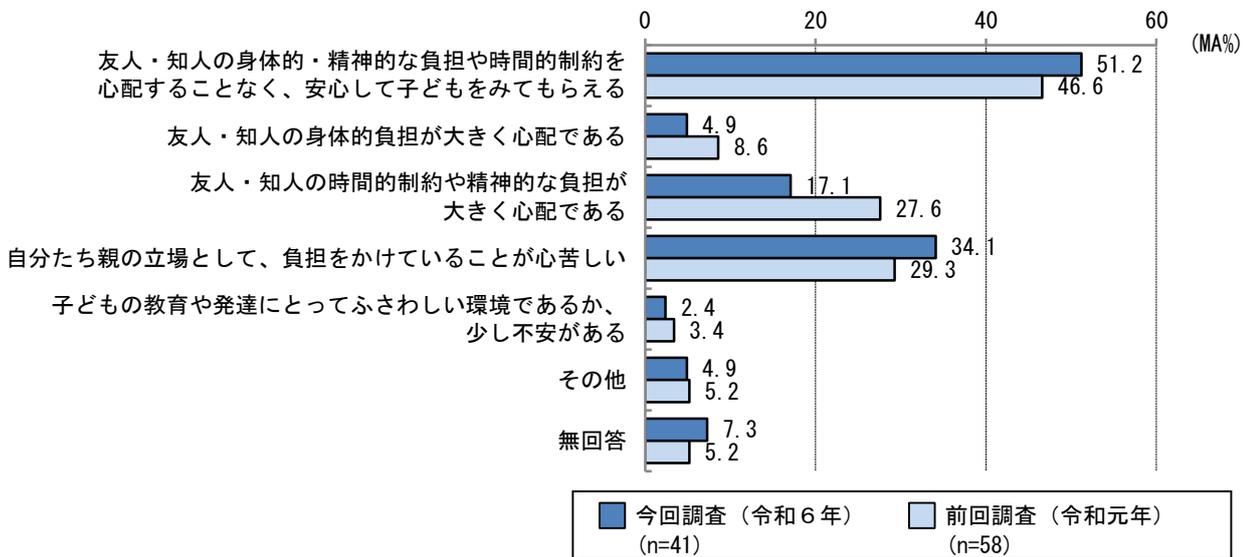
父母などの親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が51.1%と最も多く、次いで、「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」が24.8%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.1%となっています。

II-1. 就学前児童調査の結果

[5]友人・知人に子どもをみてもらうことについて

問2-3で「3」または「4」(子どもをみてもらえる友人・知人がいる)に○をつけた方にかがいます。

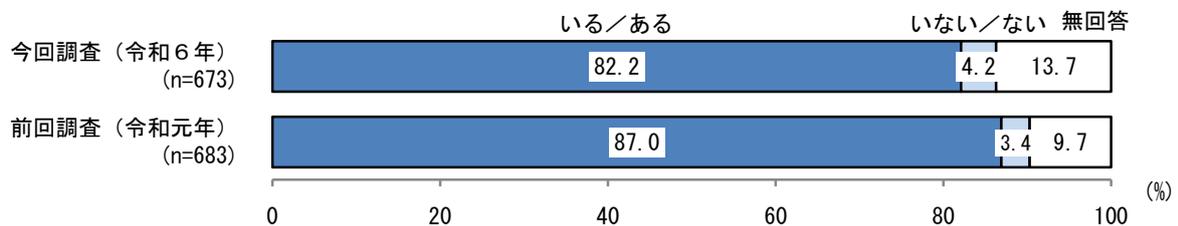
問2-5 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(当てはまる全てに○)



友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 51.2%と最も多く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 34.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 17.1%となっています。

[6]子育ての相談をできる人や場所の有無

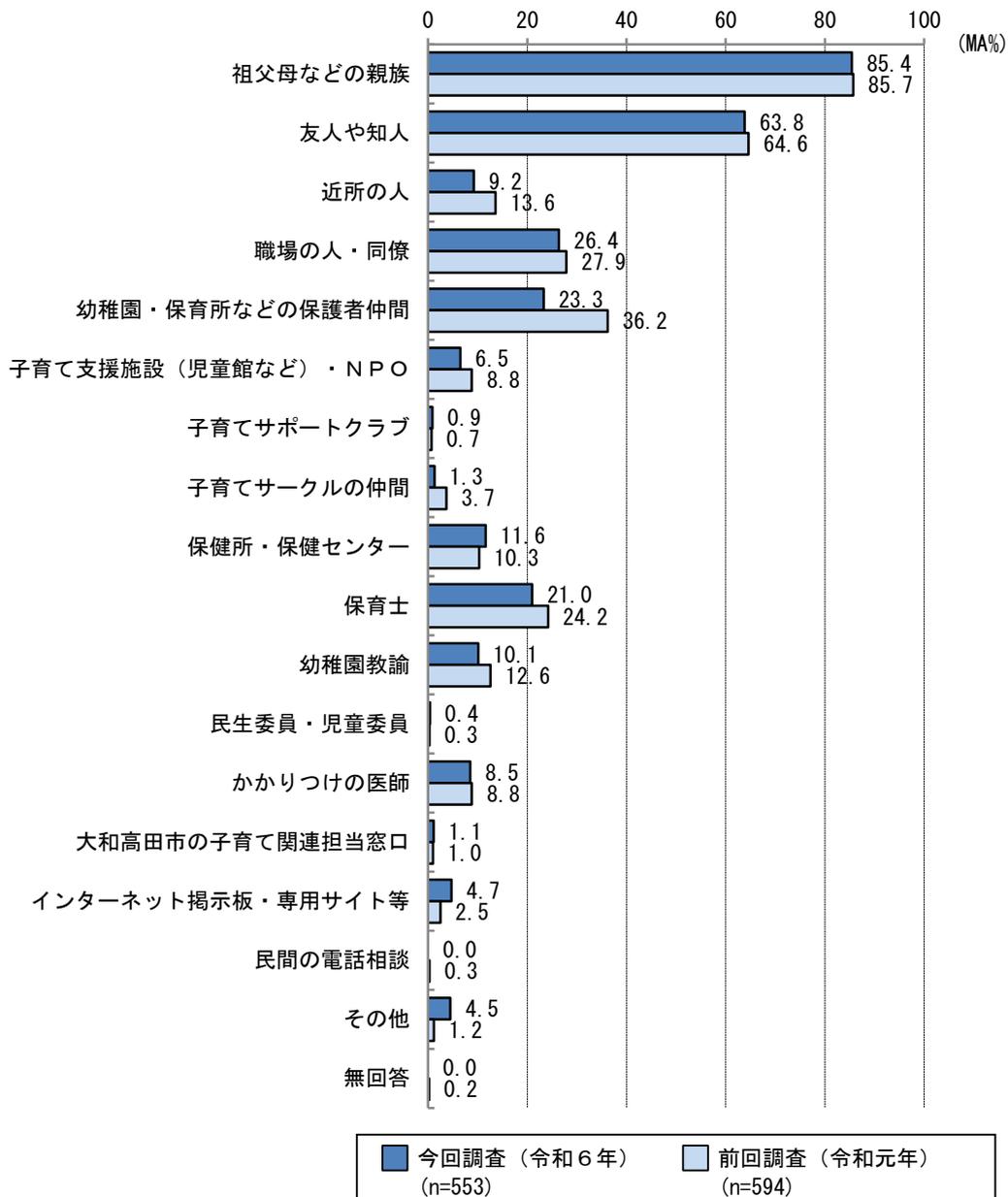
問2-6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)



子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所の有無については、「いる/ある」が 82.2%、「いない/ない」が 4.2%となっています。

問2-6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問2-7 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に関して気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(当てはまる全てに○)



子育て(教育を含む)に関して気軽に相談できる先は、「祖父母などの親族」が85.4%と最も多く、次いで、「友人や知人」が63.8%となっています。前回調査に比べて「幼稚園・保育所などの保護者仲間」が12.9ポイント減少しています。

〔7〕子育ての相談先がないときのサポート

問2-6で「2. いない／ない」に○をつけた方にかかっています。

問2-8 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者)から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお答えください。

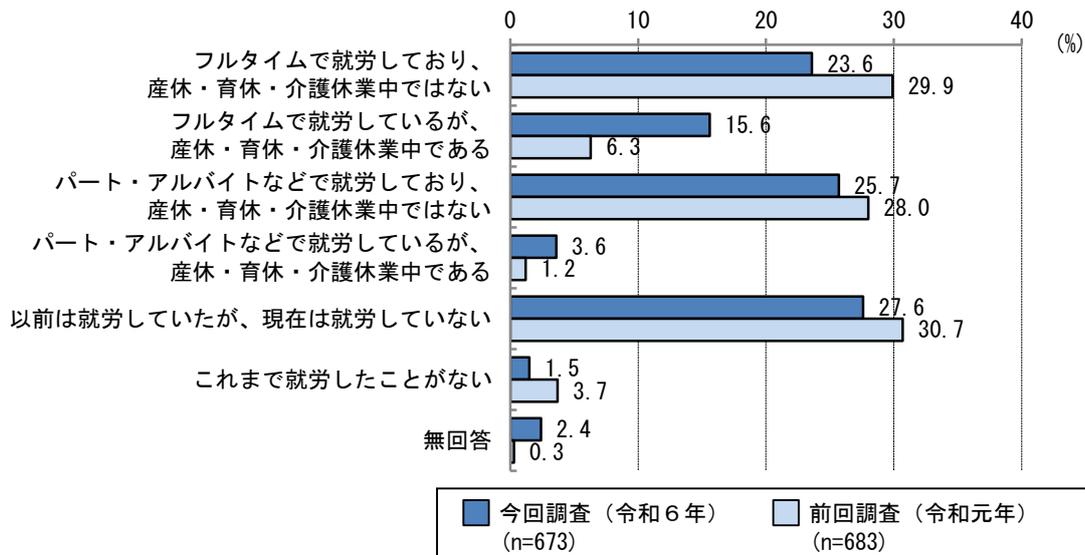
保育施設、一時預かり	14 件
保育施設の充実	5 件
土日祝や親の就労有無にかかわらない預け先	3 件
緊急時の保育時間延長の柔軟な対応やお迎えのサポート	2 件
一時保育の受け入れ	2 件
病児保育	1 件
ベビーシッター利用をしやすく	1 件
遊び場	5 件
公園、遊び場の提供	3 件
子育て世代の交流の場	2 件
相談、情報提供	8 件
サポートなどの情報提供	3 件
わかりやすく使いやすい相談窓口(窓口を一つにまとめたり、LINE など使用)	3 件
育児支援、親の体調不良時のサポート	2 件
その他	4 件
福祉に力を入れたり、幼稚園と医療・福祉との連携	2 件
教育などへの金銭的な支援	2 件

### 3. 保護者の就労状況

#### [1] 母親の就労状況

**問3-1** 対象のお子さんの「母親」の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(○は1つ)

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイトなど:フルタイム以外の就労  
 ※父子家庭の場合は記入は不要



母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.6%と最も多く、次いで、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.7%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.6%となっています。前回調査に比べて「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が9.3ポイント増加しています。

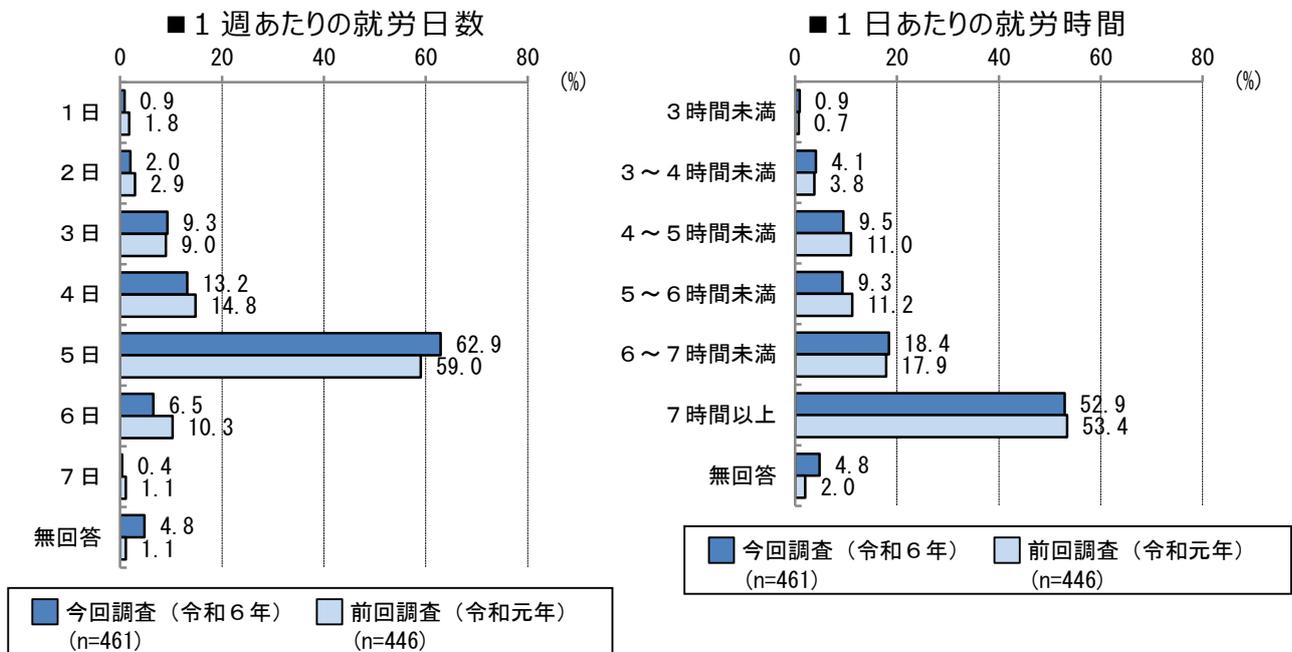
II-1. 就学前児童調査の結果

問3-1で「1」～「4」(就労している)のいずれかに○をつけられた方にうかがいます。

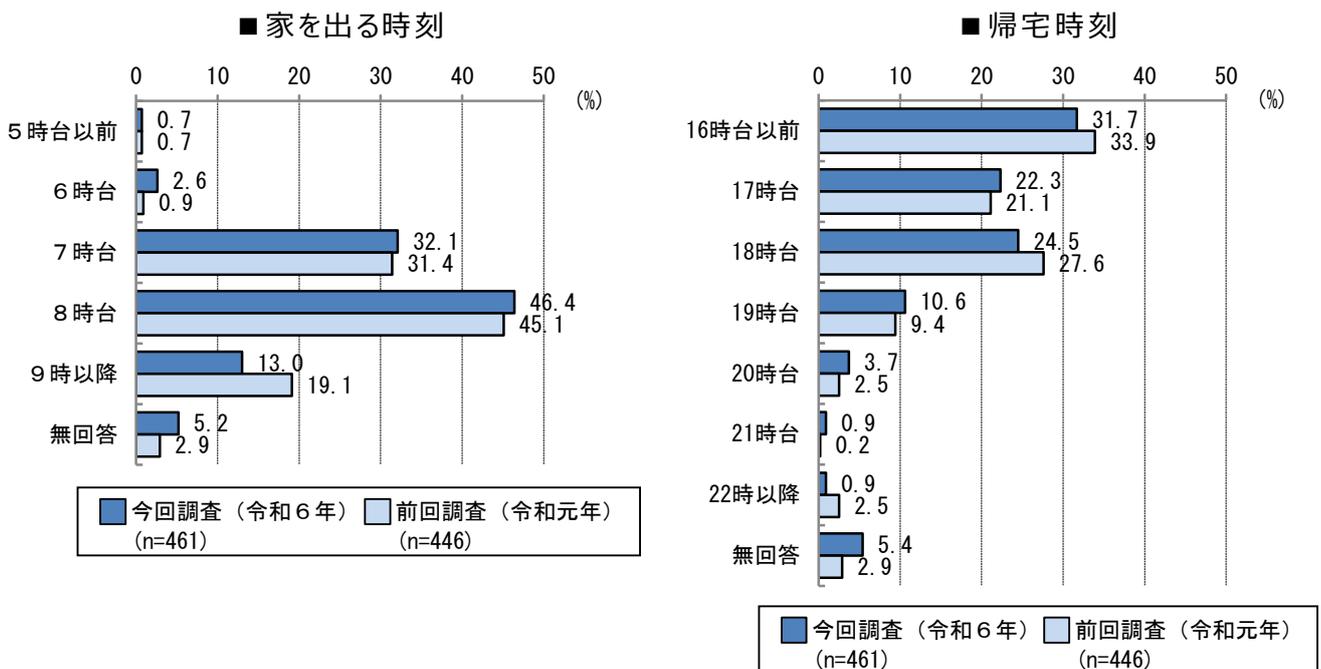
問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。  
(□内に数字を記入、時間は24時間制、10分単位)

※就労日数・時間、時刻が一定でない場合は、一番多いパターンについて記入してください

※産休・育休・介護休業を取得中の方は、取得前の状況について記入してください



「就労している」母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が62.9%と最も多く、1日あたりの就労時間は、「7時間以上」が52.9%と最も多くなっています。



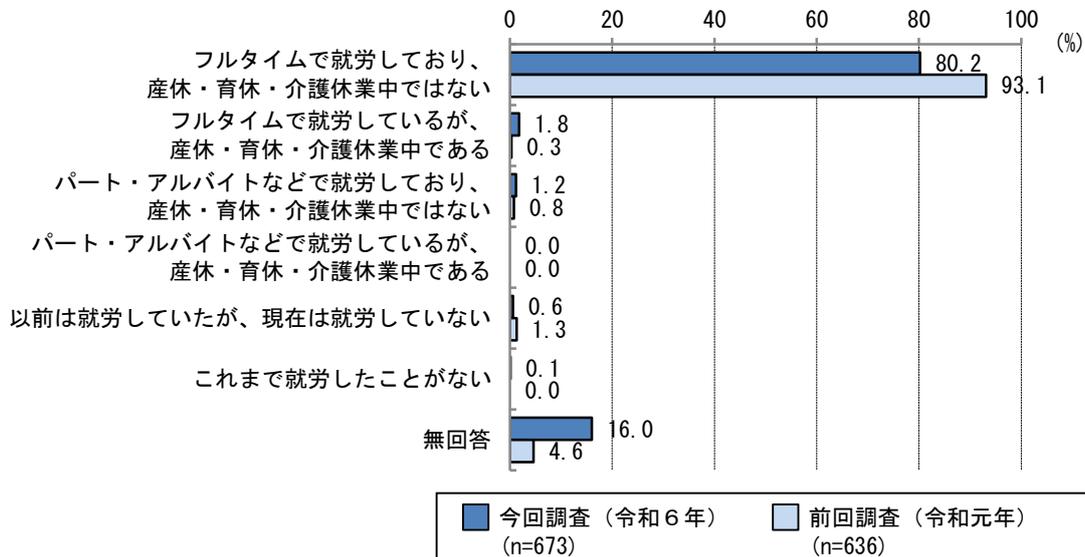
「就労している」母親の家を出る時刻は、「8時台」が46.4%と最も多く、帰宅時刻は、「16時台以前」が31.7%と最も多くなっています。

[2] 父親の就労状況

問3-1 対象のお子さんの「父親」の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(○は1つ)

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイトなど:フルタイム以外の就労

※母子家庭の場合は記入は不要



父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が80.2%と最も多くなっています。

II-1. 就学前児童調査の結果

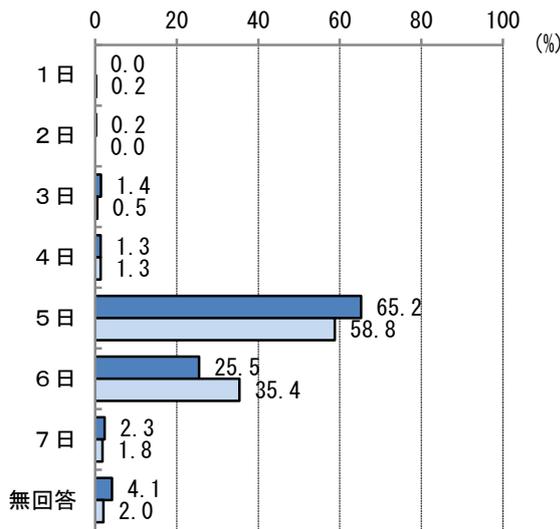
問3-1で「1」～「4」(就労している)のいずれかに○をつけられた方にうかがいます。

問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。  
(□内に数字を記入、時間は24時間制、10分単位)

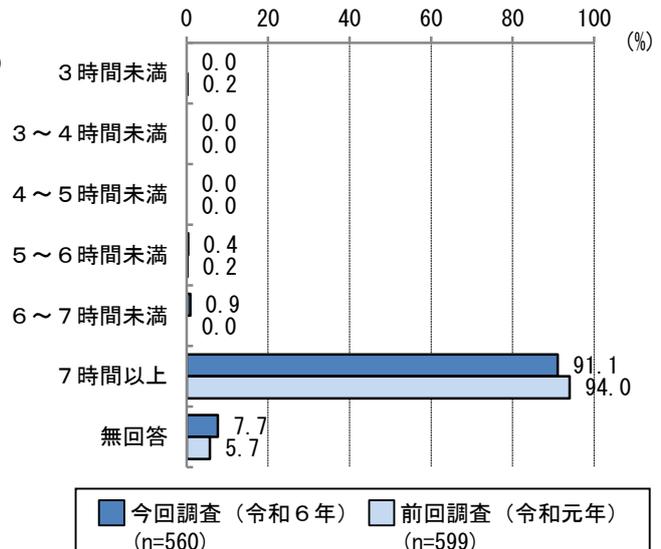
※就労日数・時間、時刻が一定でない場合は、一番多いパターンについて記入してください

※産休・育休・介護休業を取得中の方は、取得前の状況について記入してください

■ 1週あたりの就労日数



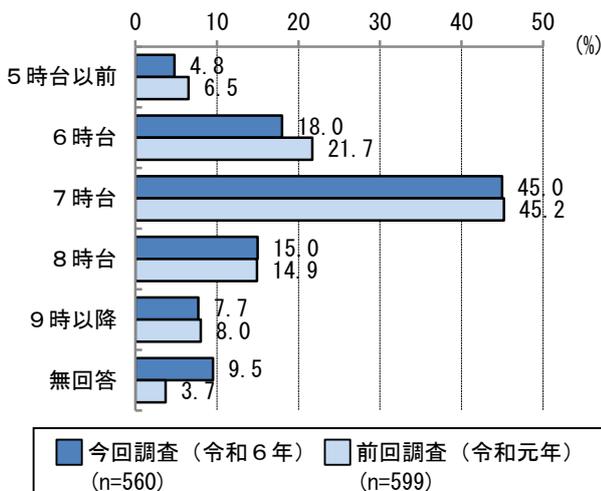
■ 1日あたりの就労時間



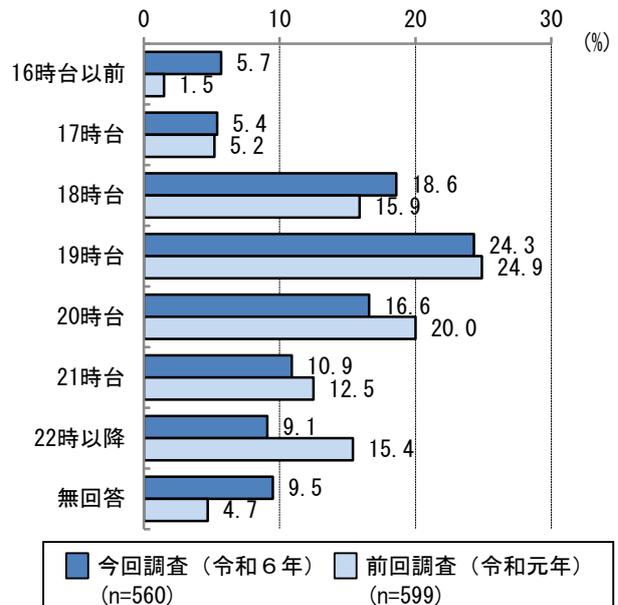
■ 今回調査 (令和6年) (n=560) ■ 前回調査 (令和元年) (n=599)

「就労している」父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が65.2%と最も多く、就労時間は、「7時間以上」が91.1%と最も多くなっています。

■ 家を出る時刻



■ 帰宅時刻



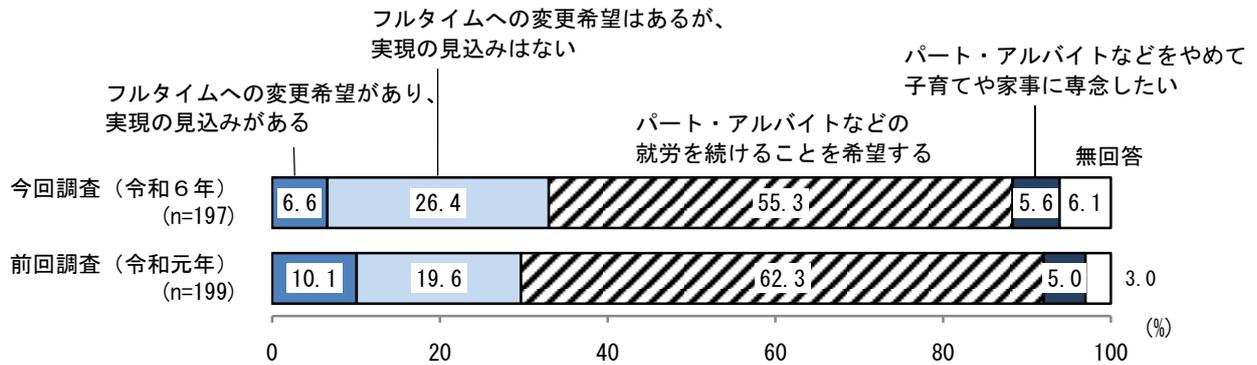
「就労している」父親の家を出る時刻は、「7時台」が45.0%と最も多く、帰宅時刻は、「19時台」が24.3%と最も多くなっています。

[3]フルタイムへの変更希望の有無

問3-1で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にかがいます。

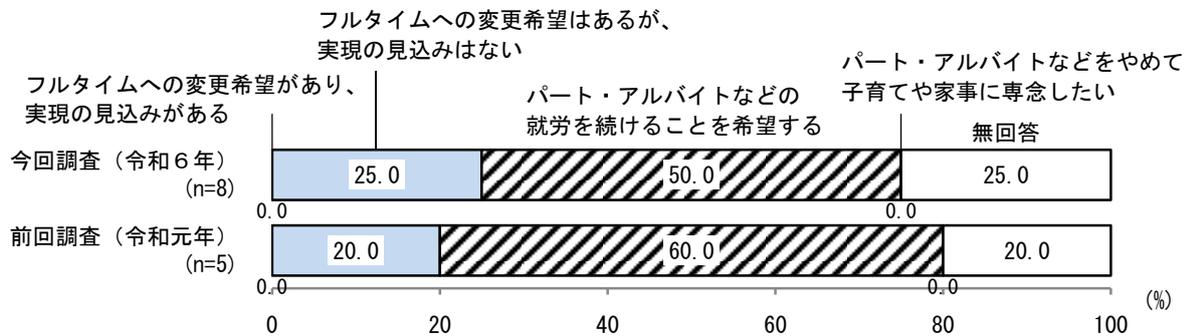
問3-3 フルタイムへの変更の希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親



「フルタイムへの変更希望があり、実現の見込みがある」(6.6%)と「フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない」(26.4%)を合わせた『フルタイムへの変更希望がある』は33.0%で、前回調査に比べて3.3ポイント増加しています。一方、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する」は55.3%と半数強を占めています。

(2) 父親



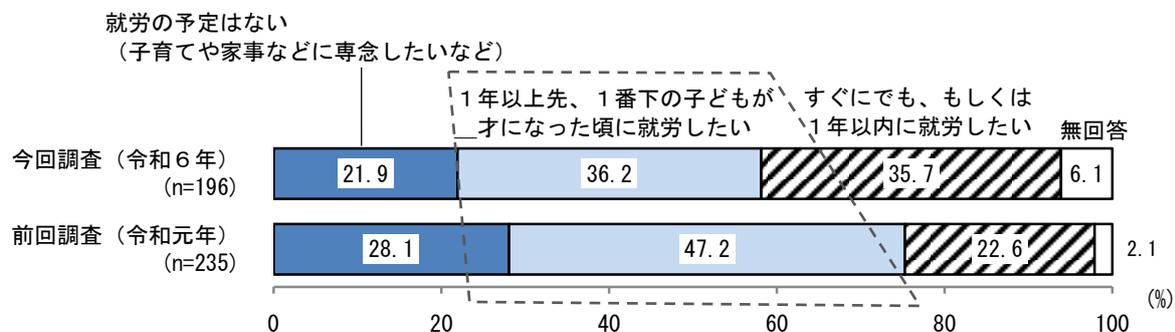
「パート・アルバイトなどで就労している」父親のフルタイムへの変更の希望は、「フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない」が25.0%、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する」が50.0%となっています。

[4] 母親の就労希望の有無

問3-1で「5」または「6」(就労していない、就労したことがない)に○をつけた方にかがいます。

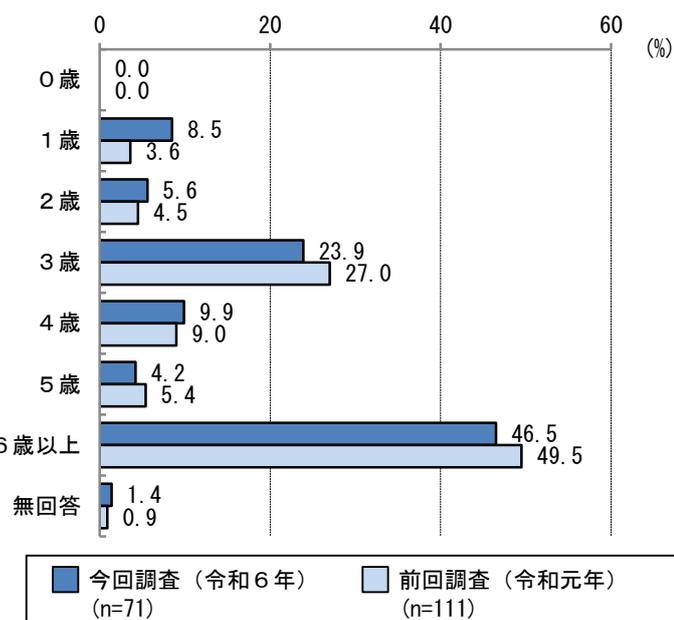
問3-4 就労したいという希望はありますか。(○は1つ、□内に数字を記入)

■ 就労の希望



1年より先に就労したいとお答えの方のみ

■ 就労を考える子どもの年齢

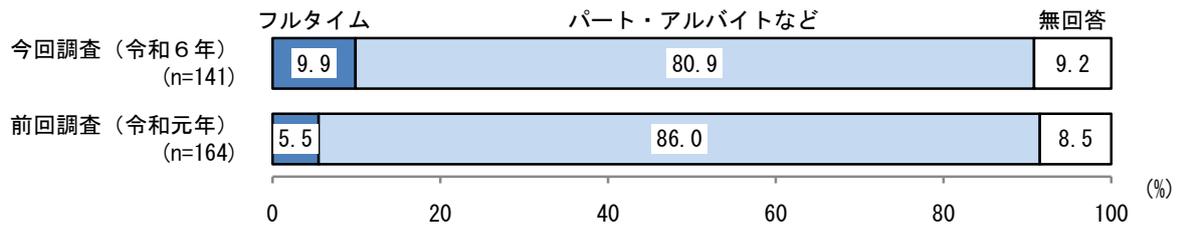


「以前は働いていたが、今は働いていない」、「これまで働いたことがない」母親の就労の希望は、「1年以上先、1番下の子どもが\_\_才になった頃に就労したい」が36.2%と最も多く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.7%、「就労の予定はない(子育てや家事などに専念したいなど)」が21.9%となっています。前回調査に比べて「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が13.1ポイント増加しています。

「1年以上先」で母親が就労を考える子どもの年齢は、「6歳以上」が46.5%と最も多く、次いで、「3歳」が23.9%、「4歳」が9.9%となっています。

「就労したい」とお答えの方のみ

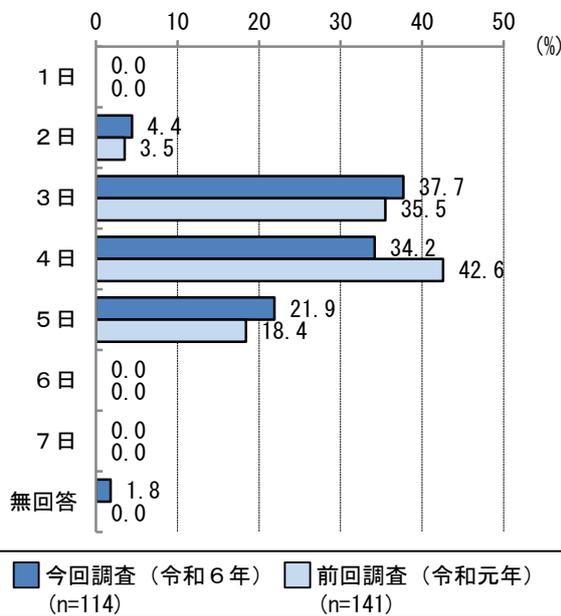
■ 希望する就労形態



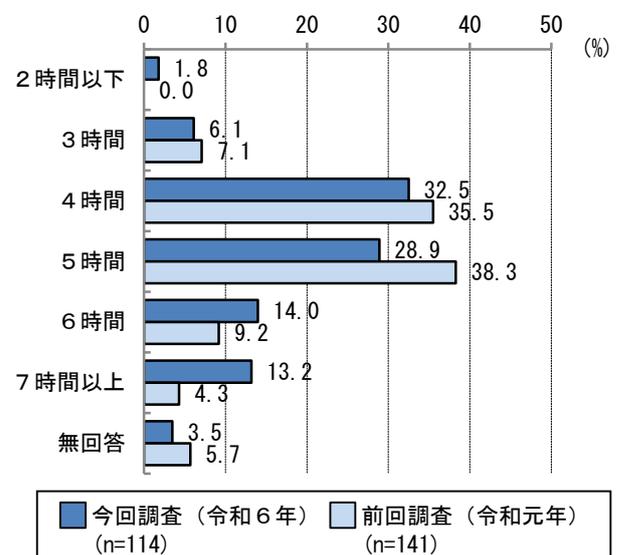
「就労したい」母親の希望する就労形態は、「フルタイム」が 9.9%、「パート・アルバイトなど」が 80.9%となっています。

「パート・アルバイトなど」で就労したい方のみ

■ 希望する1週あたりの就労日数



■ 希望する1日あたりの就労時間



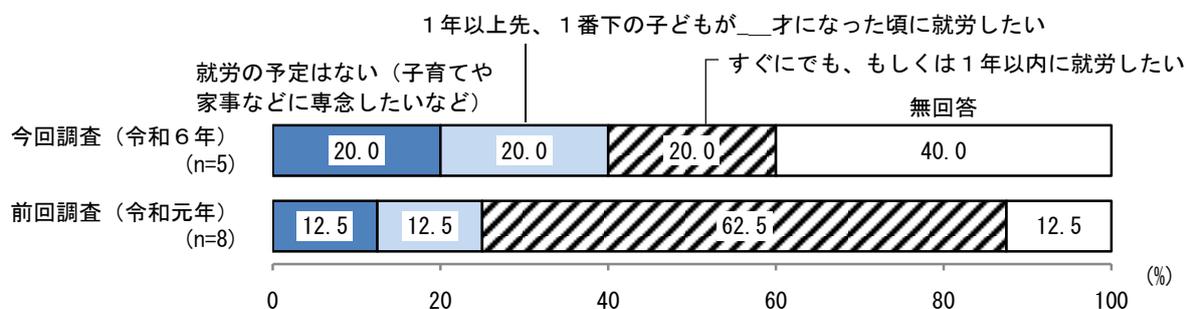
「就労したい」母親の希望する1週あたりの就労日数は、「3日」が 37.7%と最も多く、次いで、「4日」が 34.2%、「5日」が 21.9%となっています。希望する1日あたりの就労時間は、「4時間」が 32.5%と最も多く、次いで、「5時間」が 28.9%となっています。

[5] 父親の就労希望の有無

問3-1で「5」または「6」(就労していない、就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。

問3-4 就労したいという希望はありますか。(○は1つ、口内に数字を記入)

■ 就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」、「これまで働いたことがない」父親は5名で、「就労の予定はない(子育てや家事などに専念したいなど)」、「1年以上先、1番下の子どもが\_\_才になった頃に就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ1件(20.0%)となっています。

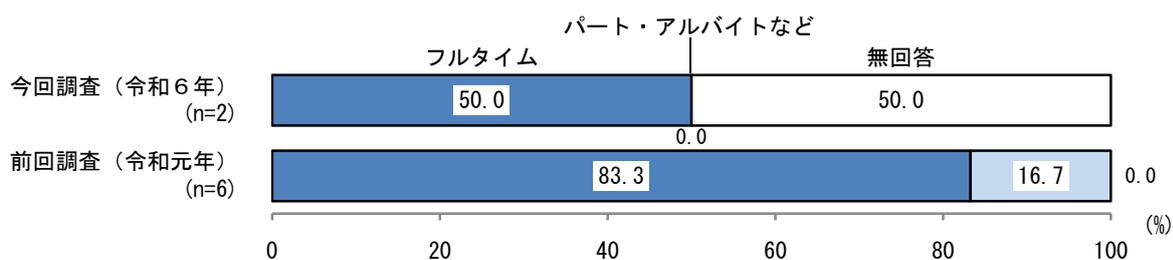
1年より先に就労したいとお答えの方のみ

■ 就労を考える子どもの年齢

→「6歳以上」が1件となっています。

「就労したい」とお答えの方のみ

■ 希望する就労形態

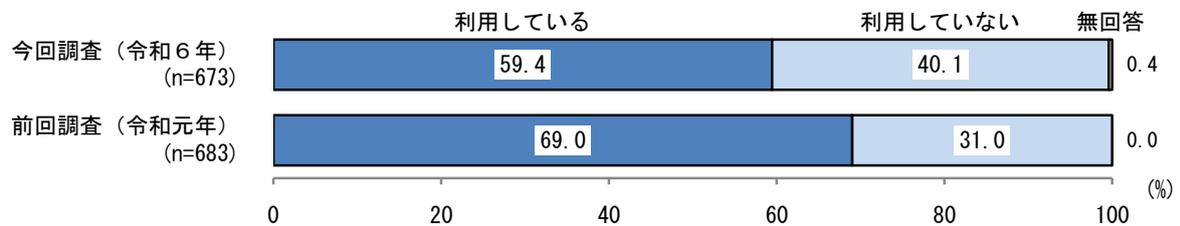


「就労したい」父親は2名で、希望する就労形態は、「フルタイム」が1件(50.0%)となっています。

## 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

### [1] 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

**問4-1** 対象のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(○は1つ)

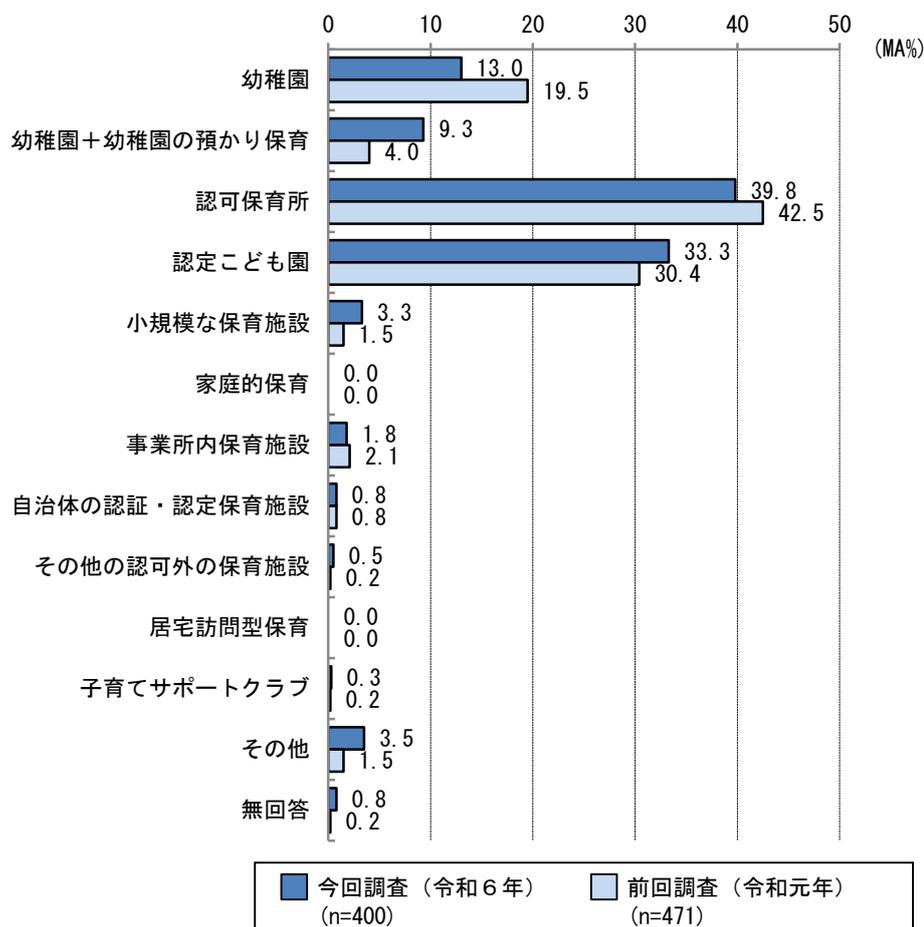


幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用については、「利用している」が59.4%、「利用していない」が40.1%となっています。前回調査に比べて「利用している」が9.6ポイント減少しています。

〔2〕平日に定期的に利用している教育・保育の事業

問4-1で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問4-2 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用されていますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業についてお答えください。(当てはまる全てに○)



※各事業の内容については以下のとおり

幼稚園…通常の就園時間の利用のみ

幼稚園+幼稚園の預かり保育…通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ

認可保育所…国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの

認定こども園…幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設

小規模な保育施設…国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの

家庭的保育…保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業

事業所内保育施設…企業が主に従業員用に運営する施設

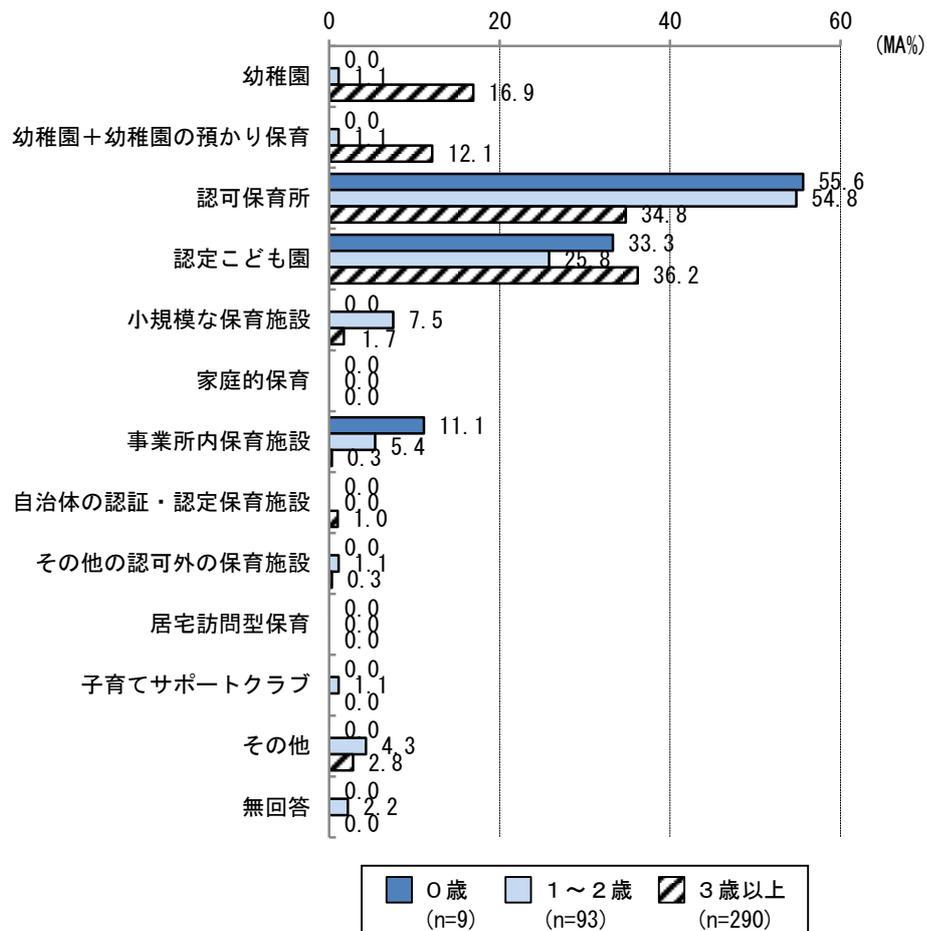
自治体の認証・認定保育施設…認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設

居宅訪問型保育…ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業

子育てサポートクラブ…地域住民が子どもを預かる事業

平日どのような教育・保育の事業を利用しているかについては、「認可保育所」が39.8%と最も多く、次いで、「認定こども園」が33.3%、「幼稚園」(13.0%)と「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(9.3%)が合わせて22.3%となっています。前回調査に比べて「幼稚園+幼稚園の預かり保育」の利用者が5.3ポイント増加しています。

【年齢別 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業】



年齢別にみると、0歳、1～2歳は「認可保育所」が半数強を占め、「認定こども園」が3割前後となっています。3歳以上は「認定こども園」、「認可保育所」が3割強、「幼稚園」が16.9%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」は12.1%となっています。また、「事業所内保育施設」が0歳で、「小規模な保育施設」が1～2歳で1割前後みられます。

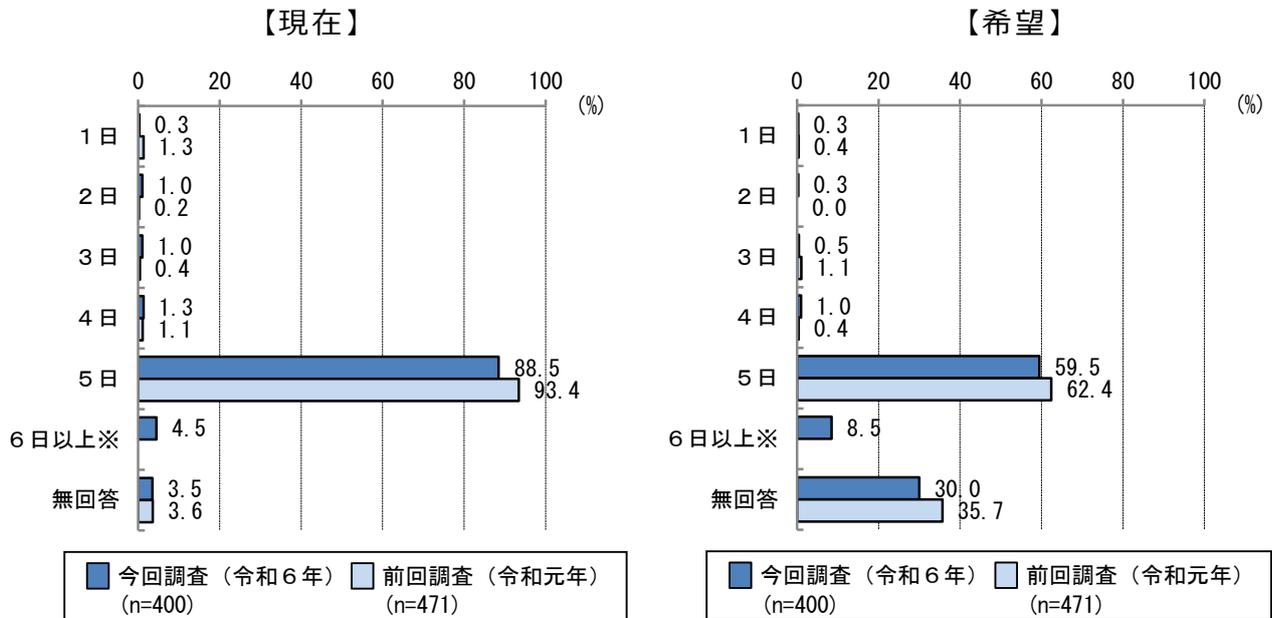
II-1. 就学前児童調査の結果

〔3〕現在の利用状況と今後の利用希望

問4-1で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

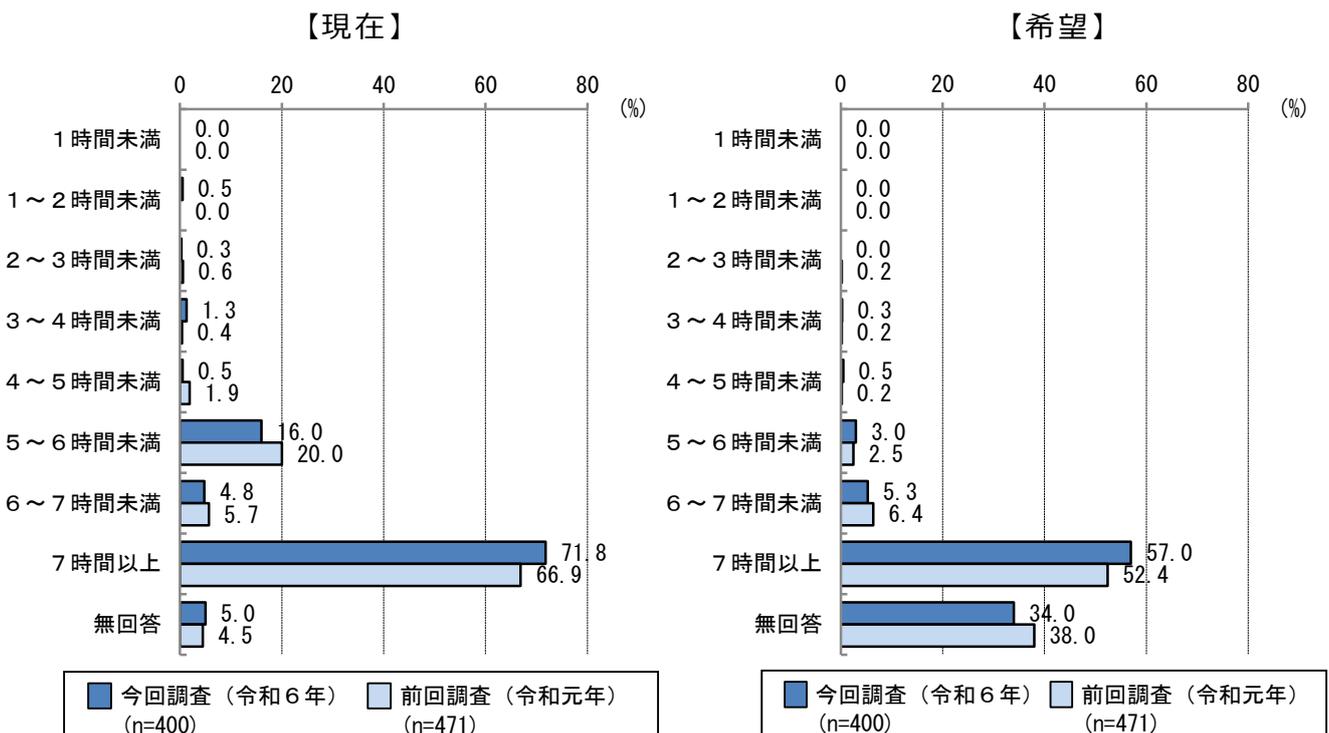
問4-3 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。  
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(□内に数字を記入)

■ 1週あたりの利用日数

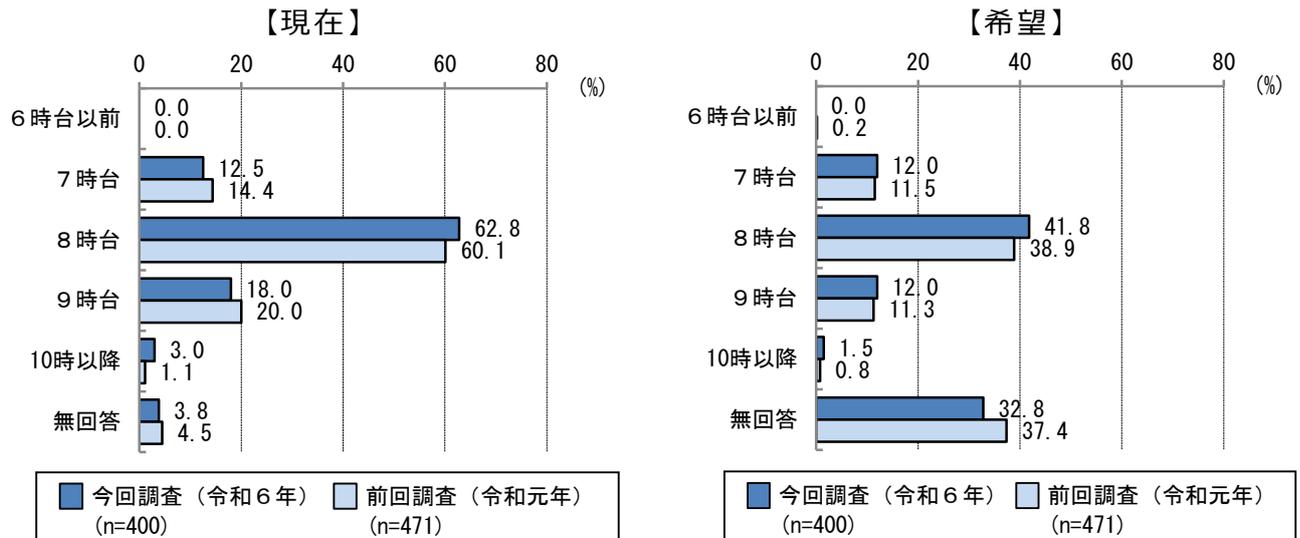


※前回調査では「6日以上」の回答なし

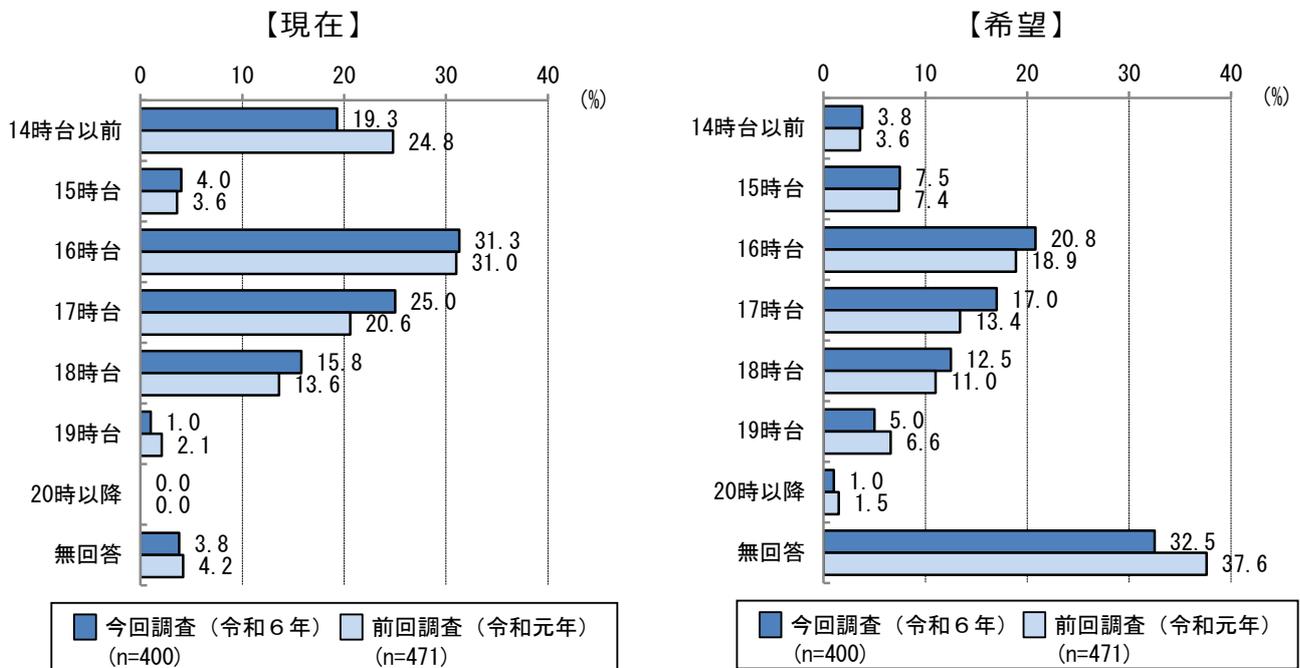
■ 1日あたりの利用時間



■ 利用開始時間



■ 利用終了時間



平日に定期的に教育・保育事業を利用している方の利用日数は、現在、希望ともに「5日」が最も多く（現在 88.5%、希望 59.5%）なっています。1日の利用時間は、現在、希望ともに「7時間以上」が最も多く（現在 71.8%、希望 57.0%）となっています。

利用開始時間は、現在、希望ともに「8時台」が最も多く（現在 62.8%、希望 41.8%）なっています。

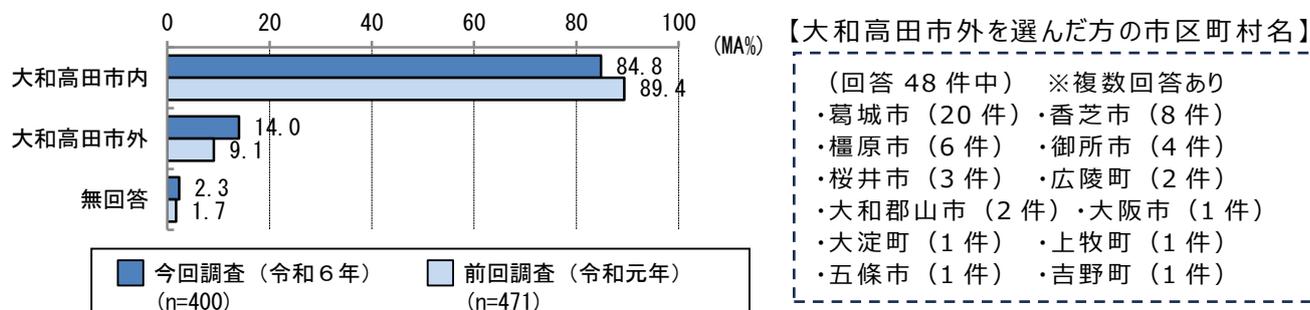
利用終了時間は、現在は「16時台」が 31.3%と最も多く、次いで、「17時台」が 25.0%、「14時台以前」が 19.3%、希望は「16時台」が 20.8%と最も多く、「17時台」が 17.0%、「18時台」が 12.5%となっています。

〔4〕教育・保育事業の実施場所

問4-1で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問4-4 現在、定期的に利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。

※大和高田市とそのほかの市区町村を利用している場合は2つとも○をつけてください。

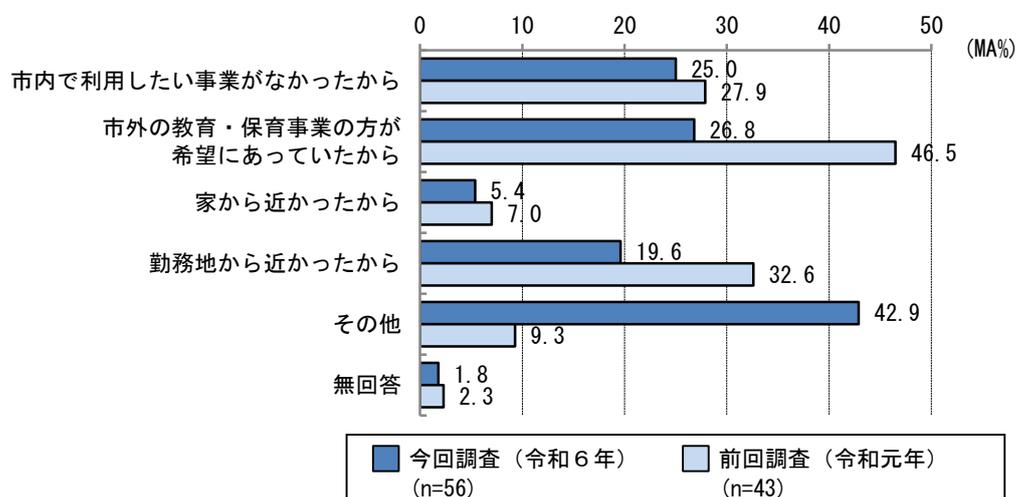


定期的に利用している教育・保育事業の実施場所は、「大和高田市内」が 84.8%、「大和高田市外」が 14.0%となっています。

〔5〕市外の教育・保育事業を利用している理由

問4-4で「2. 大和高田市外」に○をつけられた方にうかがいます。

問4-5 市内ではなく、市外で教育・保育事業を利用している理由は何ですか。  
(当てはまる全てに○)



市外で教育・保育事業を利用している理由は、「市外の教育・保育事業の方が希望にあっていたから」が 26.8%と最も多く、次いで、「市内で利用したい事業がなかったから」が 25.0%、「勤務地から近かったから」が 19.6%となっています。

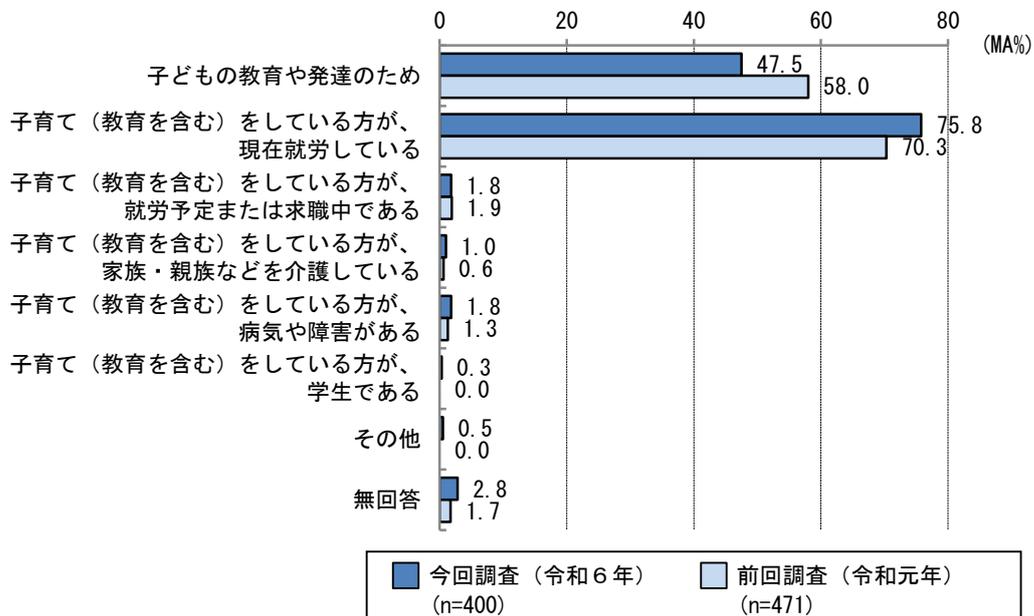
【その他を選んだ方の理由】

回答 23 件中 ※複数回答あり  
 ・市内で受け入れてもらえなかった (6 件) ・引っ越し後もそのまま利用 (5 件)  
 ・事業所内保育施設を利用 (4 件) ・生後 6 ヶ月以下の利用 (2 件)  
 その他 障がいがあり車で送迎するため、近所の保育園は 18 時までしか預かってもらえない など

〔6〕平日に教育・保育事業を利用している理由

問4-1で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問4-6 平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由は何ですか。  
(当てはまる全てに○)

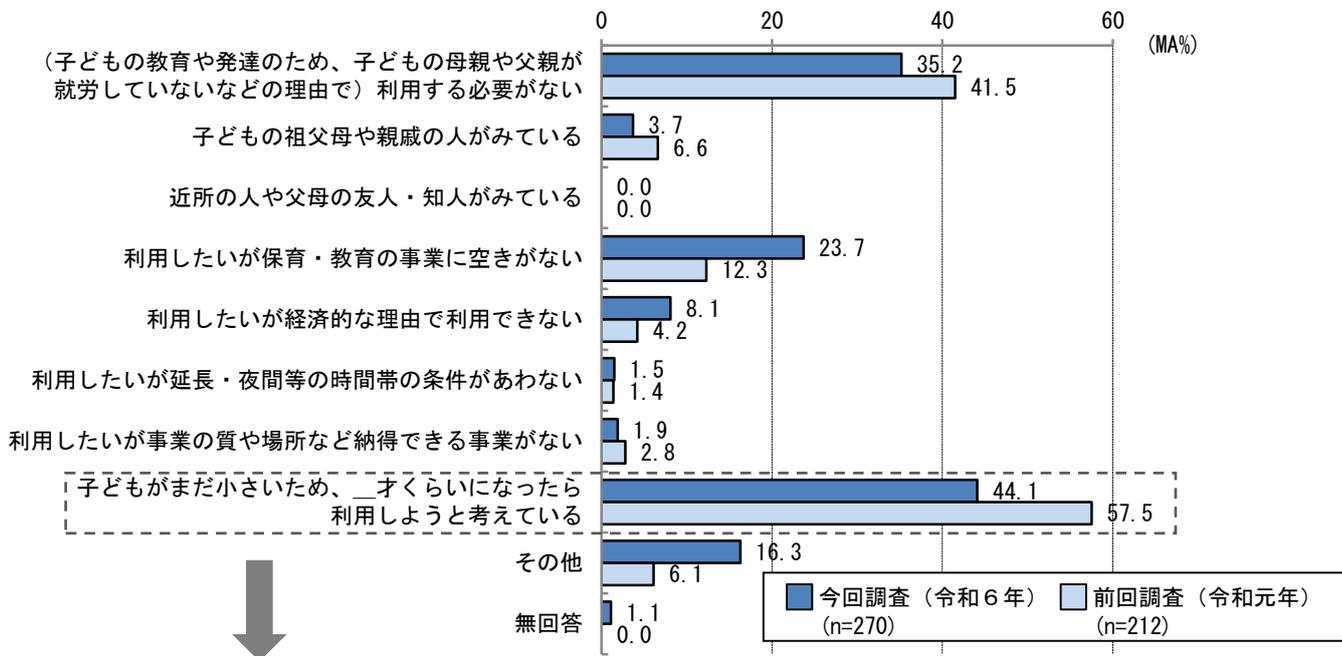


平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が、現在就労している」が75.8%と最も多く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が47.5%となっています。前回調査に比べて「子どもの教育や発達のため」が10.5ポイント減少し、「子育て(教育を含む)をしている方が、現在就労している」が5.5ポイント増加しています。

[7]教育・保育事業を利用しない理由

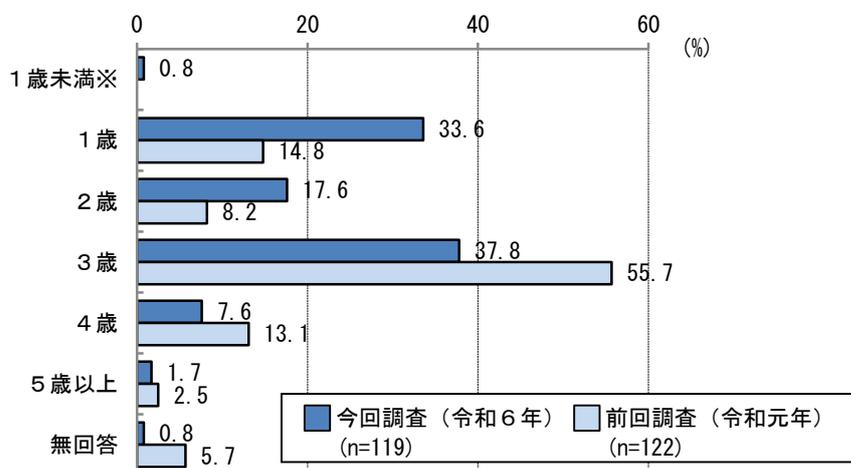
問4-1で「2. 利用していない」に○をつけられた方にうかがいます。

問4-7 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。  
(当てはまる全てに○)



「子どもがまだ小さいため」とお答えの方のみ

■ 利用したいと考える子どもの年齢



※前回調査では「1歳未満」の回答なし

平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため、\_\_才くらいになったら利用しようと考えている」が 44.1%と最も多く、次いで、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親や父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 35.2%、「利用したいが保育・教育の事業に空きがない」が 23.7%となっています。前回調査に比べて「利用したいが保育・教育の事業に空きがない」が 11.4 ポイント増加しています。

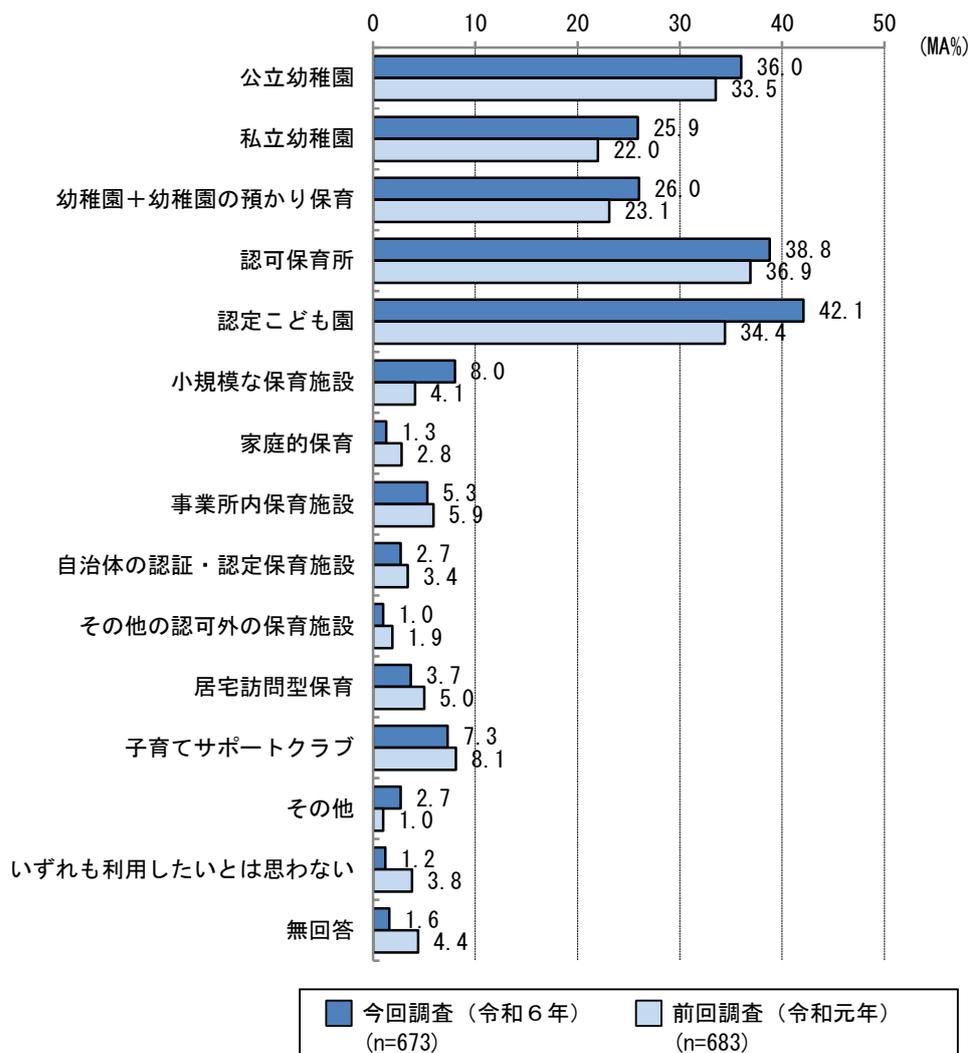
「子どもがまだ小さいため」とお答えの方が、定期的な教育・保育事業を利用したいと考える子どもの年齢は、「3歳」が 37.8%と最も多くなっていますが、「1歳」が 33.6%、「2歳」が 17.6%と、いずれも前回調査に比べて増加しています。

[8] 今後利用したい教育・保育事業

すべての方にうかがいます。

問4-8 現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の教育・保育事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業についてお答えください。(当てはまる全てに○)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します(認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています)



※各事業の内容については以下のとおり

公立幼稚園…通常の就園時間の利用のみ

私立幼稚園…通常の就園時間の利用のみ

幼稚園+幼稚園の預かり保育…通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ

認可保育所…国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの

認定こども園…幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設

小規模な保育施設…国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6人~19人のもの

家庭的保育…保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業

事業所内保育施設…企業が主に従業員用に運営する施設

自治体の認証・認定保育施設…認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設

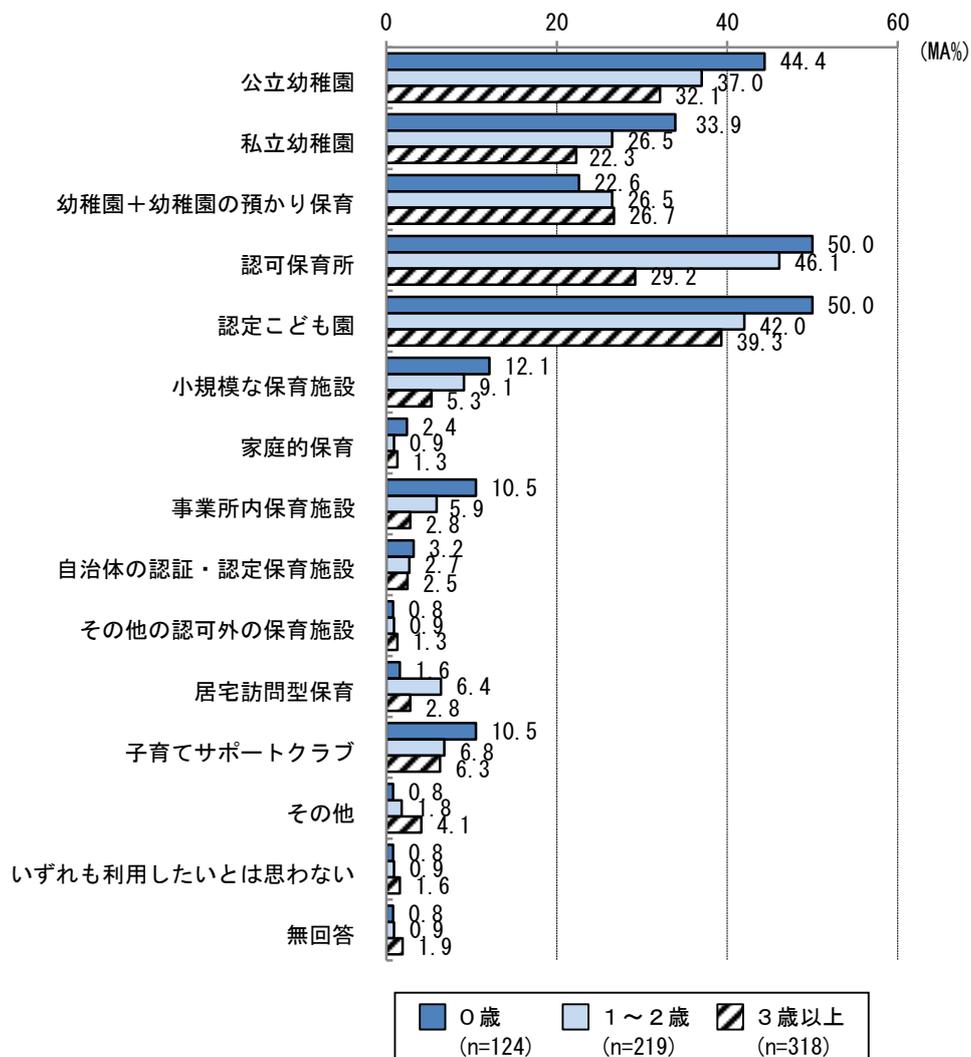
居宅訪問型保育…ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業

子育てサポートクラブ…地域住民が子どもを預かる事業

## II-1. 就学前児童調査の結果

現在の利用状況にかかわらず、平日の教育・保育事業として、今後「定期的に」利用したい事業は、「認定こども園」が 42.1%と最も多く、次いで、「認可保育所」が 38.8%、「公立幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）」が 36.0%となっています。前回調査に比べて「認定こども園」が 7.7 ポイント増加しています。

【年齢別 今後利用したい教育・保育事業】

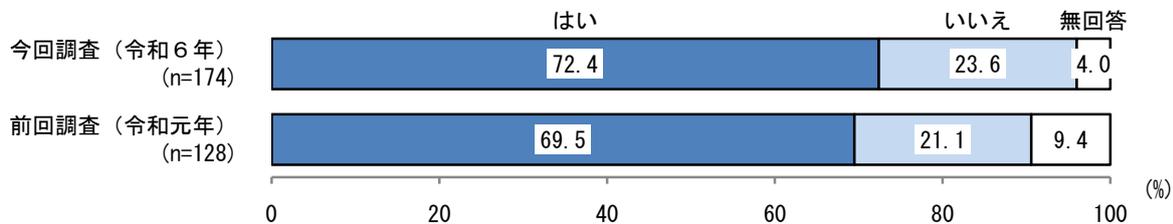


年齢別にみると、0歳では「認可保育所」と「認定こども園」がそれぞれ 50.0%で最も多く、「公立幼稚園」（44.4%）、「私立幼稚園」（33.9%）も他の年齢に比べて多くなっています。

〔9〕幼稚園利用希望の有無

問4-8で「1. 公立幼稚園」、「2. 私立幼稚園」、「3. 幼稚園+幼稚園の預かり保育」のいずれかに○をつけ、かつ「4」~「13」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

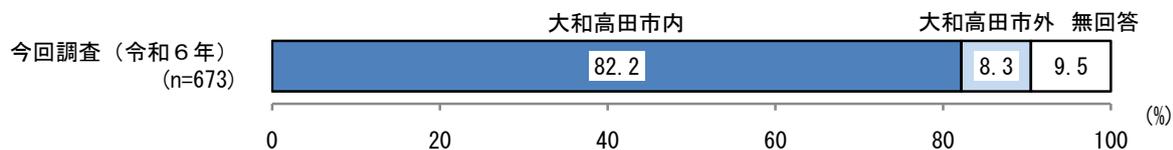
問4-9 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）



平日に利用したい教育・保育事業で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ幼稚園以外の事業にも○をつけた方で、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望する人は、72.4%となっています。

〔10〕今後利用したい教育・保育事業の実施場所【新規設問】

問4-10 今後、「定期的」に利用したいと考える教育・保育事業の実施場所はどこですか。（○は1つ）



「定期的」に利用したいと考える教育・保育事業の実施場所は、「大和高田市内」が82.2%、「大和高田市外」が8.3%となっています。

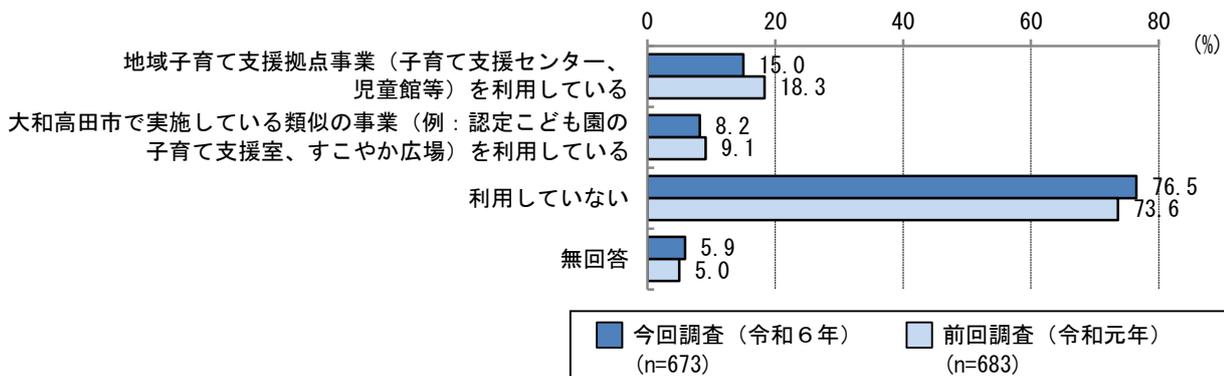
【大和高田市外を選んだ方の市区町村名】

- 回答 46 件中 ※複数回答あり
- ・香芝市 (18 件) ・葛城市 (16 件) ・橿原市 (5 件) ・御所市 (2 件)
  - ・広陵町 (2 件) ・大和郡山市 (2 件) ・奈良市 (1 件) ・防府市 (1 件)

## 5. 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

### [1] 地域子育て支援拠点事業の利用状況

**問5-1** 対象のお子さんは、現在、「地域子育て支援拠点事業」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。  
(当てはまる全てに○、おおよその利用回数を□内に数字で記入)



地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター、児童館等) を利用している」が 15.0%、「大和高田市で実施している類似の事業 (例: 認定こども園の子育て支援室、すこやか広場) を利用している」が 8.2%、「利用していない」が 76.5%となっています。

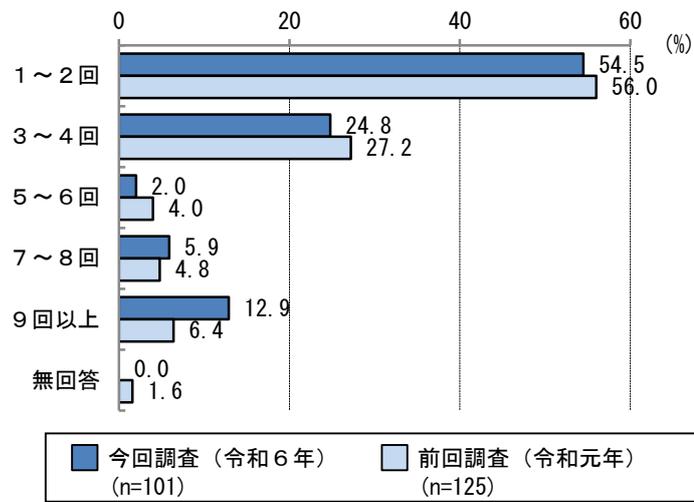
#### 【小学校区別 地域子育て支援拠点事業の利用状況】

	n	地域子育て支援センター、児童館等) を利用している	大和高田市で実施している類似の事業 (例: 認定こども園の子育て支援室、すこやか広場) を利用している	利用していない	(MA%) 無回答
全体	673	101	55	515	40
	100	15.0	8.2	76.5	5.9
片塩校区	85	19	11	58	6
	100	22.4	12.9	68.2	7.1
高田校区	161	23	20	121	10
	100	14.3	12.4	75.2	6.2
土庫校区	29	5	0	23	1
	100	17.2	0	79.3	3.4
浮孔校区	83	10	7	66	5
	100	12.0	8.4	79.5	6.0
磐園校区	96	17	6	71	5
	100	17.7	6.3	74.0	5.2
陵西校区	88	12	5	70	4
	100	13.6	5.7	79.5	4.5
菅原校区	74	9	4	61	3
	100	12.2	5.4	82.4	4.1
浮孔西校区	55	6	2	43	6
	100	10.9	3.6	78.2	10.9

小学校区別にみると、「利用している」は片塩校区で 22.4%と多く、菅原校区では「利用していない」が 82.4%と多くなっています。

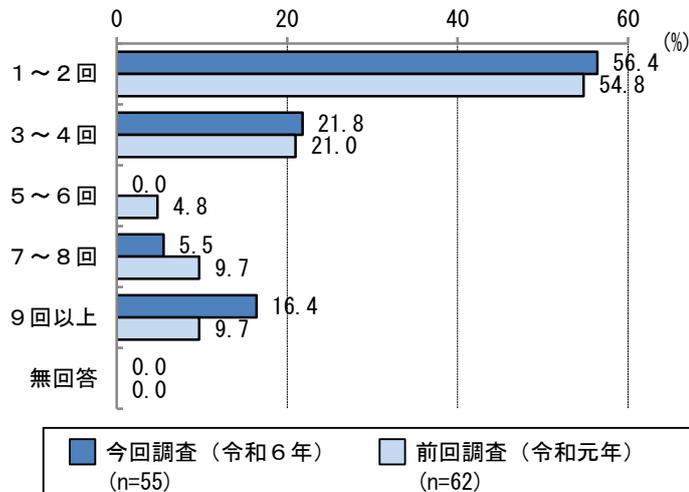
■ 利用回数

(1) 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、児童館等）の1ヶ月あたりの利用回数



地域子育て支援拠点事業を利用している方の1ヶ月あたりの利用回数は、「1～2回」が54.5%と最も多く、次いで、「3～4回」が24.8%、「9回以上」が12.9%となっています。

(2) 大和高田市で実施している類似の事業（例：認定こども園の子育て支援室、すこやか広場）の1ヶ月あたりの利用回数

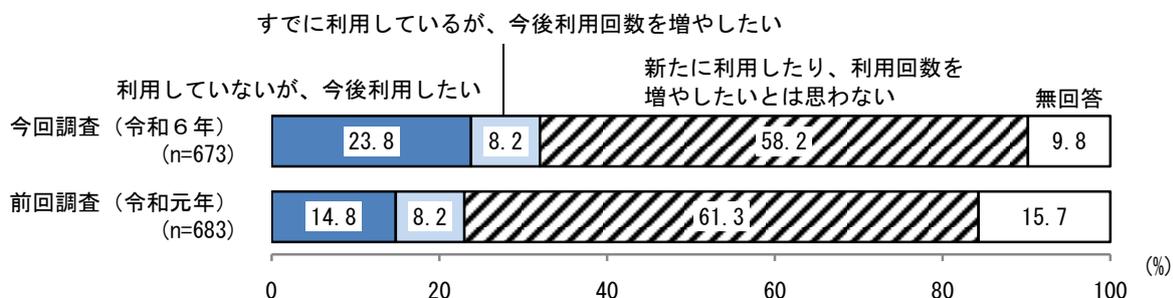


大和高田市で実施している類似の事業を利用している方の1ヶ月あたりの利用回数は、「1～2回」が56.4%と最も多く、次いで、「3～4回」が21.8%、「9回以上」が16.4%となっています。

〔2〕地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

問5-2 問5-1のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○は1つ、おおよその利用希望回数を□内に数字で記入)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります



地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望は、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が 58.2%と最も多く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が 23.8%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が 8.2%となっています。前回調査に比べて「利用していないが、今後利用したい」が 9.0 ポイント増加しています。

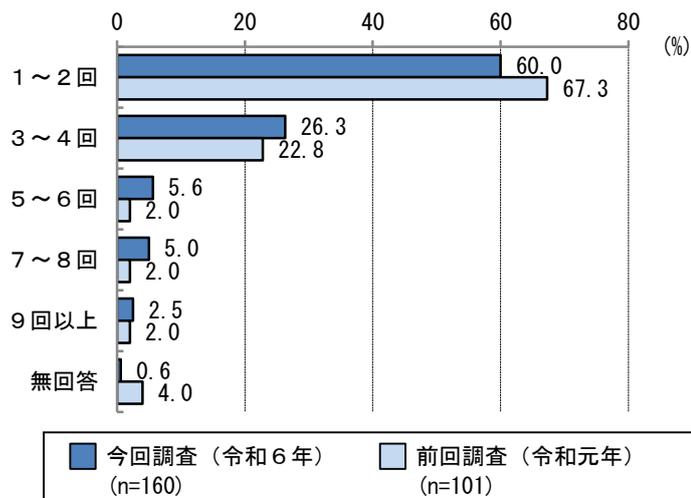
【小学校区別 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望】

	n	今 後 利 用 し た い が、	増 が す や、 で し 今 に た 後 利 用 し て 回 て 数 い を る	い 利 新 と 用 た は 回 に 思 数 利 わ を 用 な 増 し た り し た、	無 回 答
全体	673	160	55	392	66
	100	23.8	8.2	58.2	9.8
片塩校区	85	21	10	45	9
	100	24.7	11.8	52.9	10.6
高田校区	161	45	11	87	18
	100	28.0	6.8	54.0	11.2
土庫校区	29	8	2	14	5
	100	27.6	6.9	48.3	17.2
浮孔校区	83	18	7	50	8
	100	21.7	8.4	60.2	9.6
警園校区	96	25	8	52	11
	100	26.0	8.3	54.2	11.5
陵西校区	88	18	8	56	6
	100	20.5	9.1	63.6	6.8
菅原校区	74	11	6	52	5
	100	14.9	8.1	70.3	6.8
浮孔西校区	55	14	3	34	4
	100	25.5	5.5	61.8	7.3

小学校区別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は高田校区で 28.0%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」は片塩校区で 11.8%と多くなっています。菅原校区では「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が 70.3%と最も多くなっています。

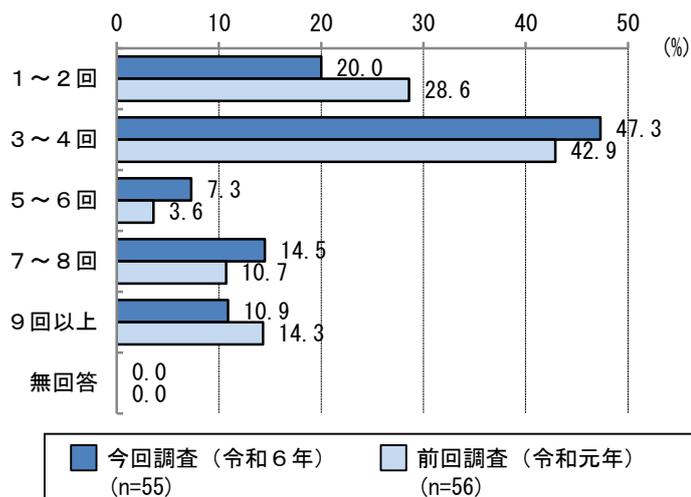
■ 利用回数

(1) 利用していないが、今後利用したい方の1ヶ月あたりの希望利用回数



利用していないが、今後利用したい方が1ヶ月あたりの希望利用回数は、「1～2回」が60.0%と最も多く、次いで、「3～4回」が26.3%となっています。

(2) すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい方が1ヶ月あたり更に増やしたい回数



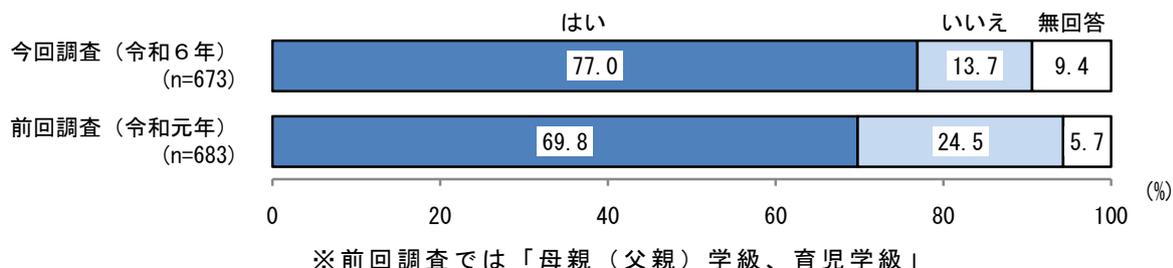
すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい方が1ヶ月あたり更に増やしたい利用回数は、「3～4回」が47.3%と最も多く、次いで、「1～2回」が20.0%となっています。

〔3〕事業の認知と利用状況、今後の利用意向

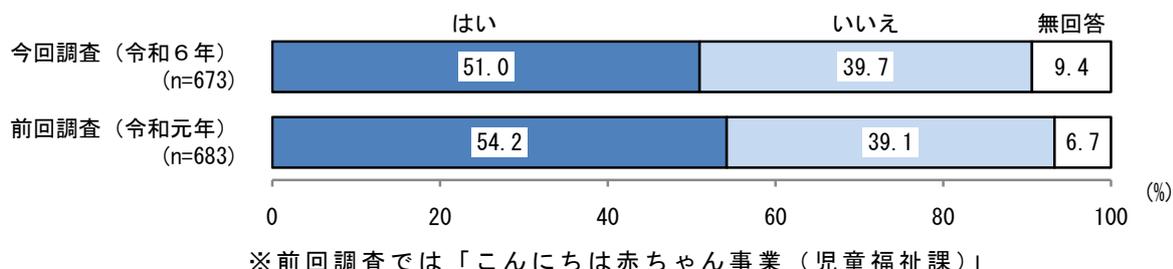
問5-3 次の事業の中で、知っているものや今までに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものがありますか。A~Cのそれぞれについてお答えください。  
 (「はい」「いいえ」のいずれかに○)

A 知っている

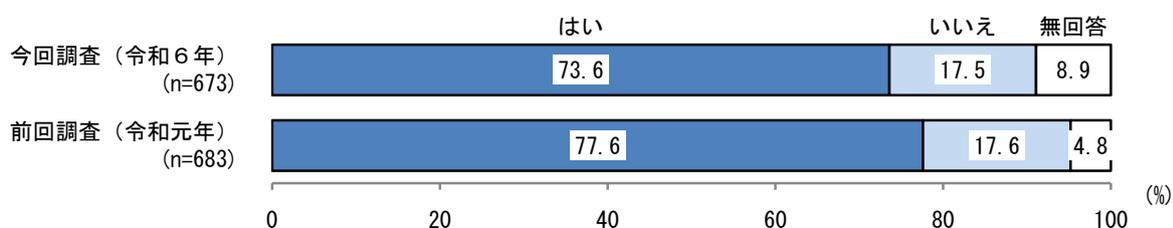
① ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室



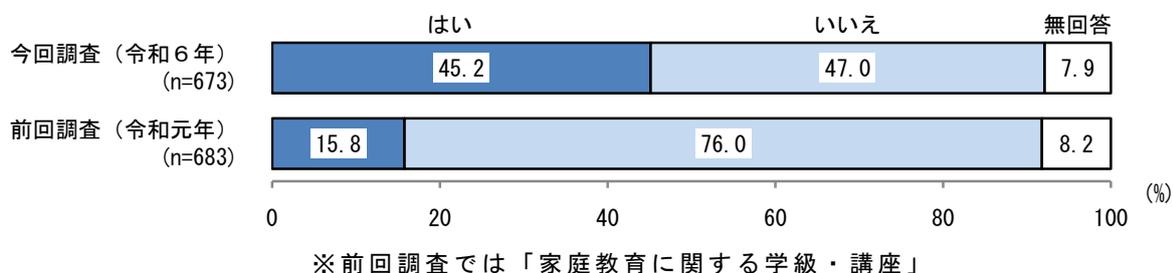
② こんにちは赤ちゃん事業 (こども家庭課)



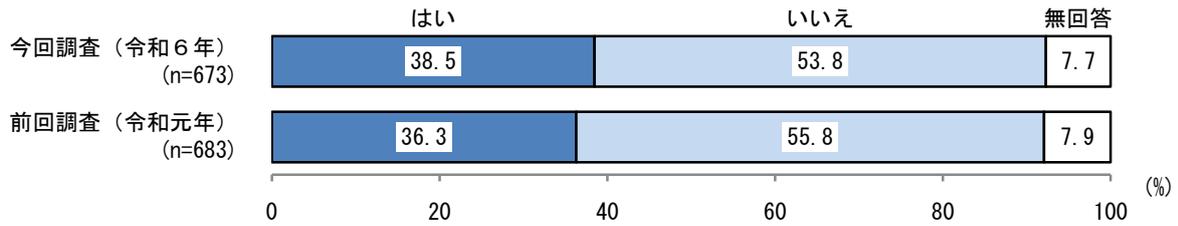
③ 保健センターの情報・相談事業



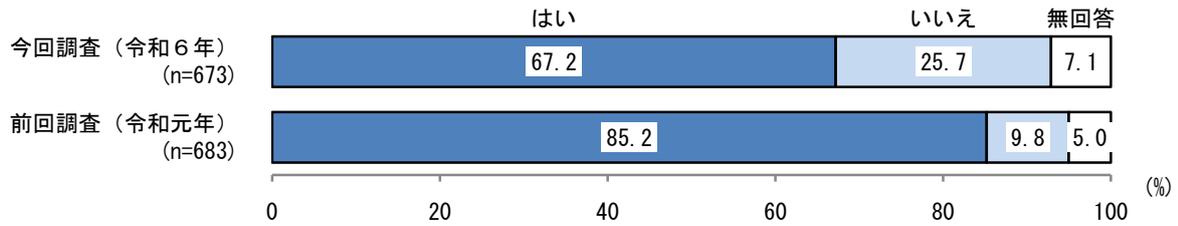
④ 児童館・支援センター・青少年会館での育児教室



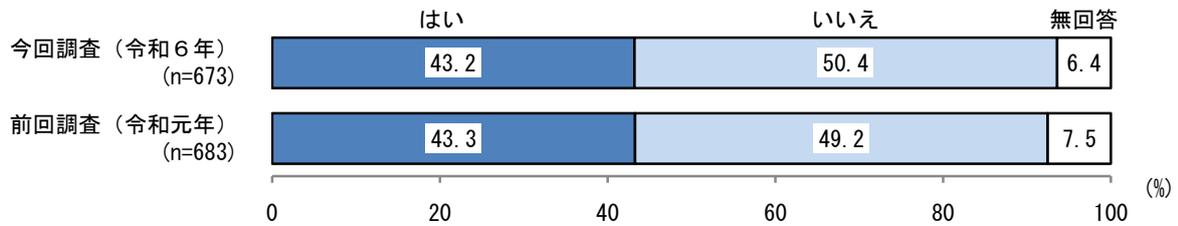
⑤教育相談（面談・電話）



⑥幼稚園・保育所・認定こども園の園庭等の開放

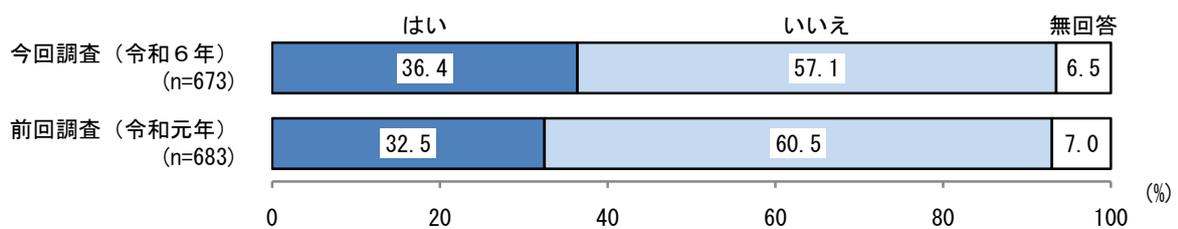


⑦児童総合相談窓口（こども家庭課）

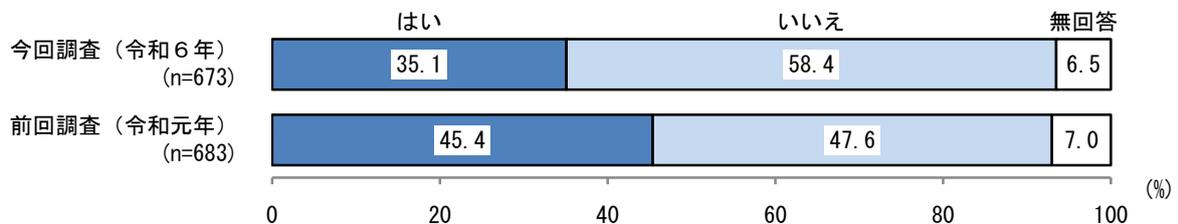


※前回調査では「児童総合相談窓口（家庭児童相談室）」

⑧情報誌「すこやか」・ホームページ



⑨子育てサポートクラブ

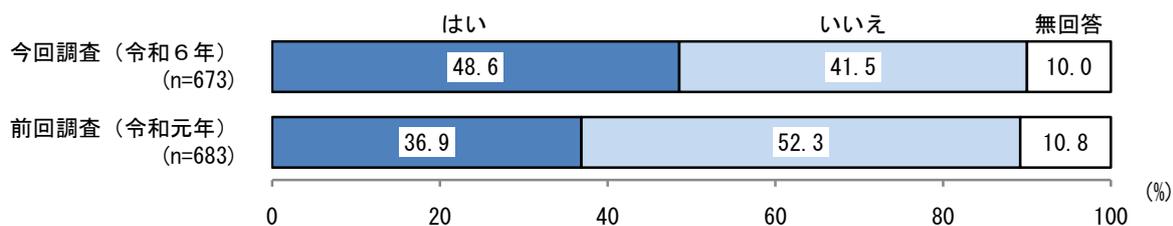


大和高田市が行っている子育て支援事業の認知度は、「ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室」が77.0%と最も高く、次いで、「保健センターの情報・相談事業」が73.6%、「幼稚園・保育所・認定こども園の園庭等の開放」が67.2%となっています。前回調査に比べて「児童館・支援センター・青少年会館での育児教室」の認知度が29.4ポイント増加しています。

## II-1. 就学前児童調査の結果

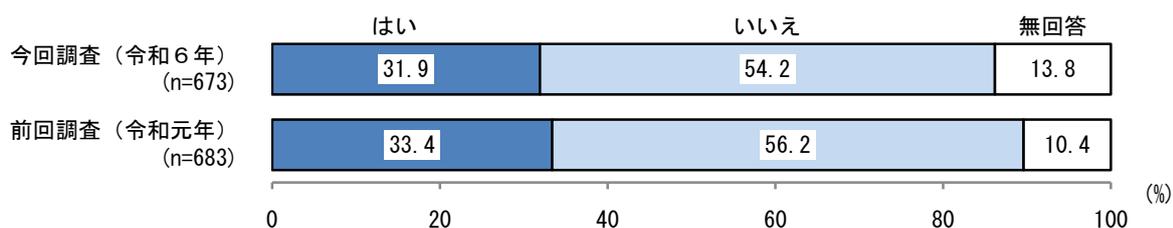
### B 利用したことがある

#### ① ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室



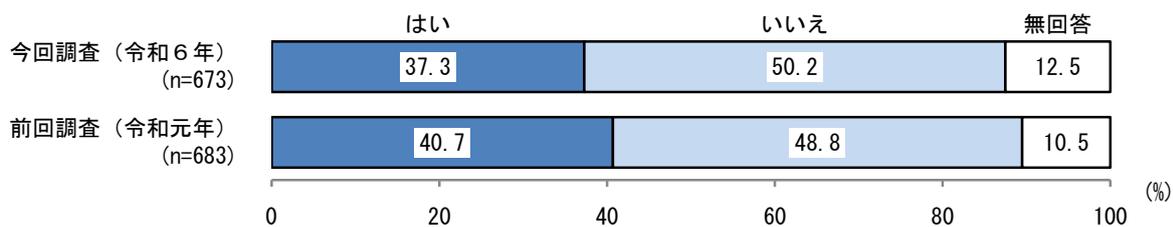
※前回調査では「母親（父親）学級、育児学級」

#### ② こんにちは赤ちゃん事業（こども家庭課）

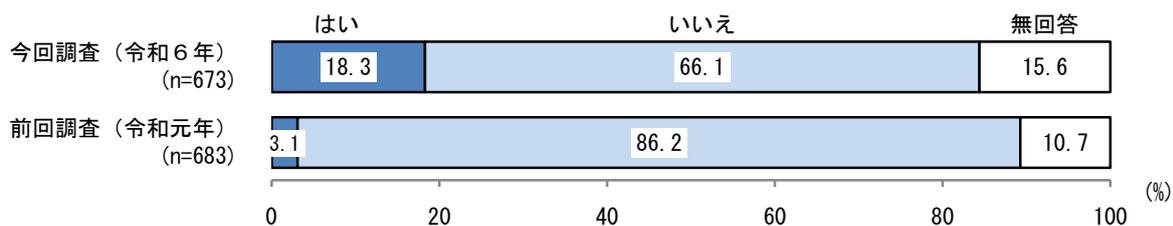


※前回調査では「こんにちは赤ちゃん事業（児童福祉課）」

#### ③ 保健センターの情報・相談事業

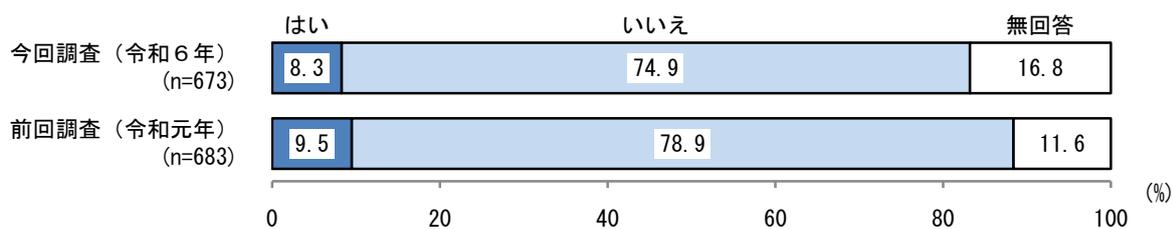


#### ④ 児童館・支援センター・青少年会館での育児教室

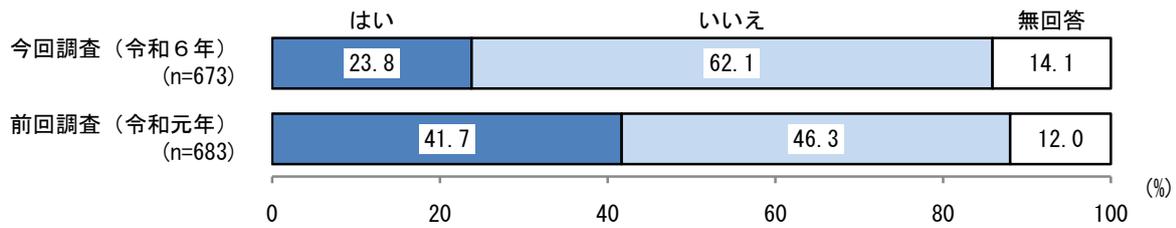


※前回調査では「家庭教育に関する学級・講座」

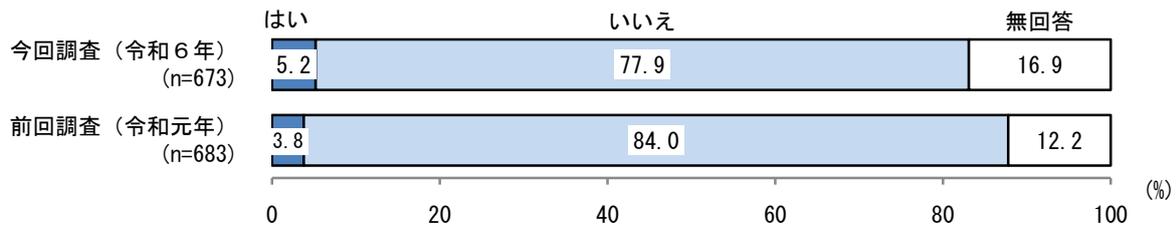
#### ⑤ 教育相談（面談・電話）



⑥ 幼稚園・保育所・認定こども園の園庭等の開放

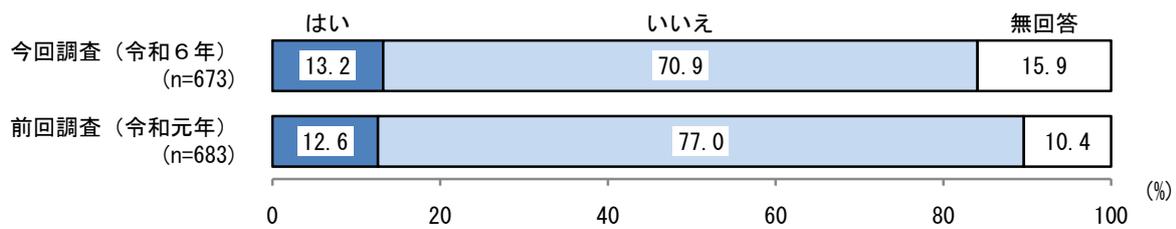


⑦ 児童総合相談窓口 (こども家庭課)

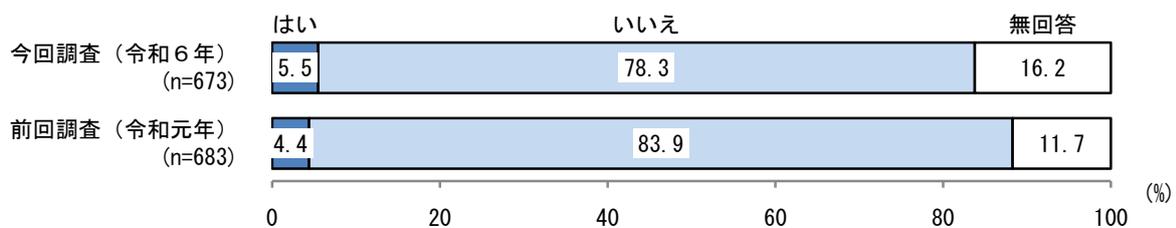


※前回調査では「児童総合相談窓口 (家庭児童相談室)」

⑧ 情報誌「すこやか」・ホームページ



⑨ 子育てサポートクラブ

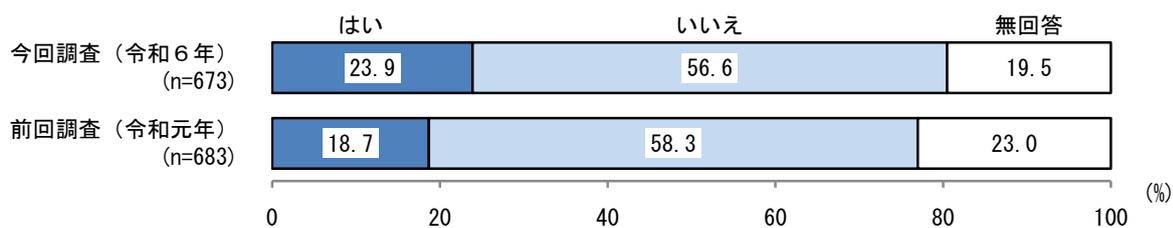


利用したことがある子育て支援事業は、「ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室」が 48.6%と最も多く、次いで、「保健センターの情報・相談事業」が 37.3%、「こんにちは赤ちゃん事業 (こども家庭課)」が 31.9%となっています。前回調査に比べて「ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室」と「児童館・支援センター・青少年会館での育児教室」の利用率が増加 (11.7 ポイントと 15.2 ポイント) しています。

II-1. 就学前児童調査の結果

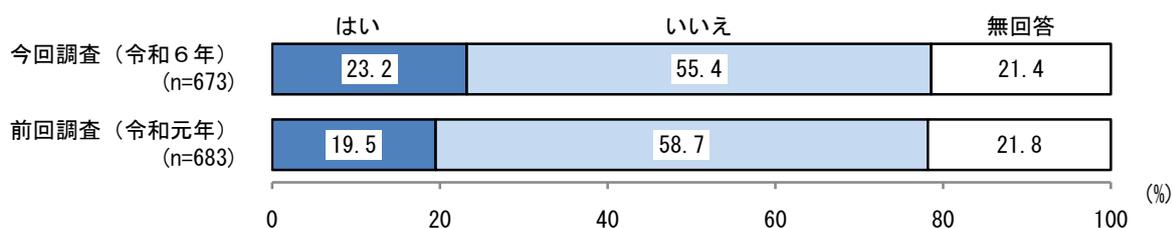
C 今後利用したい

① ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室



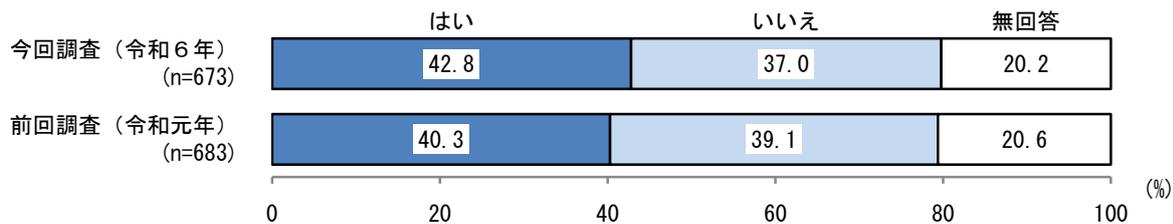
※前回調査では「母親（父親）学級、育児学級」

② こんにちは赤ちゃん事業（こども家庭課）

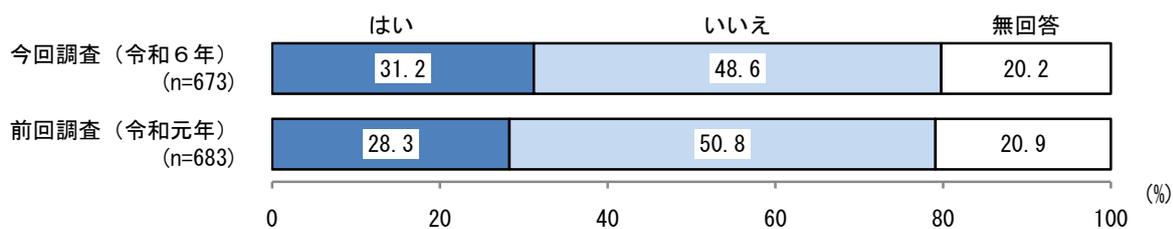


※前回調査では「こんにちは赤ちゃん事業（児童福祉課）」

③ 保健センターの情報・相談事業

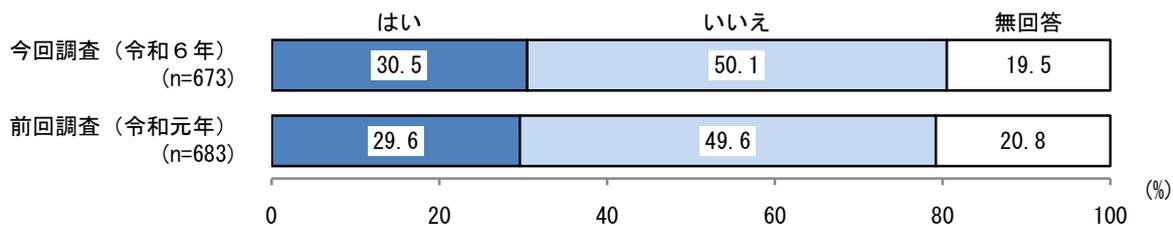


④ 児童館・支援センター・青少年会館での育児教室

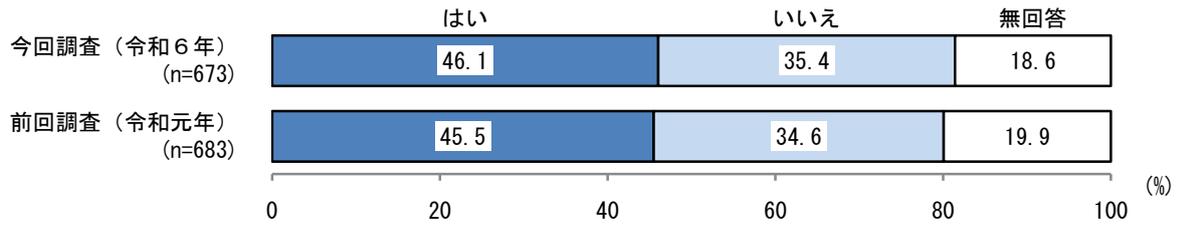


※前回調査では「家庭教育に関する学級・講座」

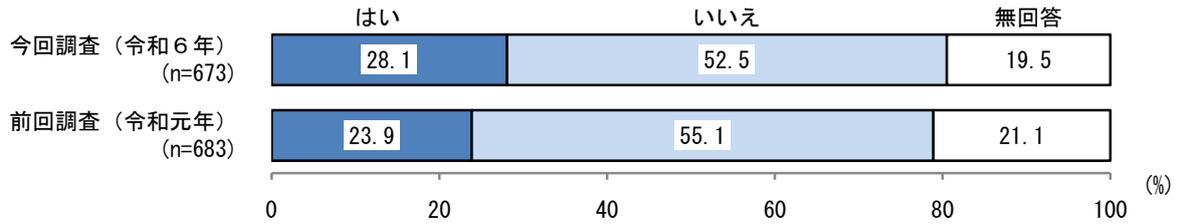
⑤ 教育相談（面談・電話）



⑥ 幼稚園・保育所・認定こども園の園庭等の開放

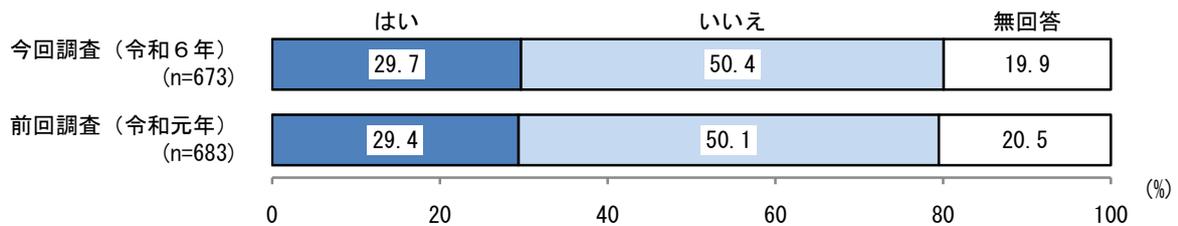


⑦ 児童総合相談窓口 (こども家庭課)

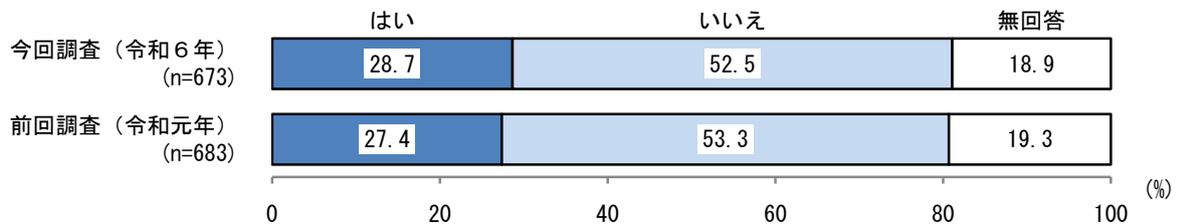


※前回調査では「児童総合相談窓口 (家庭児童相談室)」

⑧ 情報誌「すこやか」・ホームページ



⑨ 子育てサポートクラブ



今後利用したい子育て支援事業は、「幼稚園・保育所・認定こども園の園庭等の開放」が46.1%と最も多く、次いで、「保健センターの情報・相談事業」が42.8%、「児童館・支援センター・青少年会館での育児教室」が31.2%となっています。

## 6. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

### [1] 土日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

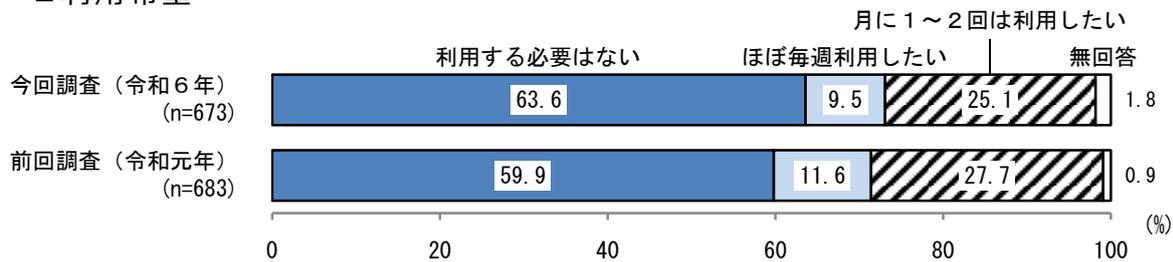
**問6-1** 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。  
(○は1つ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□に数字で記入)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります

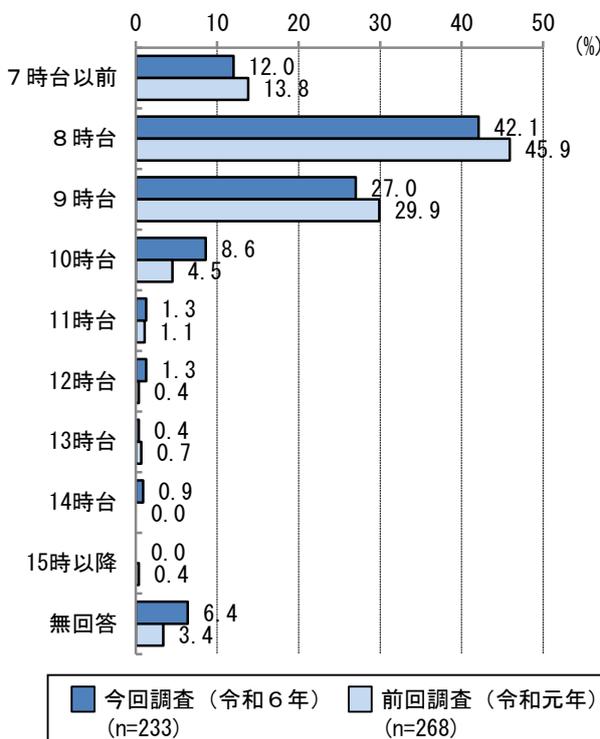
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません

#### (1) 土曜日

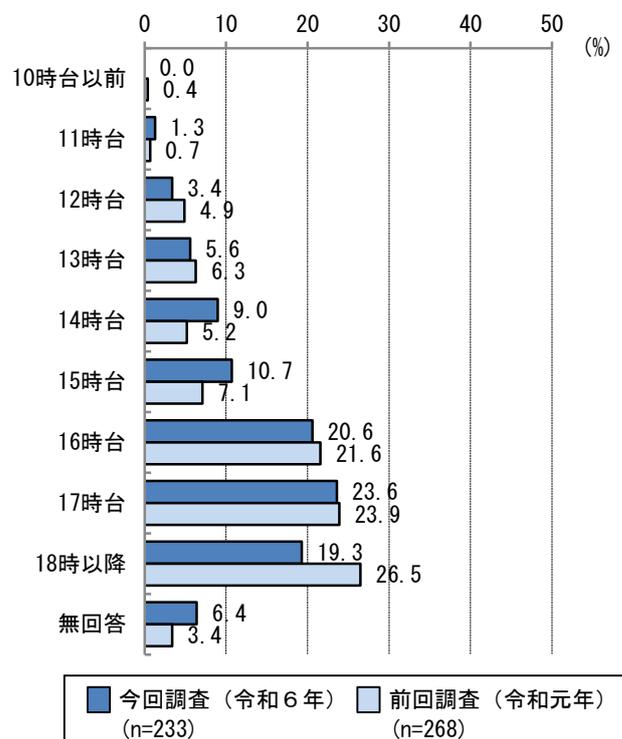
##### ■ 利用希望



##### ■ 希望利用開始時間



##### ■ 希望利用終了時間

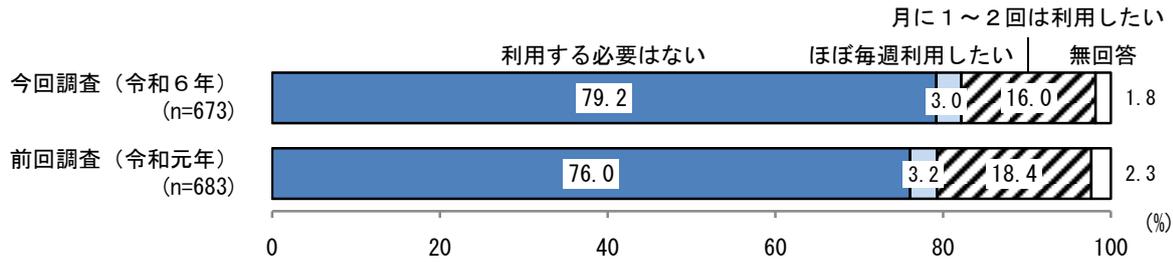


定期的な教育・保育事業の土曜日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が 9.5%、「月に1~2回は利用したい」が 25.1%で、利用希望者は合計 34.6%、前回調査に比べて 4.7 ポイント減少しています。

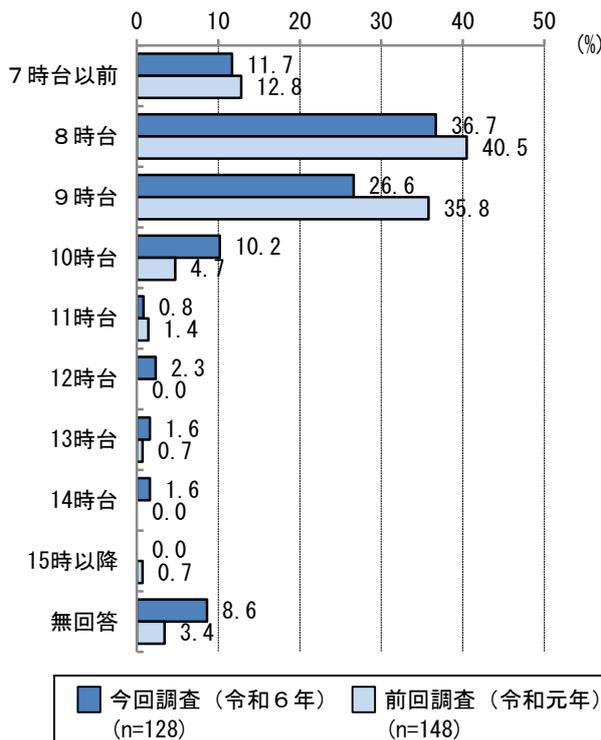
希望開始時間は「8時台」が 42.1%と最も多く、希望終了時間は「17時台」が 23.6%と最も多くなっています。

(2) 日曜日・祝日

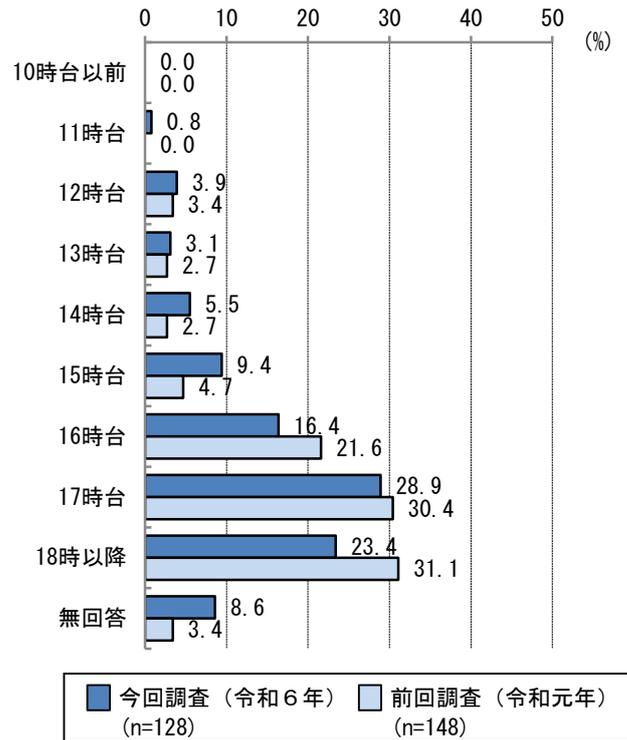
■ 利用希望



■ 希望利用開始時間



■ 希望利用終了時間



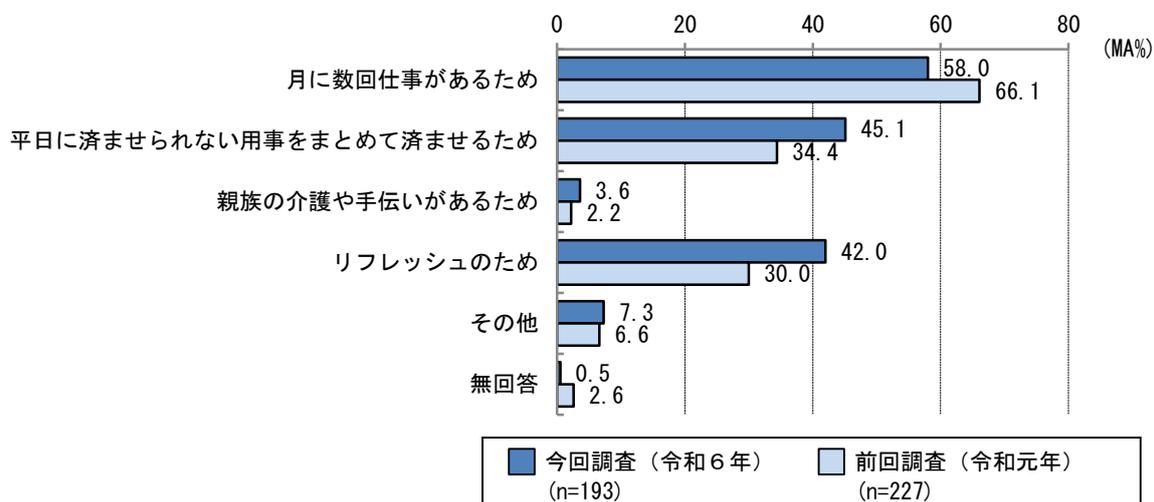
定期的な教育・保育事業の日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が 3.0%、「月に1~2回は利用したい」が 16.0%で、利用希望者は合計 19.0%となっています。

希望開始時間は「8時台」が 36.7%と最も多く、希望終了時間は「17時台」が 28.9%と最も多くなっています。

〔2〕たまに利用したい理由

問6-1で、土曜日または日曜日・祝日で「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問6-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由についてうかがいます。  
(当てはまる全てに○)



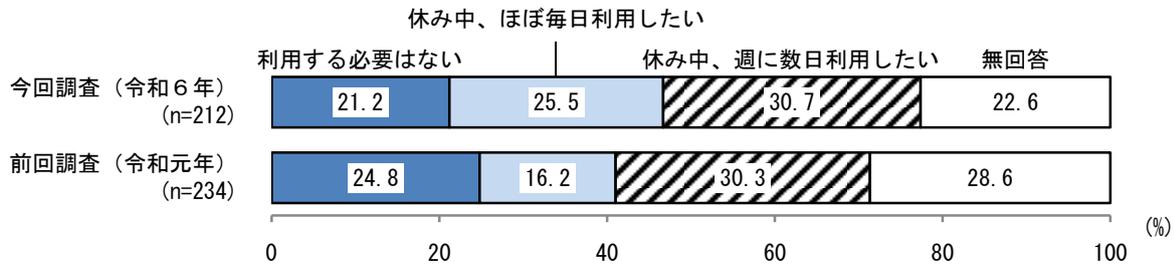
土曜日または日曜日・祝日で「月に1～2回は利用したい」方が毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事があるため」が58.0%と最も多く、次いで、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が45.1%、「リフレッシュのため」が42.0%となっています。前回調査に比べて「リフレッシュのため」が12.0ポイント、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が10.7ポイント増加しています。

〔3〕長期休暇期間中の利用希望の有無

現在、幼稚園・認定こども園（教育）を利用されている方にうかがいます。

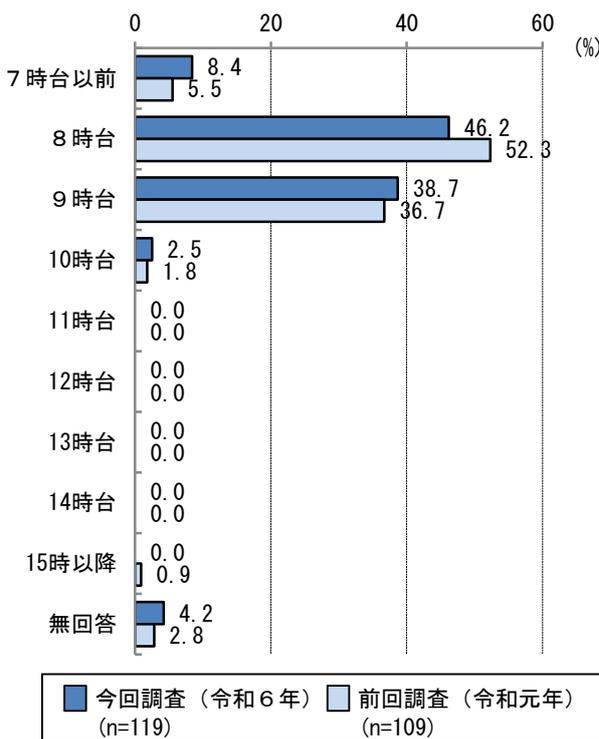
問6-3 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。（○は1つ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□に数字で記入）

■ 利用希望

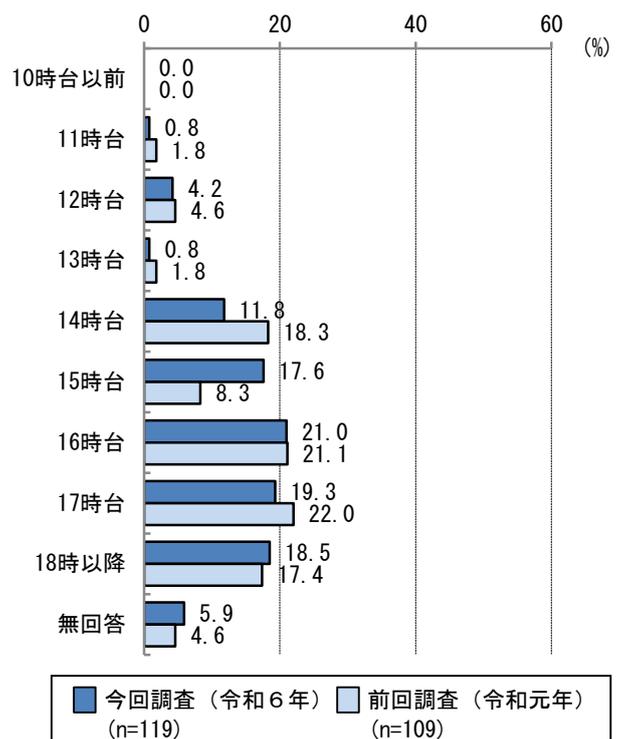


利用したいとお答えの方のみ

■ 希望利用開始時間



■ 希望利用終了時間



幼稚園・認定こども園（教育）を利用されている方の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休み中、ほぼ毎日利用したい」が 25.5%、「休み中、週に数日利用したい」が 30.7%で、利用希望者は合計 56.2%となっています。前回調査に比べて「休み中、ほぼ毎日利用したい」が 9.3 ポイント増加しています。

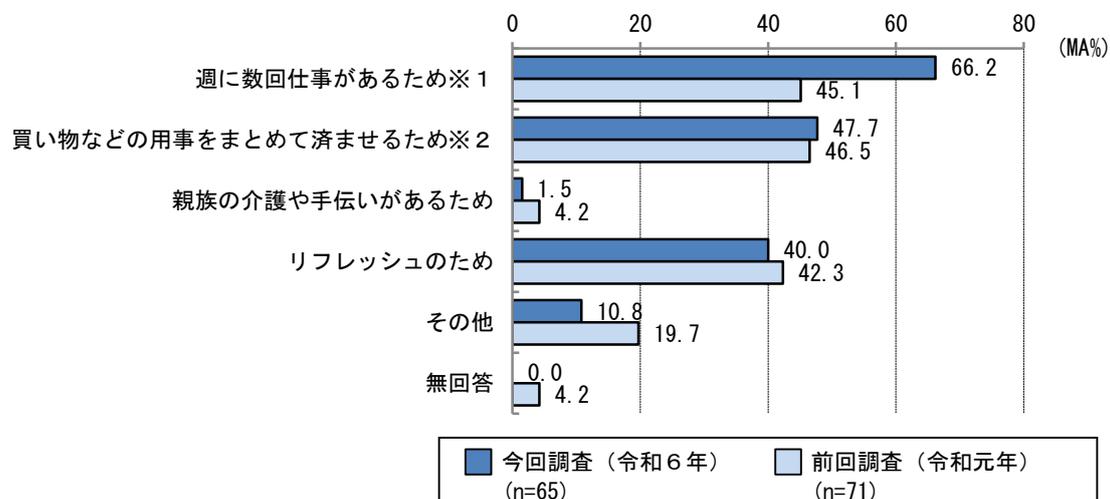
希望開始時間は「8時台」が 46.2%と最も多く、希望終了時間は「16時台」が 21.0%と最も多くなっています。

土曜日、日曜日・祝日の利用希望が前回調査に比べて減少している一方で、長期休暇中の利用希望が増加しています。

〔4〕たまに利用したい理由

問6-3で「3. 休み中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問6-4 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(当てはまる全てに○)



※1 前回調査では「月に数回仕事があるため」

※2 前回調査では「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」

長期休暇期間中の教育・保育事業を「週に数日利用したい」方が毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事があるため」が 66.2%と最も多く、次いで、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が 47.7%、「リフレッシュのため」が 40.0%となっています。

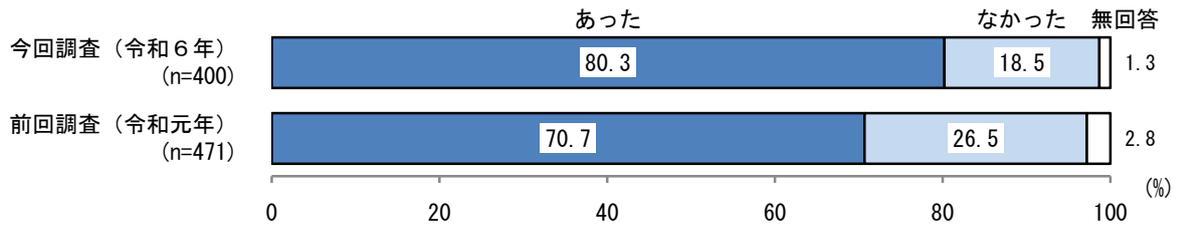
## 7. 病気の際の対応

※平日の教育・保育事業を利用している方のみ

### [1] 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無

問4-1で「1. (定期的な教育・保育事業を)利用している」に○をつけた方にかがいます。

問7-1 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで通常(普段利用している)の教育・保育事業を利用できなかったことがありますか。(○は1つ)



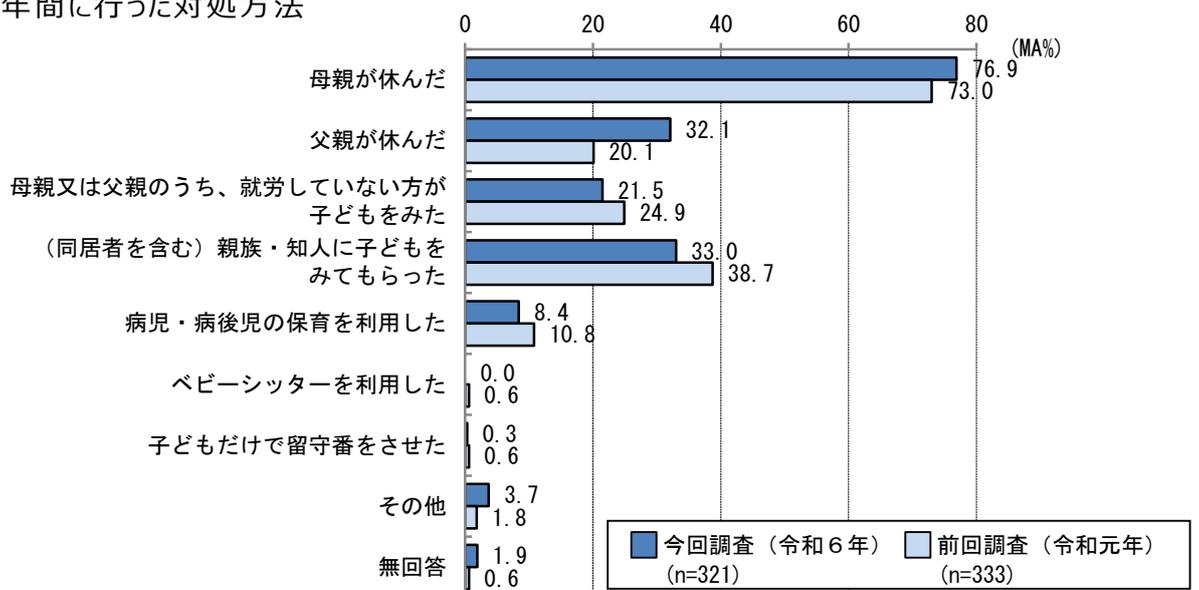
この1年間に、子どもが病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」は、「あった」が80.3%、「なかった」が18.5%となっています。

### [2] 教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法

問7-1で「1. あった」に○をつけられた方にかがいます。

問7-2 対象のお子さんが通常の教育・保育事業を利用できなかった時の、この1年間に行った対処方法をお答えください。(半日程度の場合も1日としてカウントしてください)(当てはまる全てに○、その日数を口内に数字で記入)

#### ■ この1年間に行った対処方法



病気やケガで通常(普段利用している)の教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」時の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が76.9%と最も多く、次いで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が33.0%、「父親が休んだ」が32.1%となっています。前回調査に比べて「父親が休んだ」が12.0ポイント増加しています。

## II-1. 就学前児童調査の結果

### ■ 対処した日数

	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均(日)
母親が休んだ日数	247	14.6	21.1	<b>27.9</b>	15.0	15.8	5.7	14.91
父親が休んだ日数	103	<b>49.5</b>	30.1	12.6	1.0	1.9	4.9	5.28
母親又は父親のうち、就労していない方が子どもの面倒をみた日数	69	14.5	10.1	<b>33.3</b>	8.7	<b>21.7</b>	11.6	25.03
(同居者を含む)親族・知人に子どもの面倒をみてもらった日数	106	27.4	<b>33.0</b>	25.5	8.5	0	5.7	7.22
病児・病後児の保育を利用した日数	27	<b>48.1</b>	33.3	7.4	3.7	7.4	0	19.37
ベビーシッターを利用した日数	0	0	0	0	0	0	0	0.00
子どもだけで留守番をさせた日数	1	<b>100.0</b>	0	0	0	0	0	1.00
その他日数	12	<b>33.3</b>	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	12.27

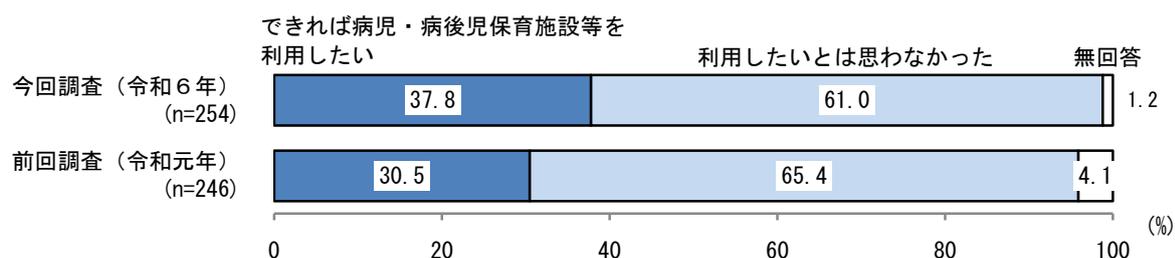
また、その日数については、「母親が休んだ日数」「母親又は父親のうち、就労していない方が子どもの面倒をみた日数」は「10～19日」が最も多く、「父親が休んだ日数」「病児・病後児の保育を利用した日数」は「5日未満」が最も多くなっています。

### 〔3〕病児・病後児保育施設の利用希望

問7-2で「1」または「2」（母親または父親が休んだ）に○をした方にうかがいます。

問7-3 その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。（○は1つ、利用したいと思った場合はその日数を□内に数字で記入）

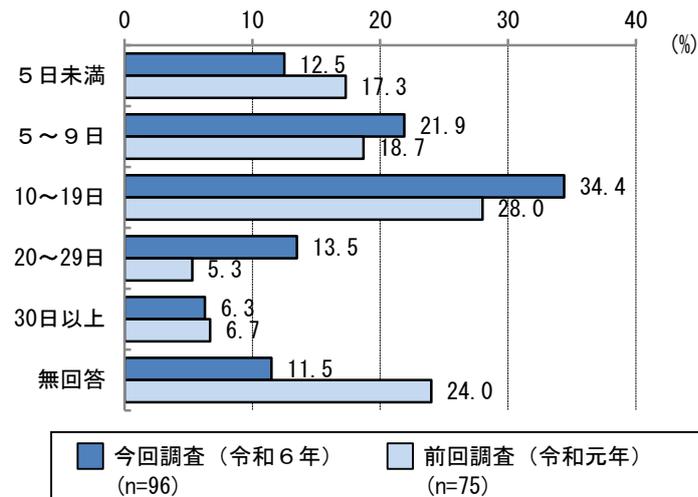
※病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です



子どもが病気やケガの際に「母親が休んだ」または「父親が休んだ」方で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は37.8%と、前回調査に比べて7.3ポイント増加しています。

できれば病児・病後児保育施設等を利用したいとお答えの方のみ

■ 病児・病後児保育施設等の利用希望日数

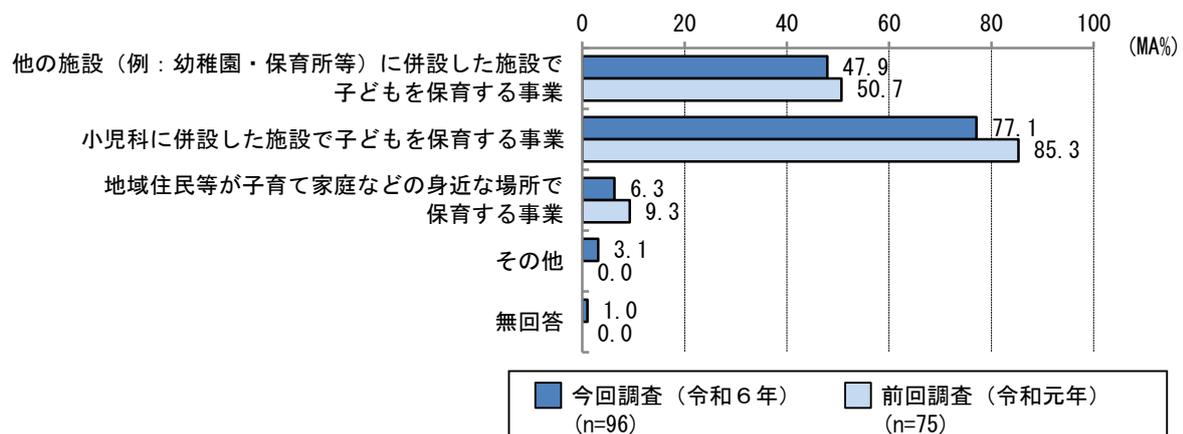


「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」方の希望利用日数は、「10～19日」が34.4%と最も多く、次いで、「5～9日」が21.9%、「20～29日」が13.5%となっています。

[4] 病児・病後児保育施設等に望ましい事業形態

問7-3で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」に○をつけた方にかがいます。

問7-4 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(当てはまる全てに○)

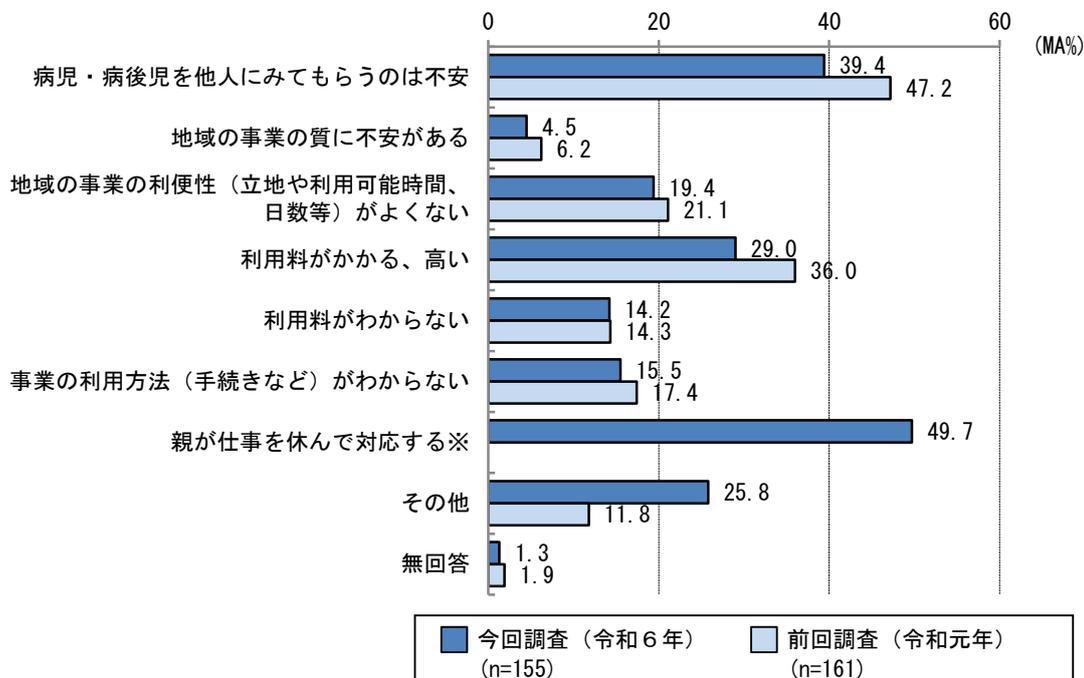


子どもが病気やケガの際に「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」方が望ましいと思う事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が77.1%と最も多く、次いで、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育」が47.9%となっています。

〔5〕病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

問7-3で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問7-5 利用したいと思わなかった理由についてうかがいます。  
(当てはまる全てに○)



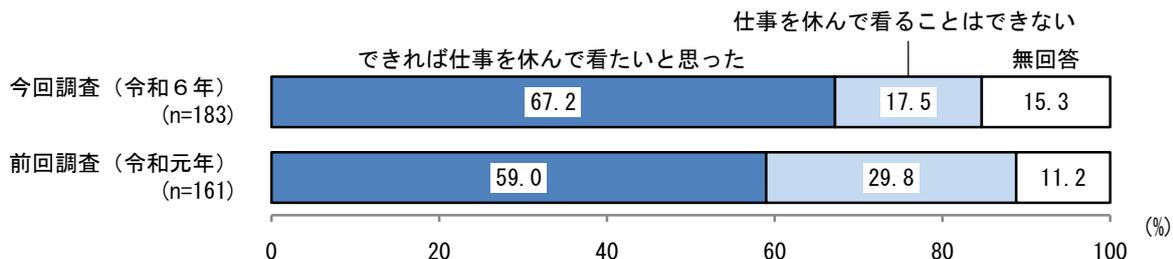
※前回調査では「親が仕事を休んでみるのが当然と思うから」28.6%、「親が休むことができるから」45.3%

子どもが病気やケガの際に病児・病後児保育施設等を「利用したいとは思わなかった」理由は、「親が仕事を休んで対応する」が49.7%と最も多く、次いで、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が39.4%、「利用料がかかる、高い」が29.0%となっています。

〔6〕父母が仕事を休んで子どもを見ること

問7-2で「3」～「8」(母親または父親が休んだ以外)に○をつけられた方にうかがいます。

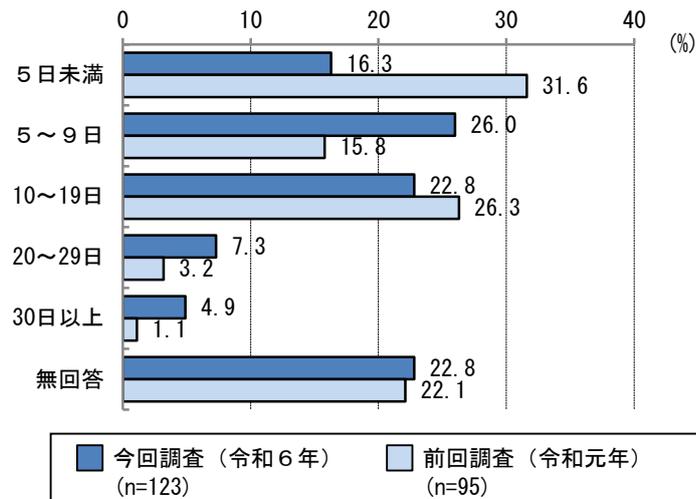
問7-6 対象のお子さんが病気やケガの時に、できれば父母のどちらかが仕事を休んで看たいと思いましたが。(○は1つ、「3」から「8」の日数のうち、仕事を休んで看たいと思った日数を□に数字で記入)



子どもが病気やケガの際に「母親が休んだ」または「父親が休んだ」以外の方で、父母のどちらかが「できれば仕事を休んで看たいと思った」人は67.2%となっています。

できれば仕事を休んで看たいと思ったとお答えの方のみ

■ 看病のために仕事を休みたい日数

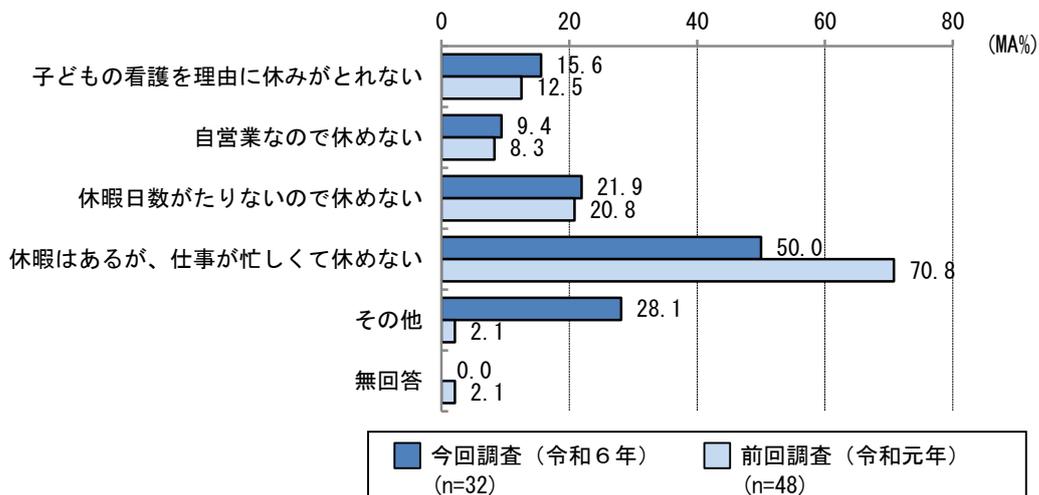


また、子どもの看病のために休みたい日数は、「5～9日」が26.0%と最も多く、次いで、「10～19日」が22.8%、「5日未満」が16.3%となっています。

〔7〕仕事を休んで看ることができない理由

問7-6で「2. 仕事を休んで看ることはできない」に○をつけられた方にうかがいます。

問7-7 対象のお子さんが病気の時、仕事を休んでみることができない理由についてお答えください。(当てはまる全てに○)



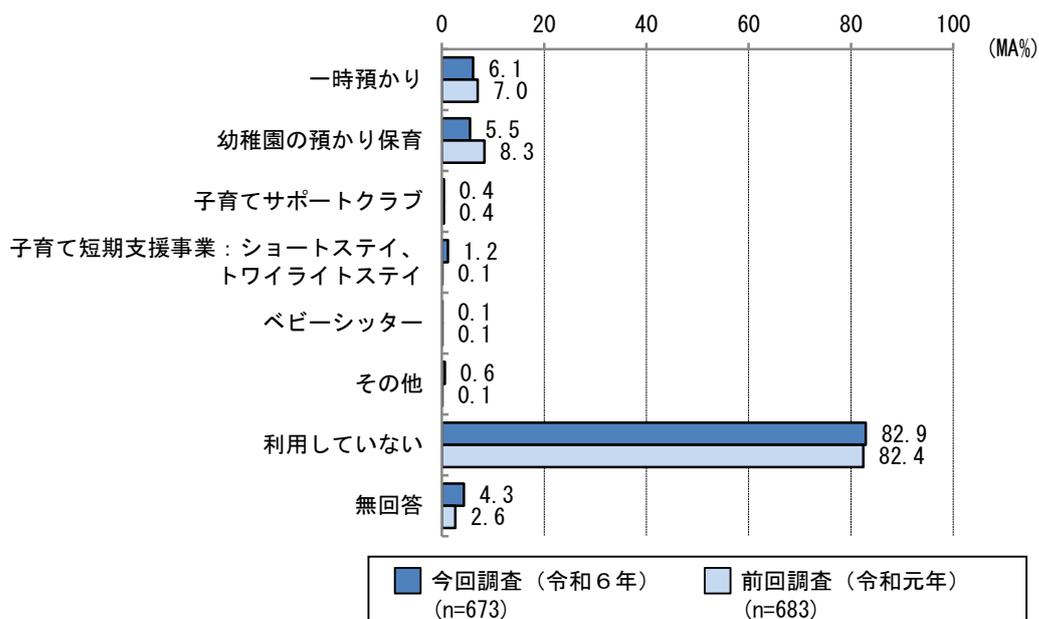
子どもの看病のために仕事を休むことができない理由は、「休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない」が50.0%と最も多く、次いで、「休暇日数がたりないので休めない」が21.9%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が15.6%となっています。

## 8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

### [1] 私用、通院、就労等で不定期的に利用している事業

**問8-1** 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育やお子さんの病気やケガのため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などで、不定期的に利用している事業はありますか。(当てはまる全てに○、1年間のおおよその利用日数を□内に数字で記入)

#### ■ 利用している事業



※各事業の内容については以下のとおり

- 一時預かり…私用など理由を問わずに保育所、託児室等で一時的に子どもを保育する事業
- 幼稚園の預かり保育…通常の就園時間を延長し、預かる事業のうち不定期的に利用する場合
- 子育てサポートクラブ…地域住民が子どもを預かる事業
- 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ…児童養護施設等で一定期間子どもを養育保護する事業

私用、親の通院、不定期の就労などで、不定期的に利用している事業は、「一時預かり」が6.1%、「幼稚園の預かり保育」が5.5%みられますが、「利用していない」が82.9%と多くなっています。

■ 1年間の利用日数

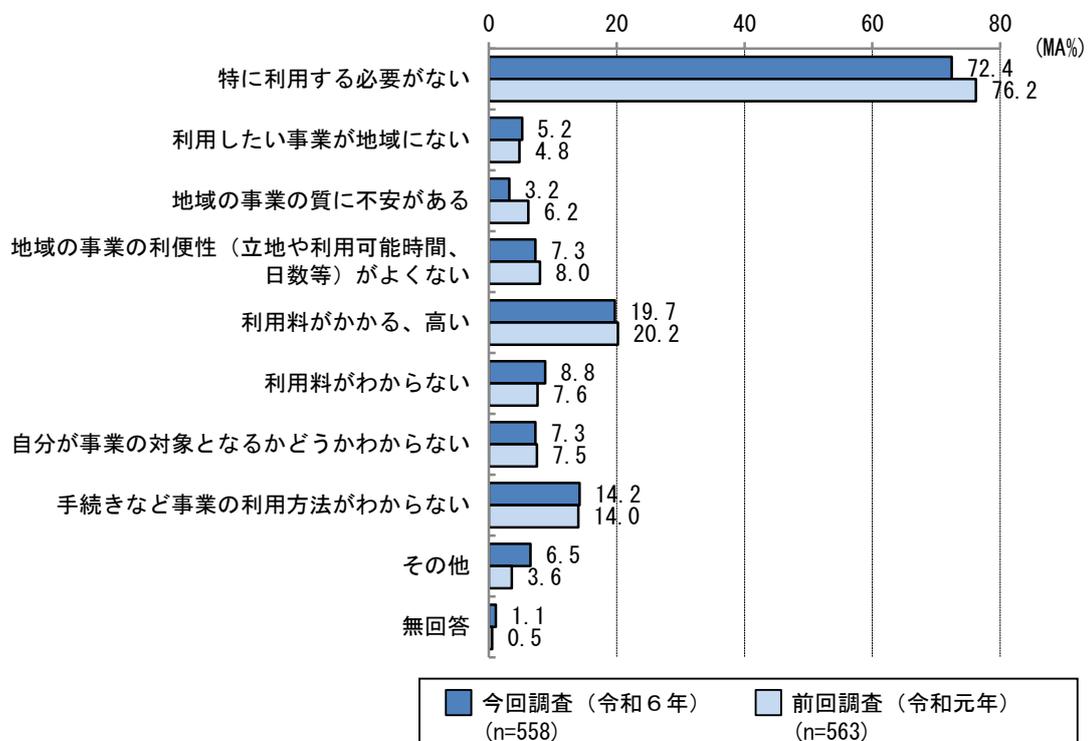
	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均(日)
一時預かり	41	41.5	2.4	14.6	7.3	34.1	0	27.20
幼稚園の預かり保育	37	27.0	8.1	5.4	8.1	45.9	5.4	54.89
子育てサポートクラブ	3	0	66.7	0	33.3	0	0	10.33
子育て短期支援事業 :ショートステイ、トワイライトステイ	8	50.0	37.5	0	0	12.5	0	10.25
ベビーシッター	1	100.0	0	0	0	0	0	2.00
その他の利用	4	0	25.0	25.0	0	25.0	25.0	21.33

また、1年間の利用日数は、「一時預かり」では「5日未満」が最も多く、「幼稚園の預かり保育」では「30日以上」が最も多くなっています。

〔2〕不定期に教育・保育事業を利用していない理由

問8-1で「7. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問8-2 現在、利用していない理由についてお答えください。  
(当てはまる全てに○)



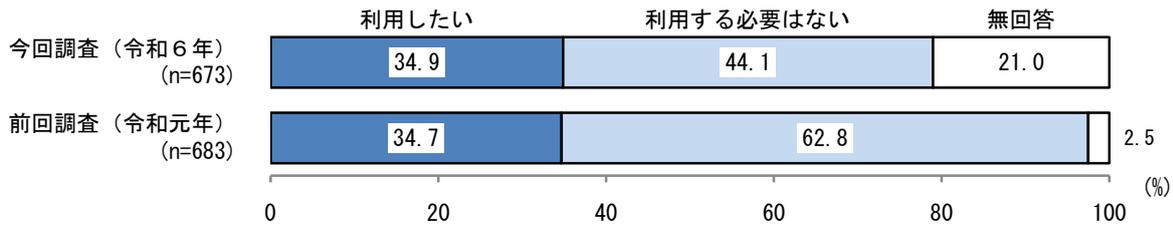
不定期に教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 72.4%と最も多く、次いで、「利用料がかかる、高い」が 19.7%、「手続きなど事業の利用方法がわからない」が 14.2%となっています。

[3]不定期の教育・保育事業の利用希望

**問8-3** 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などで、問8-1の「1」～「6」の事業を、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な日数を記入してください。(当てはまる全てに○、日数を□内に数字で記入)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります

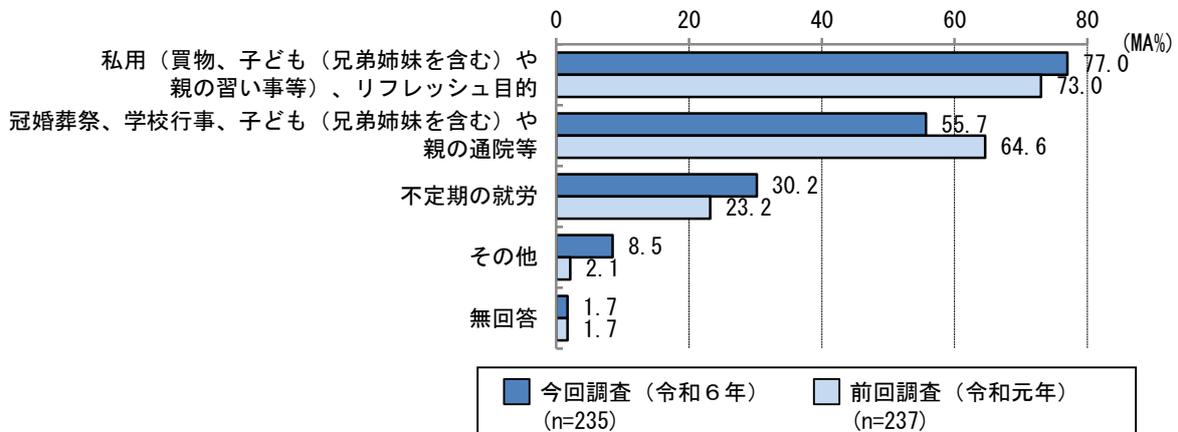
■ 利用希望



私用、親の通院、不定期の就労などで不定期の教育・保育事業を「利用したい」は 34.9%となっています。

「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用目的



不定期の教育・保育事業を「利用したい」人の利用目的は、「私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 77.0%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等」が 55.7%、「不定期の就労」が 30.2%となっています。前回調査に比べて「不定期の就労」が 7.0 ポイント増加しています。

■ 1年間の利用希望日数

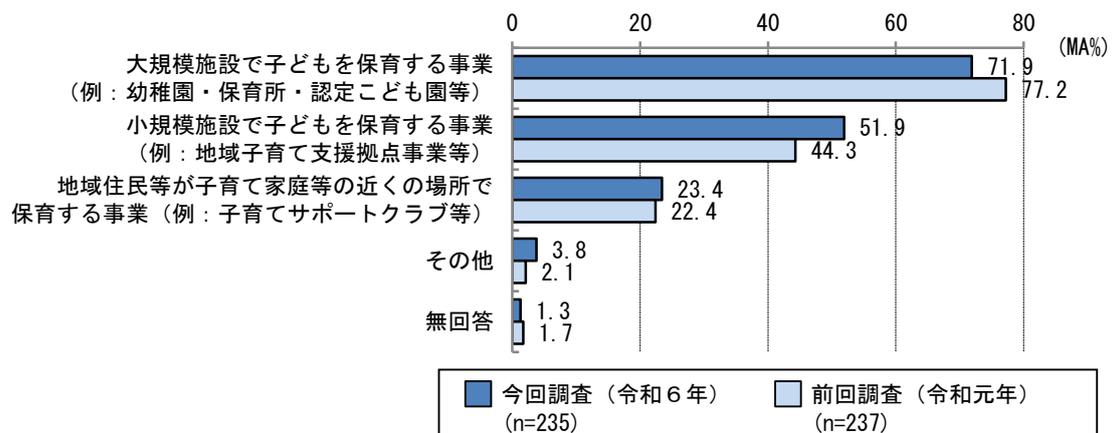
	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均(日)
合計	235	10.6	5.1	9.4	1.3	2.6	71.1	30.39
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	181	14.9	0.6	1.7	0	0	82.9	16.48
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	131	14.5	3.1	8.4	1.5	0.8	71.8	10.23
不定期の就労	71	11.3	7.0	8.5	0	0	73.2	34.25
その他	20	10.0	0	0	5.0	0	85.0	23.19

また、1年間の利用希望日数の平均は、「不定期の就労」が34.25日と最も多くなっています。

[4] 不定期の利用で望ましい教育・保育事業の事業形態

問8-3で「1. 利用したい」に○をつけられた方にうかがいます。

問8-4 私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(当てはまる全てに○)



不定期の教育・保育事業を「利用したい」方に望ましい事業形態をたずねたところ、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所・認定こども園等）」が71.9%と最も多く、次いで、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点事業等）」が51.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：子育てサポートクラブ等）」が23.4%となっています。

〔5〕短期入所生活援助事業の利用希望【新規設問】

問8-5 対象のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、年間何日くらい、泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)※の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な泊数を記入してください。  
(当てはまる全てに○、利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字で記入)

※短期入所生活援助事業(ショートステイ):児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります

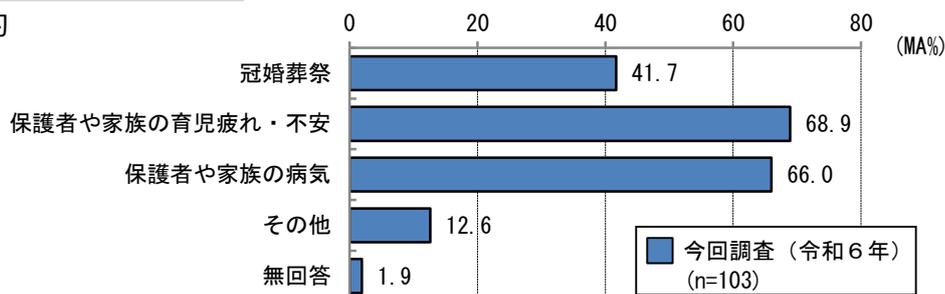
■ 利用希望



保護者の用事により短期入所生活援助事業を「利用したい」は、15.3%となっています。

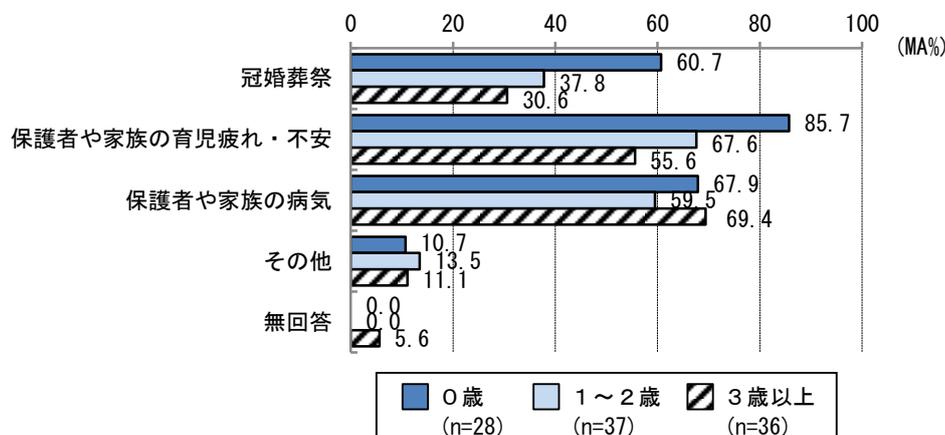
「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用目的



短期入所生活援助事業を「利用したい」人の利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が68.9%と最も多く、次いで、「保護者や家族の病気」が66.0%、「冠婚葬祭」が41.7%となっています。

【小学校区別 利用目的】



年齢別にみると、0歳で「冠婚葬祭」が60.7%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が85.7%と他の年齢に比べて多くなっています。

■ 1年間の希望利用泊数

	n	5泊未満	5～9泊	10～19泊	20～29泊	30泊以上	無回答	(%) 平均(泊)
合計	103	<b>37.9</b>	27.2	14.6	3.9	3.9	12.6	9.73
冠婚葬祭	43	<b>86.0</b>	7.0	2.3	0	0	4.7	2.78
保護者や家族の育児疲れ・不安	71	<b>56.3</b>	19.7	11.3	2.8	1.4	8.5	6.46
保護者や家族の病気	68	<b>63.2</b>	25.0	4.4	0	0	7.4	4.79
その他	13	<b>61.5</b>	7.7	7.7	0	0	23.1	5.3

また、短期入所生活援助事業の1年間の希望利用泊数は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が平均6.46泊と最も多くなっています。

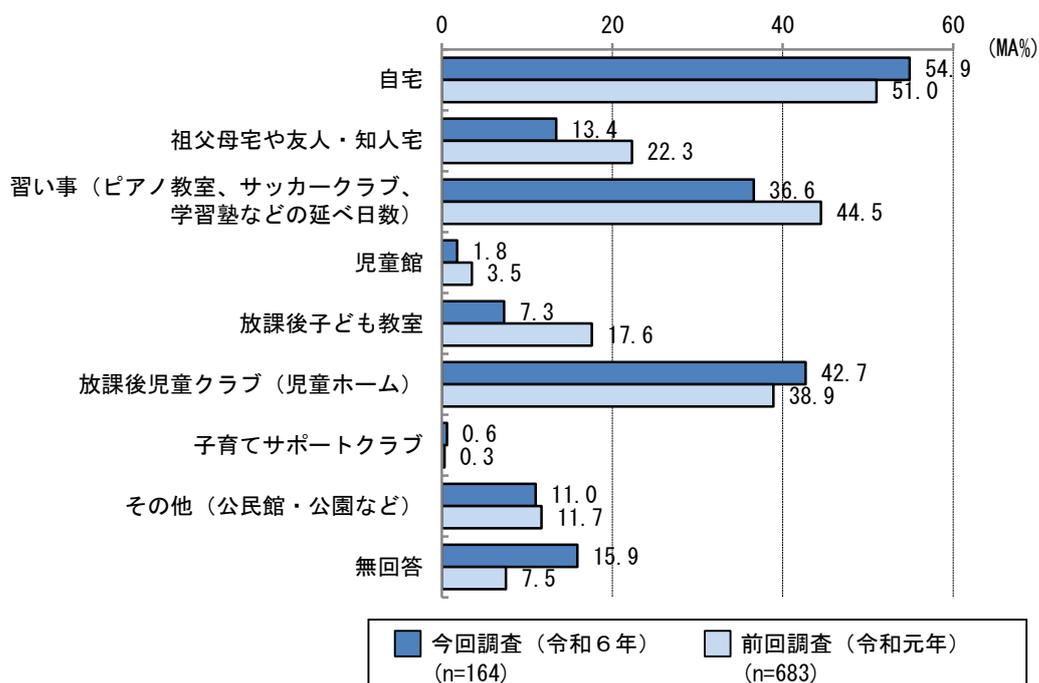
## 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

### [1] 小学校低学年時に放課後を過ごさせたい場所

対象のお子さんが5歳以上である方のみ

問9-1 対象のお子さんについて、小学校低学年(1~3年)のうちは放課後(平日の小  
学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(当ては  
まる全てに○、希望する週当たりの日数を□内に数字で記入。「6.放課後児  
童クラブ」を選んだ場合は利用を希望する時間帯も記入)

#### (1) 小学校低学年時(1~3年)に放課後を過ごさせたい場所



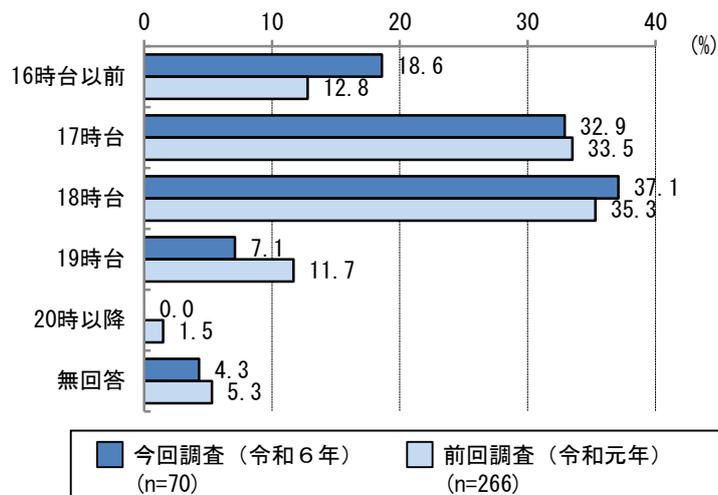
小学校低学年時(1~3年)に放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が54.9%と最も多く、次いで、「放課後児童クラブ(児童ホーム)」が42.7%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)」が36.6%となっています。

■それぞれの場所で過ごさせたい1週あたりの日数

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	90	4.4	15.6	20.0	6.7	28.9	1.1	3.3	20.0	3.71
祖父母宅や友人・知人宅	22	45.5	31.8	0	0	9.1	4.5	0	9.1	2.00
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)	60	28.3	33.3	23.3	5.0	0	0	0	10.0	2.06
児童館	3	66.7	33.3	0	0	0	0	0	0	1.33
放課後子ども教室	12	50.0	25.0	8.3	0	0	0	0	16.7	1.50
放課後児童クラブ(児童ホーム)	70	1.4	2.9	12.9	11.4	60.0	8.6	0	2.9	4.56
子育てサポートクラブ	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0.00
その他(公民館・公園など)	18	27.8	44.4	0	5.6	5.6	0	5.6	11.1	2.31

小学校低学年時（1～3年）にそれぞれの場所で過ごさせたい1週あたりの日数は、「自宅」「放課後児童クラブ（児童ホーム）」が「5日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数）」「その他（公民館・公園など）」が「2日」となっています。

■放課後児童クラブ（児童ホーム）の希望利用終了時間



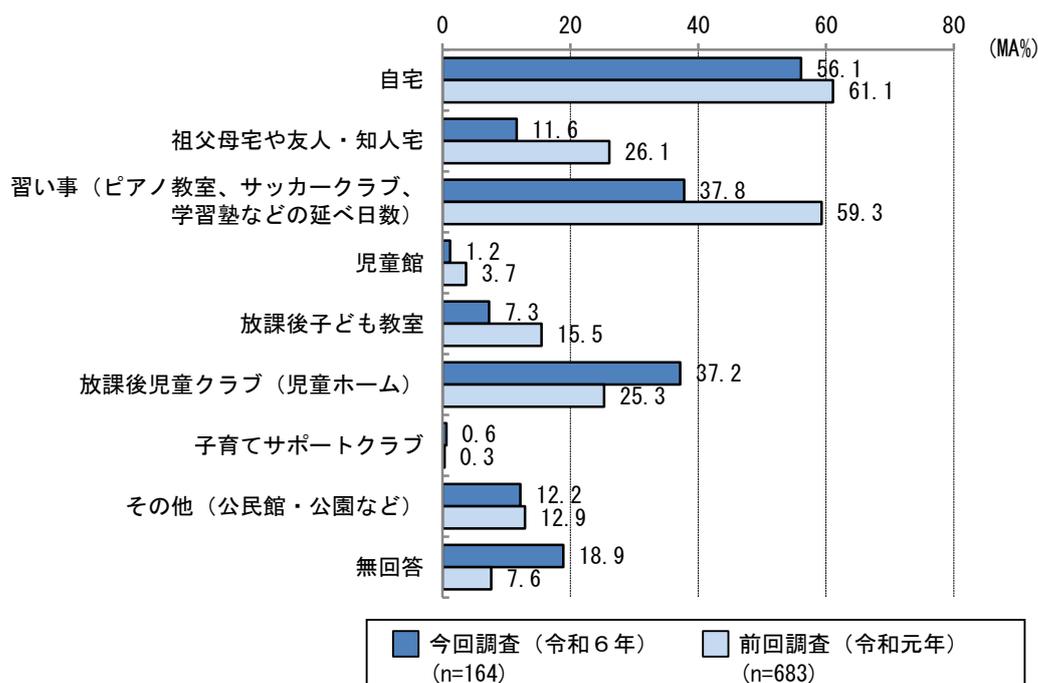
小学校低学年時（1～3年生）に放課後を過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ（児童ホーム）」とお答えの方の希望終了時間は、「18時台」が37.1%と最も多く、次いで、「17時台」が32.9%となっています。

[2] 小学校高学年時に放課後を過ごさせたい場所

対象のお子さんが5歳以上である方のみ

問9-1 対象のお子さんについて、小学校高学年(4~6年)になったときは放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(当てはまる全てに○、希望する週当たりの日数を□内に数字で記入。「6.放課後児童クラブ」を選んだ場合は利用を希望する時間帯も記入)

(1) 小学校高学年(4~6年)に放課後を過ごさせたい場所



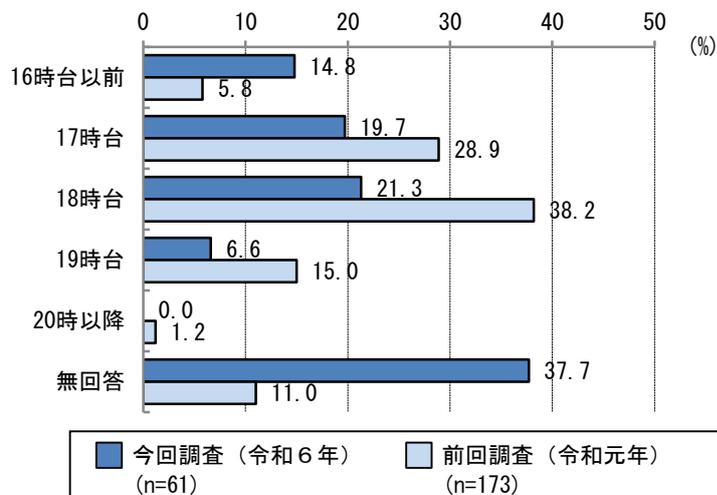
小学校高学年時(4~6年)に放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が56.1%と最も多く、次いで、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)」が37.8%、「放課後児童クラブ(児童ホーム)」が37.2%となっています。前回調査に比べて「放課後児童クラブ(児童ホーム)」が11.9ポイント増加し、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)」が21.5ポイント減少しています。

■それぞれの場所で過ごさせたい1週あたりの日数

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	92	10.9	19.6	16.3	3.3	33.7	2.2	3.3	10.9	3.55
祖父母宅や友人・知人宅	19	36.8	26.3	10.5	0	10.5	0	0	15.8	2.06
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)	62	19.4	24.2	35.5	6.5	0	0	0	14.5	2.34
児童館	2	0	50.0	0	0	0	0	0	50.0	2.00
放課後子ども教室	12	41.7	8.3	0	8.3	16.7	0	0	25.0	2.33
放課後児童クラブ(児童ホーム)	61	1.6	9.8	9.8	1.6	31.1	8.2	0	37.7	4.21
子育てサポートクラブ	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0.00
その他(公民館・公園など)	20	30.0	35.0	5.0	15.0	0	0	0	15.0	2.06

小学校高学年(4~6年)になったときにそれぞれの場所で過ごさせたい1週あたりの日数は、「自宅」「放課後児童クラブ(児童ホーム)」が「5日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)」が「3日」となっています。

■放課後児童クラブ(児童ホーム)の希望利用終了時間



小学校高学年時(4~6年生)に放課後を過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ(児童ホーム)」とお答えの方の希望終了時間は、「18時台」が21.3%と最も多く、次いで、「17時台」が19.7%となっています。

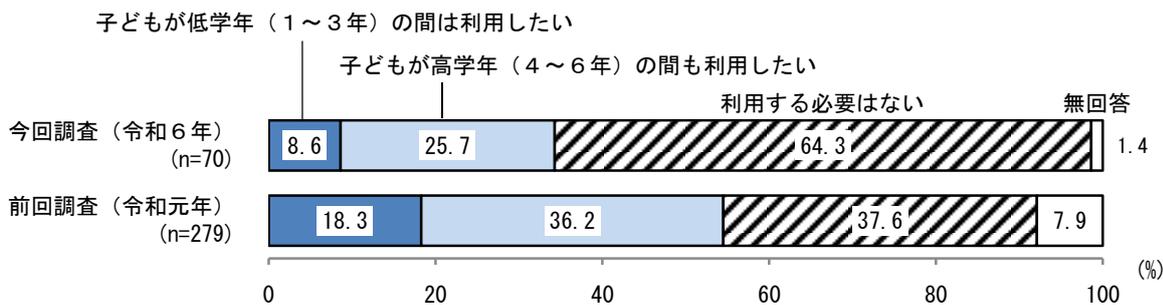
〔3〕放課後児童クラブ(児童ホーム)の利用希望

問9-1で「6. 放課後児童クラブ(児童ホーム)」に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 対象のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日や長期休暇期間中(夏休み、冬休み、春休みなど)に放課後児童クラブの利用希望はありますか。(それぞれについて○は1つ、利用したい場合は希望する時間帯を□内に数字で記入)

※事業の利用には利用料が必要

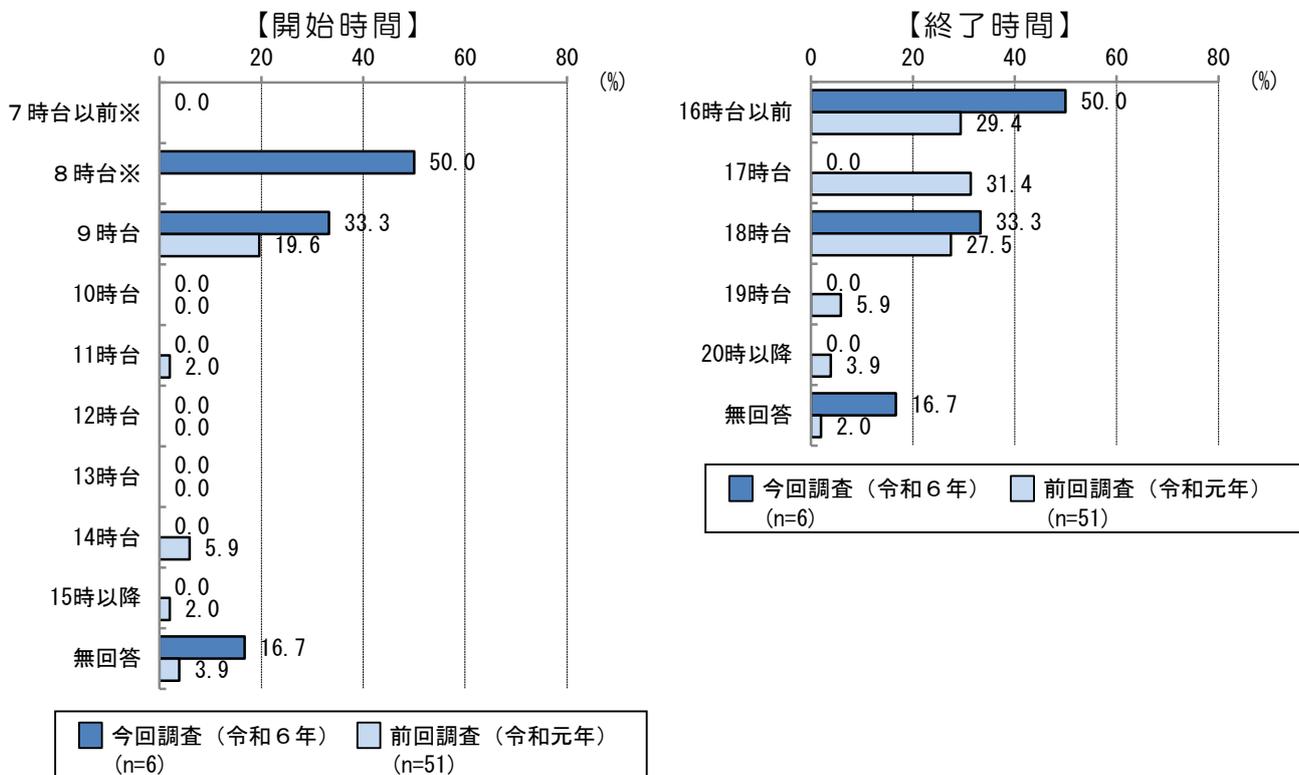
(1) 土曜日の放課後児童クラブ(児童ホーム)の利用希望



放課後に過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ(児童ホーム)」とお答えの方の土曜日の放課後児童クラブ(児童ホーム)の利用希望は、「子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい」が8.6%、「子どもが高学年(4~6年)の間も利用したい」が25.7%で、利用希望者は合計34.3%となっています。前回調査に比べて利用希望者は20.2ポイント減少しています。

「低学年(1~3年)の間は利用したい」とお答えの方のみ

■ 低学年時(1~3年)の希望利用時間帯

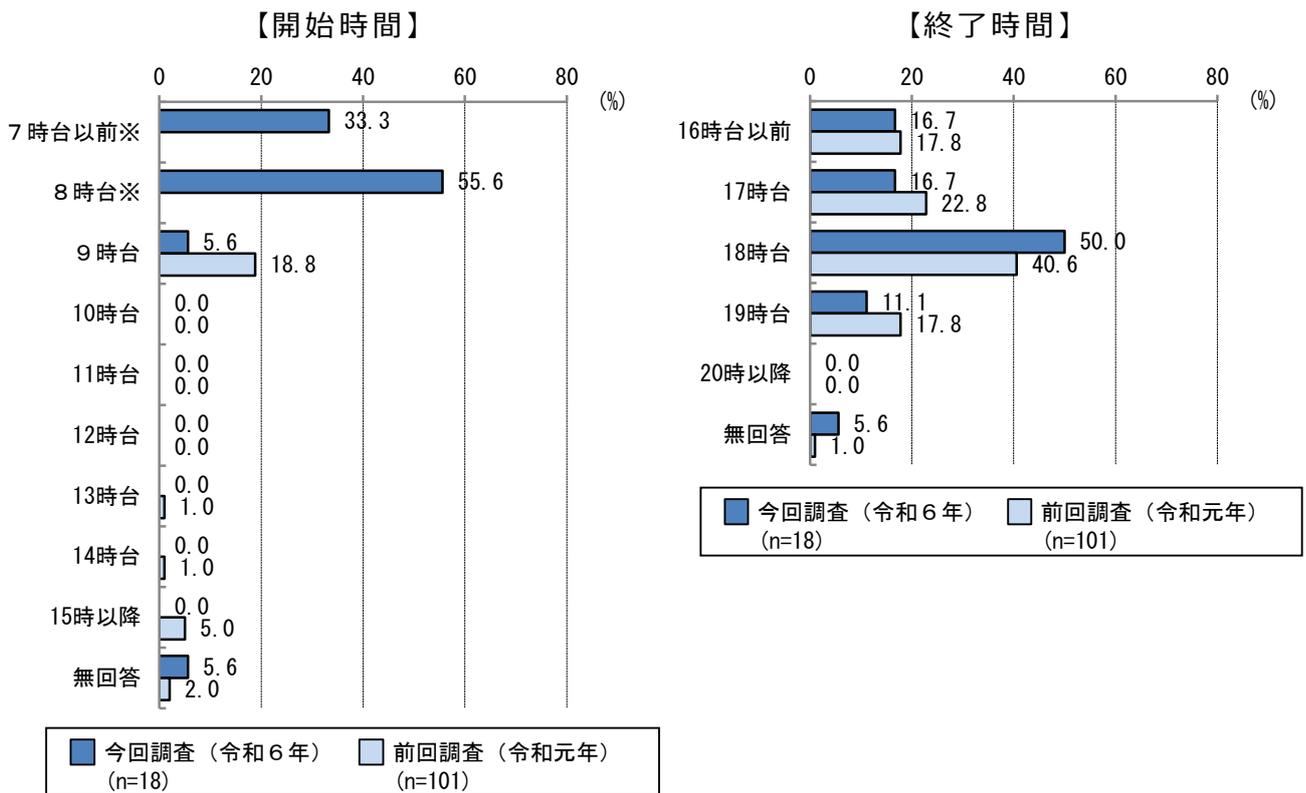


※前回調査では「8時台以前」66.7%

「低学年(1~3年生)の間は利用したい」方の土曜日の希望開始時間は、「8時台以前」が、希望終了時間は「16時台以前」がどちらも50.0%と最も多くなっています。

「高学年（4～6年）になっても利用したい」とお答えの方のみ

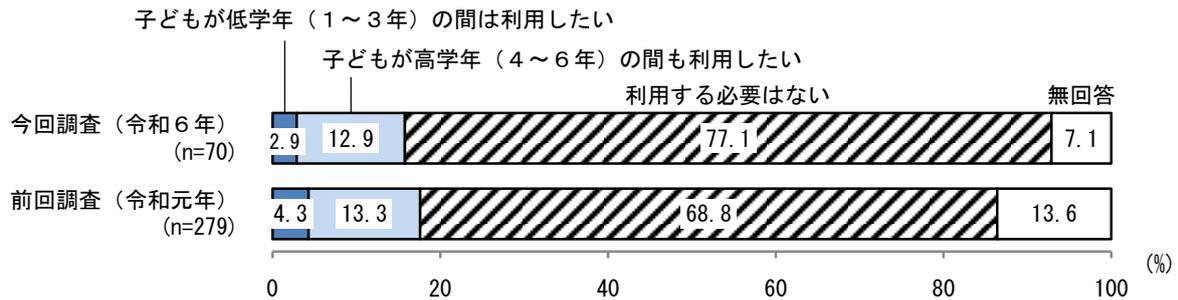
■ 高学年（4～6年）の希望利用時間帯



「高学年（4～6年生）になっても利用したい」方の土曜日の希望開始時間は、「8時台以前」が88.9%と最も多く、希望終了時間は、「18時台」が50.0%と最も多くなっています。

II-1. 就学前児童調査の結果

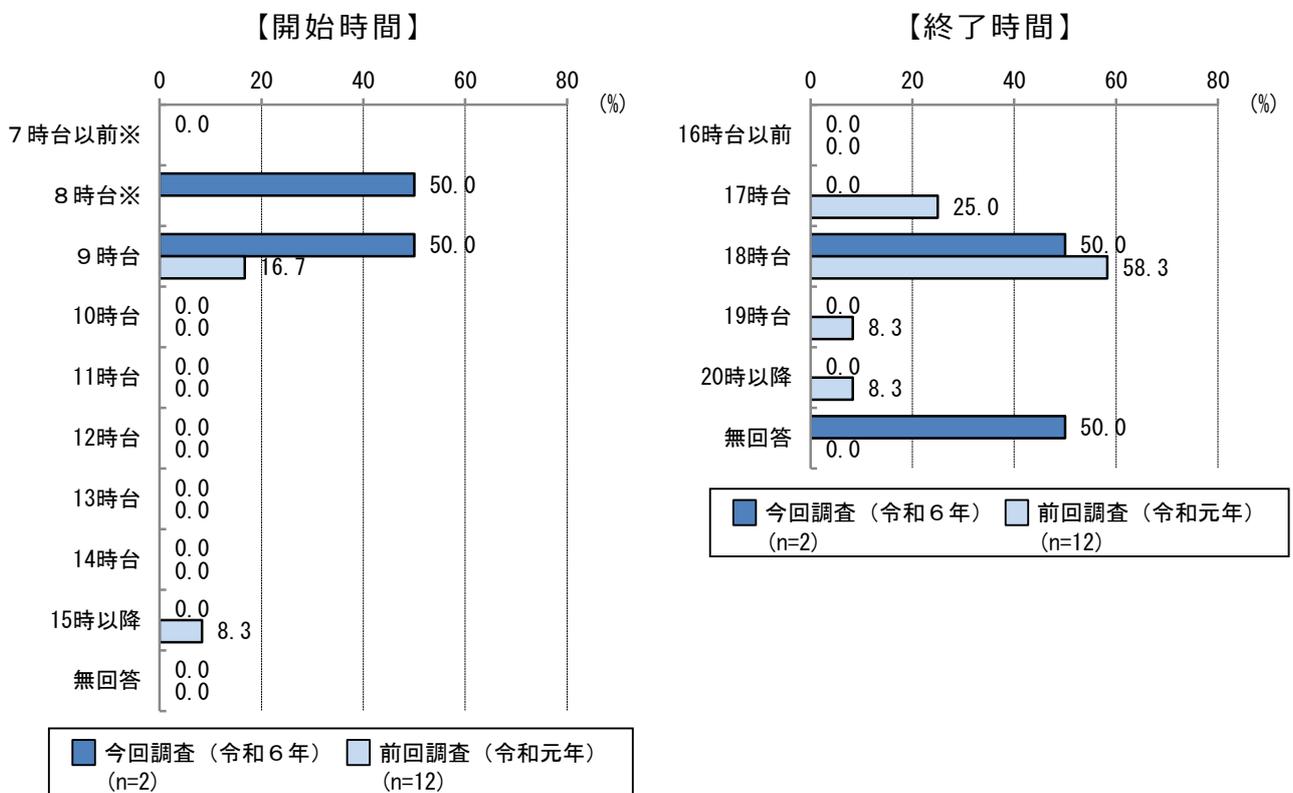
(2) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用希望



放課後の過ごし方で「放課後児童クラブ（児童ホーム）」とお答えの方の日曜日・祝日の利用希望は、「子どもが低学年（1～3年）の間は利用したい」が2.9%、「子どもが高学年（4～6年）の間も利用したい」が12.9%で、利用希望者は合計15.8%となっています。

「低学年（1～3年）の間は利用したい」とお答えの方のみ

■ 低学年時（1～3年）の希望利用時間帯

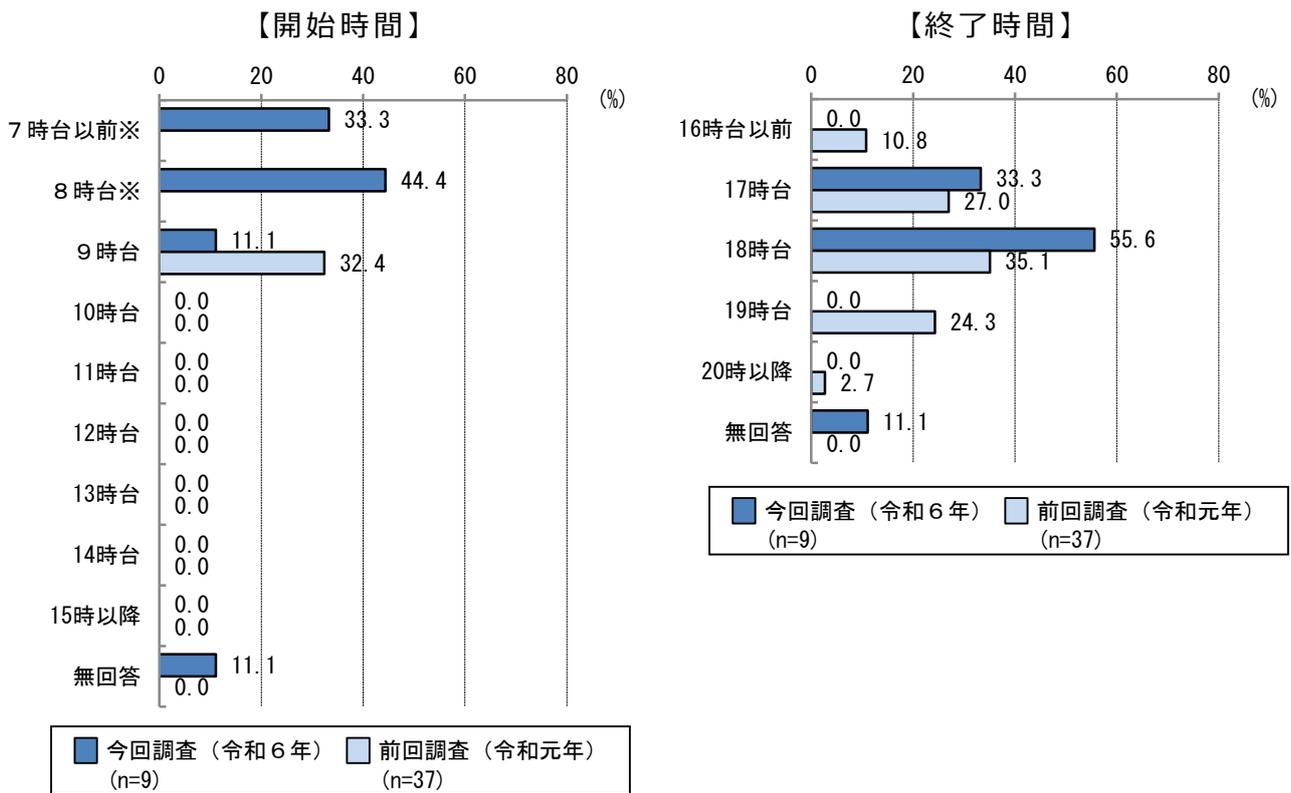


※前回調査では「8時台以前」75.0%

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」方の該当者は2名で、日曜日・祝日の希望開始時間については、該当者は2名で「8時台以前」と「9時台」がそれぞれ1件となっています。

「高学年（4～6年）になっても利用したい」とお答えの方のみ

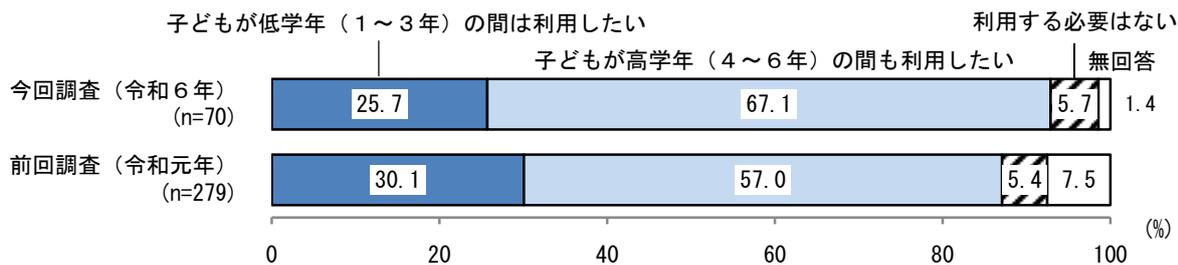
■ 高学年（4～6年）の希望利用時間帯



「高学年（4～6年生）になっても利用したい」方の日曜・祝日の希望開始時間は、「8時台以前」が77.7%と最も多く、希望終了時間は、「18時台」が55.6%と最も多くなっています。

II-1. 就学前児童調査の結果

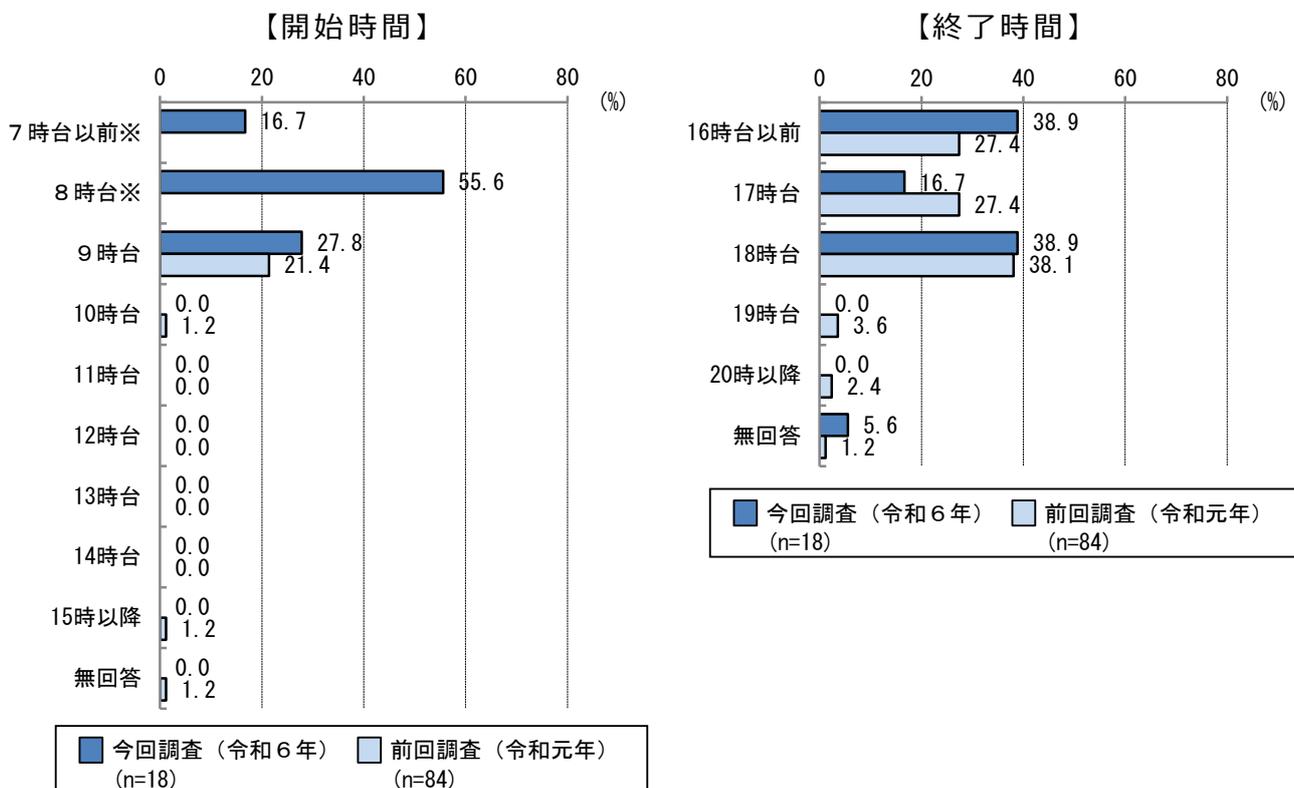
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用希望



放課後の過ごし方で「放課後児童クラブ（児童ホーム）」とお答えの方の長期休暇中（夏休み・冬休み・春休み）の利用希望は、「子どもが低学年（1～3年）の間は利用したい」が25.7%、「子どもが高学年（4～6年）の間も利用したい」が67.1%で、利用希望者は合計92.8%となっています。

「低学年（1～3年）の間は利用したい」とお答えの方のみ

■ 低学年時（1～3年）の希望利用時間帯

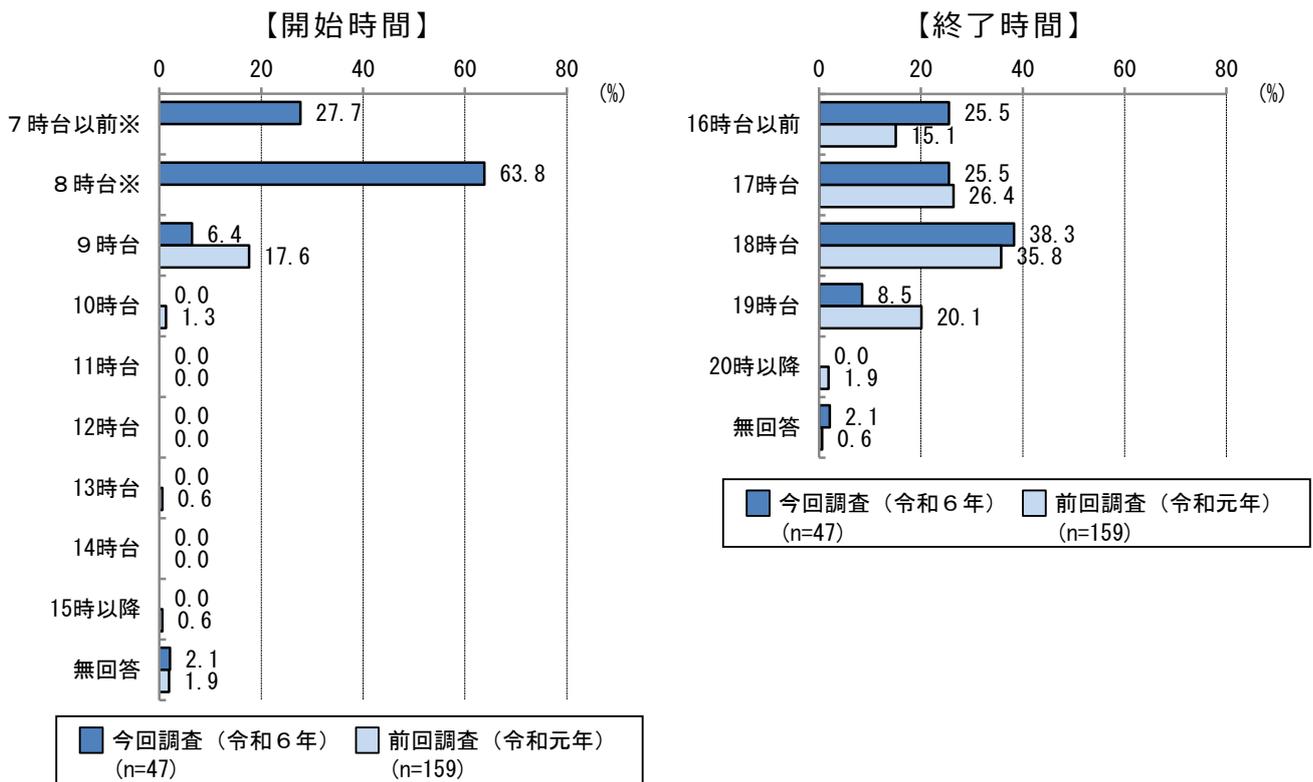


※ 前回調査では「8時台以前」75.0%

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」方の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台以前」が72.3%と最も多く、希望終了時間は、「16時台以前」と「18時台」がそれぞれ38.9%となっています。

「高学年（4～6年）になっても利用したい」とお答えの方のみ

■ 高学年（4～6年）の希望利用時間帯



※前回調査では「8時台以前」78.0%

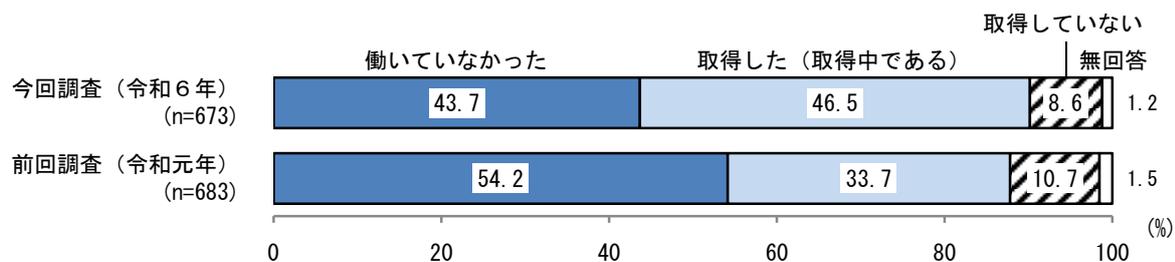
「高学年（4～6年生）になっても利用したい」方の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台以前」が91.5%と最も多く、希望終了時間は、「18時台」が38.3%と最も多くなっています。

## 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

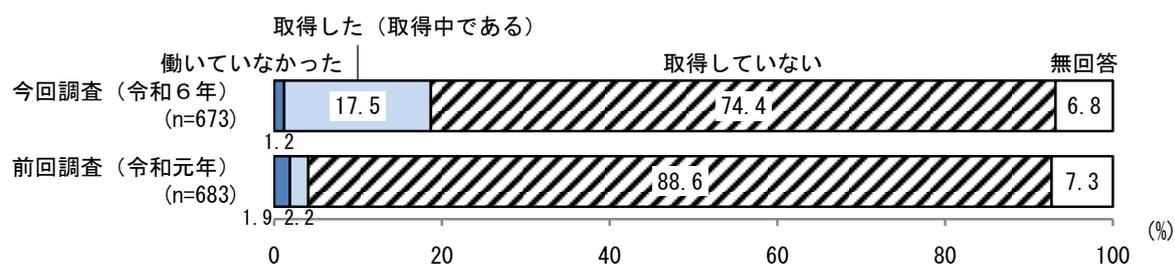
### [1] 育児休業の取得状況

**問10-1** 対象のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または、双方が育児休業を取得しましたか。母親・父親それぞれについてお答えください。  
(母親、父親それぞれ○は1つ)

#### (1) 母親



#### (2) 父親

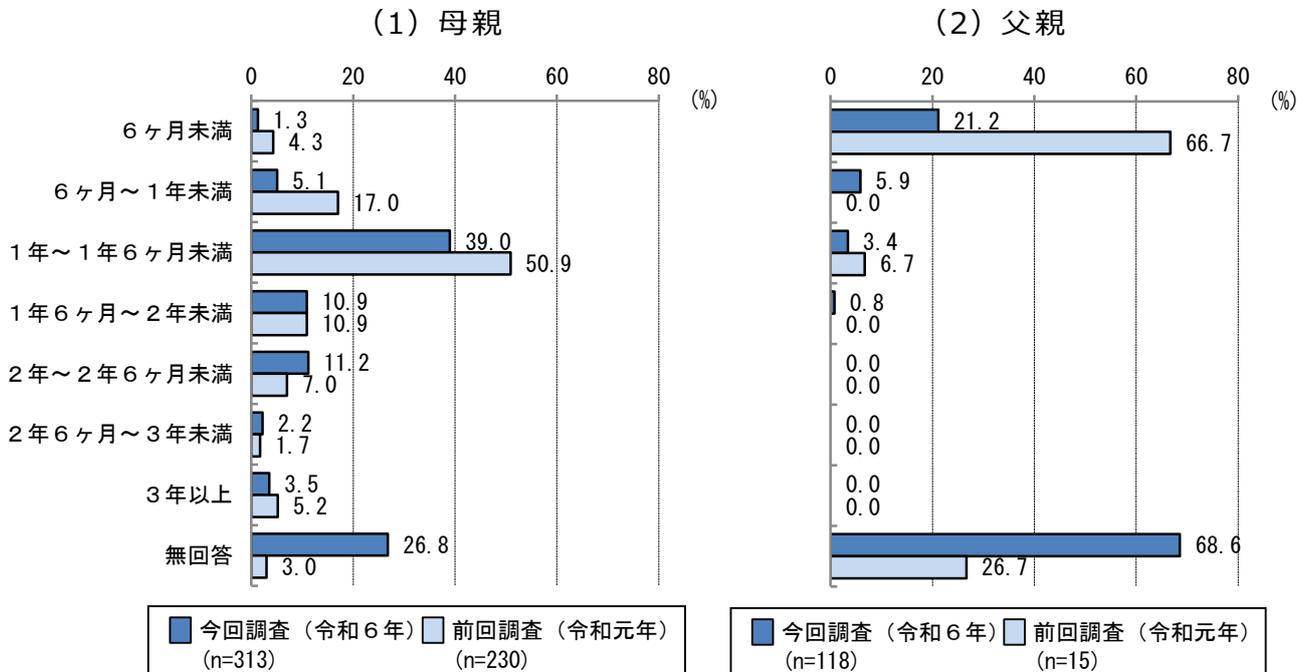


育児休業の取得状況については、母親は「取得した（取得中である）」が46.5%と最も多く、次いで、「働いていなかった」が43.7%、父親は「取得していない」が74.4%と最も多く、次いで、「取得した（取得中である）」が17.5%となっています。前回調査に比べて母親、父親ともに「取得した（取得中である）」が増加（母親12.8ポイント、父親15.3ポイント）しています。

〔2〕育児休業の取得期間

問10-1で「2. 取得した(取得中である)」に○をした方にうかがいます。  
 問10-2 その期間を□内に記入してください。(□内に数字を記入)

※取得中の方は予定をご記入

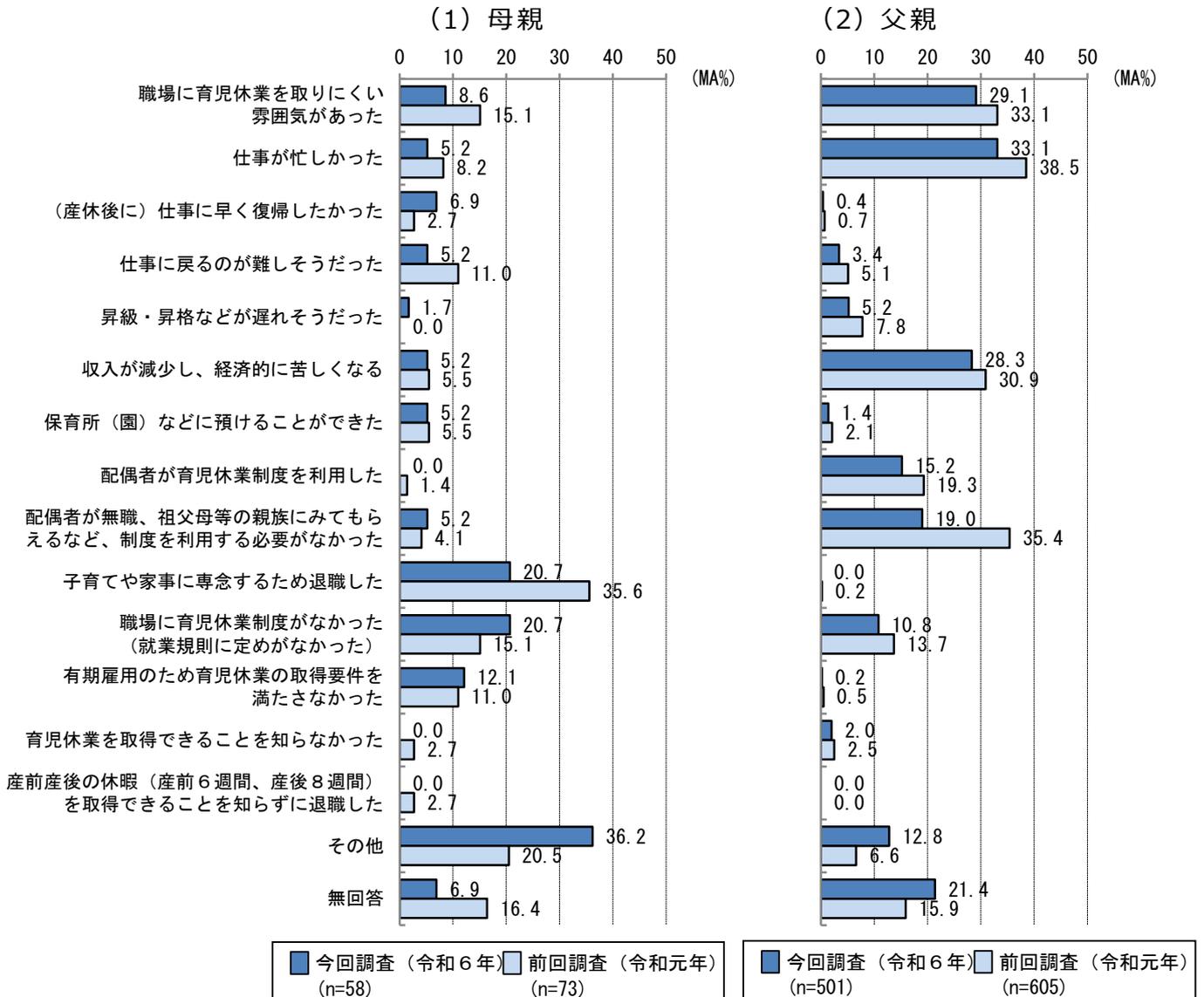


育児休業の取得時間は、母親は「1年～1年6ヶ月未満」が39.0%と最も多く、父親は「6ヶ月未満」が21.2%と最も多くなっています。

〔3〕育児休業を取得していない理由

問10-1で「3. 取得していない」に○をつけられた方にうかがいます。

問10-3 その理由について、下記「1」～「15」のうち、当てはまる番号を全て選んで、□内に記入してください。



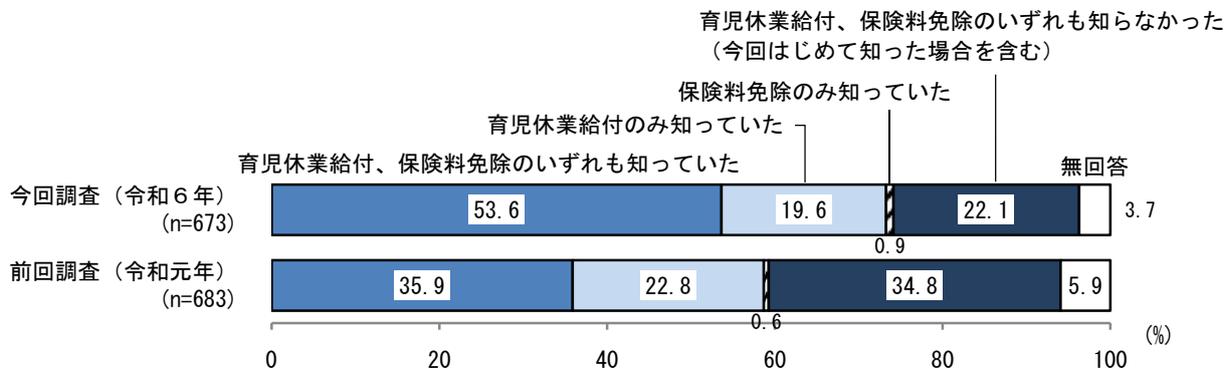
母親の育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がそれぞれ 20.7%と最も多くなっています。父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が多忙だった」が 33.1%と最も多く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 29.1%、「収入が減少し、経済的に苦しくなる」が 28.3%となっています。前回調査に比べて母親の「子育てや家事に専念するため退職した」が 14.9 ポイント、父親の「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 16.4 ポイント減少しています。

【その他を選んだ方の理由】

- 母親：回答 21 件中  
 ・自営業 (11 件) ・退職した (2 件) ・会社役員だった (2 件) ・パートで育休がなかった (2 件) など
- 父親：回答 68 件中 ※複数回答あり  
 ・自営業 (23 件) ・有給を使った (6 件) ・会社が取らせてくれなかった (4 件) ・休めなかった 4 件)  
 ・取りづらかった (4 件) ・職場に育休を使った人がいなかった (2 件) ・帰宅時間を早くした (2 件)  
 その他 ・リモートワークに切り替えた・1週間だけ休んだ・入社直後だった・必要なかった など

〔4〕育児休業給付や社会保険料免除の認知

問10-4 育児休業給付や社会保険料等の免除の仕組みをご存じでしたか。(○は1つ)



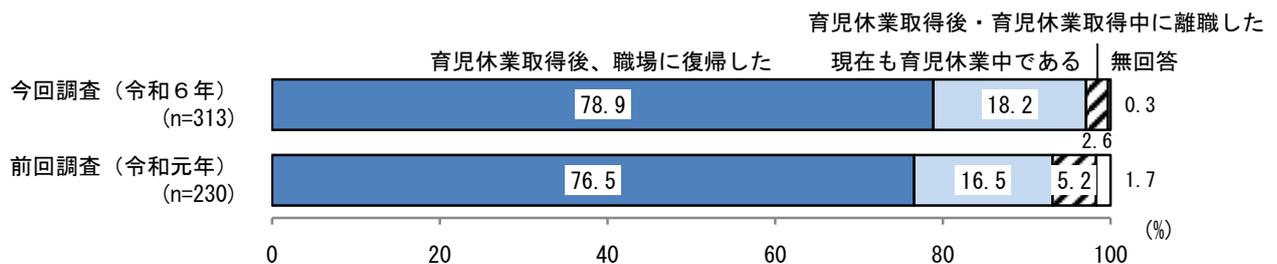
育児休業給付や社会保険料等の免除の認知については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が53.6%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった（今回はじめて知った場合を含む）」が22.1%となっています。前回調査に比べて「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が17.7ポイント増加しています。

〔5〕育児休業後の職場復帰状況

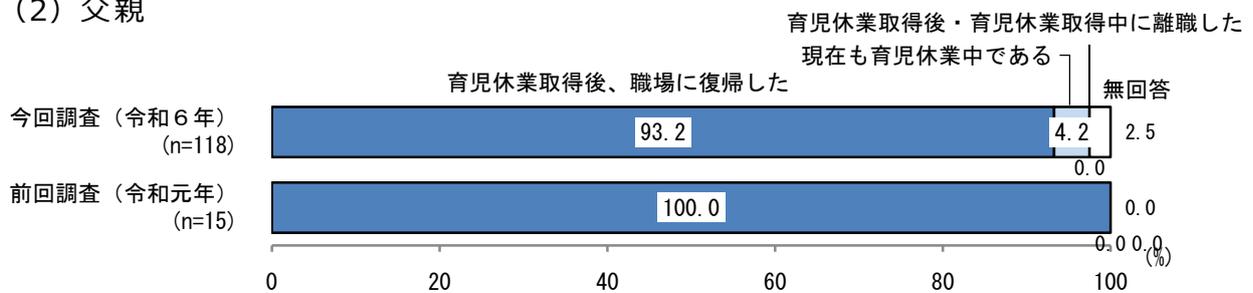
問10-1で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問10-5 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つ)

(1) 母親



(2) 父親



育児休業を「取得した（取得中である）」人の職場復帰状況は、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く（母親78.9%、父親93.2%）となっています。

[6] 職場復帰の時期

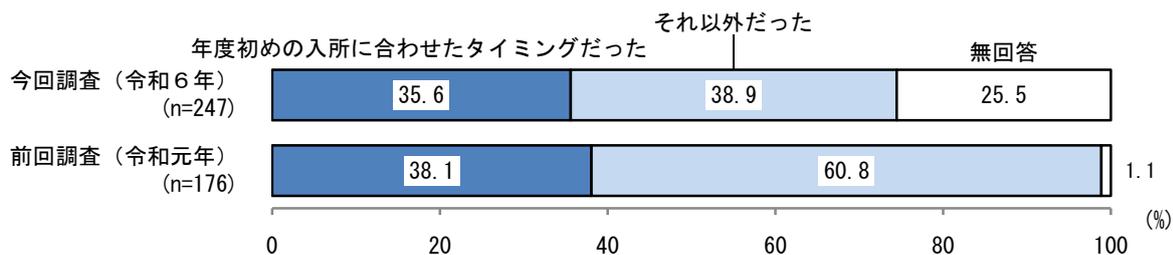
問10-5で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

問10-6 育児休業から職場に復帰したのは、年度初め(4月)の保育所入所にあわせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。(○は1つ)

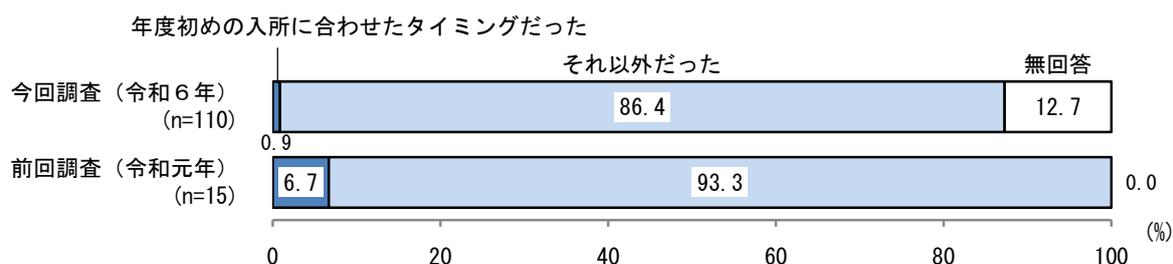
※年度初めでの認可保育所入所を希望し、1月～2月頃に復帰して、一時的に認可外保育所に入所した場合も「1」となります

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望の保育所に入所できなかった場合も「1」となります

(1) 母親



(2) 父親

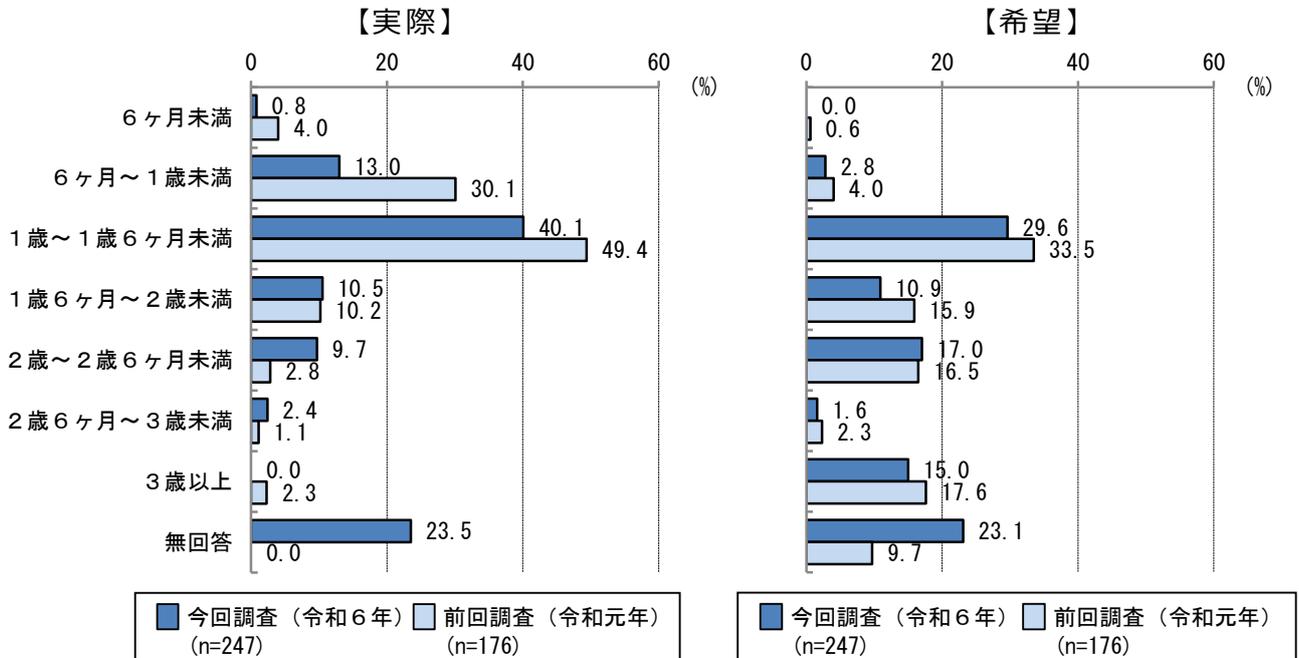


「育児休業取得後、職場に復帰した」タイミングは、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 35.6%、「それ以外だった」が 38.9%、父親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 0.9%、「それ以外だった」が 86.4%となっています。

〔7〕実際の職場復帰時期と希望の復帰時期

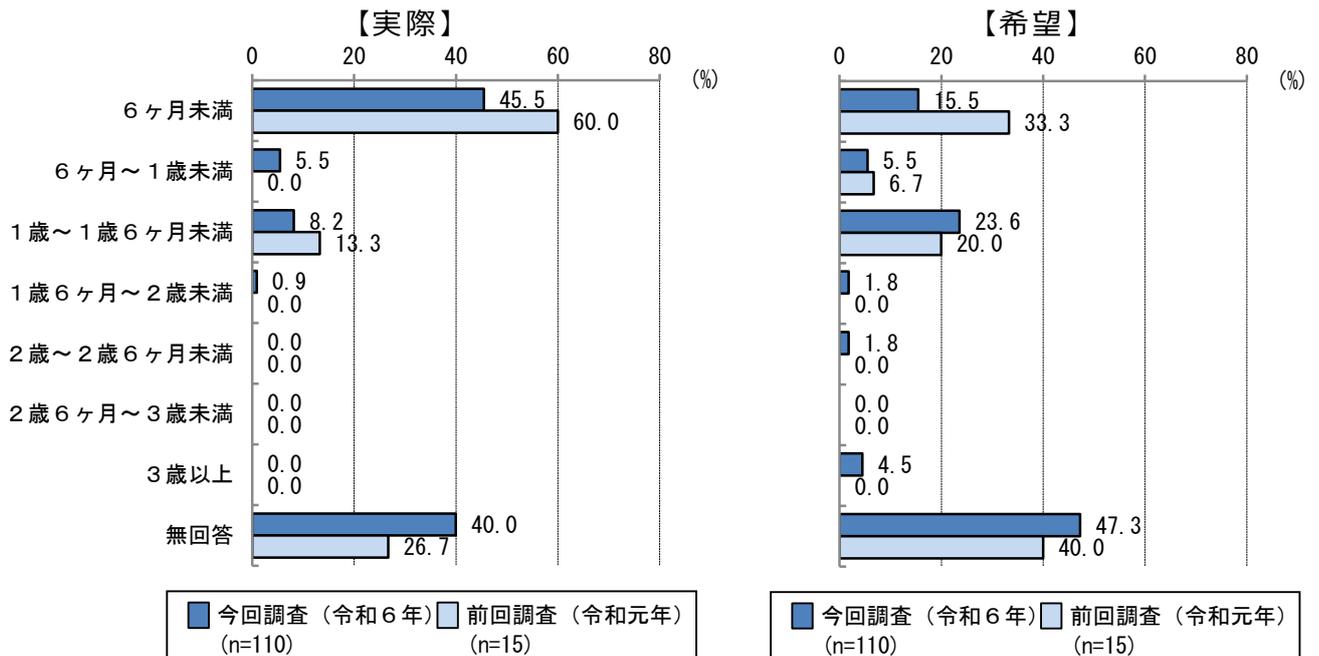
問10-7 育児休業からは、「実際」にお子さんが何才何ヶ月のときに職場に復帰しましたか。また、「希望」として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何才何ヶ月の時まで育児休業を取得したかったですか。（実際と希望の取得期間を□内に数字で記入）

(1) 母親の職場復帰時期



「育児休業取得後、職場に復帰した」母親の実際に復帰した時期と希望の復帰時期はともに、「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多くなっています。

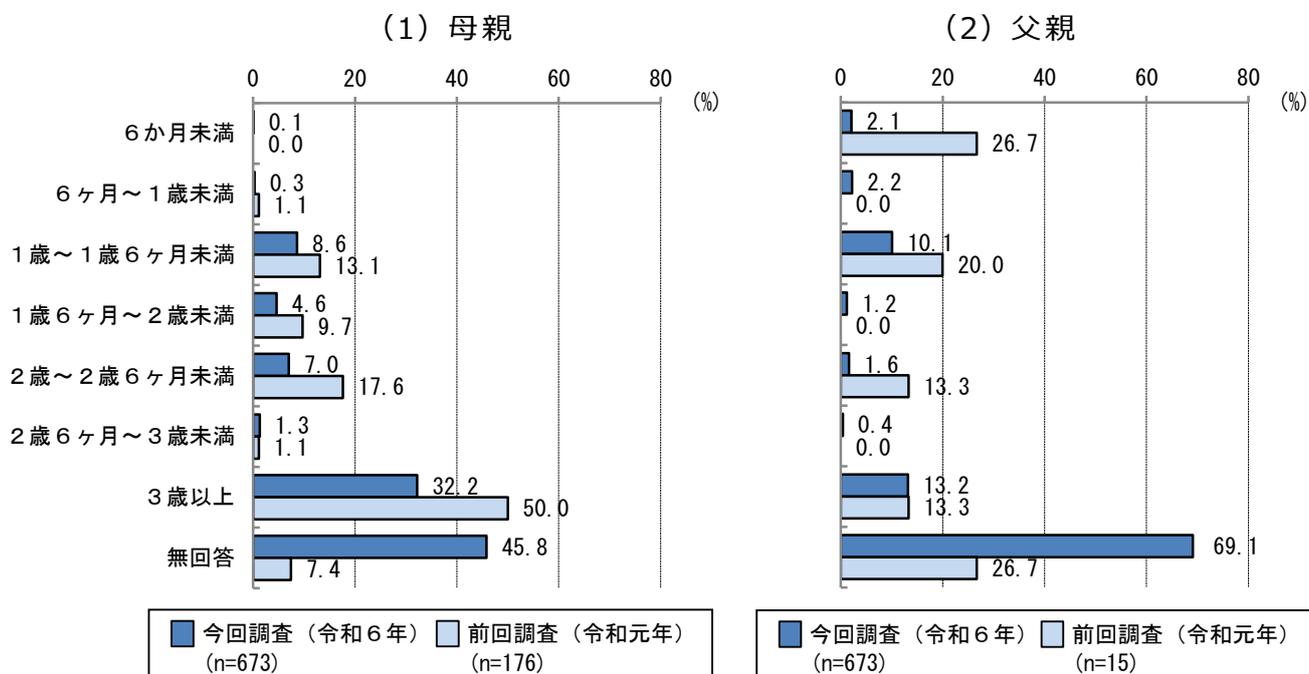
(2) 父親の職場復帰時期



「育児休業取得後、職場に復帰した」父親の実際の復帰時期は、「6ヶ月未満」が最も多く、希望の復帰時期は「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多くなっています。

[8]3歳まで休暇を取得できた場合の希望の復帰時期

問10-8 お勤め先に育児のために3才まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何才何ヶ月の時まで取りたかったですか。(口内に数字で記入)



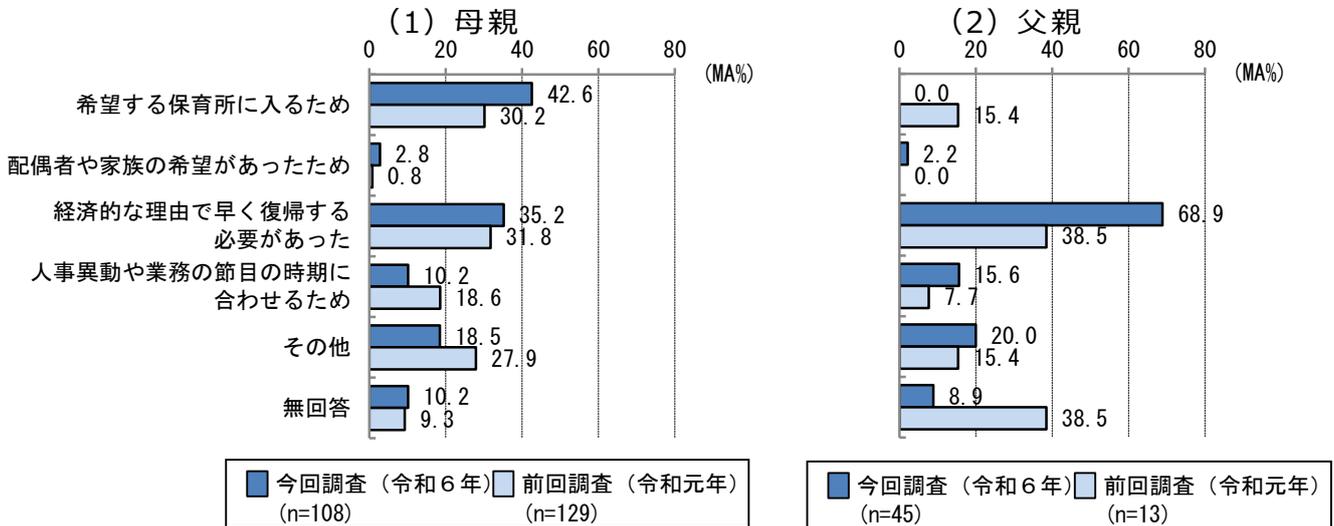
「育児休業取得後、職場に復帰した」方に育児のために3才まで休暇を取得できる制度があった場合の希望の復帰時期をたずねたところ、母親、父親ともに「3歳以上」が最も多く（母親 32.2%、父親 13.2%）なっています。

[9]希望の時期に職場復帰しなかった理由

問10-7で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問10-9 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

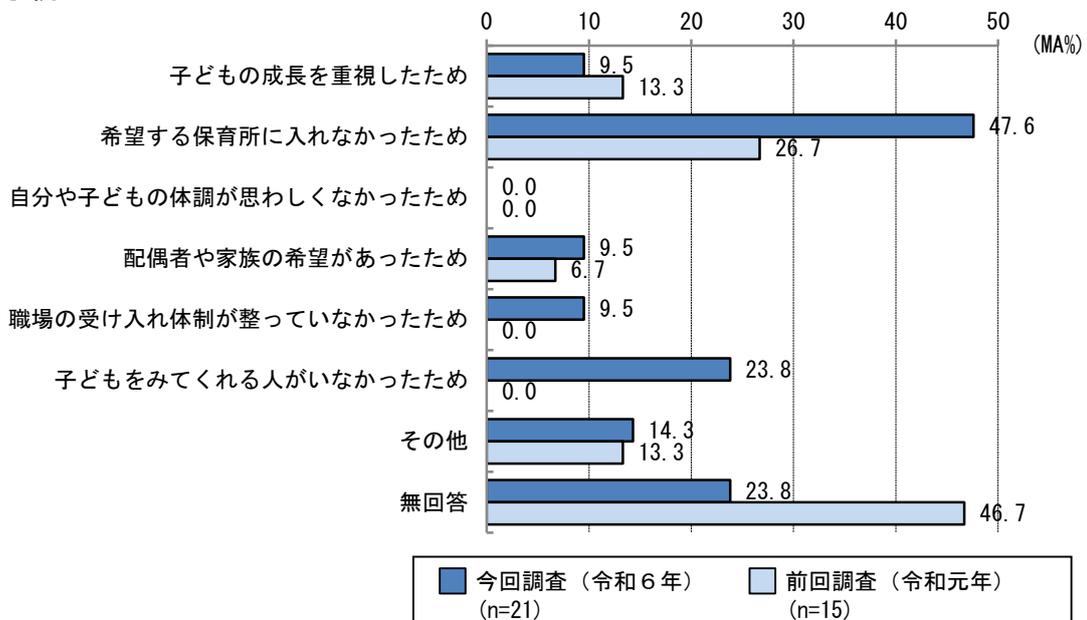
■ 希望より早く復帰した理由



希望より早く復帰した方に、その理由をたずねたところ、母親は「希望する保育所に入るため」が42.6%と最も多く、父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が68.9%と最も多くなっています。

■ 希望より遅く復帰した理由

(1) 母親



(2) 父親は該当者なし

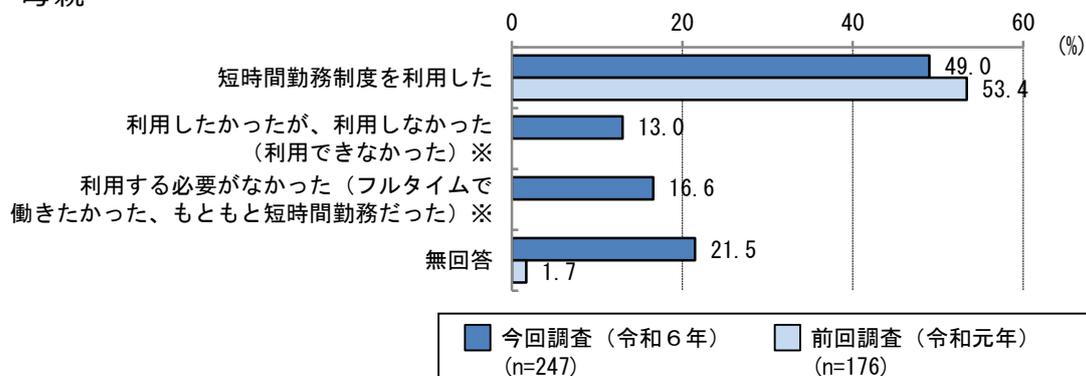
希望より遅く復帰した方に、その理由をたずねたところ、母親は「希望する保育所に入れなかったため」が47.6%と最も多く、次いで、「子どもをみってくれる人がいなかったため」が23.8%となっています。

[10]短時間勤務制度の利用有無

問10-5で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

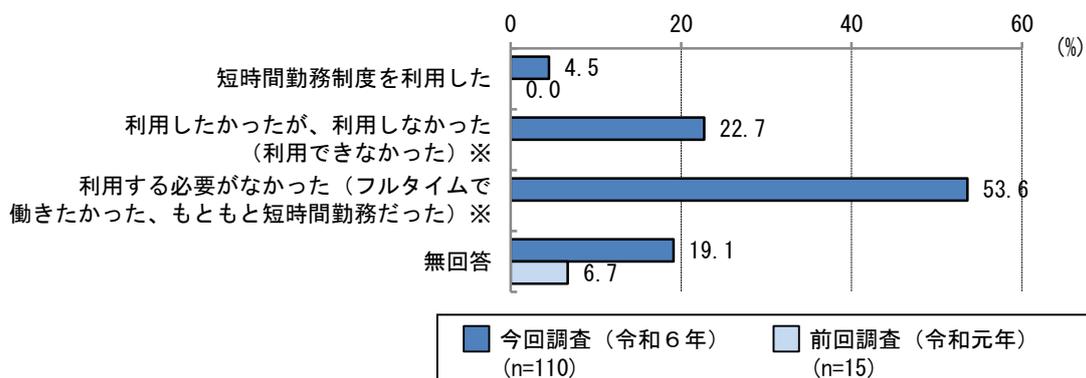
問10-10 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度(労働時間や労働日数を短縮する制度)を利用しましたか。(○は1つ)

(1) 母親



※前回調査では「短時間勤務制度を利用しなかった」44.9%

(2) 父親



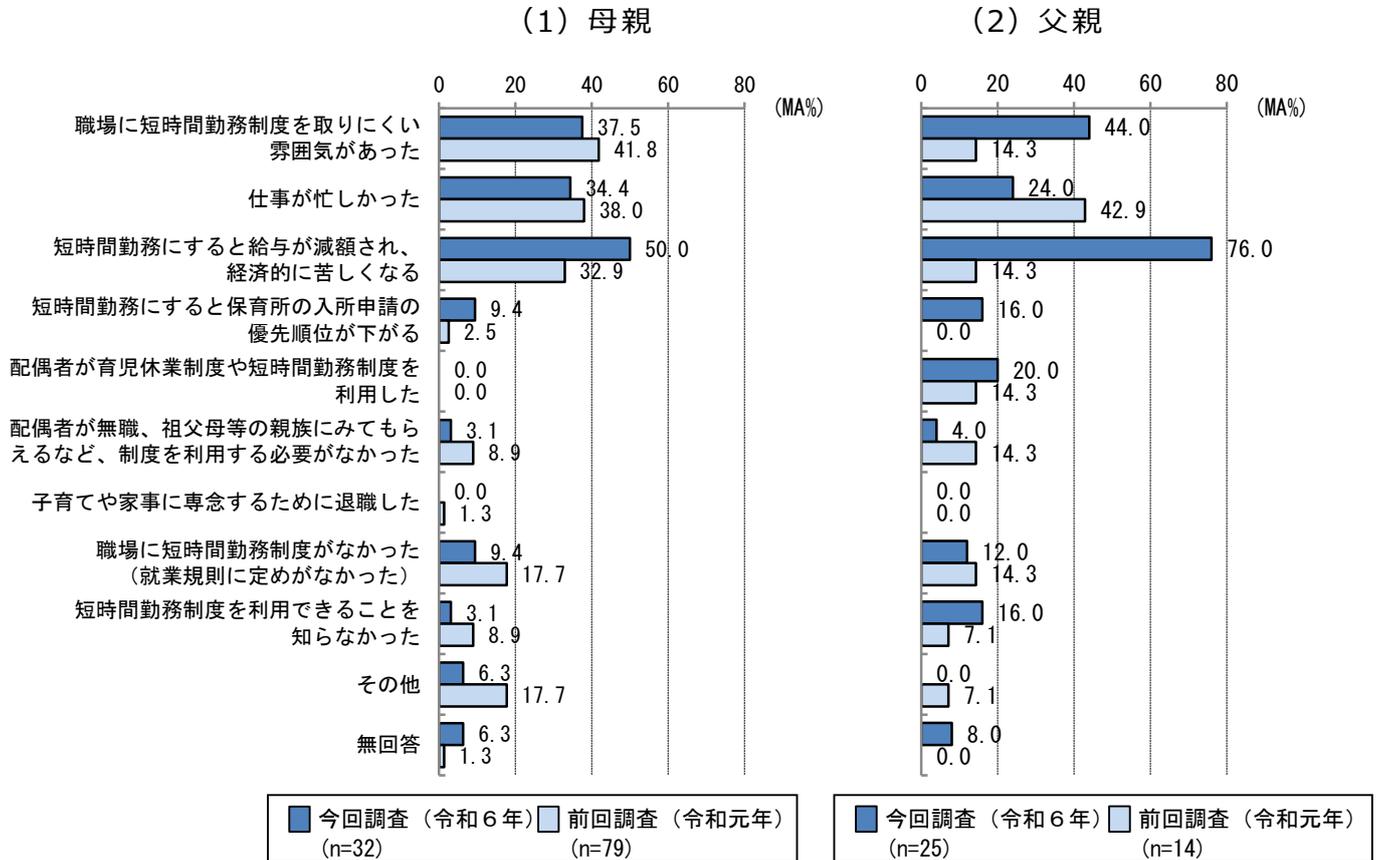
※前回調査では「短時間勤務制度を利用しなかった」93.3%

「育児休業取得後、職場に復帰した」方に短時間勤務制度の利用についてたずねたところ、母親は「短時間勤務制度を利用した」が49.0%と最も多く、次いで、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が16.6%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が13.0%となっています。父親は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が53.6%と最も多く、次いで、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が22.7%、「短時間勤務制度を利用した」が4.5%となっています。

〔11〕短時間勤務制度を利用しなかった理由

問10-10で「2. (短時間勤務制度を)利用しなかった」に○をつけた方にかがいます。

問10-11 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。  
(当てはまる全てに○)



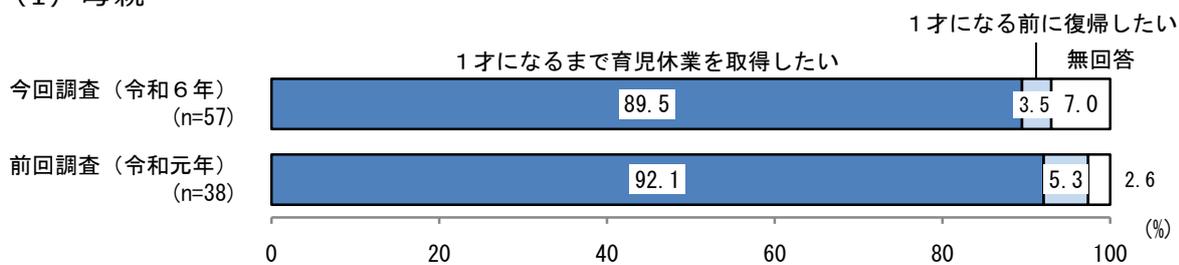
短時間勤務制度を「利用しなかった」理由は、母親、父親ともに「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が最も多く（母親 50.0%、父親 76.0%）、次いで、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（母親 37.5%、父親 44.0%）、「仕事が忙しかった」（母親 34.4%、父親 24.0%）が多くなっています。

[12]預けられる事業があれば1歳まで育児休業を取得するか

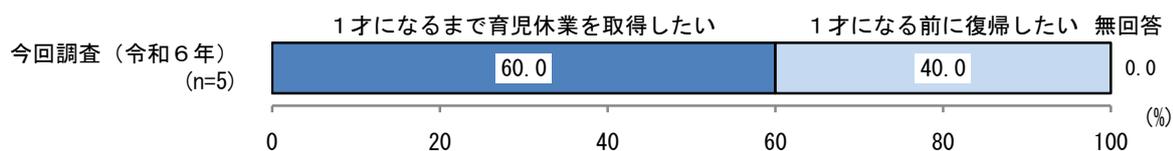
問10-5で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問10-12 対象のお子さんが1才になられた時に必ず利用できる事業があれば、お子さんが1才になるまで育児休業を取得しますか。  
 または、預けられる事業があっても1才になる前に復帰しますか。  
 (○は1つ)

(1) 母親



(2) 父親

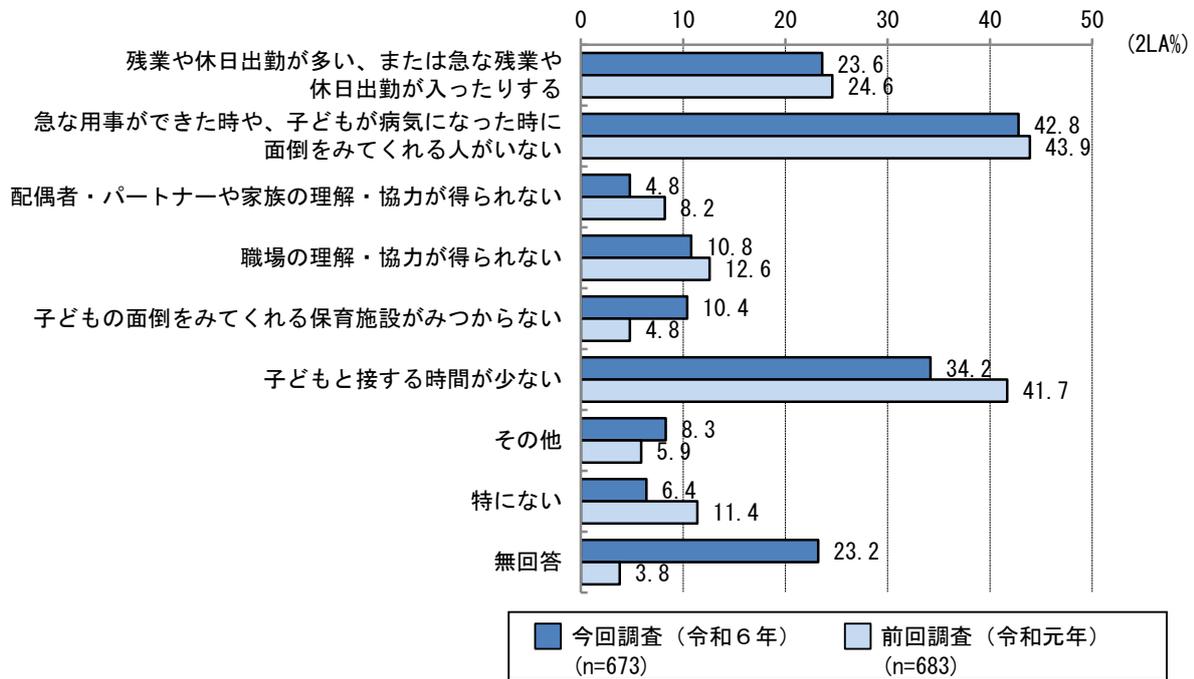


※前回調査では父親の回答なし

「現在も育児休業中である」方に子どもが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいかをたずねたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で89.5%、父親で60.0%となっています。

[13]子育てと仕事の両立で大変なこと

問10-13 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。(○は2つまで)

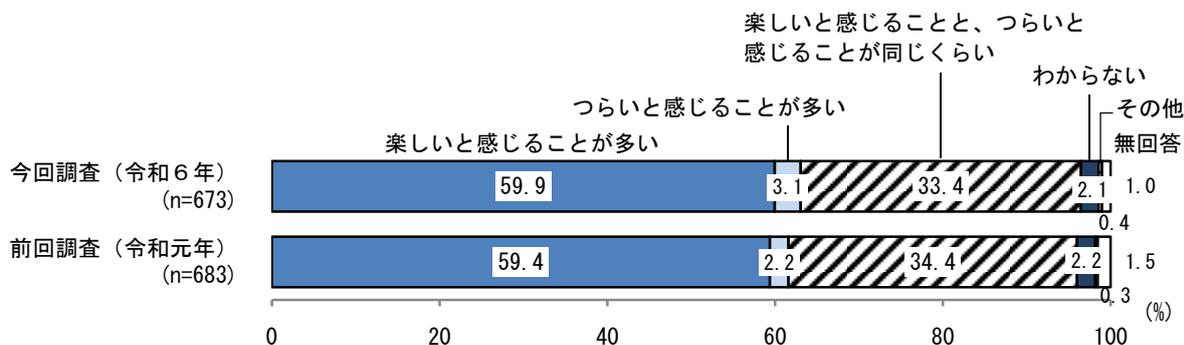


子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることは、「急な用事ができた時や、子どもが病気になった時に面倒をみってくれる人がいない」が42.8%と最も多く、次いで、「子どもと接する時間が少ない」が34.2%、「残業や休日出勤が多い、または急な残業や休日出勤が入ったりする」が23.6%、となっています。

## 11. 子育て全般

### [1] 子育てをどのように感じるか

問11-1 子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。(○は1つ)



子育てをどのように感じるかたずねたところ、「楽しいと感じることが多い」が 59.9%と最も多く、次いで、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が 33.4%、「つらいと感じることが多い」が 3.1%となっています。

### [2] 子育てがつらいと感じるとき

問11-1で「2」または「3」(つらいと感じる)に○をつけた方にうかがいます。

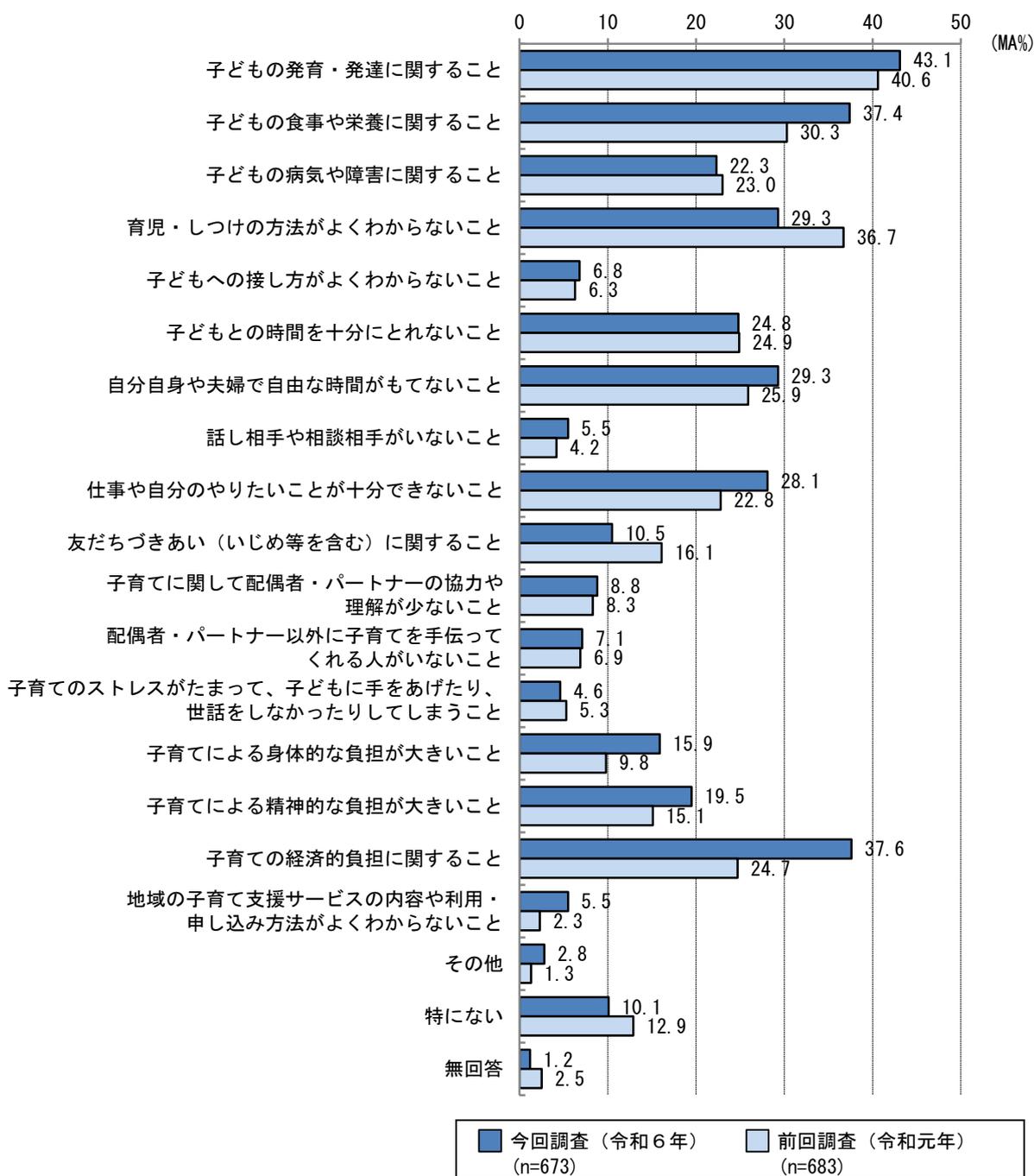
問11-2 子育てがつらいと感じるのはいつ、どのようなときですか。自由にご記入ください。

子どもについて	108件
イヤイヤ期、癇癪、泣きやまない	31件
言うことを聞かない	29件
子どもとの意思疎通ができない	11件
子どもが寝ない、夜泣きする	10件
子どもが食べない、食べむらがある	6件
きょうだい喧嘩	7件
子どもとの時間が少なく、さびしがる	7件
子どもの今後が不安になったとき	3件
子どもがつらい目にあったり、友達とうまくいかない	2件
悪いことをした時に注意しなければならない	1件
お迎え後の寄り道が長い	1件
子どもの病気、障がい	20件
子どもの発達の遅れ、障がい	7件
子どもが病気になったとき	9件
子どもの障がいに対する支援、受け入れの不安	4件

自分について	183 件
ワンオペ育児	31 件
自分の時間がない	21 件
思うようにいかないとき	20 件
精神的・体力的に疲れているときや体調不良のとき	20 件
子どもが二人以上いて大変	19 件
頼れる人、相談できる人がいない	10 件
イライラしたり感情的になってしまう。子どもにきつく当たってしまう。	9 件
時間の余裕がない	8 件
配偶者の理解・協力が無い	7 件
1日中ずっと子どもといる	7 件
自分が疲れていたり、余裕がない	5 件
睡眠不足になる	5 件
家事・育児全般が上手くいかないとき	4 件
年齢的な体力不足	3 件
リフレッシュできないとき	3 件
友人がおらず孤独	2 件
子育ての責任を感じる	2 件
子どもの教育の不安	2 件
子どもがなつかない	1 件
子育てで周囲とずれを感じる	1 件
保育施設の先生からできないことばかりを指摘されたとき	1 件
必要以上に思ってしまう	1 件
常に	1 件
仕事との両立	15 件
仕事との両立	13 件
子どもの病気等で、仕事を連日休まざるえないとき	2 件
その他	11 件
金銭的余裕がない	5 件
気軽に遊びに行く場所が少ない	1 件
子どもたちで遊ぶ場所、交流できる場所がほしい	1 件
外に出ようにも車がなくて出られない	1 件
制服などお金がかかる	1 件
金額が高くて託児が利用できない。	1 件
保育所入所に落ちた	1 件

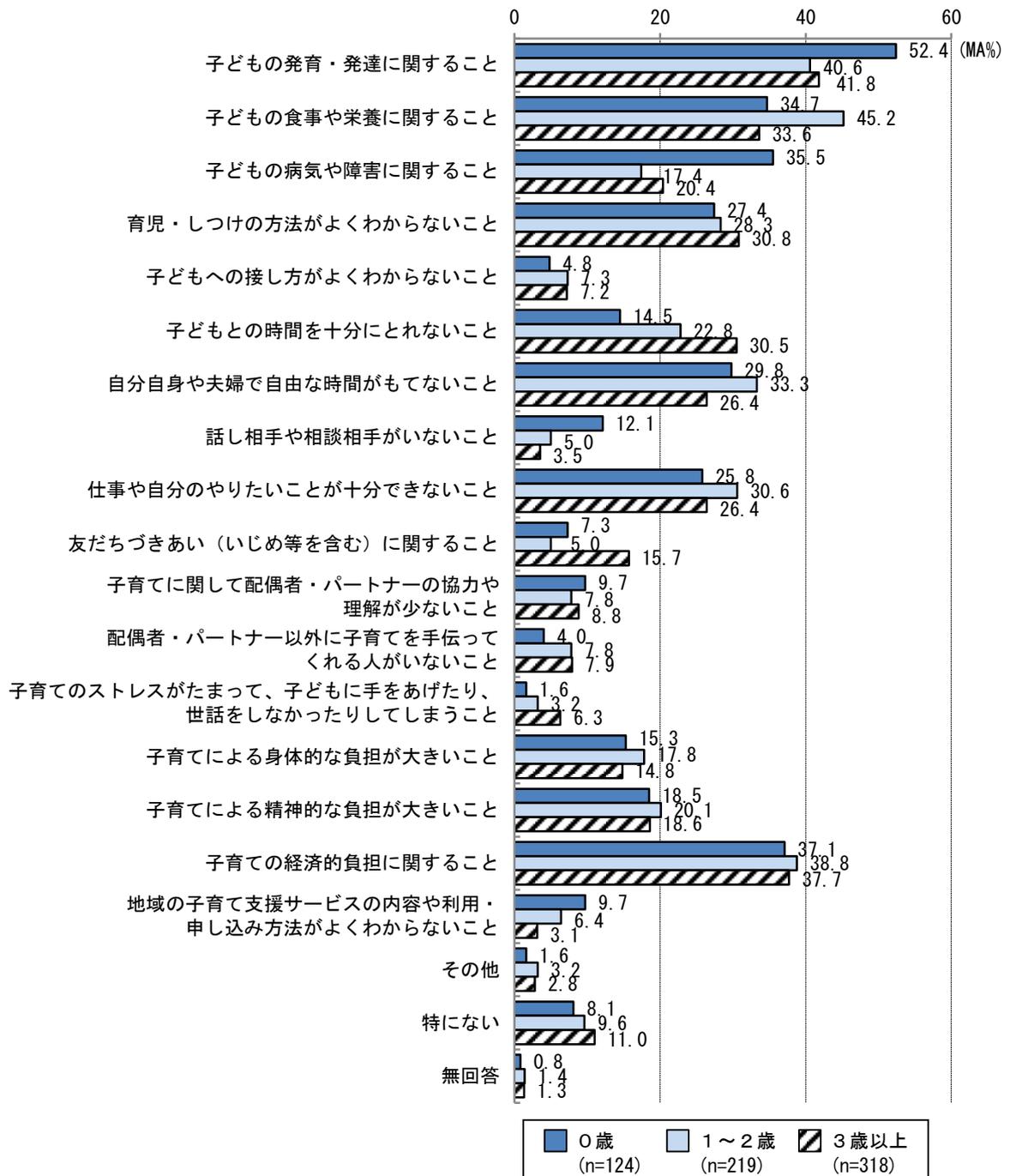
[3]子育ての悩みや不安

問11-3 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。(当てはまる全てに○)



子育てで日頃悩んでいることや、不安に感じることは、「子どもの発育・発達に関すること」が43.1%と最も多く、次いで、「子育ての経済的負担に関すること」が37.6%、「子どもの食事や栄養に関すること」が37.4%となっています。前回調査に比べて「子育ての経済的負担に関すること」が12.9ポイント増加しています。

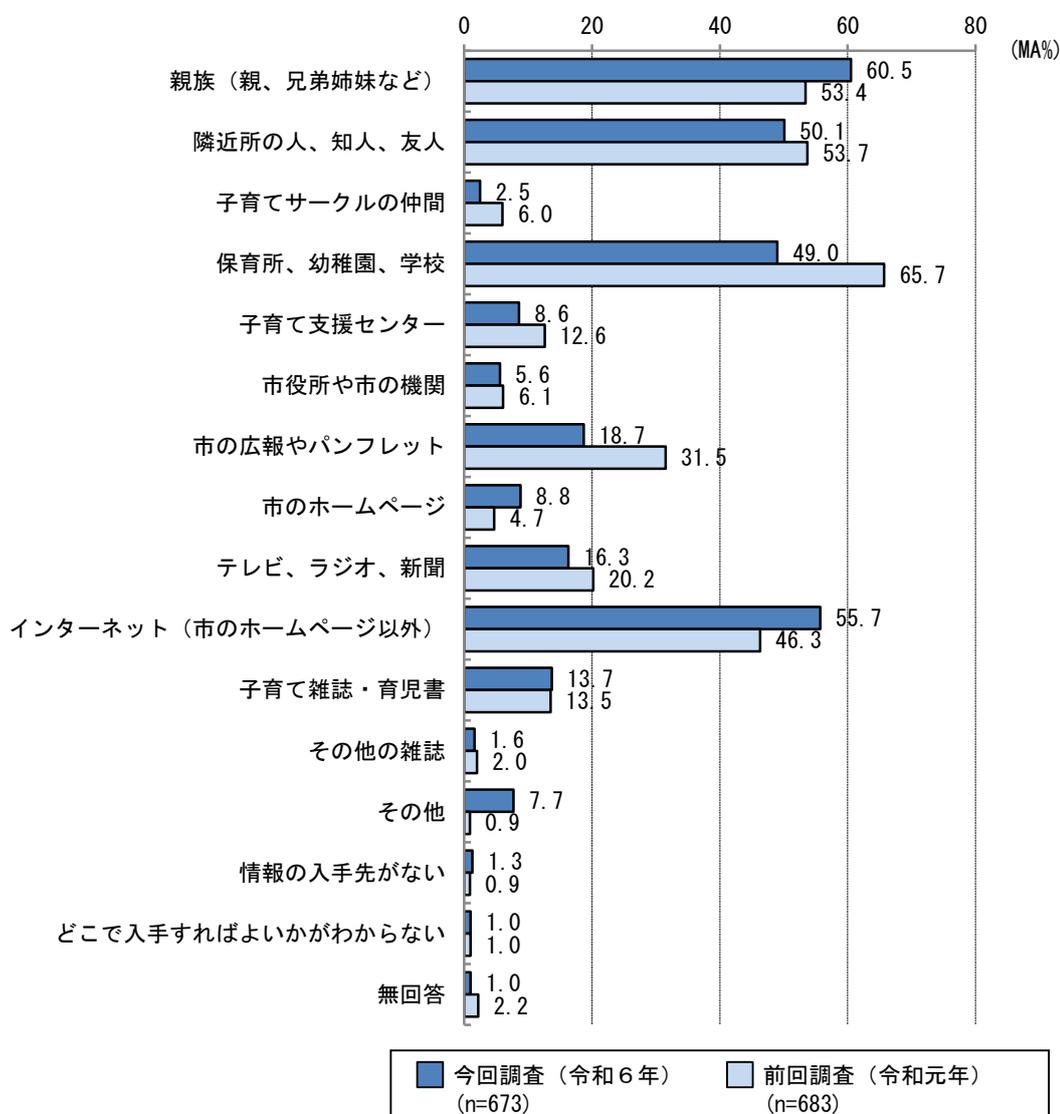
【年齢別 子育ての悩みや不安】



年齢別にみると、0歳では「子どもの発育・発達に関すること」（52.4%）、1～2歳では「子どもの食事や栄養に関すること」（45.2%）が最も多く、他の年齢に比べても多くなっています。また、「育児・しつけの方法がよくわからないこと」「子どもとの時間を十分にとれないこと」「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」などは、年齢が上がるにつれて多くなっています。

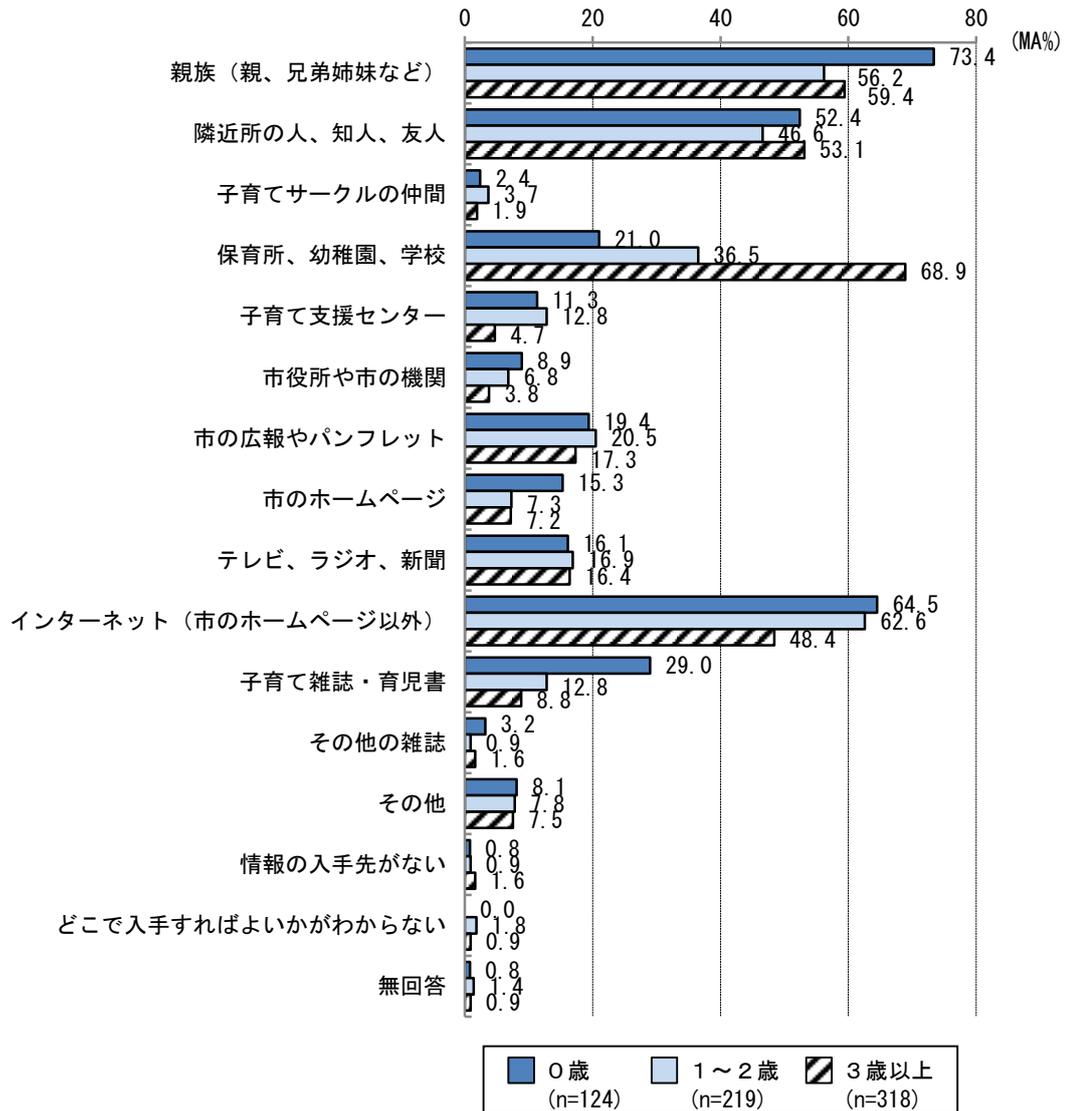
〔4〕子育てに関する情報の入手先

問11-4 ふだん、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。  
(当てはまる全てに○)



子育てに関する情報の入手先は、「親族（親、兄弟姉妹など）」が60.5%と最も多く、次いで、「インターネット（市のホームページ以外）」が55.7%、「隣近所の人、知人、友人」が50.1%となっています。前回調査に比べて「インターネット（市のホームページ以外）」が9.4ポイント、「親族（親、兄弟姉妹など）」が7.1ポイント増加し、「保育所、幼稚園、学校」が16.7ポイント、「市の広報やパンフレット」が12.8ポイント減少しています。

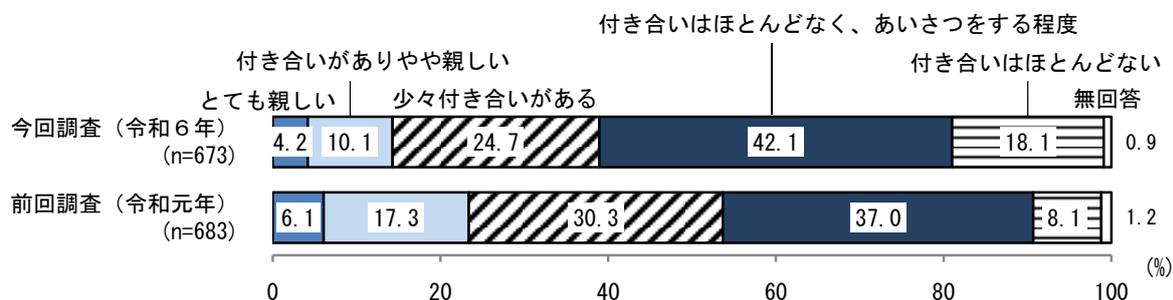
【年齢別 子育てに関する情報の入手先】



年齢別にみると、0歳では「親族（親、兄弟姉妹など）」が73.4%、3歳以上では「保育所、幼稚園、学校」が68.9%と最も多く、他の年齢に比べても多くなっています。

[5]近所や地域の人々との付き合いの程度

問11-5 あなたは、ご近所や地域の人々と、どの程度のお付き合いをしていますか。  
(○は1つ)



近所や地域の人々との付き合いの程度は、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が42.1%と最も多く、次いで、「少々付き合いがある」が24.7%となっています。「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」と「付き合いはほとんどない」(18.1%)を合わせた『付き合いはほとんどない』は合計60.2%で、前回調査に比べて15.1ポイント増加しています。

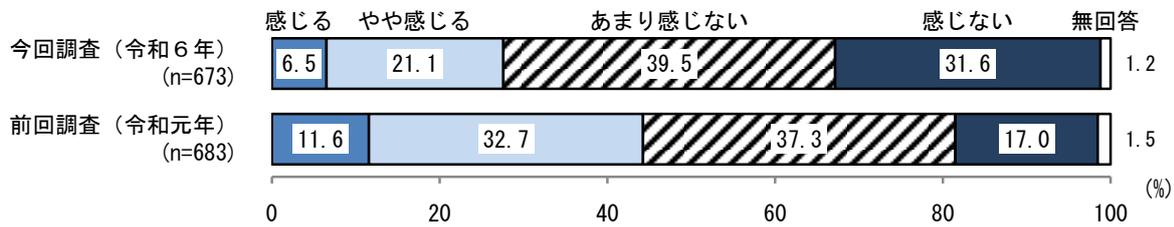
【小学校区別 近所や地域の人々との付き合いの程度】

	n	とても親しい	付き合いがありやや親しい	少々付き合いがある	付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度	付き合いはほとんどない	無回答
全体	673	28	68	166	283	122	6
	100	4.2	10.1	24.7	42.1	18.1	0.9
片塩校区	85	3	6	19	38	18	1
	100	3.5	7.1	22.4	44.7	21.2	1.2
高田校区	161	6	20	27	70	35	3
	100	3.7	12.4	16.8	43.5	21.7	1.9
土庫校区	29	0	3	6	14	6	0
	100	0	10.3	20.7	48.3	20.7	0
浮孔校区	83	1	11	24	37	9	1
	100	1.2	13.3	28.9	44.6	10.8	1.2
磐園校区	96	4	9	21	42	20	0
	100	4.2	9.4	21.9	43.8	20.8	0
陵西校区	88	6	9	27	33	13	0
	100	6.8	10.2	30.7	37.5	14.8	0
菅原校区	74	4	7	26	28	9	0
	100	5.4	9.5	35.1	37.8	12.2	0
浮孔西校区	55	4	3	15	20	12	1
	100	7.3	5.5	27.3	36.4	21.8	1.8

小学校区別にみると、全ての校区で『付き合いはほとんどない』が半数を超えており、とくに、土庫校区で69.0%と最も多くなっています。

〔6〕子育てが地域の人に支えられているか

問11-6 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)



子育てが、地域の人に支えられていると感じるかについては、「感じる」（6.5%）と「やや感じる」（21.1%）を合わせた『感じる』が 27.6%、「感じない」（31.6%）と「あまり感じない」（39.5%）を合わせた『感じない』が 71.1%となっています。前回調査に比べて『感じない』が16.8ポイント増加しています。

【小学校区別 子育てが地域の人に支えられているか】

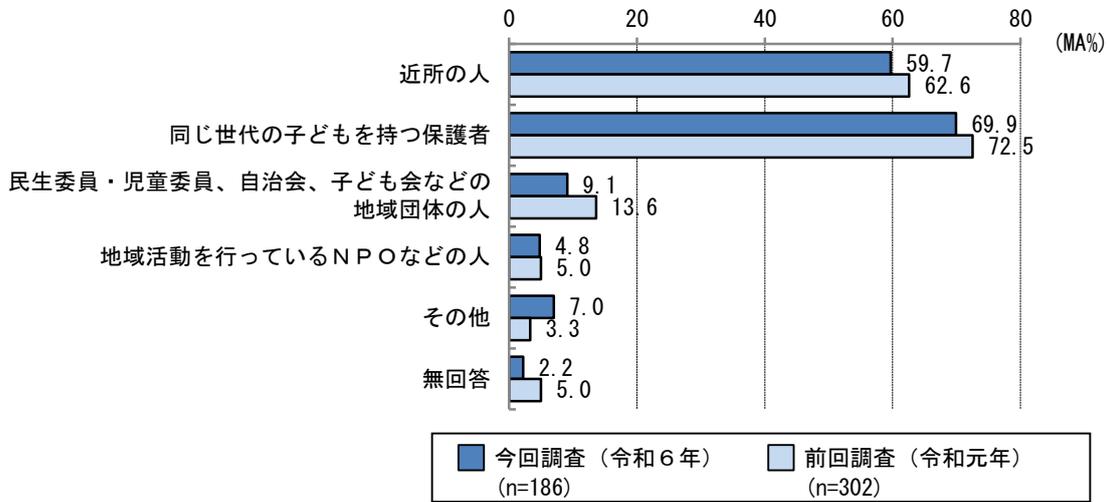
	n	(%)				
		感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない	無回答
全体	673	44	142	266	213	8
	100	6.5	21.1	39.5	31.6	1.2
片塩校区	85	7	22	26	29	1
	100	8.2	25.9	30.6	34.1	1.2
高田校区	161	9	29	77	42	4
	100	5.6	18.0	47.8	26.1	2.5
土庫校区	29	1	4	15	9	0
	100	3.4	13.8	51.7	31.0	0
浮孔校区	83	4	24	27	27	1
	100	4.8	28.9	32.5	32.5	1.2
磐園校区	96	8	19	39	30	0
	100	8.3	19.8	40.6	31.3	0
陵西校区	88	6	22	33	27	0
	100	6.8	25.0	37.5	30.7	0
菅原校区	74	6	13	30	25	0
	100	8.1	17.6	40.5	33.8	0
浮孔西校区	55	3	8	19	23	2
	100	5.5	14.5	34.5	41.8	3.6

小学校区別にみると、『感じる』は片塩校区、浮孔校区、陵西校区で3割を超えている一方、土庫校区では『感じない』が8割を超えています。

II-1. 就学前児童調査の結果

〔7〕誰に支えられているか

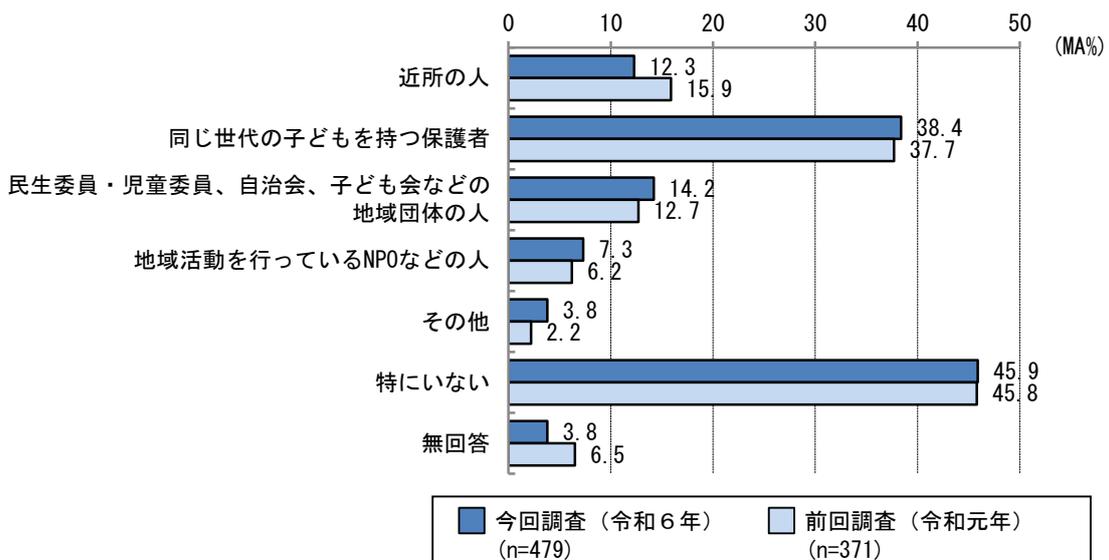
問11-6で「1」または「2」(支えられていると感じる)に○をつけた方にうかがいます。  
 問11-7 誰に支えられていると感じますか。(当てはまる全てに○)



地域の人に支えられていると「感じる」「やや感じる」と答えた方に、誰に支えられていると感じるかをたずねたところ、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 69.9%と最も多く、次いで、「近所の人」が 59.7%となっています。

〔8〕誰に支えてほしいか

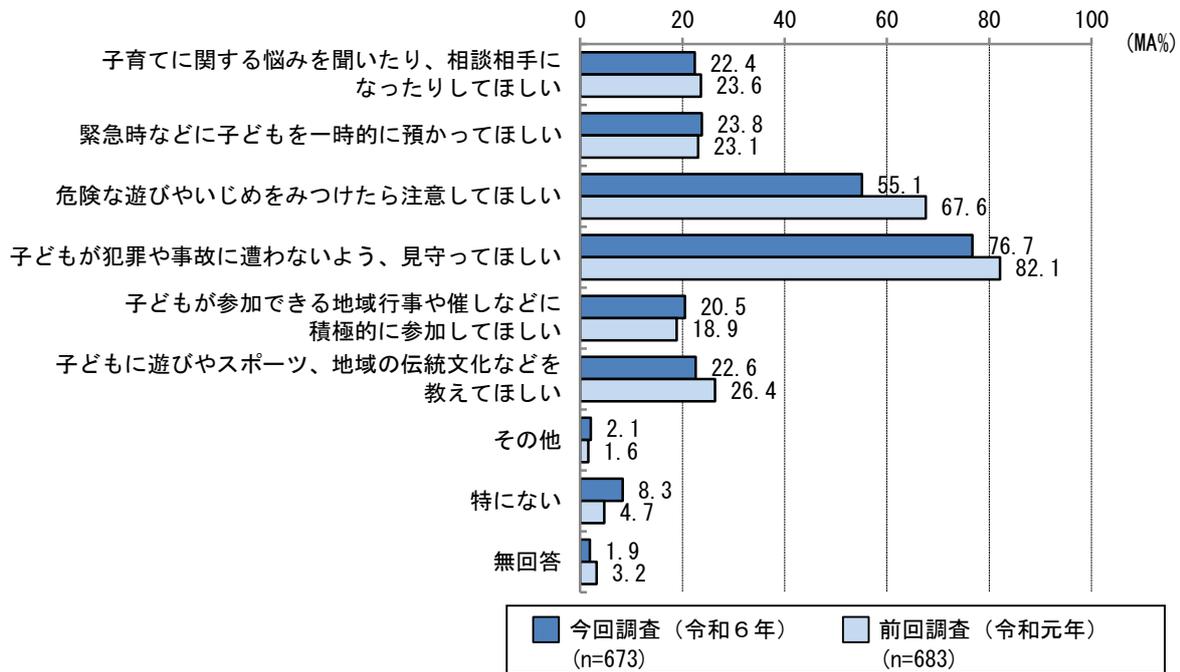
問11-6で「3」または「4」(支えられていないと感じない)に○をつけた方にうかがいます。  
 問11-8 誰に支えてほしいと思いますか。(当てはまる全てに○)



地域の人に支えられていると「あまり感じない」「感じない」と答えた方に、誰に支えてほしいかたずねたところ、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 38.4%と最も多くなっています。

[9]子育て支援として地域の人に期待すること

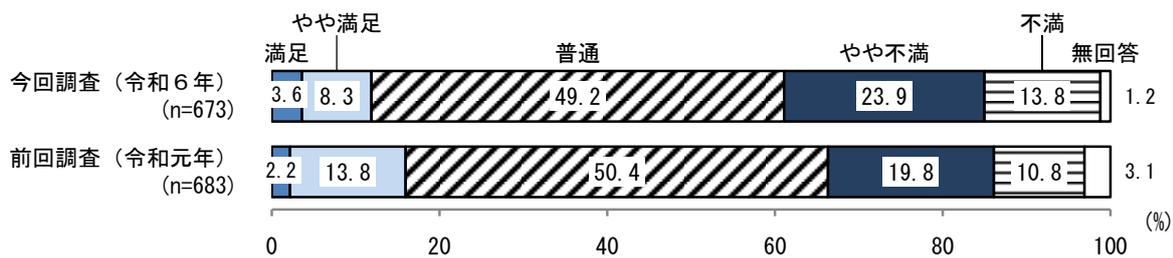
問11-9 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。  
(当てはまる全てに○)



子育て支援として、身近な地域の人に期待することは、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 76.7%と最も多く、次いで、「危険な遊びやいじめをみつけたら注意してほしい」が 55.1%となっています。

[10]子育ての環境や支援の満足度

問11-10 大和高田市における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)



大和高田市における子育ての環境や支援の満足度は、「満足」(3.6%)と「やや満足」(8.3%)を合わせた『満足』が 11.9%、「不満」(13.8%)と「やや不満」(23.9%)を合わせた『不満』が 37.7%となっています。前回調査に比べて『不満』が 7.1 ポイント増加しています。

II-1. 就学前児童調査の結果

【年齢別、小学校区別 子育ての環境や支援の満足度】

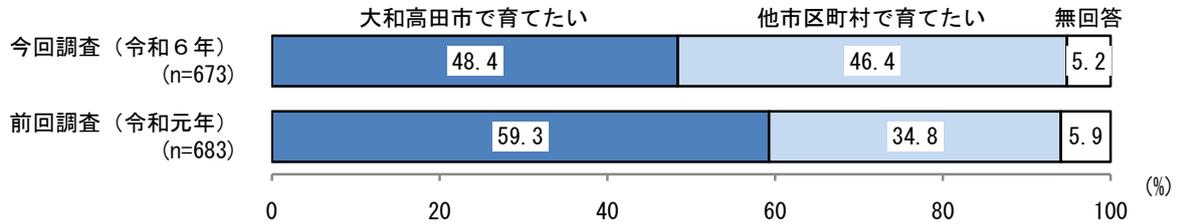
		n	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
								(%)
全体		673	24	56	331	161	93	8
		100	3.6	8.3	49.2	23.9	13.8	1.2
年齢別	0歳	124	5	10	66	26	16	1
		100	4.0	8.1	53.2	21.0	12.9	0.8
	1～2歳	219	8	19	102	53	35	2
		100	3.7	8.7	46.6	24.2	16.0	0.9
3歳以上		318	9	25	159	80	40	5
		100	2.8	7.9	50.0	25.2	12.6	1.6
小学校区別	片塩校区	85	4	9	40	20	11	1
		100	4.7	10.6	47.1	23.5	12.9	1.2
	高田校区	161	6	16	77	38	21	3
		100	3.7	9.9	47.8	23.6	13.0	1.9
	土庫校区	29	1	1	13	12	2	0
		100	3.4	3.4	44.8	41.4	6.9	0
	浮孔校区	83	1	8	43	18	11	2
		100	1.2	9.6	51.8	21.7	13.3	2.4
	磐園校区	96	3	10	50	22	10	1
		100	3.1	10.4	52.1	22.9	10.4	1.0
陵西校区	88	3	6	41	24	14	0	
	100	3.4	6.8	46.6	27.3	15.9	0	
菅原校区	74	3	3	37	20	11	0	
	100	4.1	4.1	50.0	27.0	14.9	0	
浮孔西校区	55	3	2	30	6	13	1	
	100	5.5	3.6	54.5	10.9	23.6	1.8	

年齢別にみると、『満足』はどの年齢も1割程度で、『不満』は1～2歳で40.2%と、他の年齢に比べてやや多くなっています。

また、小学校区別にみると、『不満』は土庫校区で48.3%と最も多く、次いで、陵西校区で43.2%、菅原校区で41.9%となっています。

[11] 今後も大和高田市で育てたいか

問11-11 子どもを育てる場所を自由にとらしたら、今後も大和高田市で育てたいと思いますか。(○は1つ)



今後も大和高田市で子どもを育てたいかについては、「大和高田市で育てたい」が48.4%、「他市区町村で育てたい」が46.4%となっています。前回調査に比べて「他市区町村で育てたい」が11.6ポイント増加しています。

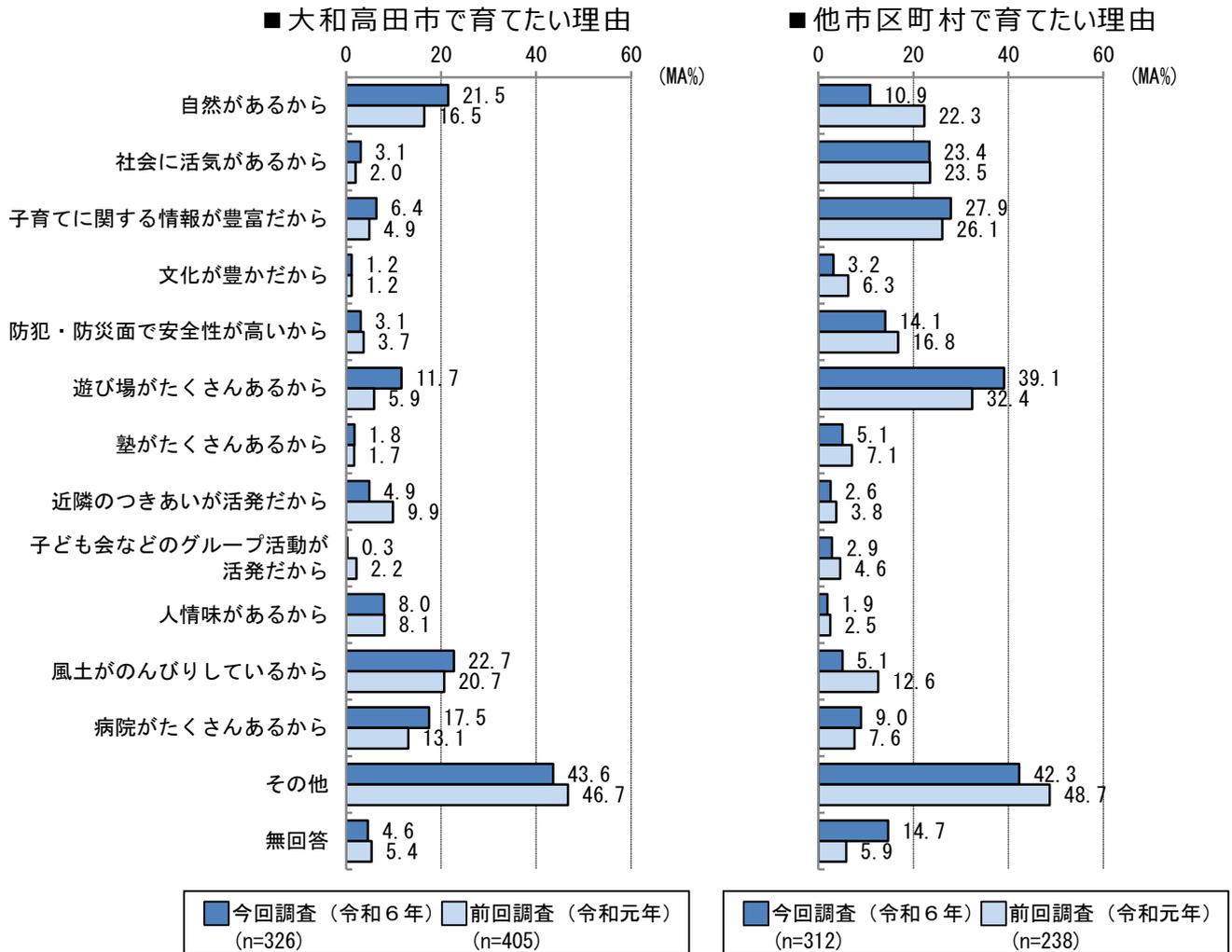
【他市区町村を選んだ方の市区町村名】

- 回答 177 件中 ※複数回答あり
- ・葛城市 (40 件) ・香芝市 (38 件) ・橿原市 (20 件) ・広陵町 (17 件)
  - ・奈良市 (15 件) ・明石市 (13 件) ・大阪市 (10 件) ・生駒市 (10 件) など
- その他
- ・2人目保育料無料にした所 ・保育料、病院代、無料の地域 ・もっと保育園申請しやすい地域
  - ・医療的ケア児を受け入れてくれるところ ・自分の実家近く ・自分の地元 など

Ⅱ-1. 就学前児童調査の結果

問11-12 問11-11で回答した理由をお答えください。(当てはまる全てに○)

※「1」に○をつけた方は「大和高田市で育てたい」理由を、「2」に○をつけた方は「他市区町村で育てたい」理由をお答えください。



今後も大和高田市で育てたい理由は、「風土がのんびりしているから」が 22.7%と最も多く、次いで、「自然があるから」が 21.5%、「病院がたくさんあるから」が 17.5%となっています。

今後は他市区町村で育てたい理由は、「遊び場がたくさんあるから」が 39.1%と最も多く、次いで、「子育てに関する情報が豊富だから」が 27.9%、「社会に活気があるから」が 23.4%となっています。

【大和高田市で育てたいその他の理由】

- 回答 128 件中 ※複数回答あり  
環境などについて
- ・実家がある (28 件)
  - ・住み慣れている (17 件)
  - ・自分が育ったところ (15 件)
  - ・持ち家がある (13 件)
  - ・地元 (11 件)
  - ・親族・知人がいる (8 件)
  - ・交通の便がよい (7 件)
  - ・買い物便利 (5 件)
  - ・職場がある (2 件)
  - ・住みやすい (1 件)
  - ・隣接市町村にいろんな施設がある (1 件)

- 子育て支援などについて
- ・子ども家庭課や児相など連携している (1 件)
  - ・子育て支援への努力がある (1 件)
  - ・すこやか広場が土日祝日ある (1 件)
  - ・保育所に入れた (1 件)
  - ・保育園の入所月が選べる (1 件)
  - ・預かり保育がよい (1 件)

- その他
- ・よそを知らない (6 件)
  - ・市外へ引っ越す予定がない (5 件)
  - ・特に不満がない (2 件)
  - ・これから知っていききたい (1 件)

【他市区町村で育てたいその他の理由】

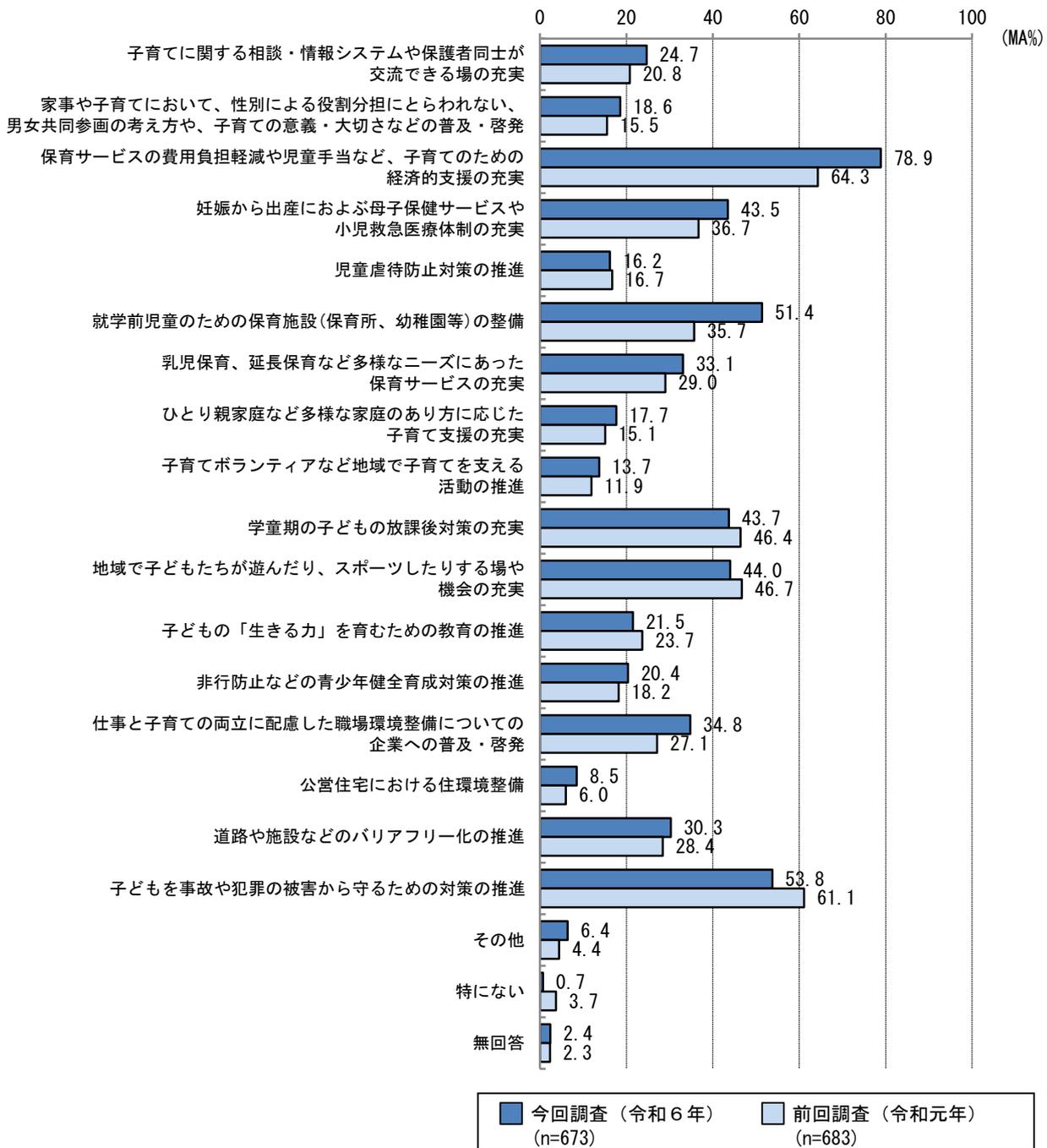
- 回答 128 件中 ※複数回答あり  
環境などについて
- ・実家がある (8 件)
  - ・出身地 (3 件)
  - ・親族、知り合いがいる (3 件)
  - ・治安がよい (7 件)
  - ・子育てに向いている (5 件)
  - ・子どもが多い (4 件)
  - ・町がきれい (3 件)
  - ・道、歩道が広い、バリアフリー (9 件)
  - ・公園 (遊具) が多い (5 件)
  - ・図書館が充実している (2 件)
  - ・施設が新しい、多い (2 件)
  - ・公共交通機関の便が良い (2 件)

- 子育て支援などについて
- ・支援制度が充実している (46 件)
  - ・医療費無償化 (13 件)
  - ・保育料無償化 (2 人目) (11 件)
  - ・保育所の充実、入りやすい (5 件)
  - ・教育への取り組み、質の充実 (4 件)
  - ・学童ホームの利用が夏休みだけなどできる (1 件)
  - ・小児科専門の病院がある (2 件)
  - ・障がい児療育施設や心理相談員がいる (1 件)
  - ・医療的ケア児に対して、普通の子と同じ環境に入れるようにしてくれる (1 件)
  - ・母子家庭に優しい (1 件)
  - ・シルバー見守り隊の活動がある (1 件)

- その他
- ・水道料金が安い (3 件)
  - ・ゴミ収集が無料 (1 件)
  - ・多くの場面で選択肢が多い (1 件)

[12]市に期待すること

問11-13 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。  
(当てはまる全てに○)



子どもを健やかに生み育てるために、市に期待することは、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」が78.9%と最も多く、次いで、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が53.8%、「就学前児童のための保育施設(保育所、幼稚園等)の整備」が51.4%となっています。

前回調査に比べて「就学前児童のための保育施設(保育所、幼稚園等)の整備」が15.7ポイント、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」が14.6ポイント増加しています。

〔13〕自由意見

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

保育園入園などについて	50 件
保育園を入りやすく、利用しやすくしてほしい	24 件
保育園の定員(預かり人数)を増やしてほしい	6 件
保育園を誰でも利用できるようにしてほしい	4 件
1才から入園できるようにしてほしい	3 件
待機児童がゼロになるようにしてほしい	2 件
1才の時点で入園していないと、上の子が退園という育休退園制度の猶予期間を設けてほしい、撤廃してほしい	2 件
保育所の選考機会を増やしてほしい	1 件
保育園等への入所月を選べる制度は今後も継続してください	1 件
保育園入園をただの点数制ではなく、状況に対して寄り添い判断してほしい	1 件
在宅勤務でも保育園を利用したい	1 件
求職中も保育所に入園できるようにしてほしい	1 件
産前産後の保育所利用をさせてほしい	1 件
保育園入園時期を、離乳食完了、予防接種済になってからの1歳6か月くらいにしてほしい	1 件
情報や一時預かりの補助など、保育所に落ちた方への支援を手厚くしてほしい	1 件
入園方法の案内がほしい	1 件
保育園について	31 件
保育士などの待遇改善をしてほしい	6 件
延長保育を19時まで、またはそれ以降にほしい	5 件
幼稚園の預かり保育を利用しやすくしてほしい	4 件
保育士を増やしてほしい	3 件
保育施設の預け時間を早く(7時～)してほしい	2 件
保育所でのお金のやりとり(現金での集金)が多いので、電子マネーなどにしてほしい	2 件
保育園のおひるね布団を廃止し、コットを導入してほしい	2 件
保育園の紙おむつやお昼寝用の寝具のレンタルがほしい	1 件
保育所で一時預かりを利用しているが、先生が親切。使用済みオムツの持ち帰りが無いのが有り難かった	1 件
市内保育所の制服の統一をしてほしい	1 件
保育園の制服、制帽の見直しをしてほしい。制帽はあまり使わない	1 件
保育所の運動会で下の子を預けられる親族がおらず、結局下の子に手がかかって兄弟の出番を見ることができなかったので、そういうときのフォローや預け先がほしい	1 件
親が平日休みの日でも、保育所の早出遅出を利用しやすくしてほしい	1 件
保育所での入学前教育を取り入れてほしい	1 件

II-1. 就学前児童調査の結果

幼稚園などについて	7件
幼稚園の休み期間が長い	1件
先生、保護者の負担になるので、幼稚園の預かり保育で、就労証明をだしているのに、月末集金して後日返金というのはやめてほしい	1件
幼稚園の預かり保育で保育所のようにおやつを出してほしい	1件
幼稚園の預かり保育が利用できないときがあり、他の事業を利用すると全額負担になり困っている	1件
私立のこども園に預けているが、近くに祖父母がいて援助してもらえるのが普通のような印象である。保育初めが1/9だったが私は1/4から仕事なので遠方の母を呼び見てもらった。年度末も休園で困っている。地域性なのか転勤族からしたら優しくないと思った	1件
どの幼稚園を希望すればいいのかかわりにくい、情報が少ない	1件
幼稚園がこども園になればありがたい	1件
一時預かりなどについて	20件
一時預かりを使いやすくしてほしい	7件
ベビーシッターを利用しやすくしてほしい	3件
預かり保育や児童ホーム入所のハードルが高いので利用しやすくしてほしい	2件
子育てサポートクラブが、近くにサポーターがおらず使えなかった。使いやすくしてほしい	2件
ファミリーサポートを使えるようにしてほしい	1件
一時預かりを小学6年生まで利用したい	1件
月齢の低い子どもの預け先がほしい	1件
長期休暇中のみの預け先がほしい	1件
急な用事が出来た時、当日でも預かってくれるようなシステムがほしい	1件
一時預かりは場所が限られたり費用がかかるので、気軽に預ける場所がほしい	1件
病児保育について	8件
病児保育の利用をしやすく、病児保育と保育所との連携をしてほしい	4件
病児保育を土日にも利用させてほしい	3件
仕事のため、病児保育や夜間休日保育など行ってほしい	1件
送迎などのサポートについて	2件
習い事などに1時間から気軽に使える子どもの送迎がほしい	1件
第2子妊娠中に医師から自身の自宅療養指示があったが、そのようなときの上の子の保育所への送迎などのサポートがほしい	1件
預け先の施設について	12件
保育所、幼稚園の建物や設備が古い、耐震が心配	9件
子どもが通っている幼稚園のトイレが古くて汚い	1件
お迎えの車のために駐車場を整備してほしい	2件
放課後について	12件
児童ホームなど放課後過ごせる場所を利用したい	3件
学童保育がせまい、古い。建物を含めた設備の見直しをしてほしい	2件
学童を増やしてほしい	1件
長期休暇中の学童保育に昼食があると助かる	1件

学童の外遊びを増やしてほしい	1件
学童の質をあげてほしい	1件
学童の民営化をしてほしい	1件
放課後の行き場や週末のイベントを増やしてほしい	1件
下校時に学童ではなく、上の子が下校するまで下の子も小学校で待っていてもいいシステムなどあれば嬉しい	1件
教育について	10件
教育の充実をしてほしい	3件
コロナ後、行事が少ない	1件
いじめの対応をしてほしい	1件
小学校を少人数クラスにしてほしい	1件
校区の見直しをもっと考えてほしい	1件
小学校の在校生が少なく、友人が少なかったり、出来る事が限られているので合併してほしい	1件
先生たちがもっと強くなって、ダメなものはダメ、決まりは決まりと叱ってほしい	1件
中学校が荒れており、どうにかしてほしい	1件
働く親への支援について	10件
サービス業などは土日祝日の保育が必要だが、預け先がなく困る	2件
事業所内保育を増やしてほしい	1件
子連れ勤務できる場を増やしてほしい	1件
保育園イベントが平日なので仕事に影響が出る	1件
小1の壁への支援、入学時はイベントも多く4月はまともに働けない	1件
女性が働きやすくなるように、職場の理解を増やしてほしい	1件
土曜日半日ではなく一日(平日と同じように)預けたい。半日、有給を消化するのが地味にきつい	1件
病弱な子ども(入退院繰り返す)のサポートがほしい、働きたくても働けない	1件
子どもの生活を優先すると、やりたい仕事に就けない	1件
子育て支援について	86件
他市のように子育て支援を充実して人口増加させてほしい	31件
保育料の補助、無償化	19件
医療費の軽減や無償化	10件
幼稚園、保育園も給食費を無料にしてほしい	5件
オムツやミルクなど育児に必要なものの支給やクーポン配布をしてほしい	4件
妊婦、子育て支援にタクシーチケット等あればありがたい	4件
医療費助成の年齢を引き上げてほしい	2件
学校でいる制服や学用品の支援、無償化	2件
保育料の日割り計算	1件
幼稚園の無償化	1件
一時預かりの料金を安くしてほしい	1件
医療費を就学後も就学前と同じように窓口で500円負担とするようにしてほしい	1件

II-1. 就学前児童調査の結果

使用済みオムツの収集を一般ごみとは別枠で無料でしてほしい	1件
インフルエンザワクチンの助成	1件
チャイルドシート助成	1件
電動自転車やヘルメットの購入費の補助	1件
登下校の通過がわかるミマモルメというサービスの導入をしてほしい	1件
地域の交流について	7件
高齢者と子どもの交流、見守りがほしい	3件
他の子育て家族と交流を増やしたい	2件
地域の子ども会活動が全然ない	1件
配偶者が単身赴任で全て自分でやらないといけないので、地域活動、PTAなどなくしてほしい	1件
支援センターなどについて	19件
子育て支援センターの取り組みの充実、使いやすくしてほしい	4件
産後ケア施設の利用回数の上限をあげていただきたいのと、1歳以上でも利用できたらとても嬉しい	2件
支援センターの利用が1時間なのは短い	2件
保健センターの方々の対応が良かった、分かりやすく話をしてくれるのでとてもありがたいと思っています	2件
いつもすこやか広場など利用し大変助かっている。これからも気軽に立ち寄れる場所であるよう、ひき続き予算をとっていただきたい。	2件
父親の育児に対する知識や理解度をあげる取り組みが市であれば助かる	1件
子育ての専門家に直接相談できる場や機会がほしい	1件
妊娠中の指導内容の充実をしてほしい	1件
ゆうゆうセンターの遊び場の先生方もとても親切、未就学児のいる家庭はとても助かっているが、最近では人員不足なのか手遊び教室の開催が減った	1件
コスモプラザでも親子教室を開催してほしい	1件
コスモプラザの駐車料金を無料にしてほしい	1件
コスモプラザ(託児室やひろば)があるので今まで育児をしてこれた	1件
多子世帯の支援について	9件
多子、多胎児家庭への支援をしてほしい	5件
多子世帯への減税や給付をしてほしい	2件
第1子が小学校に上がると2人目保育料が満額になるのが疑問に思う	1件
子どもが3人いるが、一番上が18才になったからといって、経済的負担は変わらないのに、その時点で第3子が第2子に変わるのをおかしいと感じる	1件
遊び場について	45件
自由に安心して遊べる場所を増やしてほしい	14件
室内の子どもの遊び場、施設をつくってほしい	7件
桜井市ひみっこパークのような遊び場がほしい	6件
図書館の充実、本の量が少ない、キッズスペースの整備をしてほしい	5件
子どもに関する施設の充実をしてほしい	3件
屋内プールがほしい	3件

施設が古いので新しくしてほしい	2件
プラネタリウム・科学館のような多人数の子どもが室内で遊べて学ぶことのできる施設がほしい	1件
市の下の方にも子ども用の施設がほしい	1件
スケートボードのできる場所がほしい	1件
有料であることより質の担保と濫用の抑止ができると思うので、有料で安心して遊ばせることができる施設を充実させてほしい	1件
室内遊び場を市内割引など有料化して、市内でお金を使って経済が回るようにする	1件
公園について	71件
公園を増やしてほしい	19件
公園の遊具がない、古い	15件
大型公園に駐車場がほしい	14件
赤ちゃんや小さい子を遊ばせやすい場所がほしい	5件
公園の整備をしてほしい	4件
公園の草刈りを定期的にしてほしい	4件
ボール遊び、自転車の練習ができるところがほしい	4件
公園はお年寄りが多く、高齢者のものになっているように思う	2件
公園に砂場を作してほしい	2件
公園に子どもの好きなドングリの木を植えてほしい	1件
公園などに鍵付きの授乳室がほしい	1件
地域環境について	13件
治安の改善、変質者への対応をしてほしい	2件
高田駅前に商業施設を作って明るくしてほしい	2件
歩いて行ける場所に公共施設がほしい	2件
赤ちゃんの駅で使用済オムツを捨てさせてほしい	1件
商業施設でも経済的な子育て支援が普及してもらえると助かる	1件
お年寄りに地域を見守ってほしい	1件
無料託児所付きの施設を増やしてほしい	1件
地域の環境が悪い	1件
路上喫煙が多い	1件
習い事先が近くにない	1件
道路について	71件
歩道を増やしてほしい	15件
道路が狭い	12件
道路の整備(道がガタガタなど)をしてほしい	8件
交通量が多い、危険運転の車が多い	8件
通学路を安全にしてほしい	6件
街灯を増やしてほしい	5件
空き家が多く、崩壊しそうなものもあり危ない	4件
道が悪くベビーカー移動が安全に出来ない	3件
信号を増やしてほしい	3件
自転車で安全に行けない	2件
用水路の整備、フタがない所が多い	2件

II-1. 就学前児童調査の結果

雨が降ると道路の水はけが悪く危険	1件
車イスのときがこわい	1件
スロープを増やしてほしい	1件
公共交通機関について	7件
バスの本数が少なく利用しにくい	5件
最寄り駅にエレベーターがほしい	1件
子育て世代もコミュニティバスを無料にしてほしい	1件
医療について	5件
小児科が少ない、ない	3件
医療の充実をしてほしい	1件
産婦人科が近くにない	1件
障がい児などへの支援について	11件
発達障がいの診断を受けやすくしてほしい	2件
発達障がいへの支援(保育所・学校などと行政の連携や情報提供など)	2件
発達障害の理解が増えればうれしい。延長保育はいつもの部屋と違う部屋での保育になる事で利用できないので困る	1件
私立の保育園・こども園でも加配できるようにしてほしい	1件
グレーゾーンの子どもにも加配の先生をほしい	1件
同じことを何度も伝えないといけないので、小学校に上がる際、幼稚園ともっと連携してほしい	1件
医療的ケア児だが、元気である程度できるので施設から断られ、普通の環境は医療的ケア児だからと断られ困っている	1件
不登校の子どもへの支援	1件
支援を必要としている子どもが平等に支援を受けられる環境がほしい	1件
市に対する要望(経済的支援について)	53件
ひとり親や非課税世帯以外にも平等に支援してほしい	16件
経済的支援の充実	14件
物価高騰で家計が厳しい	5件
子育て支援の充実をしてほしい	3件
ガス、水道代が高い	3件
行政の支援を手厚くしてほしい	2件
地域振興券をまた再開してほしい	2件
子育て世帯の減税をしてほしい	1件
妊娠、出産に市からの金銭的サポートがほしい	1件
未来のこどもたちのために税金を使ってほしい	1件
育児休業給付金を受け取ることが出来なかったので、代わりに給付金がほしい	1件
経済的に不安があり、支えてくれる団体(フードバンクなど)を知ること で不安軽減につながった	1件
公営住宅などを希望する	1件
ひとり親の家賃補助や支援をふやしてほしい	1件
支援があれば日々日常にととても助けになるので。活気につながるようお 願ひいたします	1件
市に対する要望(子育てについて)	20件

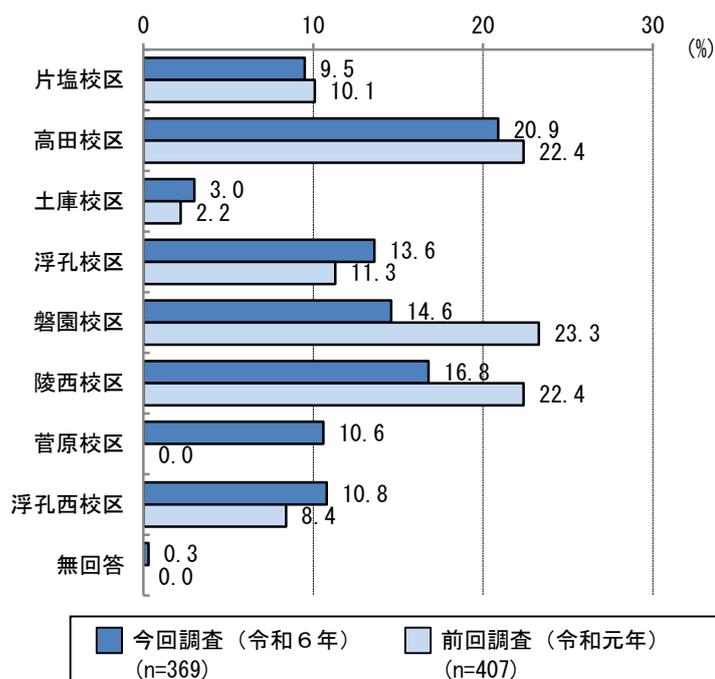
教育、いじめ対応に力を入れてほしい	4件
子供をもっと大切にしてほしい	2件
子育てを町みんなで支えられると嬉しい	2件
子どもにとって安全な街にしてほしい	2件
市役所全体で、子育てをしやすい環境について考えてほしい	1件
大和高田市在住の方が1人1人声かけや子どもを見てくれる環境にしてほしい	1件
「こども誰でも通園制度」大和高田市の進行状況を知りたい	1件
行政として子育て家庭への訪問や TEL など「関与している」姿を見せ続けてほしい	1件
本当に支援してほしい親の気持ちを理解してほしい	1件
ヘルプマークの理解の普及	1件
ヤングケアラーについての対策	1件
高田にいてよかったと思える地域にしてほしい	1件
子供達の為に手を尽くして下さっていると思います	1件
周囲に子育てを助けてくれる友人やボランティアいるので、私自身も次は誰かの助けに…と思う。こういった方があふれる大和高田を作ってほしい	1件
市に対する要望(情報などについて)	8件
市も DX の推進、各種届出の電子化をしてほしい	4件
全ての子育て世帯を平等に支援するシステムがあり、その支援の情報を全員が把握できるような広報システムがほしい	3件
他市から転入したが情報提供やサポートがほしかった	1件
アンケート調査について	14件
WEB アンケートにしてほしい(手間と費用の削減)	4件
忙しい子育て世帯に対して、アンケートが長すぎる	4件
アンケートの意見の反映をしてほしい	3件
今回のアンケートの集計を公開していただきたい	1件
アンケートの内容が、土日祝日に仕事がある人のことを考えていない	1件
アンケートの中で事業の認知を聞いたら、知らない人のために事業の説明がほしい。今後利用したいか聞かれてもわからない	1件

## II-2. 小学生調査の結果

### 1. 子どもと家族の状況

#### 〔1〕居住地

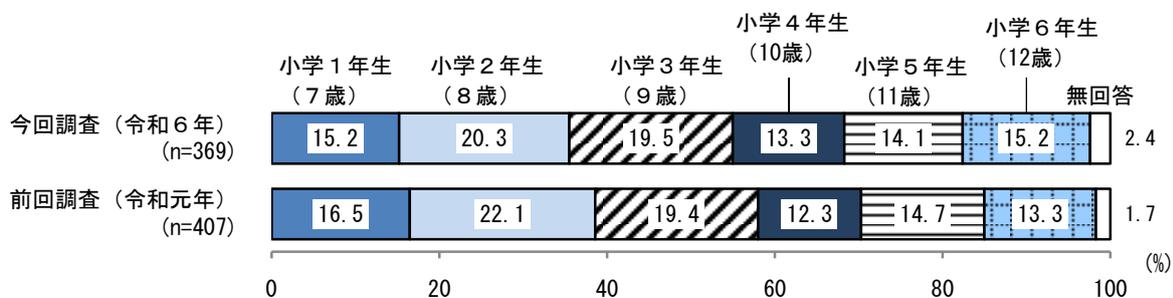
問1-1 対象のお子さんが通う小学校とお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)



回答者の居住地（小学校区）は、「高田校区」が 20.9%と最も多く、次いで、「陵西校区」が 16.8%、「磐園校区」が 14.6%となっています。

#### 〔2〕子どもの年齢

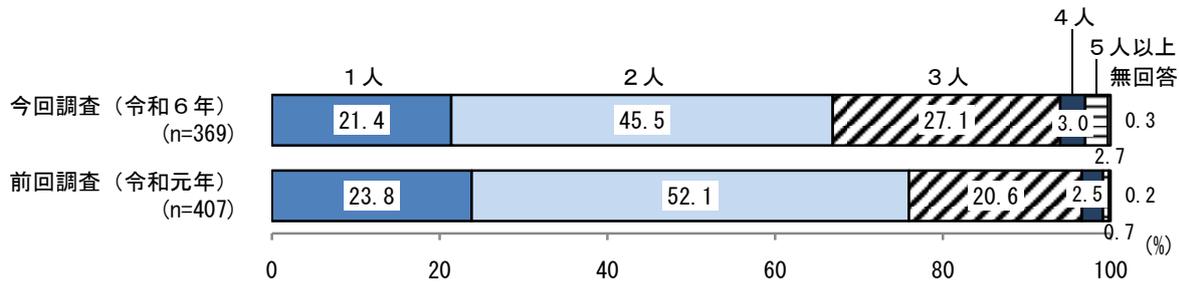
問1-2 対象のお子さんの生年月をお答えください。(口内に数字を記入)



対象の子どもの年齢（令和6年3月現在）は、「小学2年生（8歳）」が 20.3%と最も多く、次いで、「小学3年生（9歳）」が 19.5%、「小学1年生（7歳）」「小学6年生（12歳）」がそれぞれ 15.2%となっています。

〔3〕子どもの人数

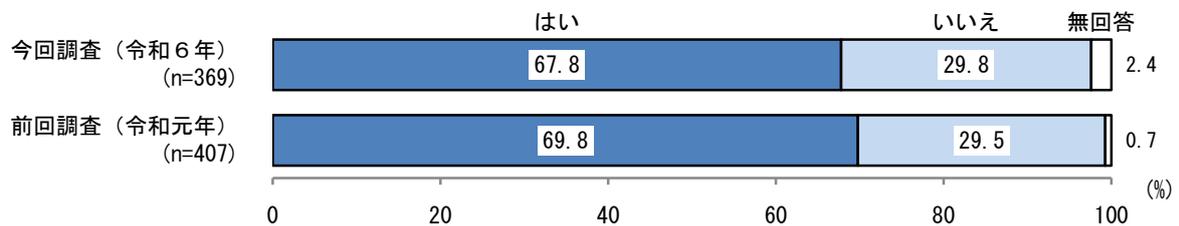
問1-3 お子さんは全員で何人ですか。(口内に数字を記入)



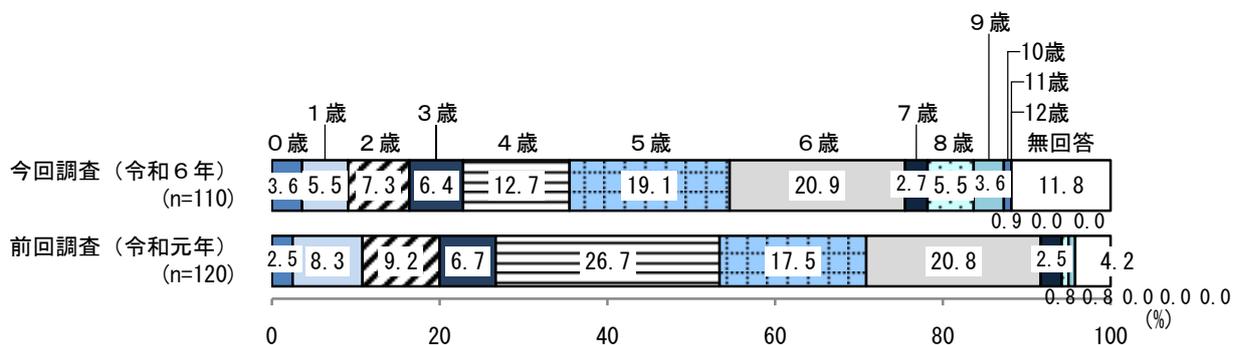
対象の子どもを含む子どもの人数は、「2人」が45.5%と最も多く、次いで、「3人」が27.1%、「1人」が21.4%となっています。

〔4〕末子について

問1-4 対象のお子さんは末子ですか。(○は1つ)  
末子でない場合は末子の生年月月についてもご記入ください。(口内に数字を記入)



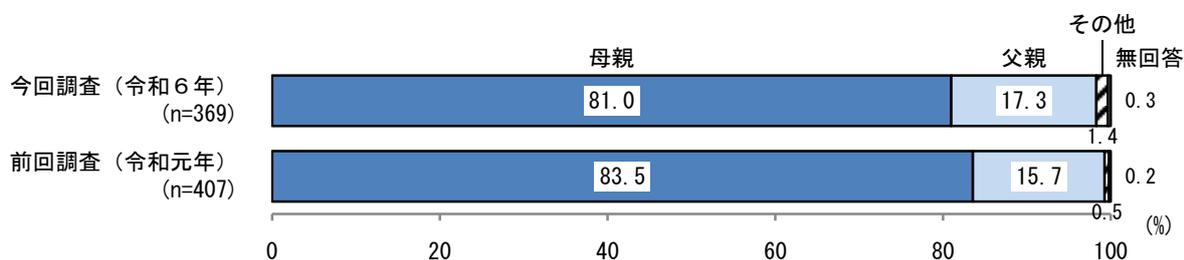
■ 末子の年齢



対象の子どもが末子（「はい」）である方は、67.8%となっています。末子でない場合の末子の年齢は、「6歳」が20.9%と最も多く、次いで、「5歳」が19.1%、「4歳」が12.7%、となっています。

〔5〕調査票の回答者

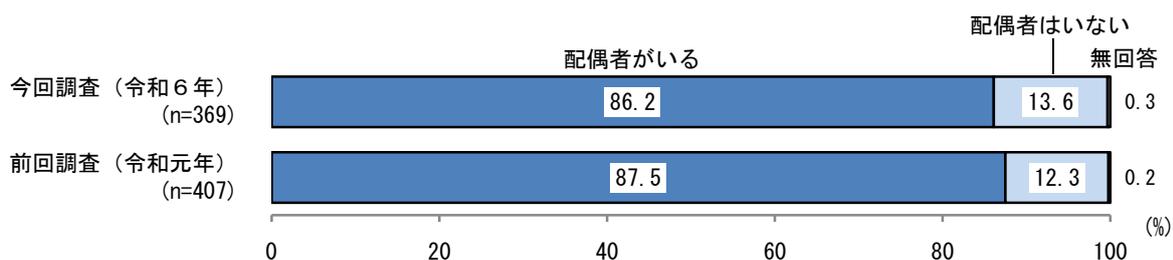
問1-5 調査票に記入いただく方はどなたですか。  
対象のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



調査票の回答者は、「母親」が81.0%、「父親」が17.3%となっています。

〔6〕回答者の配偶関係

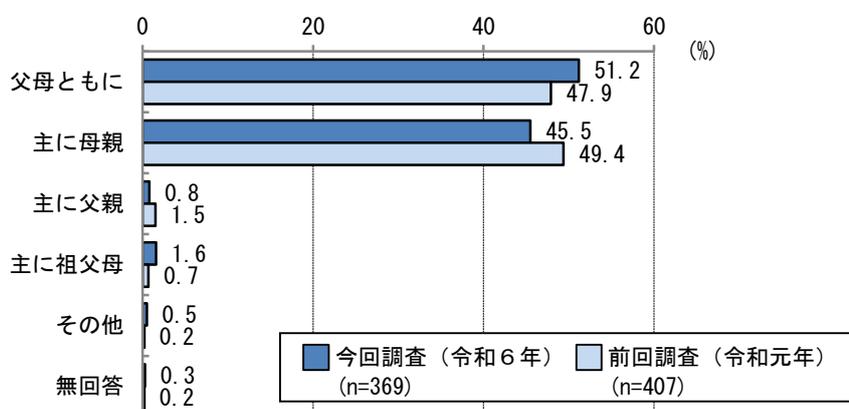
問1-6 調査票に記入いただいている方の配偶者についてお答えください。(○は1つ)



回答者の配偶者は、「いる」が86.2%、「いない」が13.6%となっています。

〔7〕子育ての主体

問1-7 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

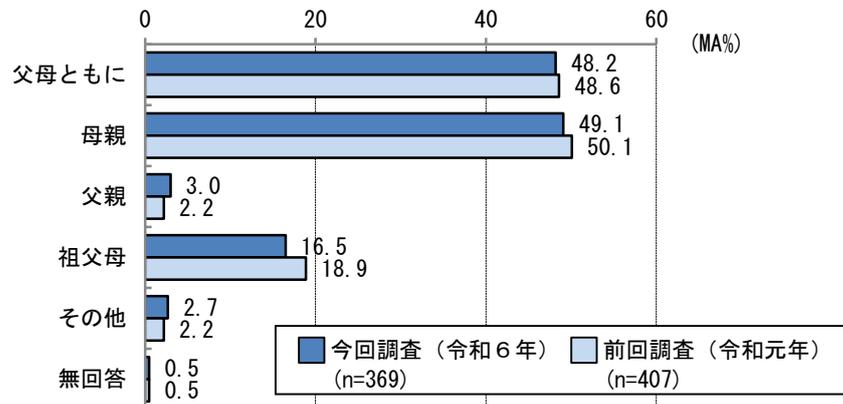


子育て(教育を含む)の主体は、「父母ともに」が51.2%と最も多く、次いで、「主に母親」が45.5%となっています。

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境

### [1]子育てに日常的にかかわっている人

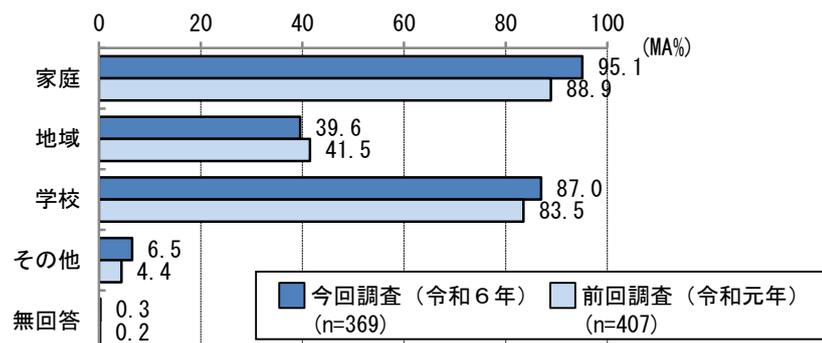
問2-1 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている方はどなた(どこ)ですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。(当てはまる全てに○)



子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている人は、「母親」が49.1%と最も多く、次いで、「父母ともに」が48.2%、「祖父母」が16.5%となっています。

### [2]子育てに影響する環境

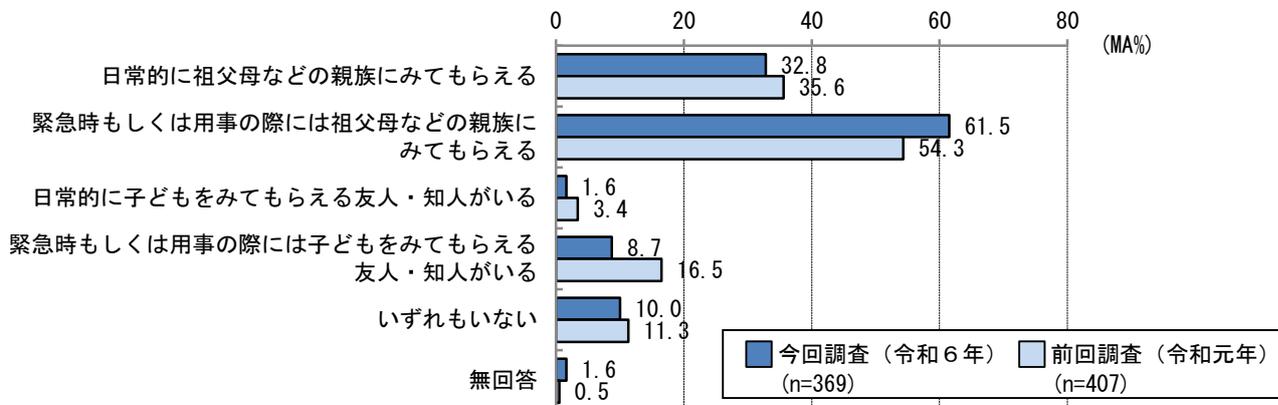
問2-2 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思う環境はどれですか。  
(当てはまる全てに○)



子育て(教育を含む)に影響すると思う環境は、「家庭」が95.1%と最も多く、次いで、「学校」が87.0%、「地域」が39.6%となっています。

[3]子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問2-3 対象のお子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。  
(当てはまる全てに○)

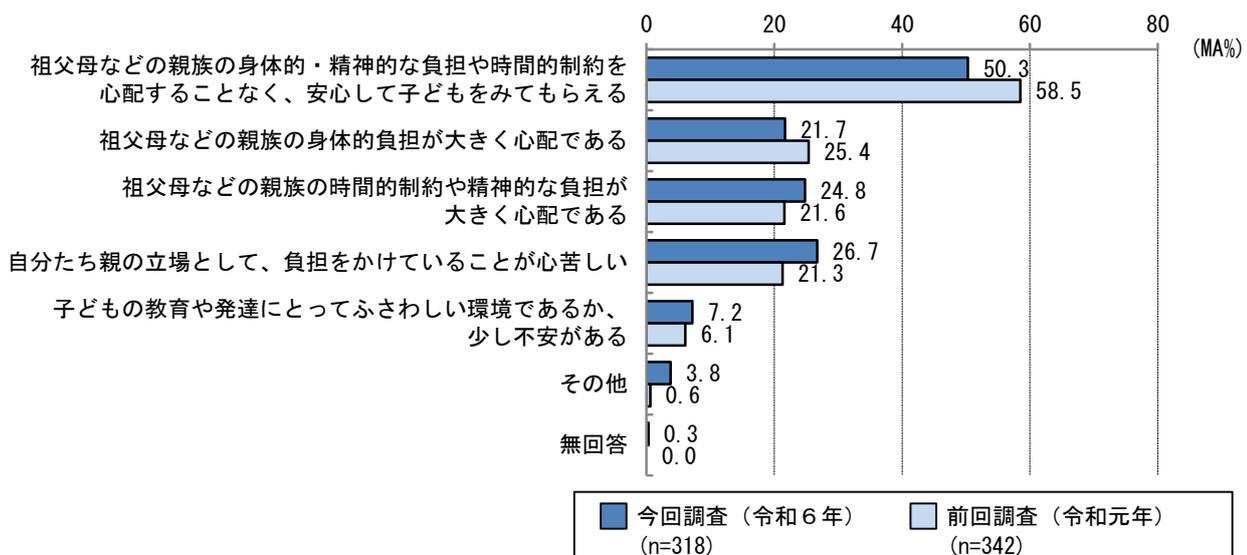


子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が61.5%と最も多く、次いで、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が32.8%となっています。

[4]祖父母などの親族に子どもをみてもらうことについて

問2-3で「1」または「2」(祖父母などにみてもらえる)に○をつけた方にうかがいます。

問2-4 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(当てはまる全てに○)

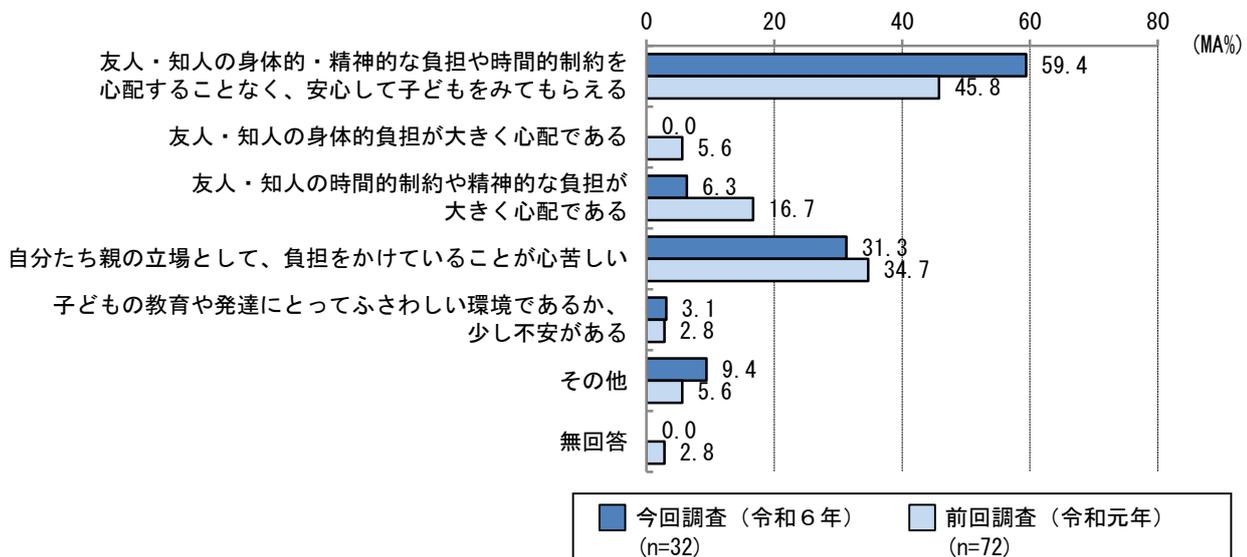


祖父母などの親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が50.3%と最も多く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.7%、「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が24.8%となっています。

〔5〕友人・知人に子どもをみてもらうことについて

問2-3で「3」または「4」(子どもをみてもらえる友人・知人がいる)に○をつけた方にかがいます。

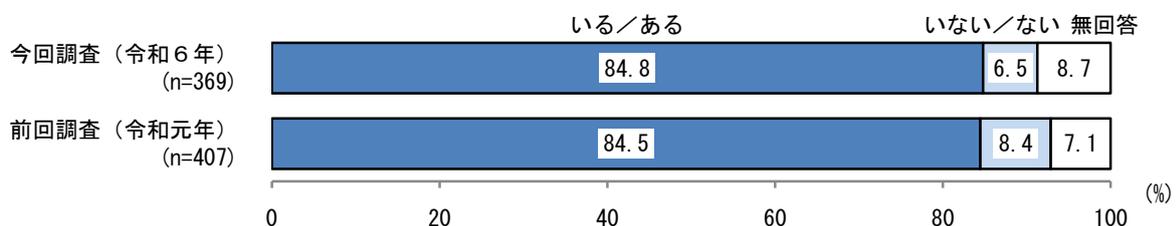
問2-5 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(当てはまる全てに○)



友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 59.4%と最も多く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 31.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 6.3%となっています。

〔6〕子育ての相談をできる人や場所

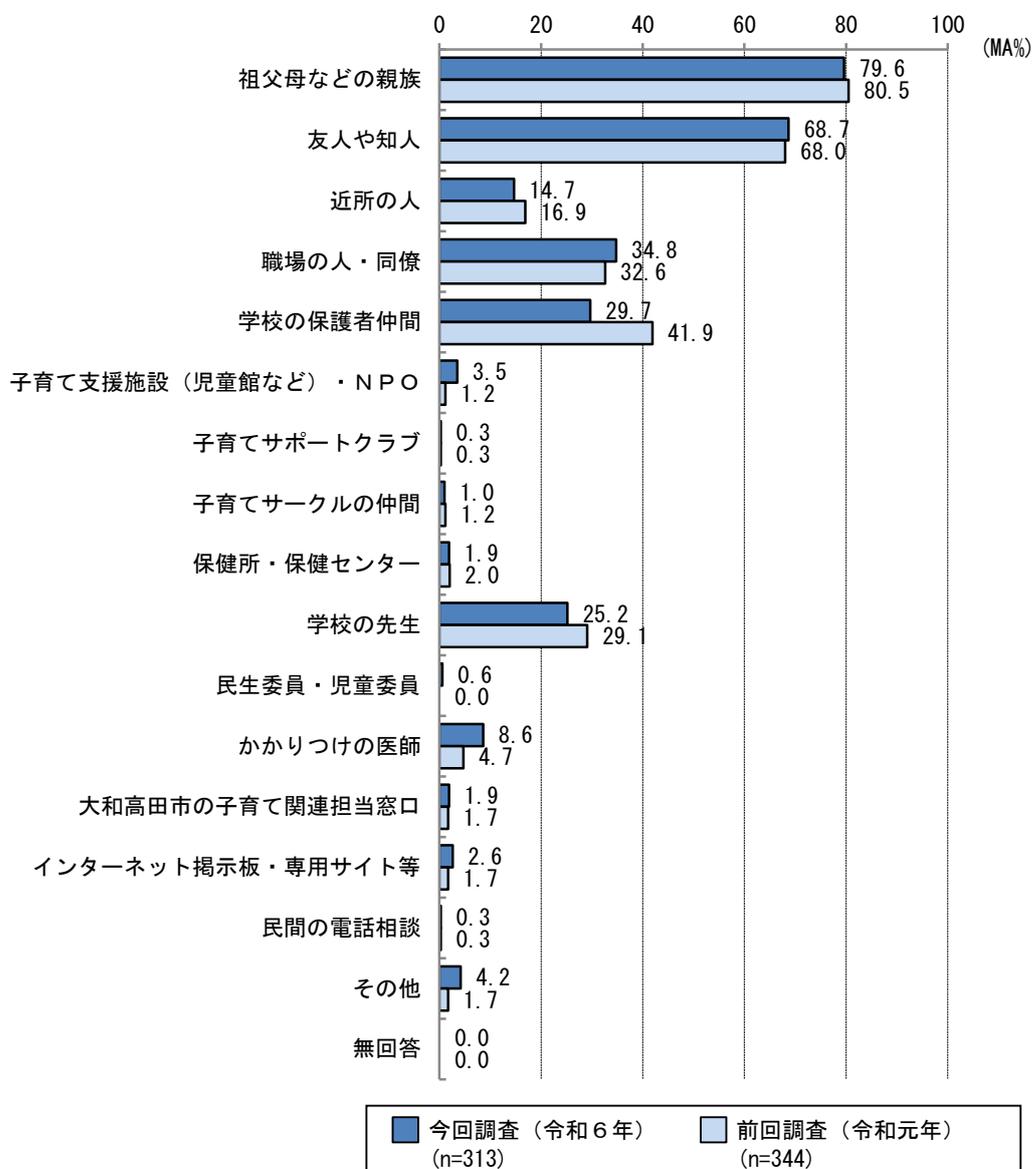
問2-6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)



子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所の有無については、「いる／ある」が 84.8%、「いない／ない」が 6.5%となっています。

問2-6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問2-7 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に関して気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(当てはまる全てに○)



子育て(教育を含む)に関して気軽に相談できる先は、「祖父母などの親族」が79.6%と最も多く、次いで、「友人や知人」が68.7%、「職場の人・同僚」が34.8%となっています。前回調査に比べて「学校の保護者仲間」が12.2ポイント減少しています。

## 〔7〕子育ての相談先がないときのサポート

問2-6で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。

問2-8 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者)から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお答えください。

相談	19件
気軽に相談したい	6件
ネット(アプリなど)をもっと活用して相談しやすくしてほしい	3件
学校カウンセラーなどに相談したい	2件
相談するときプライバシーを厳重に守ってほしい	2件
話を聞いてほしい、共感してほしい	2件
相談しても、たらい回しにされる	2件
相談しても業務的に思う	1件
子どもに障がいがあり、相談しても困惑される	1件
学校	7件
子どもが早退するときのお迎えサポートがほしい	1件
高学年を気軽に預けられる施設がほしい	1件
緊急時の預け先がほしい	1件
要支援と思われる子どもの補助(他の子どもが叩かれたりしている)	1件
学校での保護者の交流(コロナで減った)	1件
中学受験のアドバイスがほしい	1件
不登校への対応	1件
その他	3件
音楽にふれる機会を増やす	1件
学校や市長からの発信を増やしてほしい	1件
市で子育て家庭をまわってほしい	1件

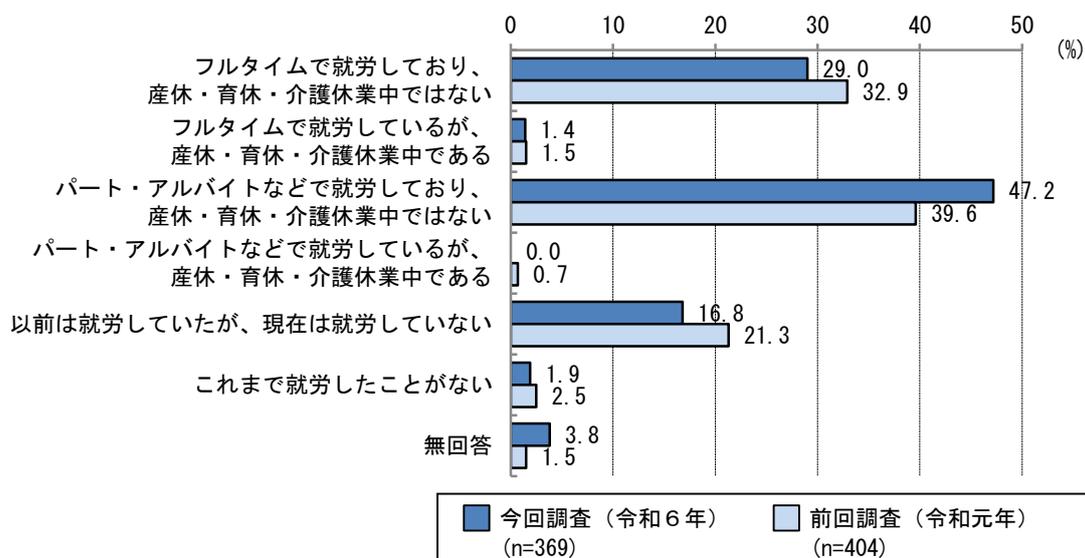
### 3. 保護者の就労状況

#### [1] 母親の就労状況

**問3-1** 対象のお子さんの「母親」の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(○は1つ)

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイトなど:フルタイム以外の就労

※父子家庭の場合は記入は不要



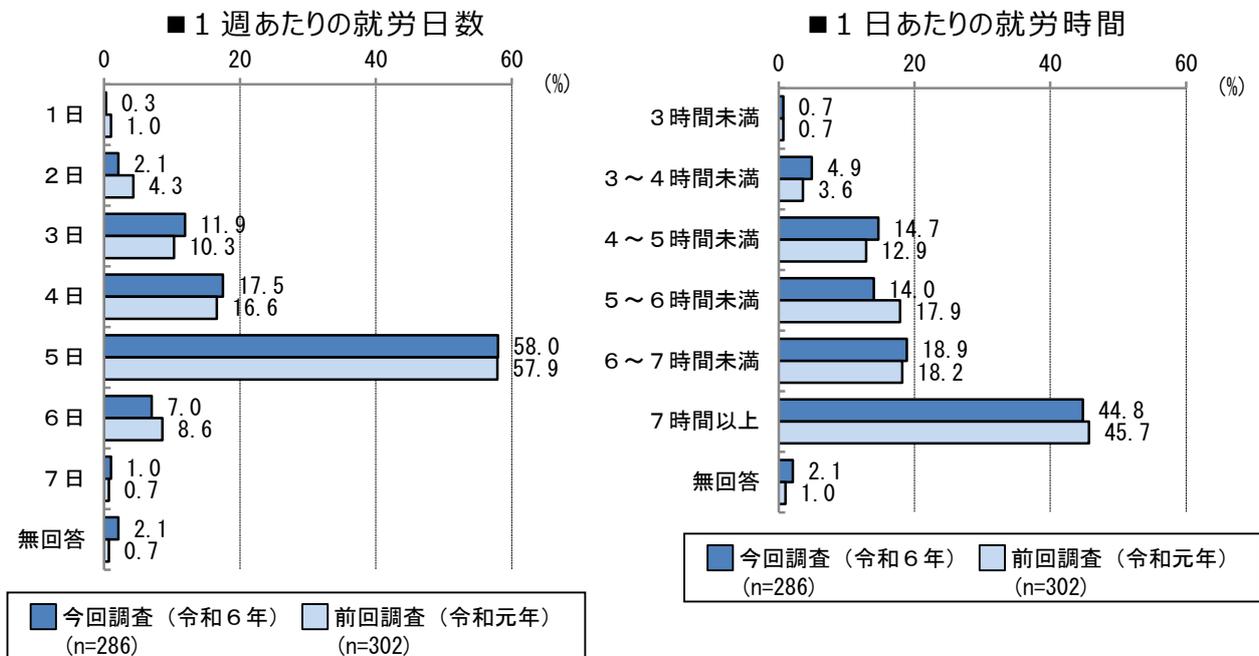
母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.2%と最も多く、次いで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.8%となっています。前回調査に比べて「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が7.6ポイント増加しています。

問3-1で「1」～「4」(就労している)のいずれかに○をつけられた方にかがいます。

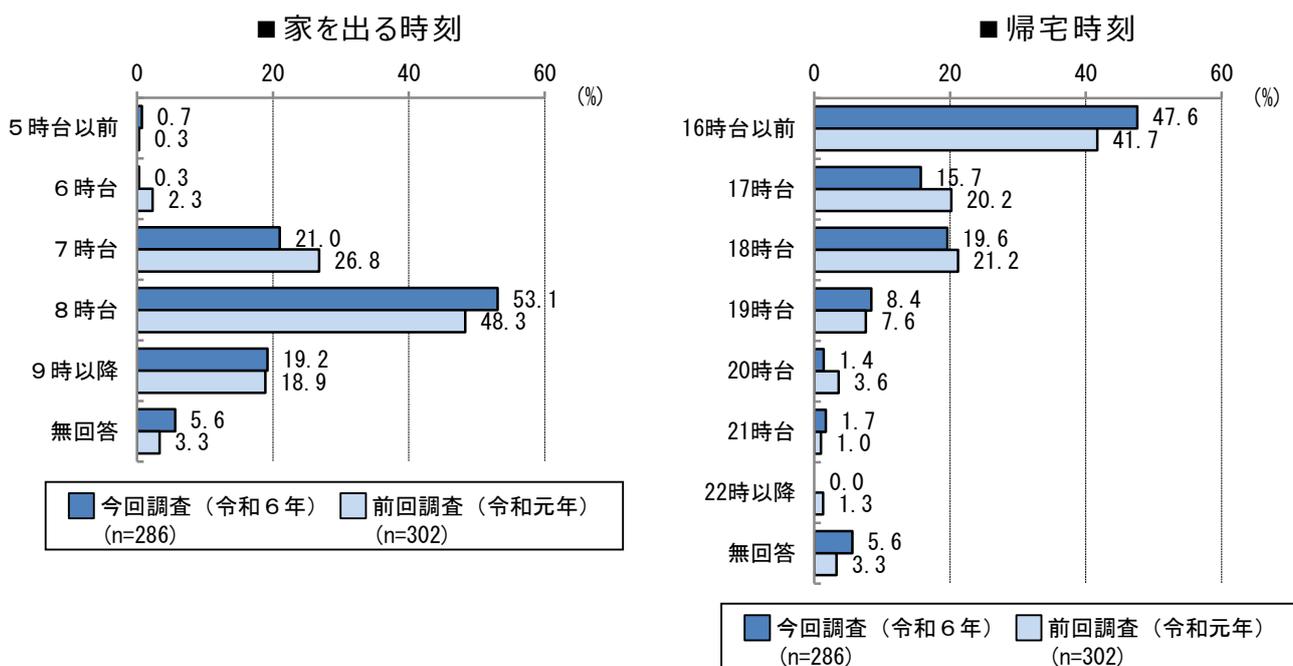
問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。  
(□内に数字を記入、時間は24時間制、10分単位)

※就労日数・時間、時刻が一定でない場合は、一番多いパターンについて記入してください

※産休・育休・介護休業を取得中の方は、取得前の状況について記入してください



「就労している」母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が58.0%と最も多く、1日あたりの就労時間は、「7時間以上」が44.8%と最も多くなっています。



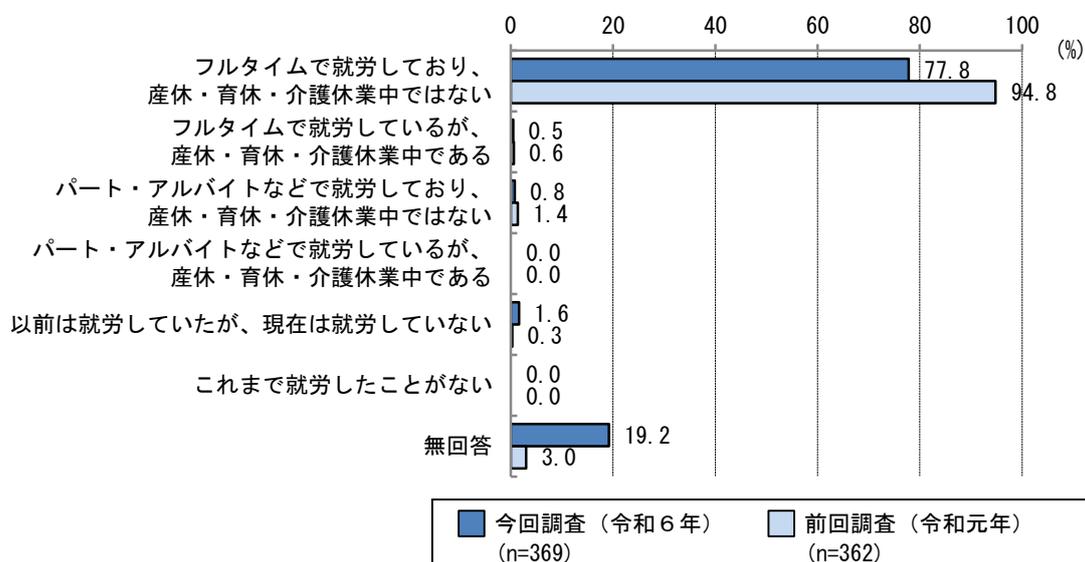
「就労している」母親の家を出る時刻は、「8時台」が53.1%と最も多く、帰宅時刻は、「16時台以前」が47.6%と最も多くなっています。

Ⅱ-2. 小学生調査の結果

〔2〕父親の就労状況

問3-1 対象のお子さんの「父親」の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(○は1つ)

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイトなど:フルタイム以外の就労  
 ※母子家庭の場合は記入は不要



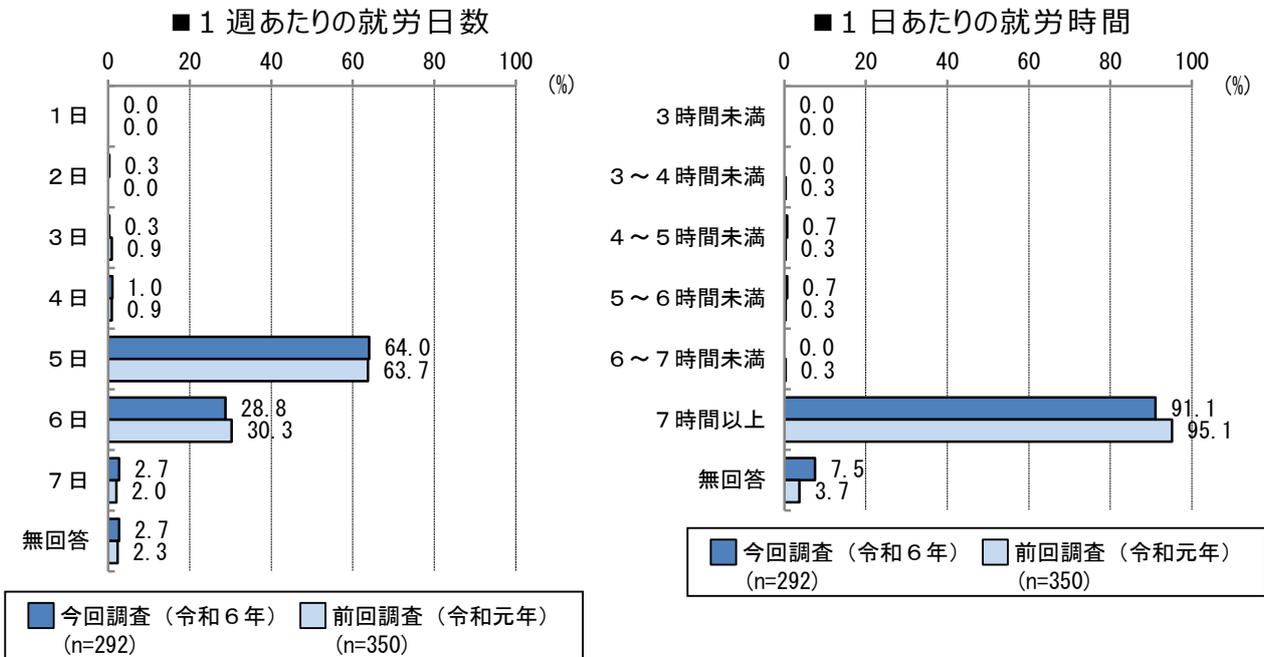
父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が77.8%と最も多くなっています。

問3-1で「1」～「4」(就労している)のいずれかに○をつけられた方にかがいます。

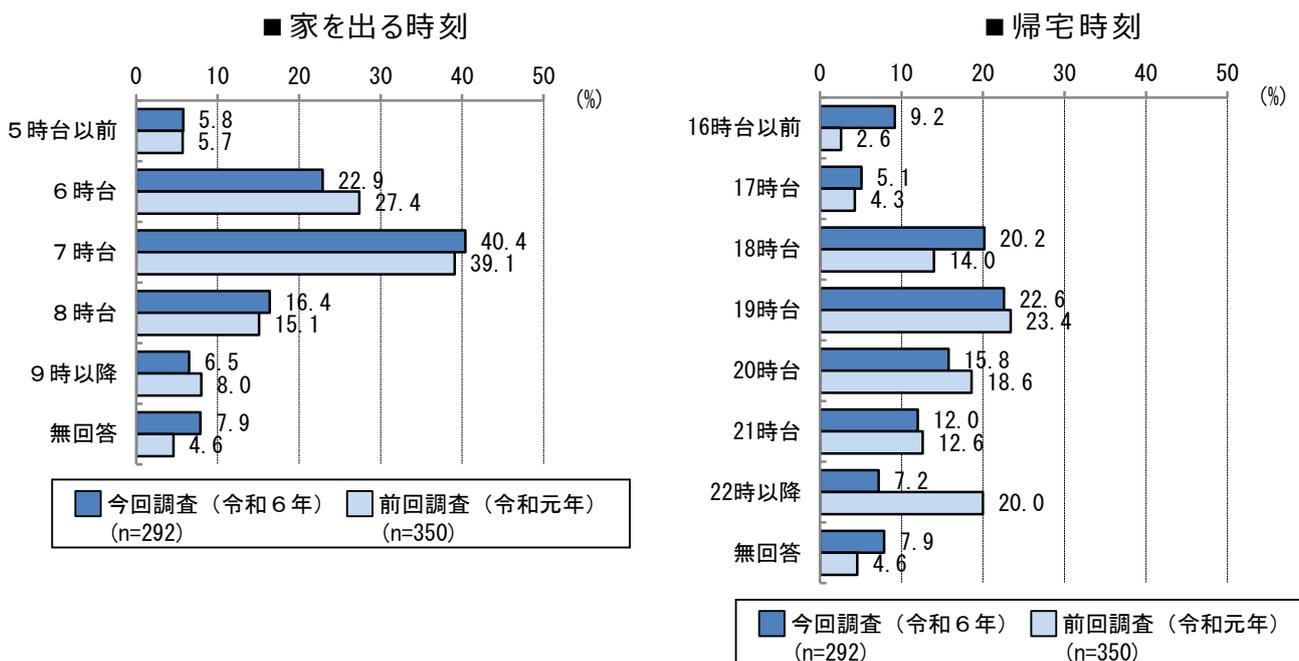
問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。  
(□内に数字を記入、時間は24時間制、10分単位)

※就労日数・時間、時刻が一定でない場合は、一番多いパターンについて記入してください

※産休・育休・介護休業を取得中の方は、取得前の状況について記入してください



「就労している」父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が64.0%と最も多く、就労時間は、「7時間以上」が91.1%と最も多くなっています。



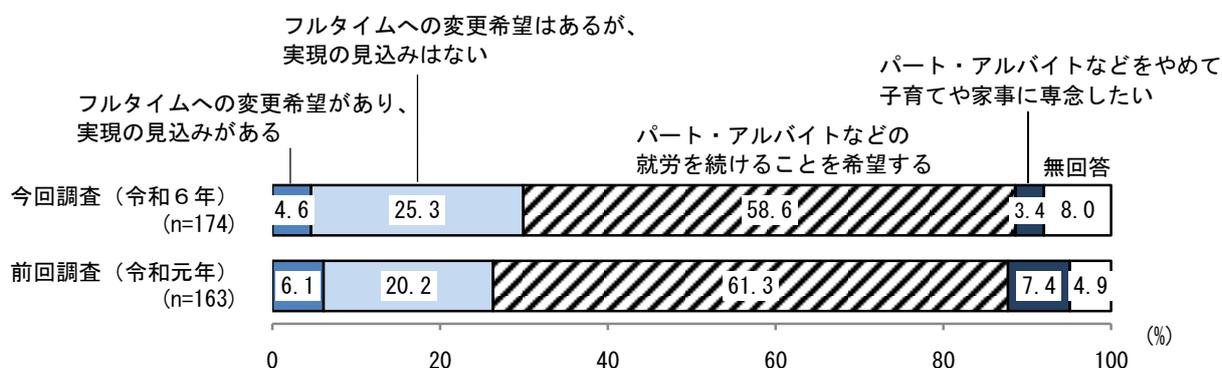
「就労している」父親の家を出る時刻は、「7時台」が40.4%と最も多く、帰宅時刻は、「19時台」が22.6%と最も多くなっています。

[3]フルタイムへの変更希望の有無

問3-1で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にかがいます。

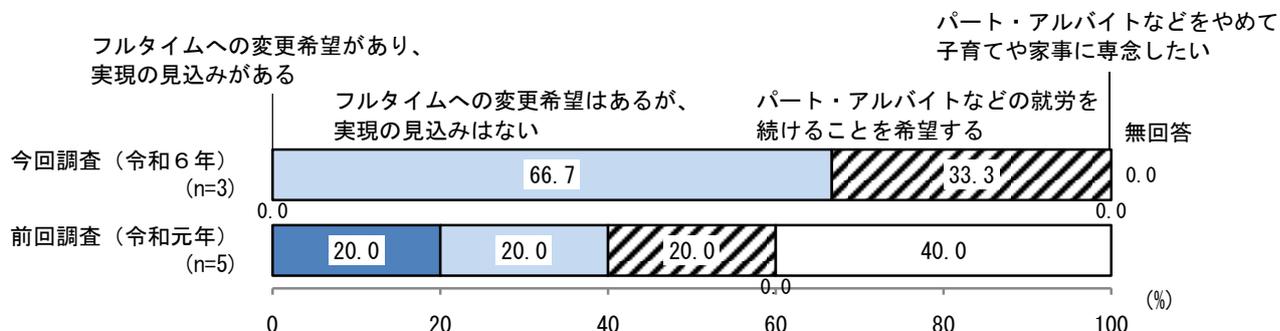
問3-3 フルタイムへの変更の希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親



「パート・アルバイトなどで就労している」母親のフルタイムへの変更の希望は、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する」が 58.6%と最も多く、次いで、「フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない」が 25.3%、「フルタイムへの変更希望があり、実現の見込みがある」が 4.6%となっています。

(2) 父親



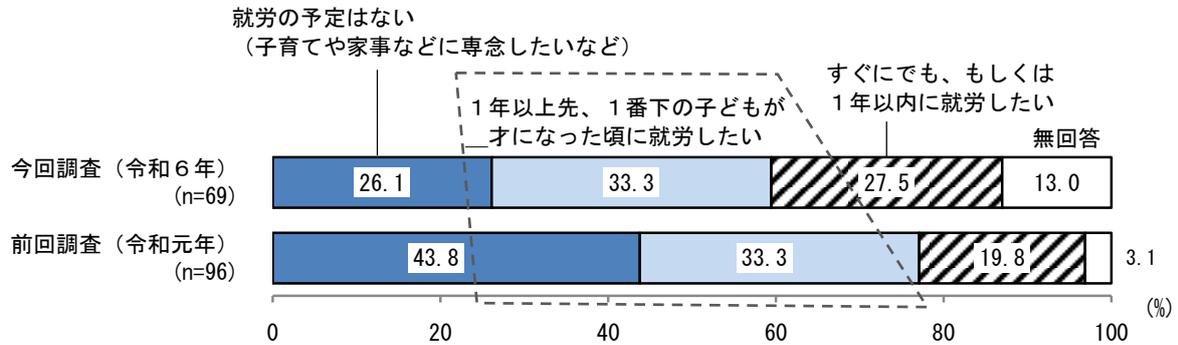
「パート・アルバイトなどで就労している」父親のフルタイムへの変更の希望は、「フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない」が 66.7%と最も多く、次いで、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する」が 33.3%となっています。

[4] 母親の就労希望の有無

問3-1で「5」または「6」(就労していない、就労したことがない)に○をつけた方にかがいます。

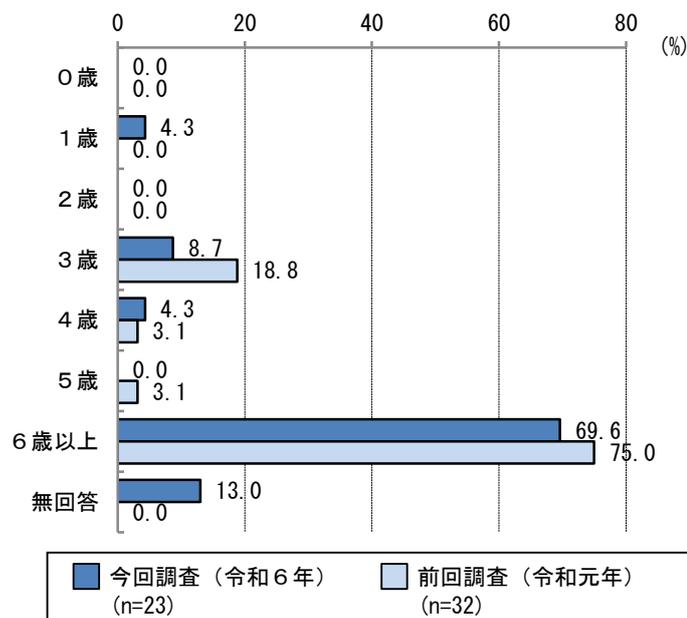
問3-4 就労したいという希望はありますか。(○は1つ、口内に数字を記入)

■ 就労の希望



1年より先に就労したいとお答えの方のみ

■ 就労を考える子どもの年齢



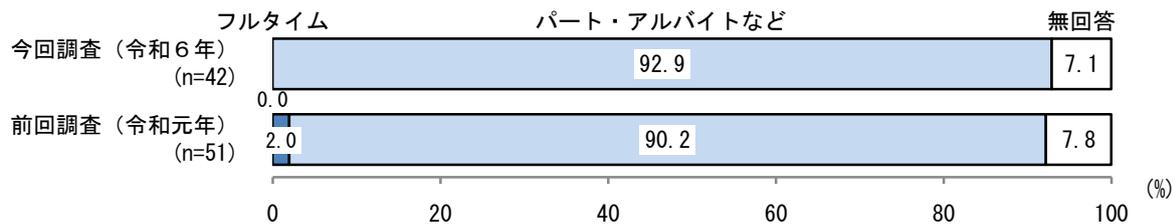
「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」母親に就労の希望をたずねたところ、「1年以上先、1番下の子どもが\_\_才になった頃に就労したい」が33.3%と最も多く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が27.5%、「就労の予定はない(子育てや家事などに専念したいなど)」が26.1%となっています。

「1年以上先」に就労を考える母親の子どもの年齢は、「6歳以上」が69.6%と最も多くなっています。

## II-2. 小学生調査の結果

### 「就労したい」とお答えの方のみ

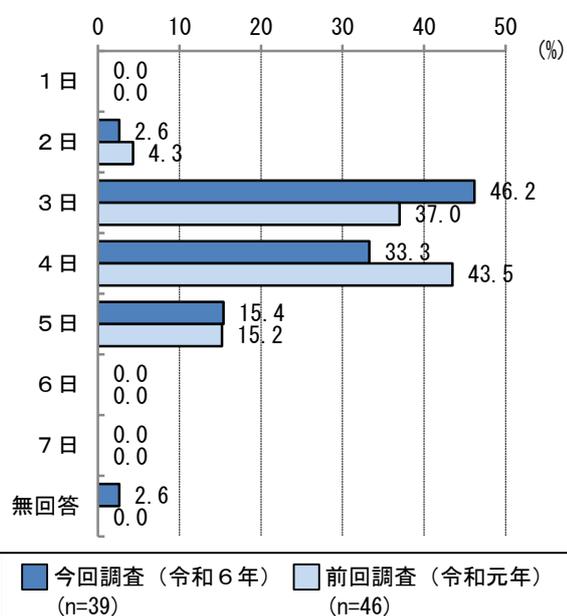
#### ■ 希望する就労形態



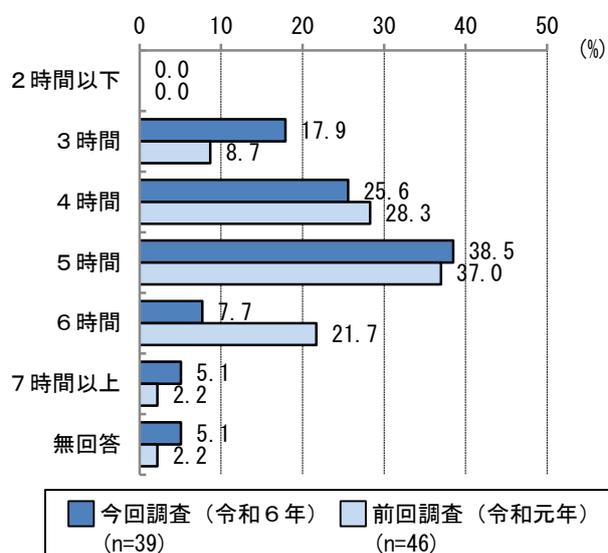
「就労したい」母親の希望する就労形態は、「パート・アルバイトなど」が 92.9%となっています。

### 「パート・アルバイトなど」で就労したい方のみ

#### ■ 希望する1週あたりの就労日数



#### ■ 希望する1日あたりの就労時間



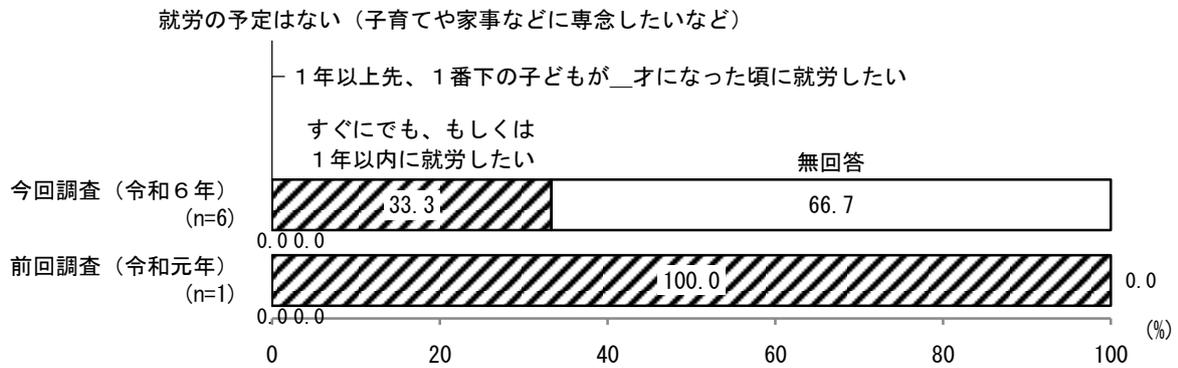
「就労したい」母親の希望する1週あたりの就労日数は、「3日」が 46.2%と最も多く、次いで、「4日」が 33.3%、「5日」が 15.4%となっています。希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が 38.5%と最も多く、次いで、「4時間」が 25.6%、「3時間」が 17.9%となっています。

[5]父親の就労希望の有無

問3-1で「5」または「6」(就労していない、就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。

問3-4 就労したいという希望はありますか。(○は1つ、口内に数字を記入)

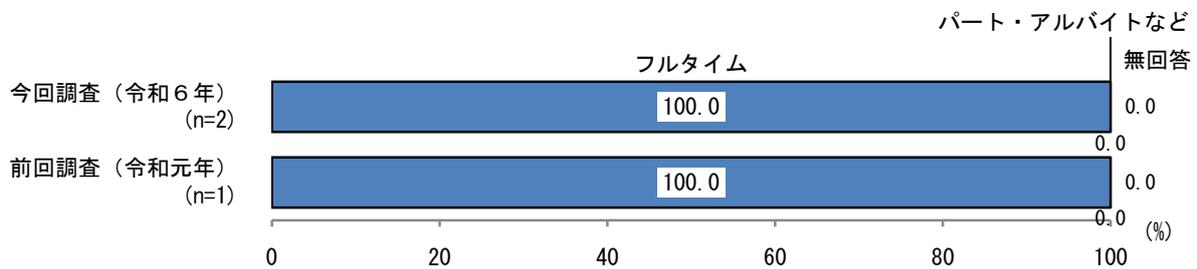
■ 就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」父親の就労の希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が33.3%となっています。

「就労したい」とお答えの方のみ

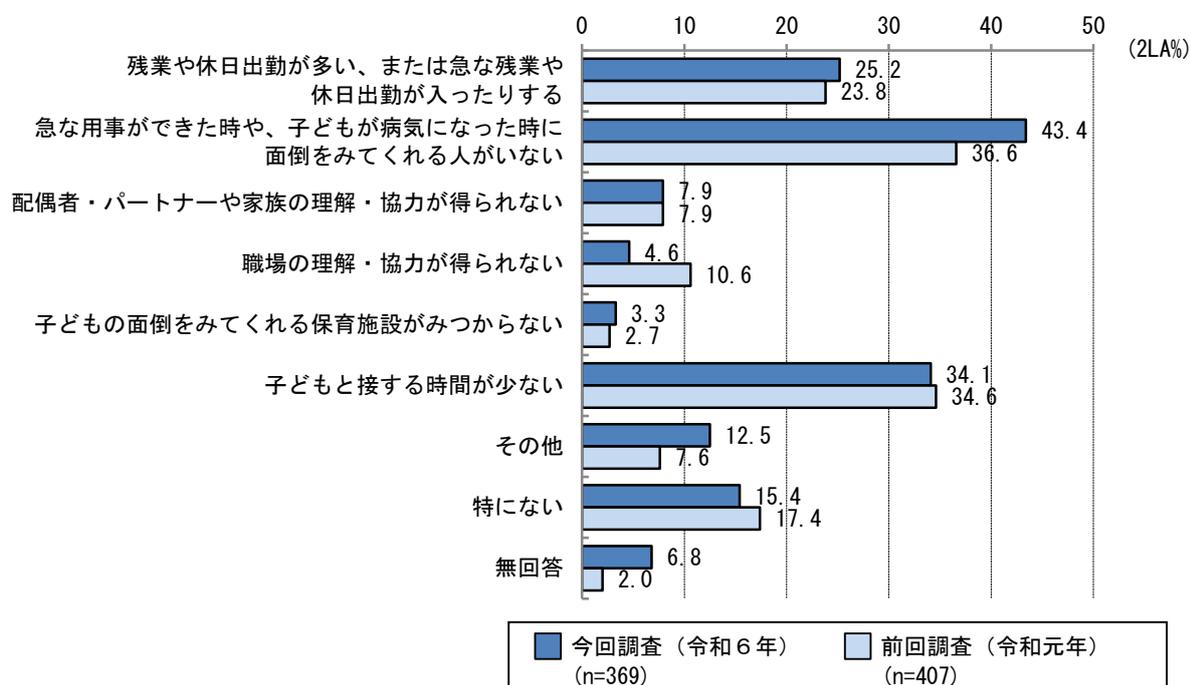
■ 希望する就労形態



「就労したい」父親の希望する就労形態は、「フルタイム」が2人(100.0%)となっています。

[6]子育てと仕事の両立で大変なこと

問3-5 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。  
(○は2つまで)



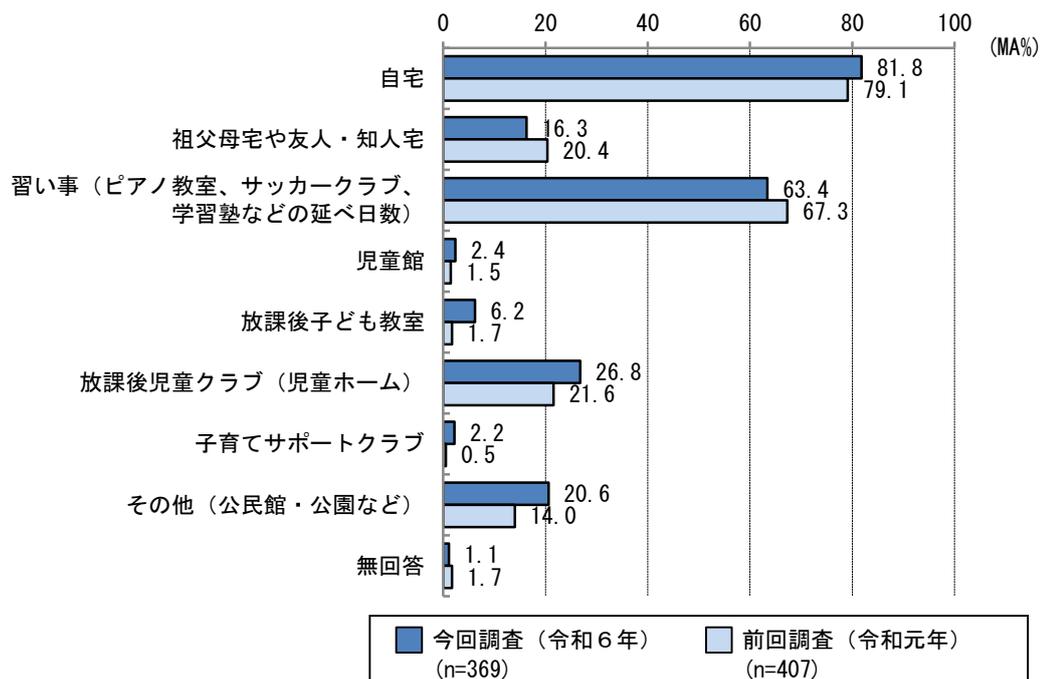
子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることは、「急な用事ができた時や、子どもが病気になった時に面倒をみてくれる人がいない」が43.4%と最も多く、次いで、「子どもと接する時間が少ない」が34.1%、「残業や休日出勤が多い、または急な残業や休日出勤が入ったりする」が25.2%となっています。前回調査に比べて「急な用事ができた時や、子どもが病気になった時に面倒をみてくれる人がいない」が6.8ポイント増加しています。

## 4. 放課後の過ごし方

### [1]放課後の過ごし方

**問4-1** 対象のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、希望としては、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。(当てはまる全てに○、それぞれの週当たりの日数を□内に数字で記入。放課後児童クラブを選んだ場合は時間帯も記入(24時間制、10分単位))

#### (1) 現在の放課後の過ごし方



- ※放課後こども教室…地域の方の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらずすべての小学生が利用できます。
- ※放課後児童クラブ…大和高田市では、「児童ホーム」と呼んでいます。保護者が就労等により、昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと子どもの生活の場を提供しています。利用にあたっては、利用料がかかります。

放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所は、「自宅」が81.8%と最も多く、次いで、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)」が63.4%、「放課後児童クラブ(児童ホーム)」が26.8%となっています。

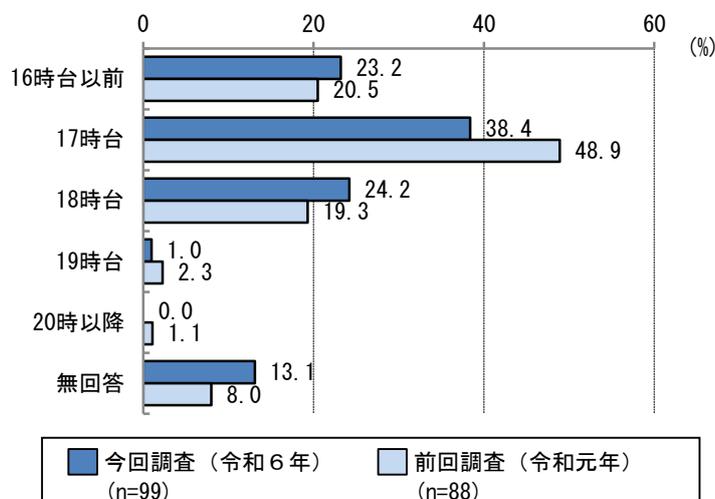
## II-2. 小学生調査の結果

### ■それぞれの場所で過ごす 1 週あたりの日数

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	302	10.6	14.6	13.6	7.6	<b>43.0</b>	0.3	7.0	3.3	3.90
祖父母宅や友人・知人宅	60	<b>38.3</b>	20.0	21.7	1.7	10.0	0	1.7	6.7	2.27
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)	234	18.4	<b>32.5</b>	20.5	11.5	6.0	3.0	1.3	6.8	2.66
児童館	9	<b>55.6</b>	11.1	0	11.1	0	0	0	22.2	1.57
放課後子ども教室	23	4.3	<b>8.7</b>	4.3	4.3	0	0	0	78.3	2.40
放課後児童クラブ(児童ホーム)	99	2.0	7.1	9.1	21.2	<b>49.5</b>	2.0	0	9.1	4.27
子育てサポートクラブ	8	0	<b>25.0</b>	0	12.5	12.5	0	0	50.0	3.25
その他(公民館・公園など)	76	<b>30.3</b>	28.9	7.9	7.9	7.9	2.6	0	14.5	2.32

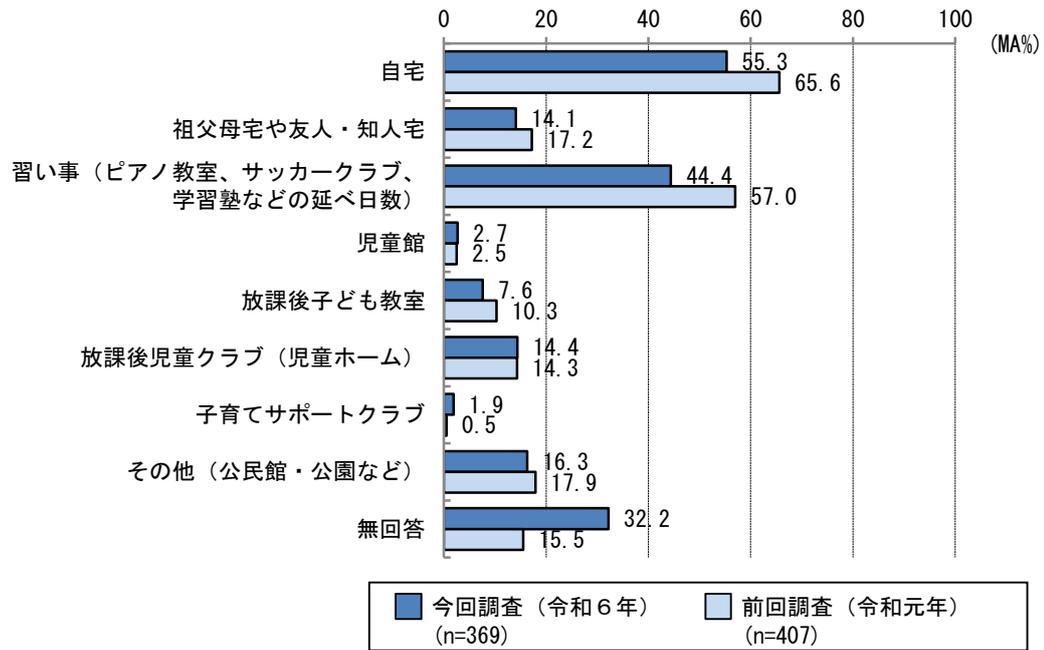
それぞれの場所で過ごす 1 週あたりの日数は、「自宅」「放課後児童クラブ(児童ホーム)」が「5日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)」が「2日」となっています。

### ■放課後児童クラブ(児童ホーム)の終了時間



放課後の過ごし方で「放課後児童クラブ(児童ホーム)」とお答えの方の終了時間は、「17時台」が38.4%と最も多く、次いで、「18時台」が24.2%、「16時台」が23.2%となっています。

(2) 希望する放課後の過ごし方



放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が 55.3%と最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数）」が 44.4%となっています。

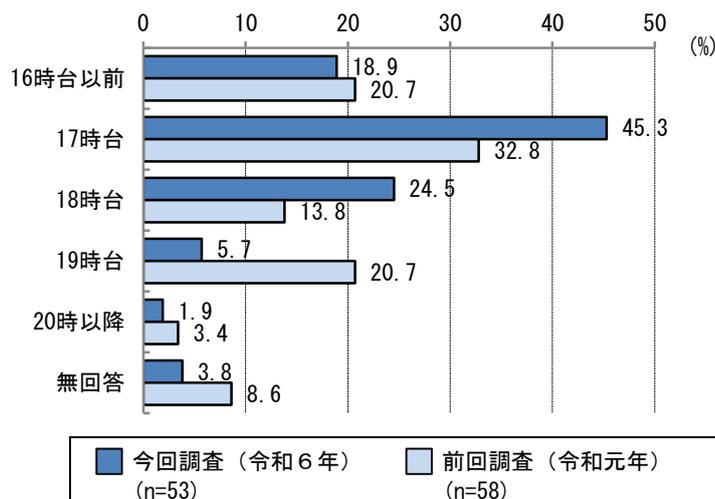
■それぞれの場所で過ごさせたい1週あたりの日数

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均(日)
自宅	204	9.3	18.1	20.1	6.9	<b>39.7</b>	1.0	4.9	0	3.72
祖父母宅や友人・知人宅	52	<b>53.8</b>	26.9	7.7	0	9.6	0	1.9	0	1.92
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)	164	17.1	<b>39.6</b>	23.8	10.4	7.3	1.2	0.6	0	2.57
児童館	10	<b>80.0</b>	10.0	0	10.0	0	0	0	0	1.40
放課後子ども教室	28	<b>39.3</b>	35.7	14.3	3.6	7.1	0	0	0	2.04
放課後児童クラブ(児童ホーム)	53	0	9.4	26.4	17.0	<b>41.5</b>	5.7	0	0	4.08
子育てサポートクラブ	7	<b>57.1</b>	28.6	14.3	0	0	0	0	0	1.57
その他(公民館・公園など)	60	33.3	<b>35.0</b>	18.3	6.7	5.0	0	1.7	0	2.22

それぞれの場所で過ごさせたい1週あたりの日数は、「自宅」「放課後児童クラブ（児童ホーム）」が「5日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数）」が「2日」、「児童館」「子育てサポートクラブ」「祖父母宅や友人・知人宅」で「1日」が多くなっています。

## II-2. 小学生調査の結果

### ■放課後児童クラブ（児童ホーム）の希望終了時間

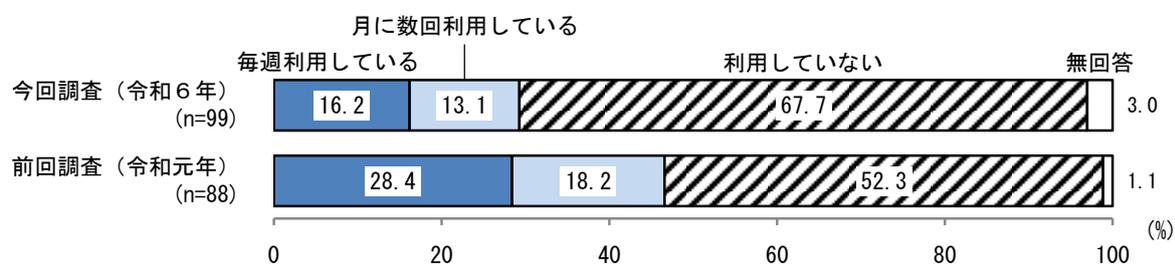


放課後に過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ（児童ホーム）」とお答えの方の希望終了時間は、「17時台」が45.3%と最も多く、次いで、「18時台」が24.5%、「16時台」が18.9%となっています。

### 〔2〕土曜日の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用の有無

現在、放課後児童クラブ（児童ホーム）を利用している方にかがいます。

問4-2 土曜日に放課後児童クラブ（児童ホーム）を利用していますか。（○は1つ）

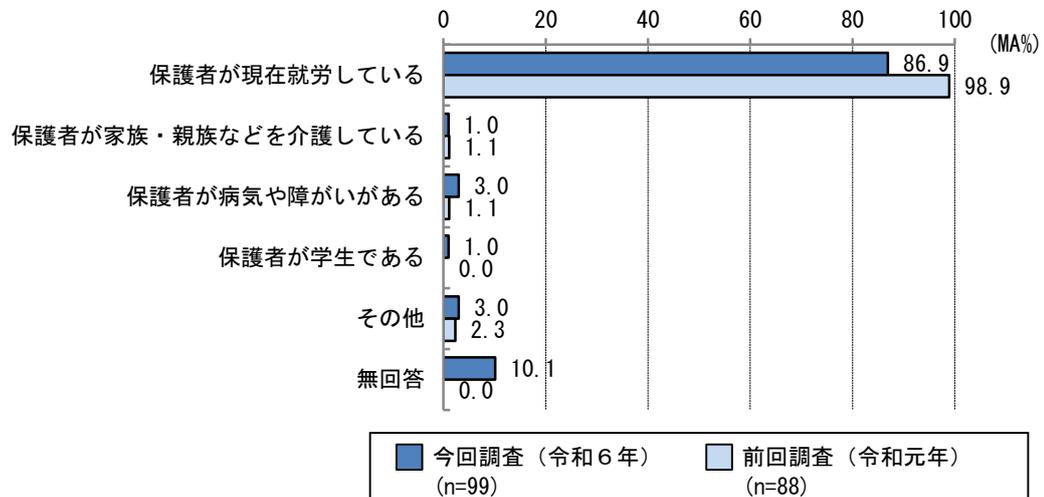


土曜日の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用については、「毎週利用している」（16.2%）と「月に数回利用している」（13.1%）を合わせた『利用している』が29.3%となっています。前回調査に比べて『利用している』は17.3ポイント減少しています。

〔3〕放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用している理由

現在、放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用している方にうかがいます。

問4-3 放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用している理由をお答えください。(当てはまる全てに○)

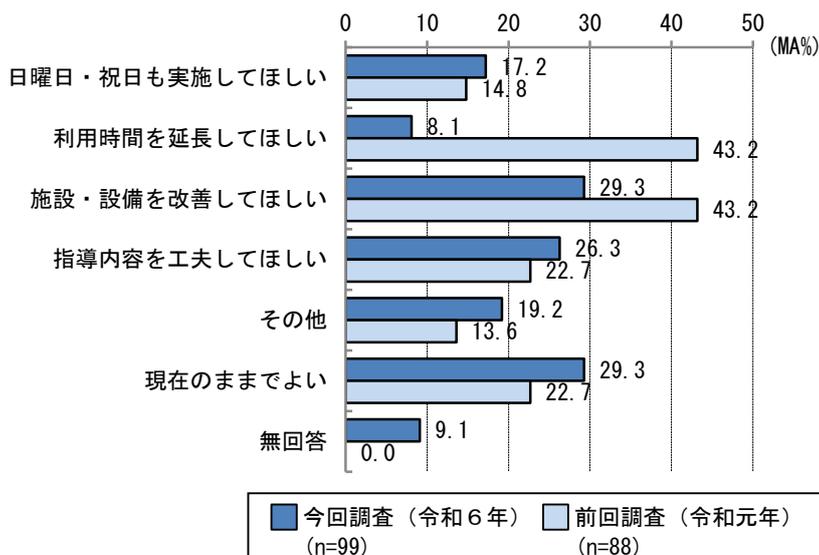


放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用している理由は、「保護者が現在就労している」が86.9%と最も多くなっています。

〔4〕放課後児童クラブ(児童ホーム)への希望

現在、放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用している方にうかがいます。

問4-4 現在利用している放課後児童クラブ(児童ホーム)についてどのように感じておられますか。(当てはまる全てに○)



【その他の希望】

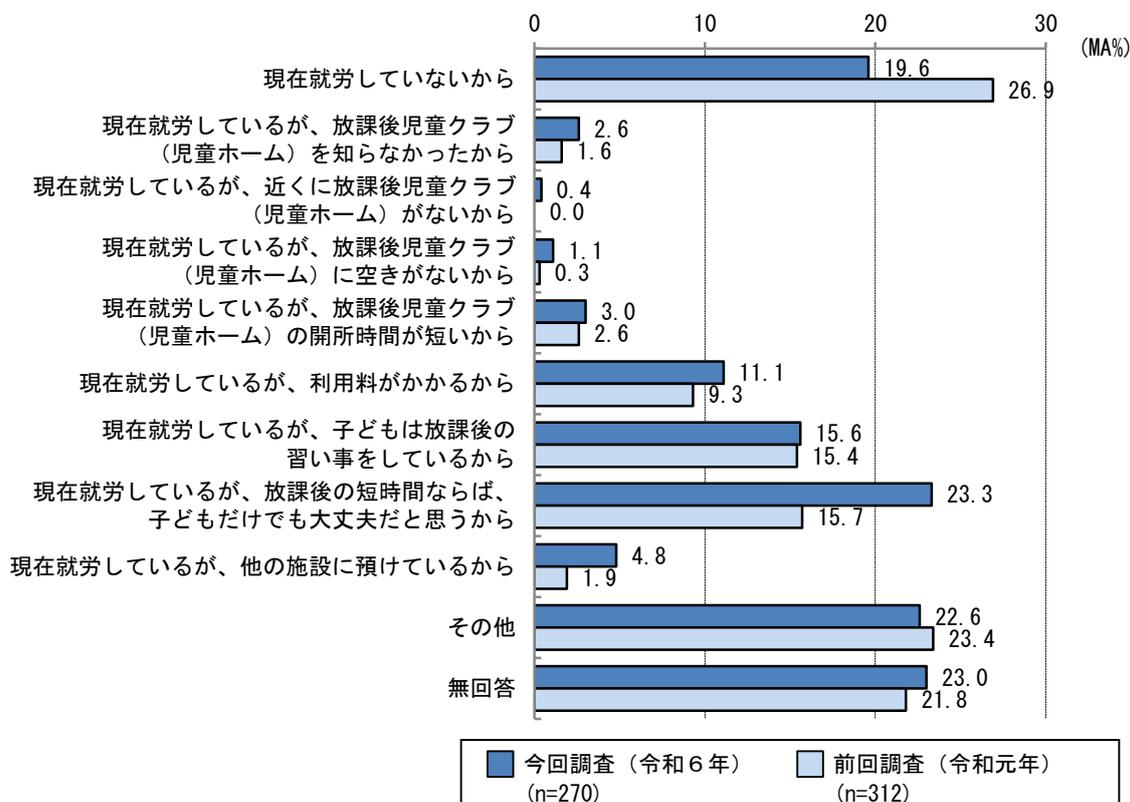
- (回答 19 件中) ※複数回答あり
- ・スタッフの質の向上 (7 件)
  - ・給食 (3 件)
  - ・外遊びがない (2 件)
  - ・長期休暇のみの利用をしたい (2 件)
  - ・お盆、年末年始も開催 (2 件)
  - ・利用料の日割り計算 (2 件)
  - ・幼稚園でなく、小学校内で指導 (1 件)
  - ・体育館を使用してほしい (1 件)
  - ・学習時間を長くしてほしい (1 件)
  - ・図書やおもちゃが古い (1 件)
  - ・見せるテレビで教育的に良くないテレビ番組はやめてほしい (1 件)
  - ・時間の延長を週で決めたい (1 件)
  - ・きょうだいのうち一人だけみてほしい場合がある (1 件)

放課後児童クラブ(児童ホーム)へ希望することは、「施設・設備を改善してほしい」が29.3%と最も多く、次いで、「指導内容を工夫してほしい」が26.3%、「日曜日・祝日も実施してほしい」が17.2%となっています。前回調査に比べて「利用時間を延長してほしい」が35.1ポイント減少しています。

〔5〕放課後児童クラブを利用していない理由

現在、放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用していない方にうかがいます。

問4-5 放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用していない理由をお答えください。(当てはまる全てに○)



放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用していない理由は、「現在就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が23.3%と最も多く、次いで、「現在就労していないから」が19.6%、「現在就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が15.6%となっています。

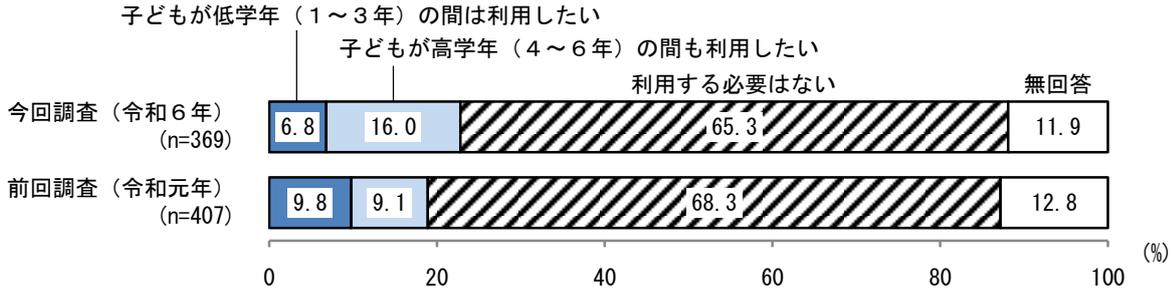
[6]学校休業日の放課後児童クラブ(児童ホーム)の利用希望

すべての方にうかがいます。

問4-6 放課後児童クラブ(児童ホーム)を現在利用している、していないにかかわらず、今後、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中(夏休み・冬休み・春休み)について、利用希望はありますか。(それぞれについて○は1つ、利用したい場合は希望する時間帯を□内に数字で記入)

※事業の利用には利用料が必要です

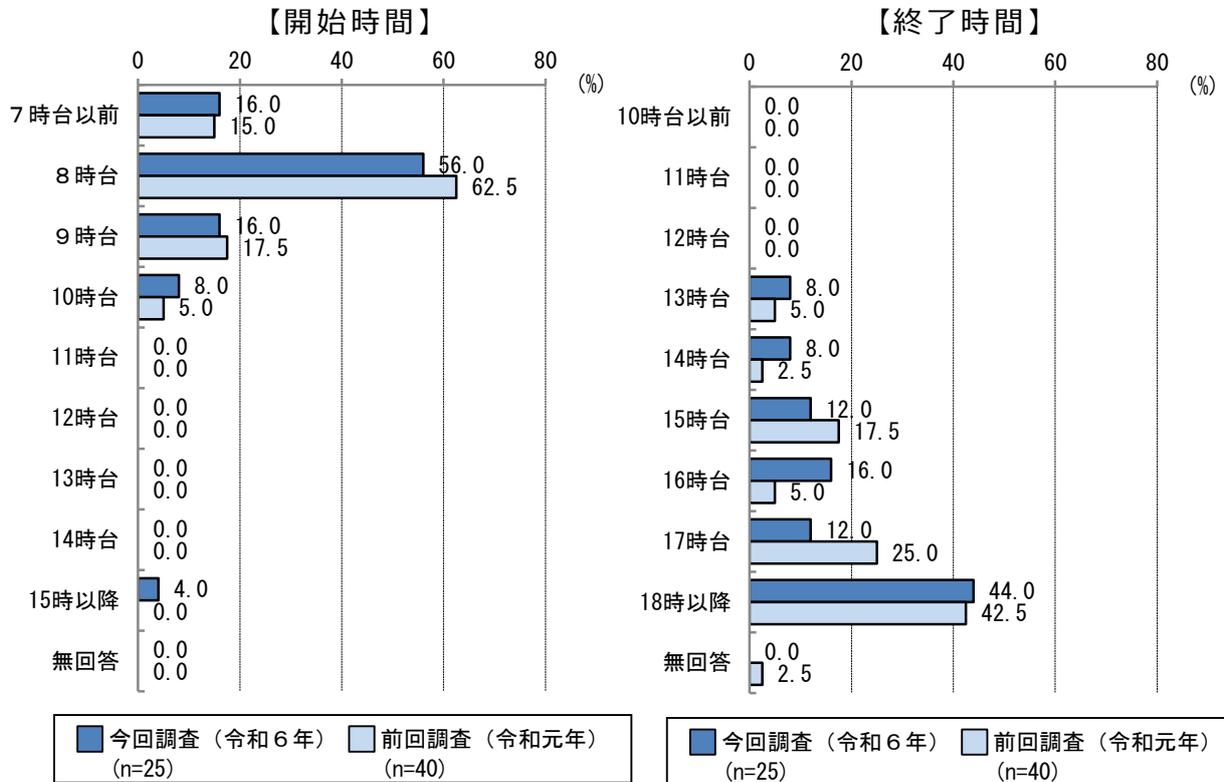
(1) 土曜日の放課後児童クラブ(児童ホーム)の利用希望



土曜日の放課後児童クラブ(児童ホーム)の利用希望は、「子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい」が6.8%、「子どもが高学年(4~6年)の間も利用したい」が16.0%で、利用希望者は合計22.8%となっています。

「低学年(1~3年)の間は利用したい」とお答えの方のみ

■ 低学年時(1~3年)の間の希望利用時間帯

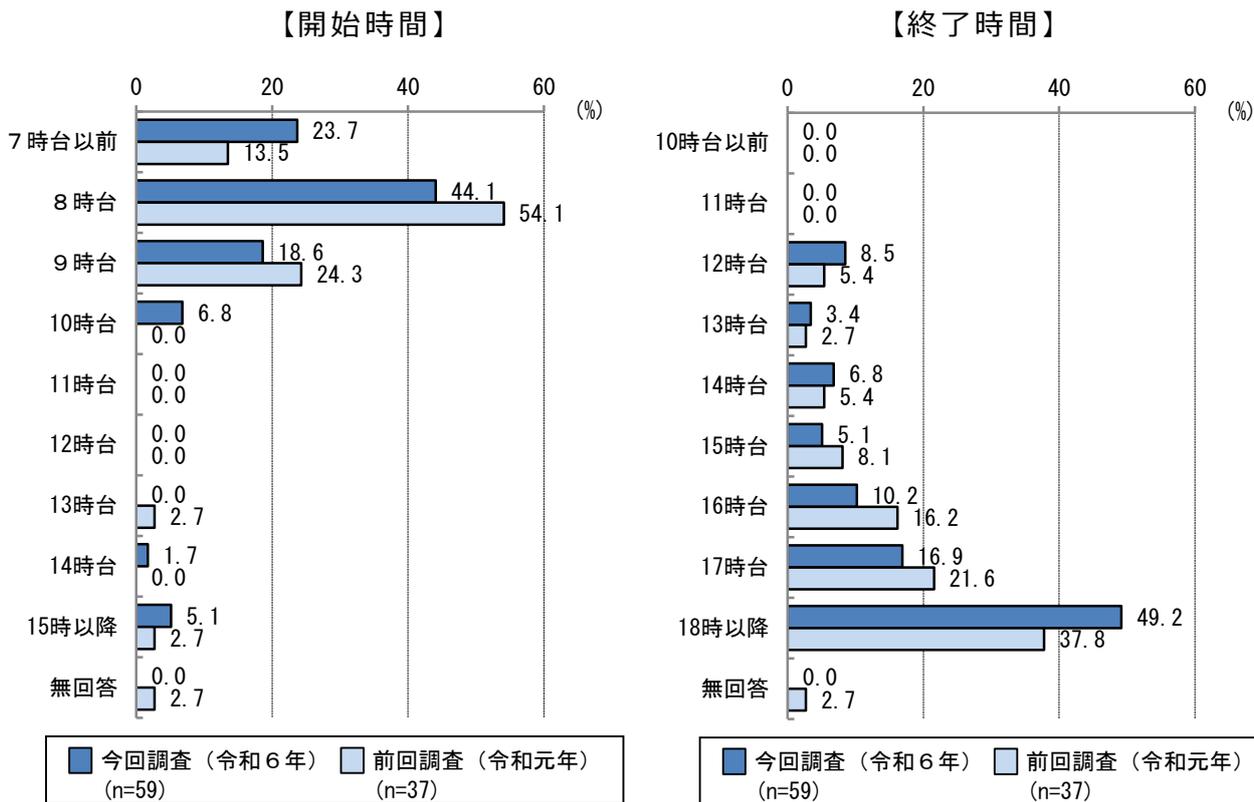


「低学年(1~3年生)の間は利用したい」方の土曜日の希望開始時間は、「8時台」が56.0%と最も多く、希望終了時間は、「18時以降」が44.0%と最も多くなっています。

II-2. 小学生調査の結果

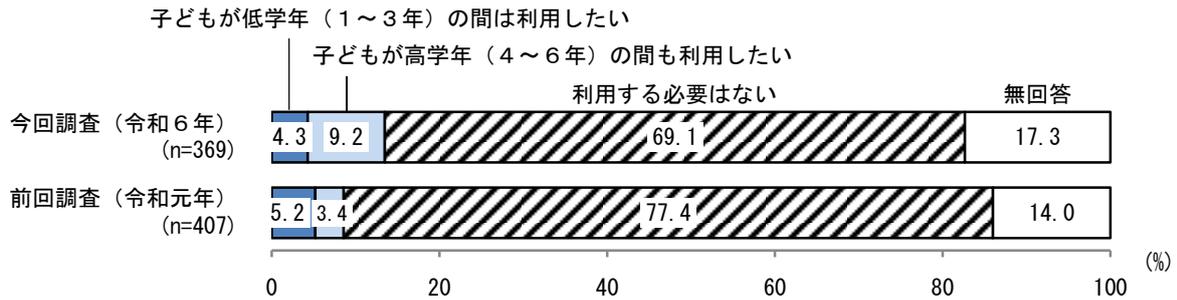
「高学年（4～6年）になっても利用したい」とお答えの方のみ

■ 高学年（4～6年）の間の希望利用時間帯



「高学年（4～6年生）になっても利用したい」方の土曜日の希望開始時間は、「8時台」が44.1%と最も多く、希望終了時間は、「18時以降」が49.2%と最も多くなっています。

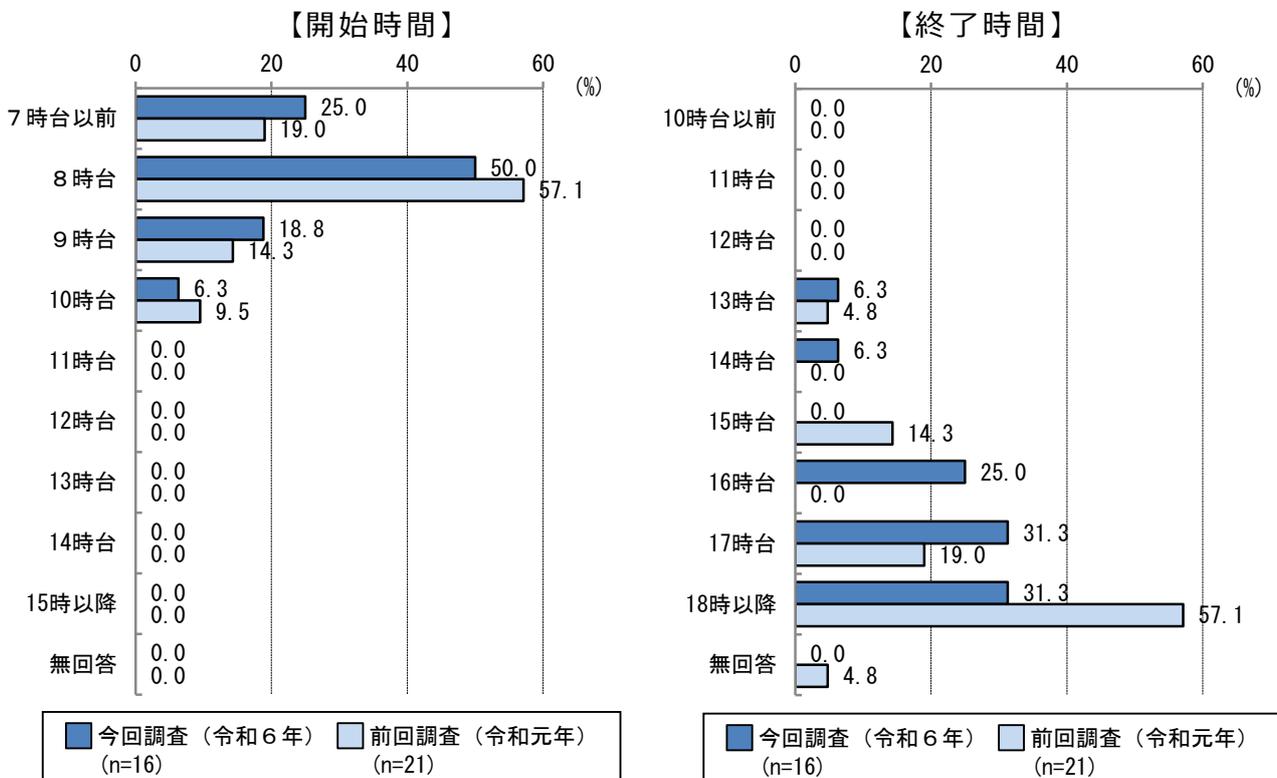
(2) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用希望



日曜日・祝日の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用希望は、「子どもが低学年（1～3年）の間は利用したい」が4.3%、「子どもが高学年（4～6年）の間も利用したい」が9.2%で、利用希望者は合計13.5%となっています。

「低学年（1～3年）の間は利用したい」とお答えの方のみ

■ 低学年時（1～3年）の間の希望利用時間帯

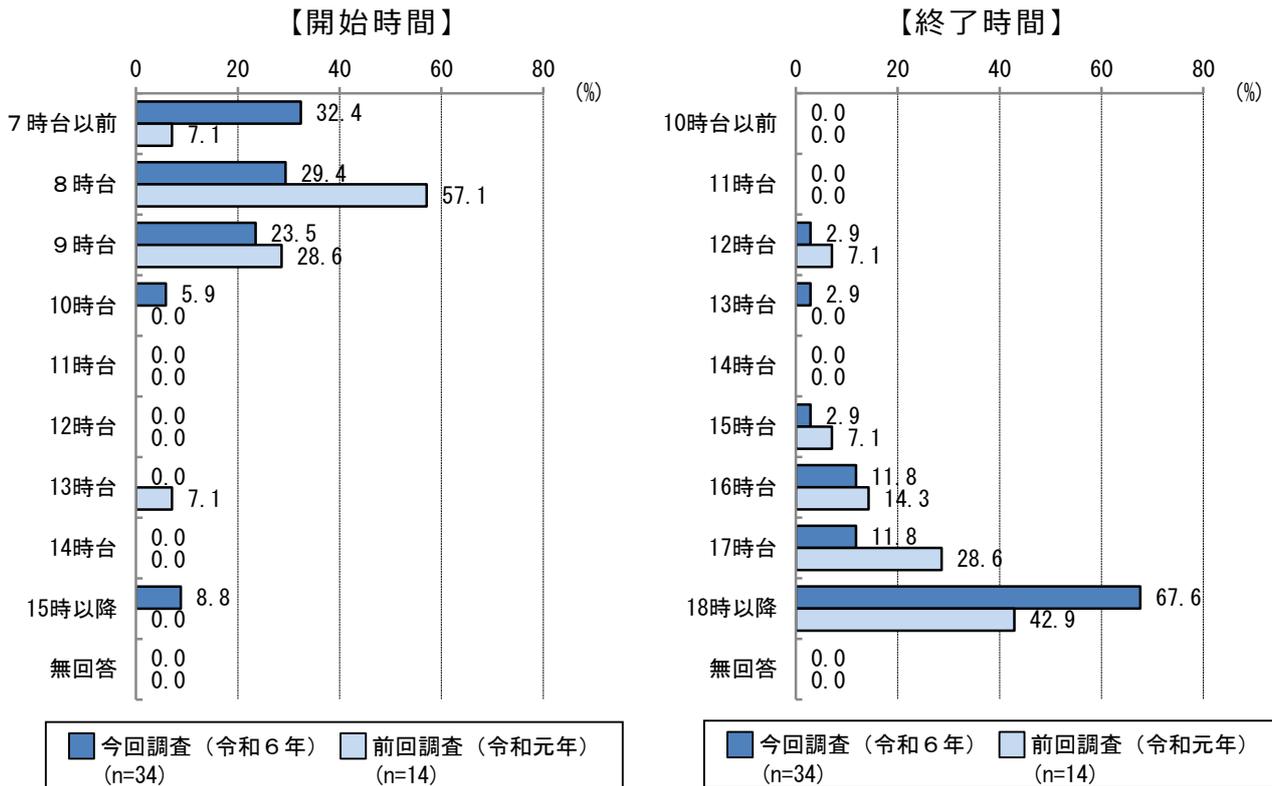


「低学年（1～3年生）の間は利用したい」方の日曜日・祝日の希望開始時間は、「8時台」が50.0%と最も多く、希望終了時間は、「17時台」と「18時以降」がそれぞれ31.3%と最も多くなっています。

II-2. 小学生調査の結果

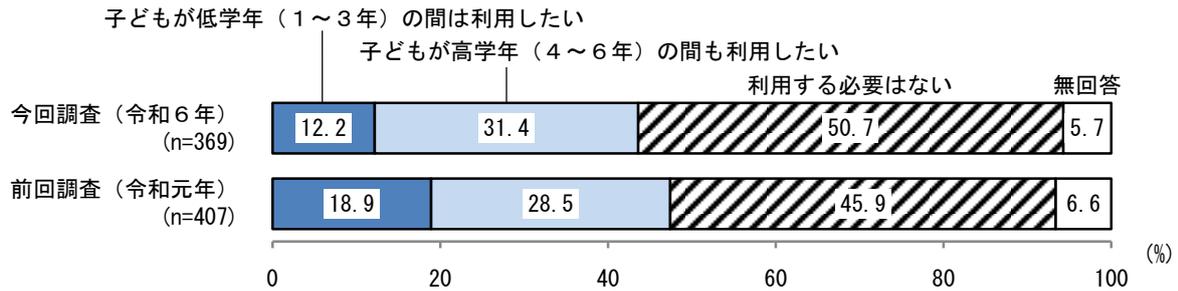
「高学年（4～6年）になっても利用したい」とお答えの方のみ

■ 高学年（4～6年）の間の希望利用時間帯



「高学年（4～6年生）になっても利用したい」方の日曜日・祝日の希望開始時間は、「7時台以前」が32.4%と最も多く、希望終了時間は、「18時以降」が67.6%と最も多くなっています。

(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用希望

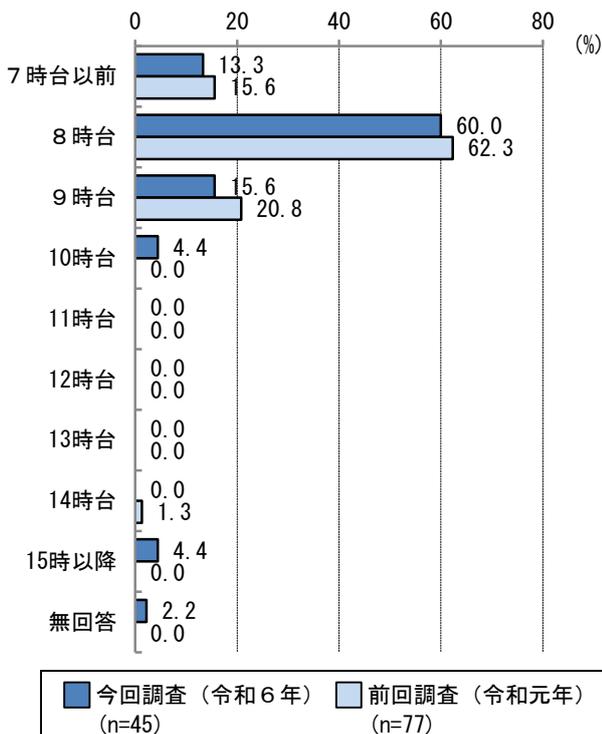


長期休暇中（夏休み・冬休み・春休み）の放課後児童クラブ（児童ホーム）の利用希望は、「子どもが低学年（1～3年）の間は利用したい」が12.2%、「子どもが高学年（4～6年）の間も利用したい」が31.4%で、利用希望者は合計43.6%となっています。

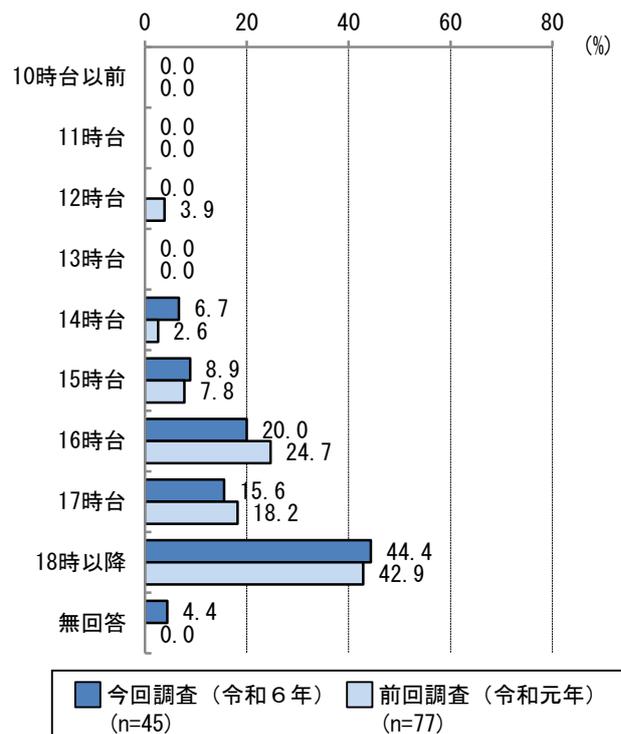
「低学年（1～3年）の間は利用したい」とお答えの方のみ

■ 低学年時（1～3年）の間の希望利用時間帯

【開始時間】



【終了時間】



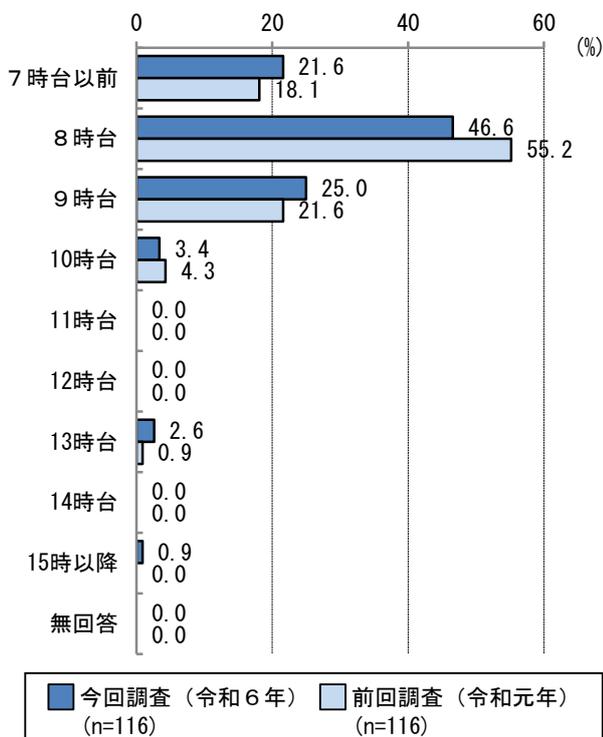
「低学年（1～3年生）の間は利用したい」方の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台」が60.0%と最も多く、希望終了時間は、「18時以降」が44.4%と最も多くなっています。

II-2. 小学生調査の結果

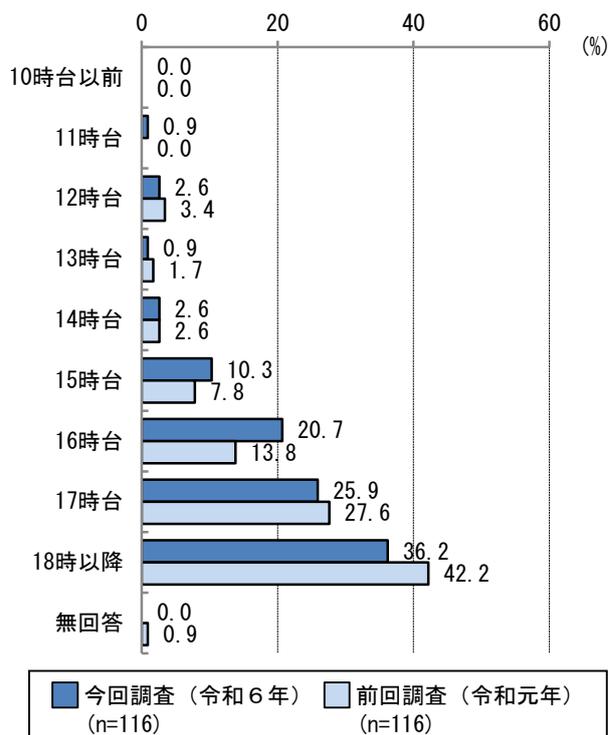
「高学年（4～6年）になっても利用したい」とお答えの方のみ

■ 高学年（4～6年）の間の希望利用時間帯

【開始時間】



【終了時間】

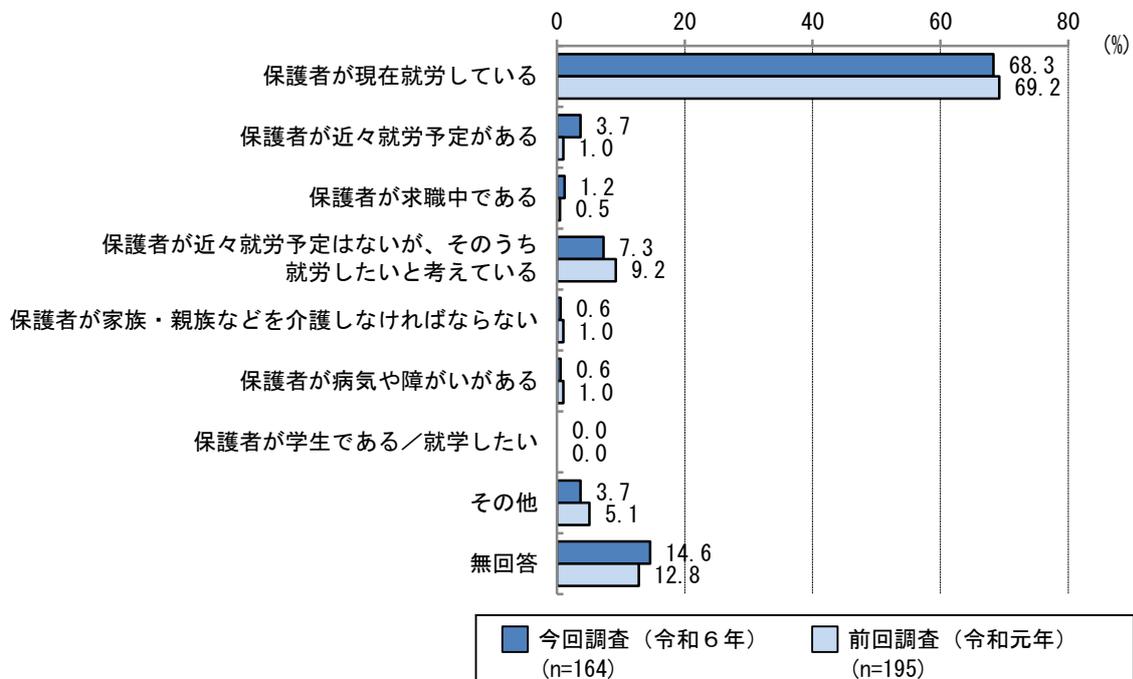


「高学年（4～6年生）になっても利用したい」方の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台」が46.6%と最も多く、希望終了時間は、「18時以降」が36.2%と最も多くなっています。

[7] 今後放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用したい理由

問4-6で「1」または「2」(利用したい)に1つでも○をつけた方にかがいます。

問4-7 今後、放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用したい理由をお答えください。  
(○は1つ)

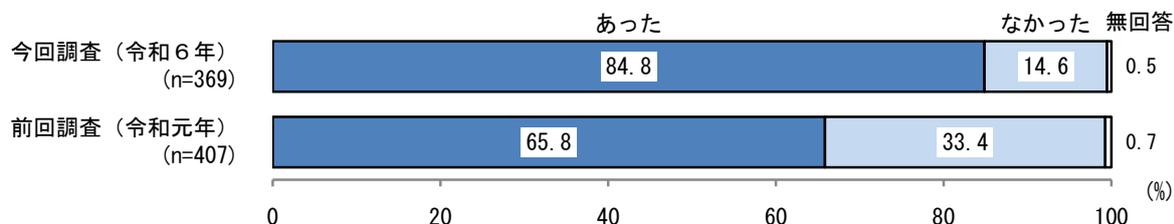


今後、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中に放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用したい理由は、「保護者が現在就労している」が68.3%と最も多く、次いで、「保護者が近々就労予定はないが、そのうち就労したいと考えている」が7.3%、「保護者が近々就労予定がある」が3.7%となっています。

## 5. 病気の際の対応

### [1] 病気やケガで小学校を休んだこと

問5-1 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。(○は1つ)



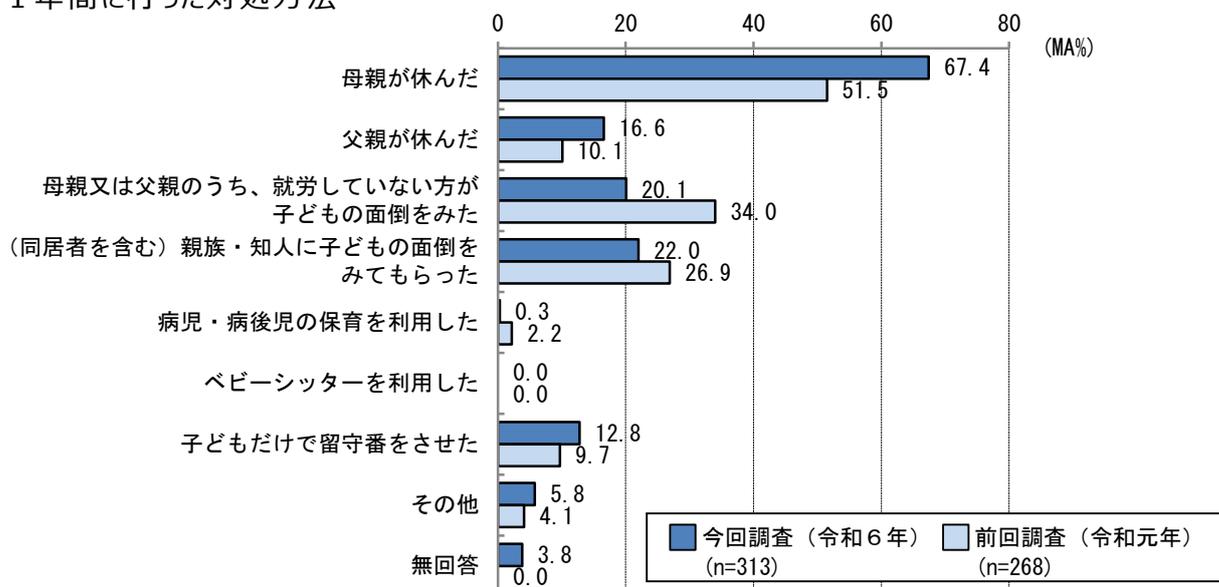
この1年間に、子どもが病気やケガで小学校を休んだことが「あった」は 84.8%、「なかった」が 14.6%となっています。

### [2] 学校を休んだ時の対処方法

問5-1で「1. あった」に○をつけられた方にうかがいます。

問5-2 対象のお子さんが学校を休んだ時の、この1年間に行った対処方法をお答えください。(半日程度の場合も1日としてカウントしてください)  
(当てはまる全てに○、その日数を□内に数字で記入)

#### ■この1年間に行った対処方法



病気やケガで小学校を休んだことが「あった」時の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が 67.4%と最も多く、次いで、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもの面倒をみてもらった」が 22.0%、「母親又は父親のうち、就労していない方が子どもの面倒をみた」が 20.1%となっています。前回調査に比べて「母親が休んだ」が 15.9 ポイント増加しています。

■ 対処した日数

	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均(日)
母親が休んだ	211	34.6	24.2	22.7	7.1	3.8	7.6	8.10
父親が休んだ	52	65.4	21.2	9.6	0	0	3.8	3.82
母親又は父親のうち、就労していない方が子どもの面倒をみた (同居者を含む)親族・知人に子どもの面倒をみてもらった	63	28.6	25.4	27.0	6.3	6.3	6.3	9.49
病児・病後児の保育を利用した	1	100.0	0	0	0	0	0	4.00
ベビーシッターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0.00
子どもだけで留守番をさせた	40	65.0	32.5	0	0	0	2.5	3.36
その他	18	33.3	33.3	5.6	0	0	27.8	4.46

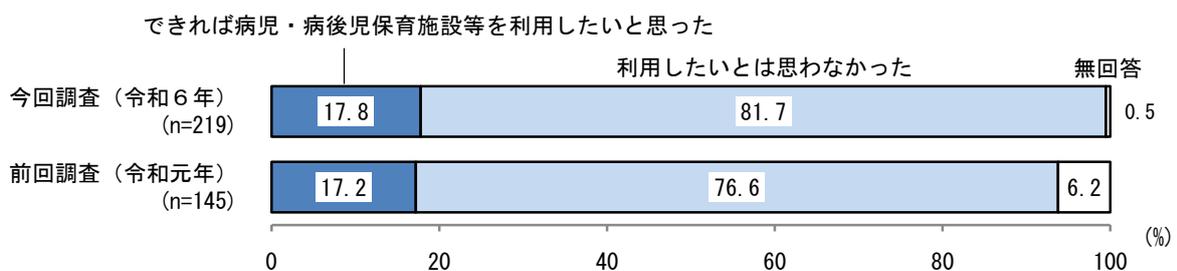
また、その日数については、「母親又は父親のうち、就労していない方が子どもの面倒をみた」が年平均 9.49 日、「母親が休んだ」が 8.10 日となっています。

[3] 病児・病後児保育施設等の利用希望

問5-2で「1」または「2」(母親または父親が休んだ)に○をした方にうかがいます。

問5-3 その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。(○は1つ、利用したいと思った場合はその日数を□内に数字で記入)

※病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です

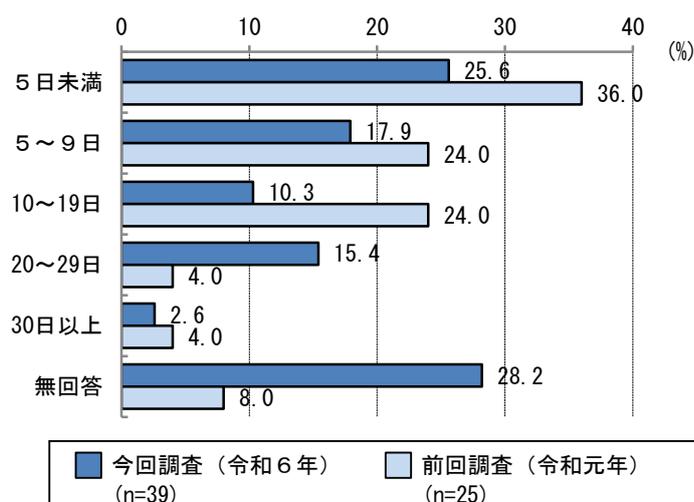


子どもが病気やケガの際に「母親が休んだ」または「父親が休んだ」方で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 17.8%、「利用したいとは思わなかった」が 81.7%となっています。

## II-2. 小学生調査の結果

できれば病児・病後児保育施設等を利用したいとお答えの方のみ

### ■ 病児・病後児保育施設等の利用希望日数

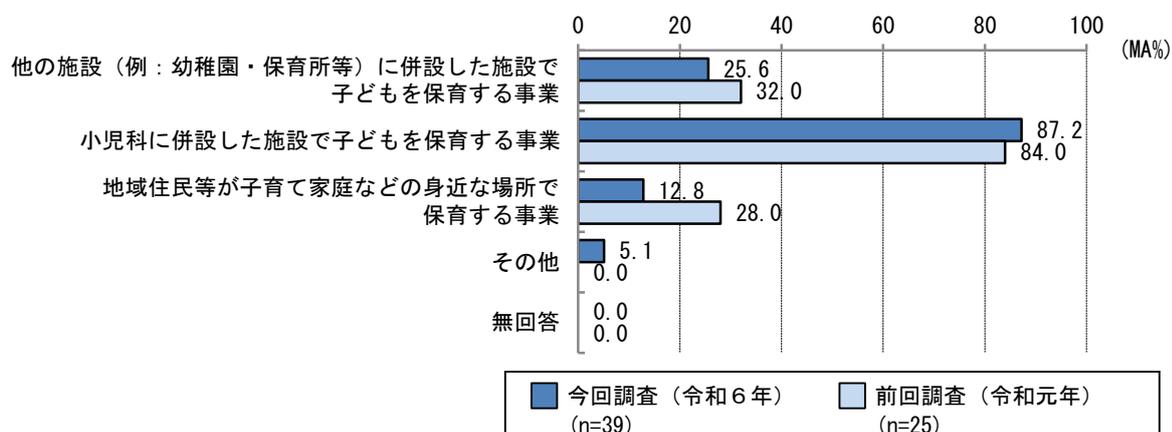


「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」方の利用希望日数は、「5日未満」が25.6%と最も多く、次いで、「5～9日」が17.9%、「20～29日」が15.4%となっています。

## [4] 病児・病後児保育施設等に望ましい事業形態

問5-3で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」に○をつけた方にかがいます。

問5-4 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(当てはまる全てに○)

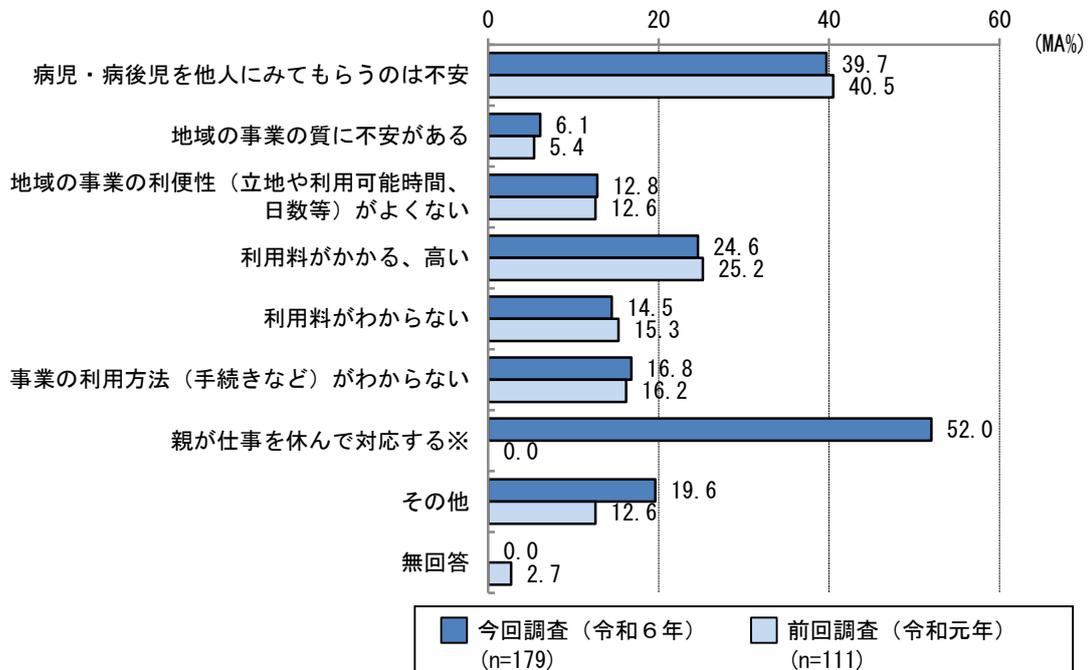


子どもが病気やケガの際に「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」方が望ましいと思われる事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が87.2%と最も多く、次いで、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が25.6%、「地域住民等が子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が12.8%となっています。

〔5〕病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

問5-3で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問5-5 利用したいと思わなかった理由についてうかがいます。  
(当てはまる全てに○)



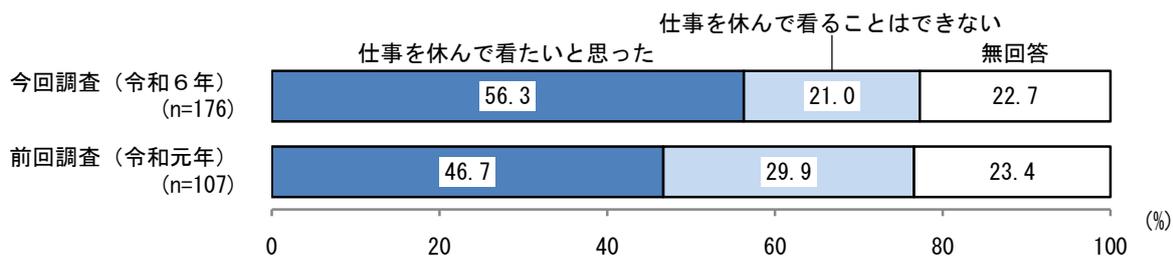
※前回調査では「親が仕事を休んでみるのが当然と思うから」23.4%、「親が休むことができるから」44.1%

子どもが病気やケガの際に病児・病後児保育施設等を「利用したいとは思わなかった」理由は、「親が仕事を休んで対応する」が 52.0%と最も多く、次いで、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 39.7%、「利用料がかかる、高い」が 24.6%となっています。

〔6〕父母が仕事を休んで子どもを見ること

問5-2で「3」～「8」(母親または父親が休んだ以外)に○をつけられた方にうかがいます。

問5-6 対象のお子さんが病気やケガの時に、できれば父母のどちらかが仕事を休んで看たいと思いましたが。(○は1つ、「3」から「8」の日数のうち、仕事を休んで看たいと思った日数を□に数字で記入)

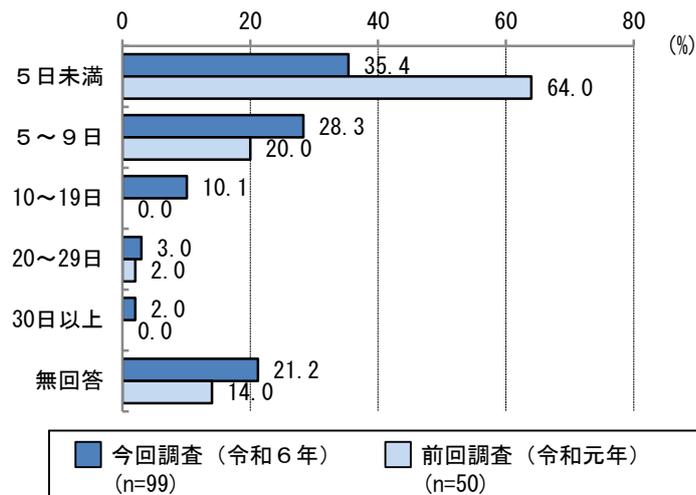


子どもが病気やケガの際に「母親が休んだ」または「父親が休んだ」以外の方で、父母のどちらかが「できれば仕事を休んで看たいと思った」人は 56.3%となっています。

## II-2. 小学生調査の結果

できれば仕事を休んで看たいと思ったとお答えの方のみ

### ■ 看病のために仕事を休みたい日数

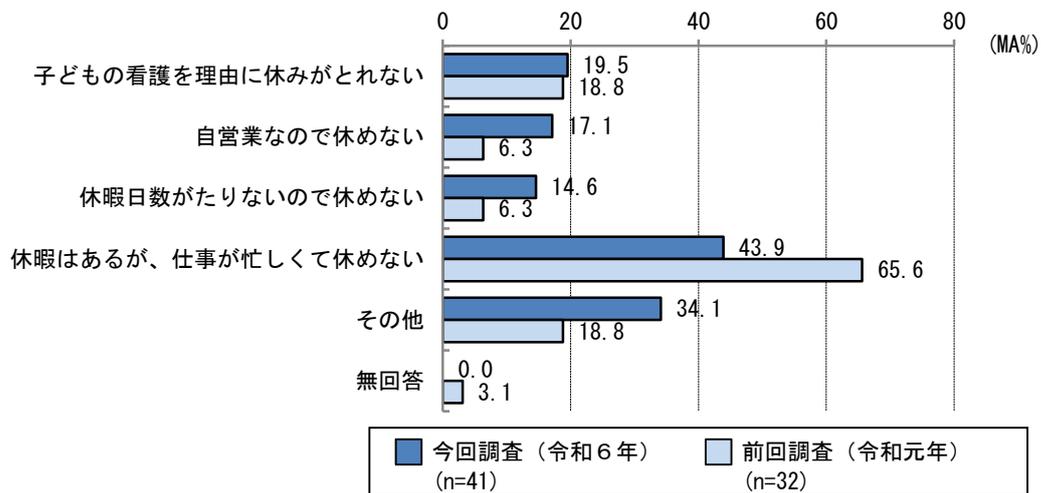


また、子どもの看病のために休みたい日数は、「5日未満」が35.4%と最も多く、次いで「5～9日」が28.3%、「10～19日」が10.1%となっています。

### [7] 仕事を休んで看ることができない理由

問5-6で「2. 仕事を休んで看ることはできない」に○をつけられた方にうかがいます。

問5-7 対象のお子さんが病気の時、仕事を休んでみることができない理由についてお答えください。(当てはまる全てに○)



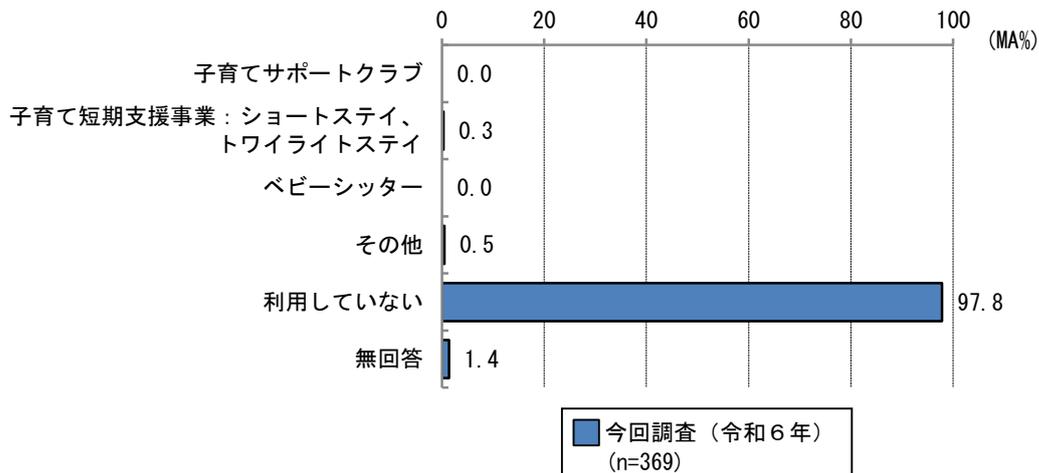
子どもが病気の時、仕事を休んで看ることができない理由は、「休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない」が43.9%と最も多く、次いで、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が19.5%、「自営業なので休めない」が17.1%となっています。

## 6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

### [1] 私用、通院、就労等で不定期的に利用している事業

**問6-1** 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などで、不定期的に利用している事業はありますか。(当てはまる全てに○、1年間のおおよその利用日数を口内に数字で記入)

#### ■ 利用している事業



※各事業の内容については以下のとおり

子育てサポートクラブ…地域住民が子どもを預かる事業

子育て短期支援事業: ショートステイ、トワイライトステイ…児童養護施設等で一定期間子どもを養育保護する事業

私用、親の通院、不定期の就労などで、不定期的に利用している事業の有無については、「利用していない」が 97.8%となっています。

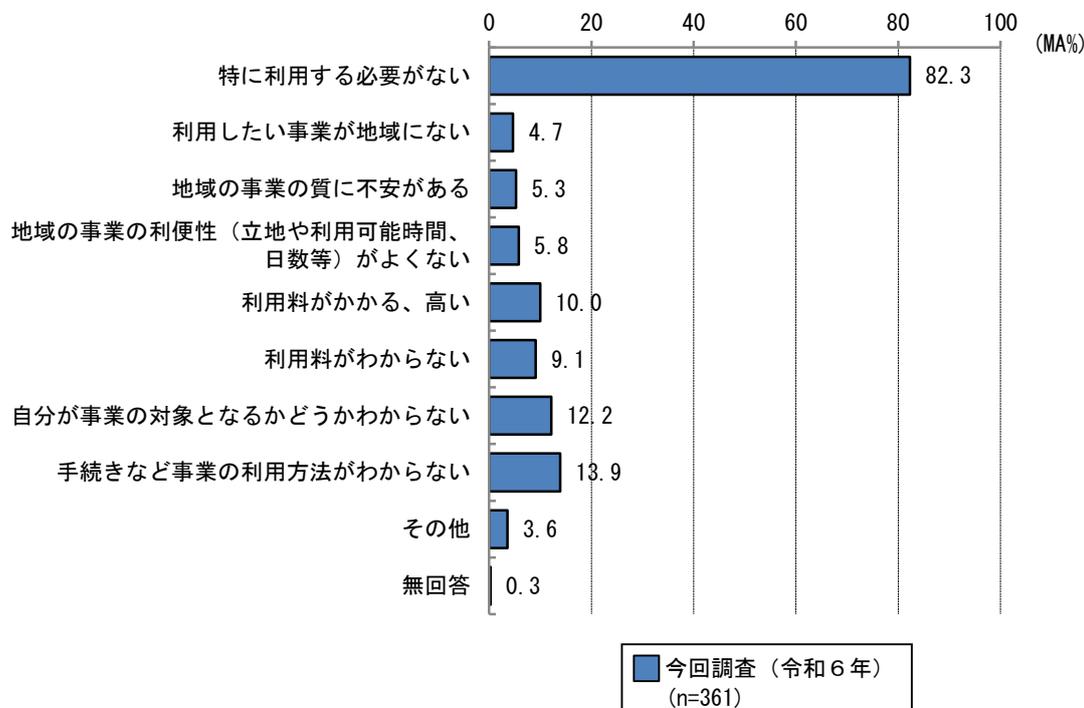
#### ■ 1年間の利用日数

	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均(日)
子育てサポートクラブ (地域住民が子どもを預かる事業)	0	0	0	0	0	0	0	0.00
子育て短期支援事業 :ショートステイ、トワイライトステイ	1	0	0	0	0	100.0	0	60.00
ベビーシッター	0	0	0	0	0	0	0	0.00
その他	2	0	0	50.0	0	50.0	0	106.00

〔2〕不定期に教育保育事業を利用していない理由

問6-1で「5. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問6-2 現在、利用していない理由についてお答えください。  
(当てはまる全てに○)



不定期に教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 82.3%と最も多く、「手続きなど事業の利用方法がわからない」が 13.9%、「自分が事業の対象となるかどうかわからない」が 12.2%、「利用料がかかる、高い」が 10.0%となっています。

〔3〕不定期の教育・保育事業利用希望

問6-3 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などで、問6-1の「1」～「4」の事業を、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な日数を記入してください。(当てはまる全てに○、日数を口内に数字で記入)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります

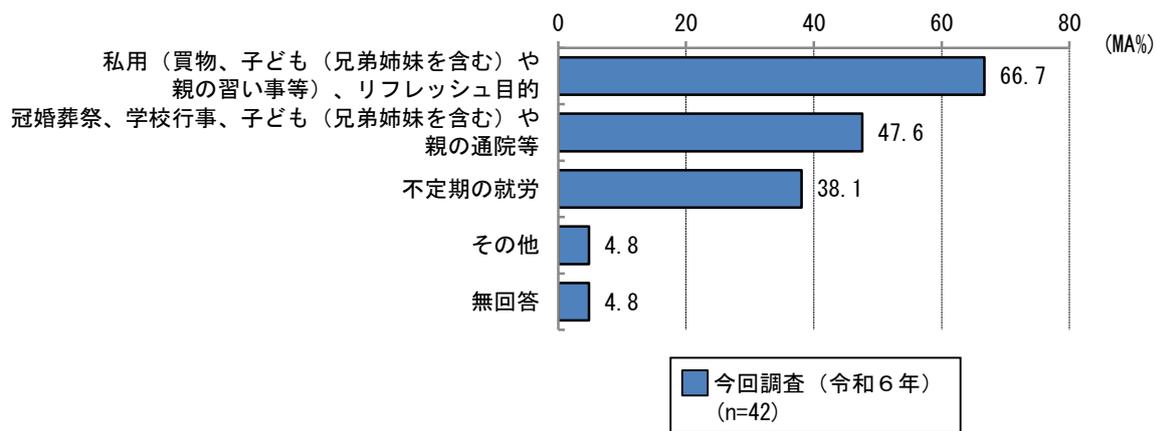
■ 利用希望



私用、親の通院、不定期の就労などで不定期の教育・保育事業を「利用したい」人は、11.4%となっています。

「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用目的



不定期の教育・保育事業を「利用したい」人の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 66.7%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 47.6%、「不定期の就労」が 38.1%となっています。

■ 1年間の利用希望日数

	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均（日）
合計	42	11.9	14.3	33.3	14.3	19.0	7.1	21.74
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	28	21.4	21.4	35.7	17.9	0	3.6	9.85
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	20	25.0	25.0	40.0	0	5.0	5.0	9.26
不定期の就労	16	18.8	18.8	18.8	6.3	25.0	12.5	20.29
その他	2	0	50.0	0	0	50.0	0	51.00

また、1年間の利用希望日数の平均は、「不定期の就労」が 20.29 日、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 9.85 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 9.26 日となっています。

〔4〕短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望【新規設問】

問6-4 対象のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、年間何日くらい、泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)※の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な泊数を記入してください。(当てはまる全てに○、利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字で記入)

※短期入所生活援助事業(ショートステイ):児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業

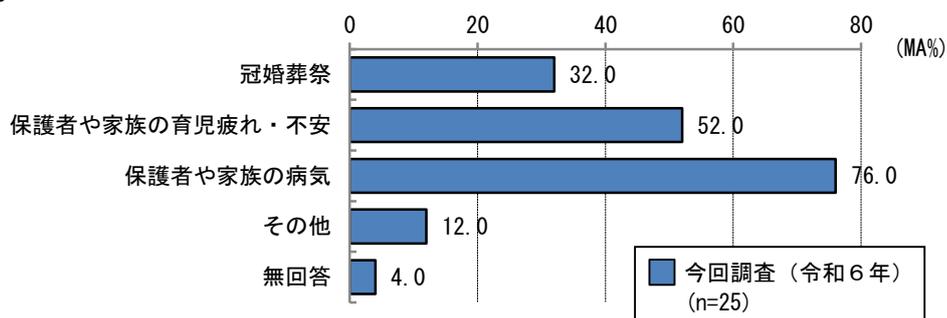
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります



保護者の用事により短期入所生活援助事業(ショートステイ)を「利用したい」人は、6.8%となっています。

「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用目的



短期入所生活援助事業(ショートステイ)を「利用したい」人の利用目的は、「保護者や家族の病気」が76.0%と最も多く、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が52.0%、「冠婚葬祭」が32.0%となっています。

■ 1年間の希望利用日数

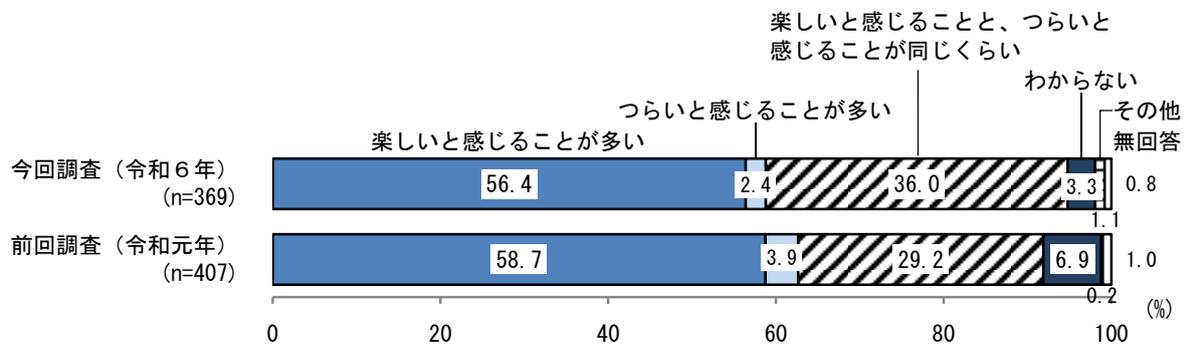
	n	5日未満	5~9日	10~19日	20~29日	30日以上	無回答	平均
合計	25	48.0	16.0	20.0	4.0	4.0	8.0	10.09
冠婚葬祭	8	87.5	12.5	0	0	0	0	2.50
保護者や家族の育児疲れ・不安	13	53.8	23.1	15.4	0	7.7	0	6.23
保護者や家族の病気	19	57.9	15.8	15.8	0	5.3	5.3	7.06
その他	3	66.7	33.3	0	0	0	0	3.00

また、短期入所生活援助事業(ショートステイ)の1年間の希望利用日数の平均は、「保護者や家族の病気」が7.06日、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が6.23日となっています。

## 7. 子育て全般

### [1] 子育てをどのように感じるか

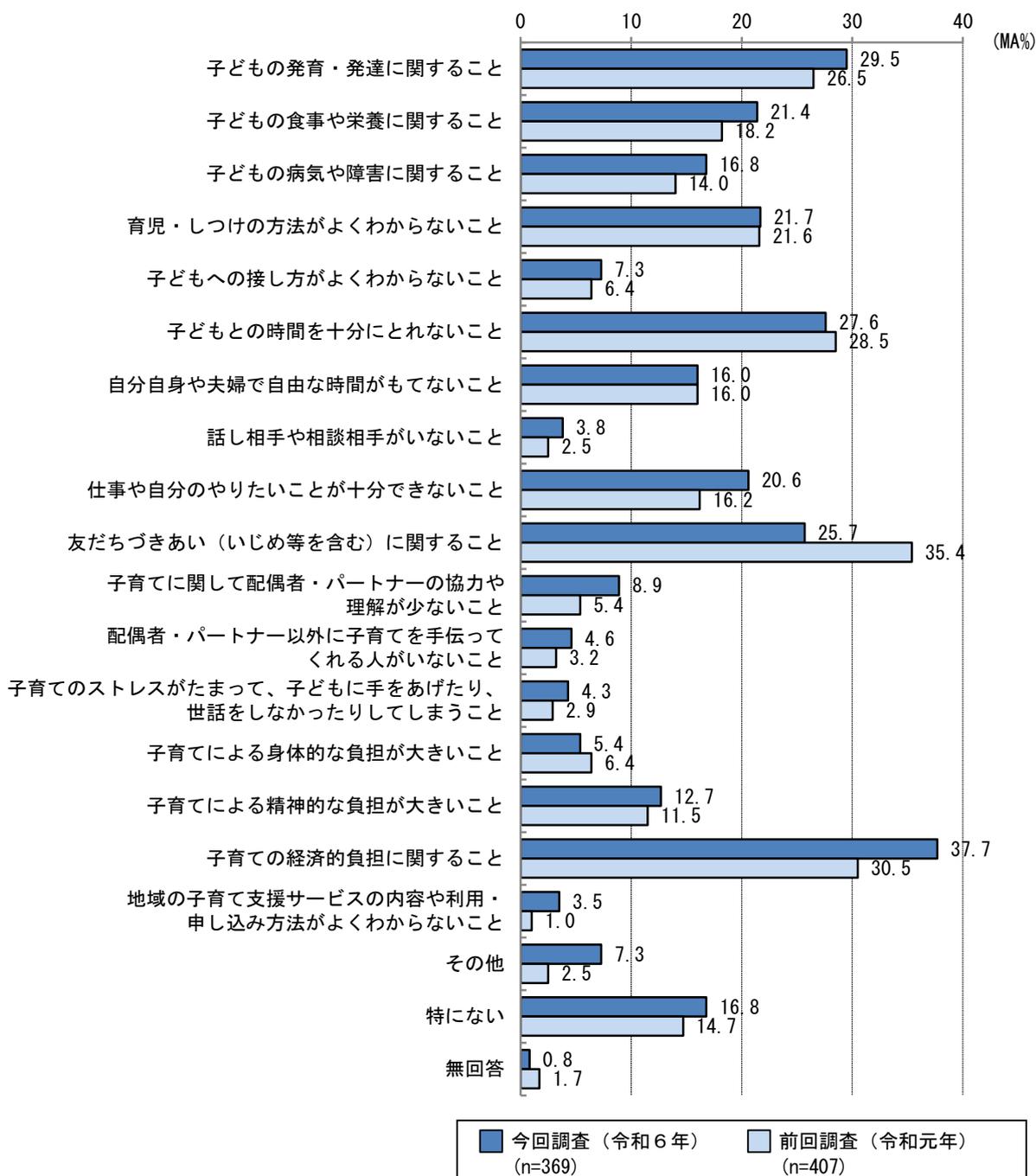
問7-1 子育てを楽しんでいることが多いですか。つらいと感じていることが多いですか。  
(○は1つ)



子育てをどのように感じるかたずねたところ、「楽しいと感じることが多い」が 56.4%と最も多く、次いで、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が 36.0%、「つらいと感じることが多い」が 2.4%となっています。

〔2〕子育ての悩みや不安

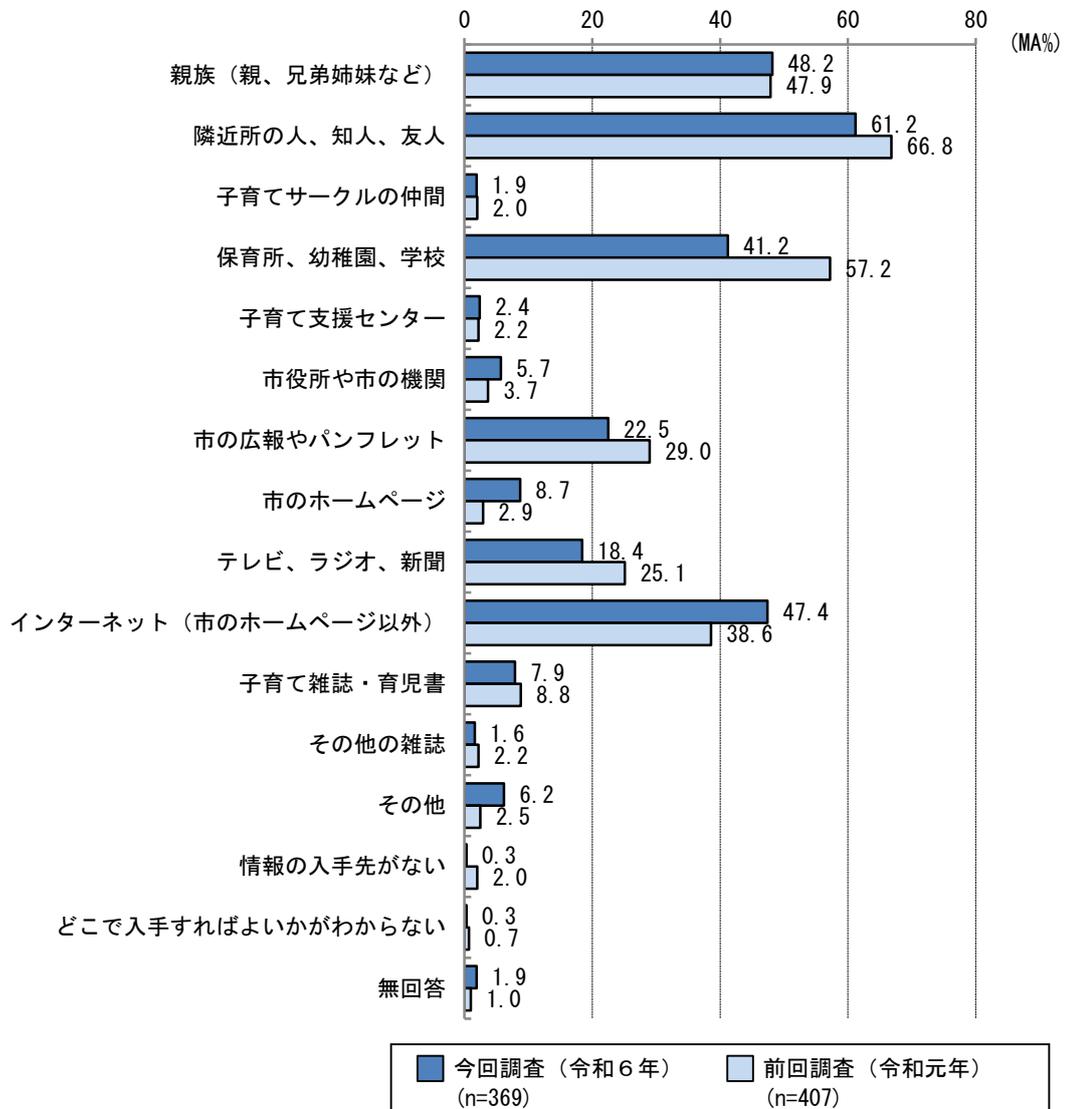
問7-2 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。(当てはまる全てに○)



子育てで日頃悩んでいることや、不安に感じることは、「子育ての経済的負担に関すること」が37.7%と最も多く、次いで、「子どもの発育・発達に関すること」が29.5%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が27.6%、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が25.7%となっています。前回調査に比べて「子育ての経済的負担に関すること」が7.2ポイント増加しています。

〔3〕子育てに関する情報の入手先

問7-3 ふだん、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。  
(当てはまる全てに○)

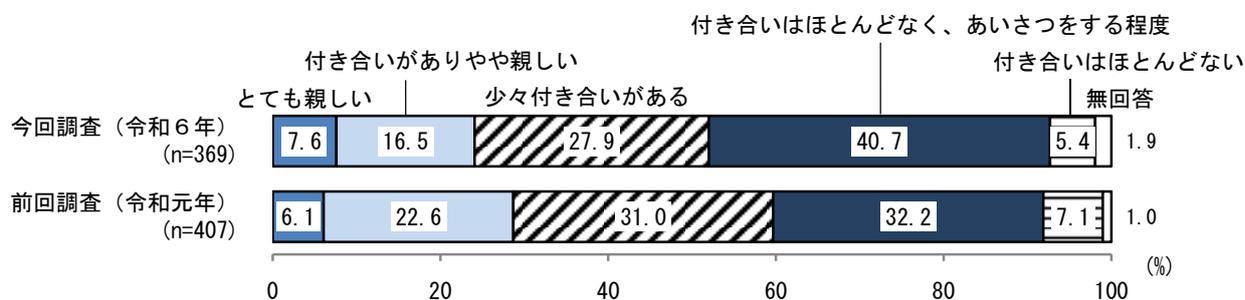


子育てに関する情報の入手先は、「隣近所の人、知人、友人」が 61.2%と最も多く、次いで、「親族 (親、兄弟姉妹など)」が 48.2%、「インターネット (市のホームページ以外)」が 47.4%、「保育所、幼稚園、学校」が 41.2%となっています。前回調査に比べて「インターネット (市のホームページ以外)」が 8.8 ポイント増加し、「保育所、幼稚園、学校」が 16.0 ポイント減少しています。

II-2. 小学生調査の結果

[4]近所や地域の人々との付き合いの程度

問7-4 あなたは、ご近所や地域の人々と、どの程度のお付き合いをしていますか。(○は1つ)



近所や地域の人々との付き合いの程度は、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が40.7%と最も多く、次いで、「少々付き合いがある」が27.9%、「付き合いがありやや親しい」が16.5%となっています。「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」と「付き合いはほとんどない」(5.4%)を合わせた『付き合いはほとんどない』が46.1%で、前回調査に比べて6.8ポイント増加しています。

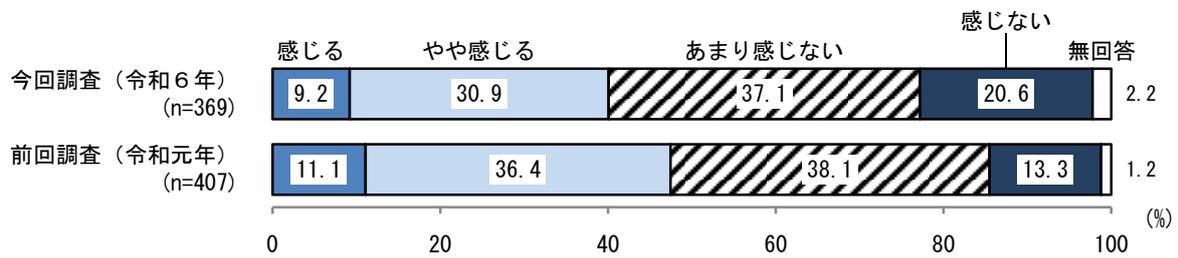
【小学校別 子育てが地域の人に支えられているか】

	n	とても親しい	親しい	付き合いがありやや	い付き合いがある	少々付き合いが浅る	な付き合いはほとんど	無回答
全体	369	28	61	103	150	20	7	
	100	7.6	16.5	27.9	40.7	5.4	1.9	
片塩校区	35	3	5	7	17	2	1	
	100	8.6	14.3	20.0	48.6	5.7	2.9	
高田校区	77	5	12	16	39	4	1	
	100	6.5	15.6	20.8	50.6	5.2	1.3	
土庫校区	11	0	3	6	2	0	0	
	100	0	27.3	54.5	18.2	0	0	
浮孔校区	50	1	5	19	20	3	2	
	100	2.0	10.0	38.0	40.0	6.0	4.0	
磐園校区	54	7	10	19	16	2	0	
	100	13.0	18.5	35.2	29.6	3.7	0	
陵西校区	62	7	13	13	24	4	1	
	100	11.3	21.0	21.0	38.7	6.5	1.6	
菅原校区	39	3	5	14	13	3	1	
	100	7.7	12.8	35.9	33.3	7.7	2.6	
浮孔西校区	40	2	8	9	19	2	0	
	100	5.0	20.0	22.5	47.5	5.0	0	

「とても親しい」と「付き合いがありやや親しい」を合わせた『親しい』は「陵西校区」で32.3%と最も多く、次いで、「磐園校区」で31.5%となっています。『付き合いはほとんどない』は「高田校区」で55.8%、「片塩校区」で54.3%、「浮孔西校区」で52.5%と半数を超えています。

[5]子育てが地域の人に支えられているか

問7-5 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)



子育てが、地域の人に支えられていると感じるかについては、「感じる」(9.2%)と「やや感じる」(30.9%)を合わせた『感じる』が40.1%、「感じない」(20.6%)と「あまり感じない」(37.1%)を合わせた『感じない』が57.7%となっています。

【小学校区別 子育てが地域の人に支えられているか】

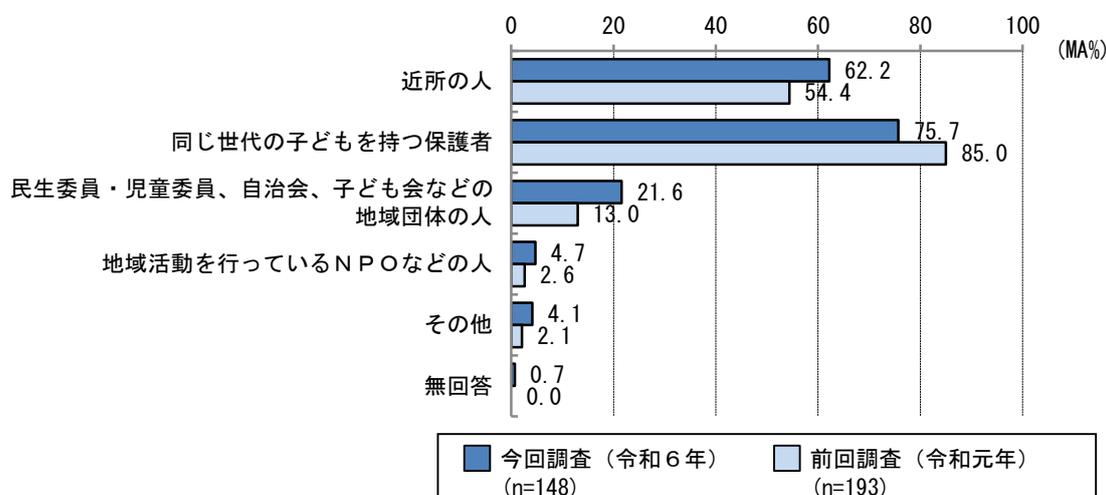
	n	割合 (%)				
		感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない	無回答
全体	369	34	114	137	76	8
	100	9.2	30.9	37.1	20.6	2.2
片塩校区	35	2	11	14	7	1
	100	5.7	31.4	40.0	20.0	2.9
高田校区	77	6	15	34	20	2
	100	7.8	19.5	44.2	26.0	2.6
土庫校区	11	1	5	4	1	0
	100	9.1	45.5	36.4	9.1	0
浮孔校区	50	1	15	23	9	2
	100	2.0	30.0	46.0	18.0	4.0
磐園校区	54	7	17	17	13	0
	100	13.0	31.5	31.5	24.1	0
陵西校区	62	8	17	23	13	1
	100	12.9	27.4	37.1	21.0	1.6
菅原校区	39	5	17	11	6	0
	100	12.8	43.6	28.2	15.4	0
浮孔西校区	40	4	17	11	7	1
	100	10.0	42.5	27.5	17.5	2.5

小学校区別にみると、『感じる』は「菅原校区」(56.4%)、「土庫校区」(54.6%)、「浮孔西校区」(52.5%)で半数以上となっている一方、高田校区で『感じない』が70.2%と多くなっています。

〔6〕誰に支えられているか

問7-5で「1」または「2」(支えられていると感じる)に○をつけた方にうかがいます。

問7-6 誰に支えられていると感じますか。(当てはまる全てに○)

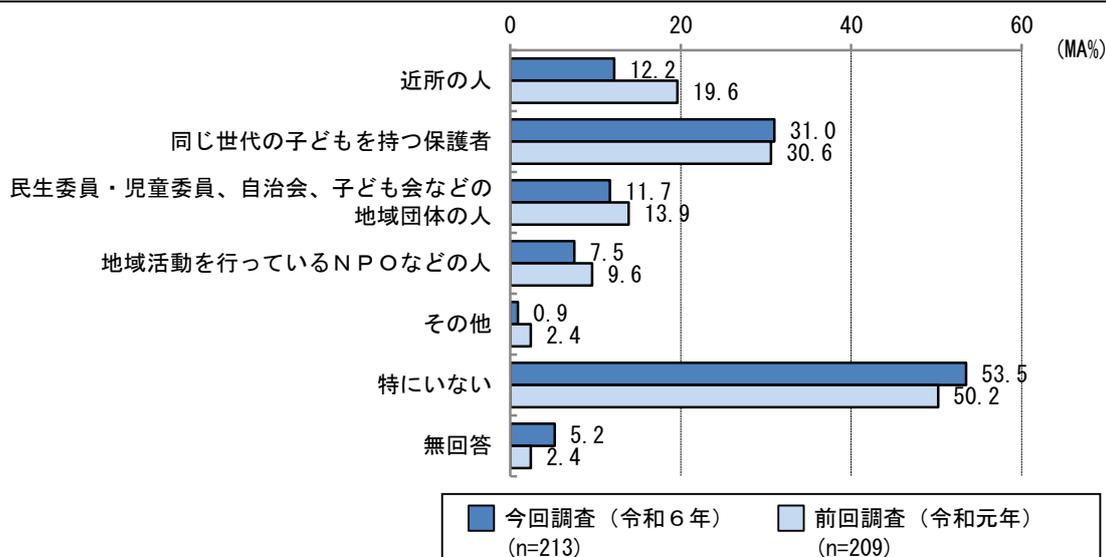


子育てが、地域の人に支えられていると感じる「感じる」「やや感じる」と答えた方に誰に、支えられていると感じるかたずねたところ、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が75.7%と最も多く、次いで、「近所の人」が62.2%、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」が21.6%となっています。前回調査に比べて「同じ世代の子どもを持つ保護者」が9.3ポイント減少しています。

〔7〕誰に支えてほしいか

問7-5で「3」または「4」(支えられていると感じない)に○をつけた方にうかがいます。

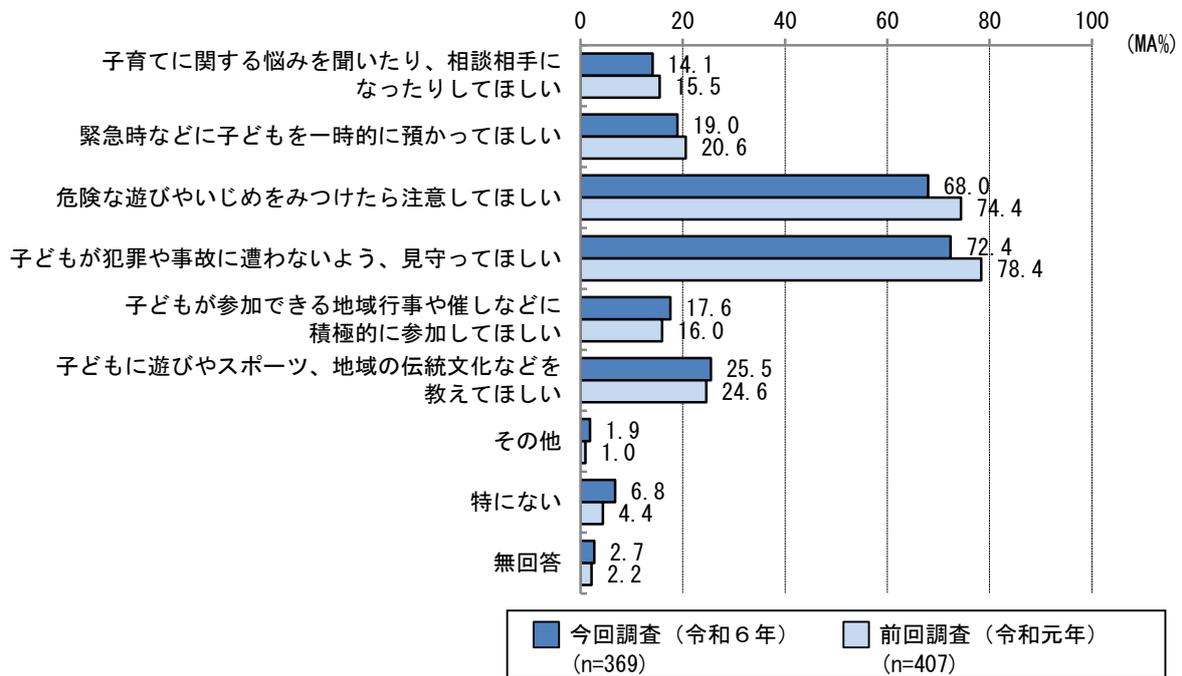
問7-7 誰に支えてほしいと思いますか。(当てはまる全てに○)



子育てが、地域の人に支えられていると「あまり感じない」「感じない」と答えた方に、誰に支えてほしいかたずねたところ、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が31.0%と最も多く、次いで、「近所の人」が12.2%、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」が11.7%となっています。

[8]子育て支援として地域の人に期待すること

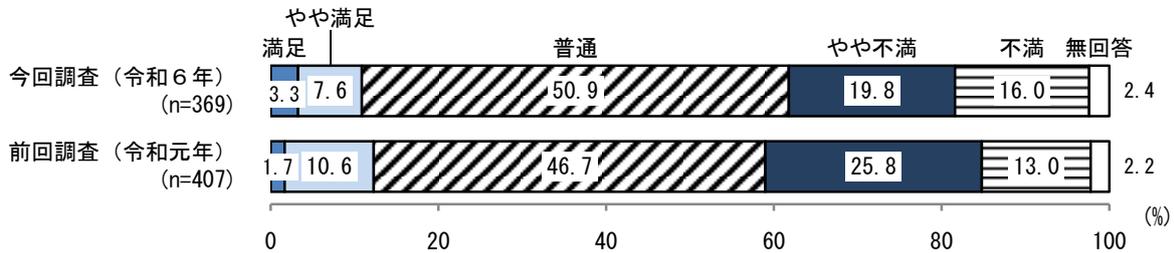
問7-8 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。  
(当てはまる全てに○)



子育て支援として、身近な地域の人に期待することは、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 72.4%と最も多く、次いで、「危険な遊びやいじめをみつけたら注意してほしい」が 68.0%、「子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化などを教えてほしい」が 25.5%となっています。

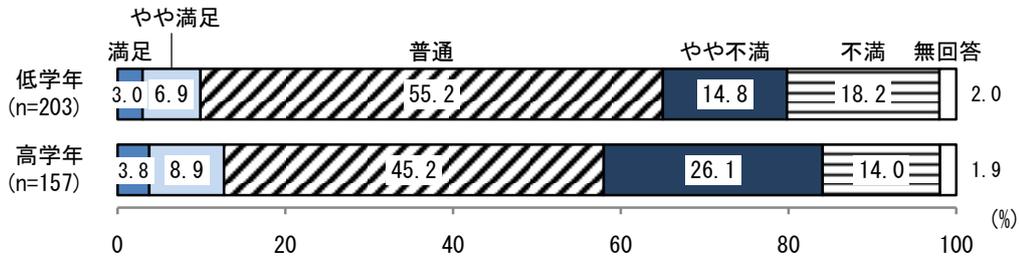
[9]子育ての環境や支援の満足度

問7-9 大和高田市における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)



大和高田市における子育ての環境や支援の満足度は、「満足」(3.3%)と「やや満足」(7.6%)を合わせた『満足』が10.9%、「不満」(16.0%)と「やや不満」(19.8%)を合わせた『不満』が35.8%となっています。

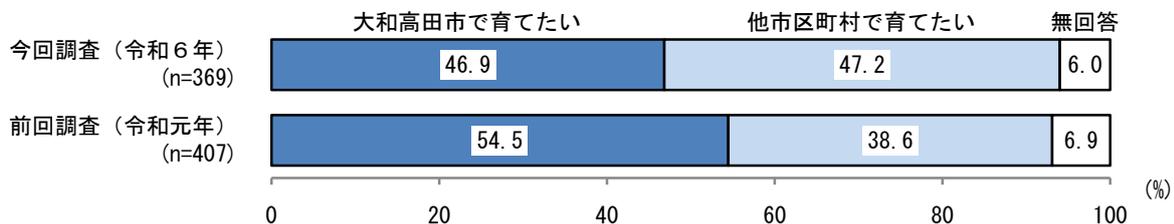
【学年別 子育ての環境や支援の満足度】



学年別にみると、高学年で『不満』が40.1%と低学年より多くなっています。

[10]今後も大和高田市で育てたいか

問7-10 子どもを育てる場所を自由にとら、今後も大和高田市で育てたいと思いますか。(○は1つ)



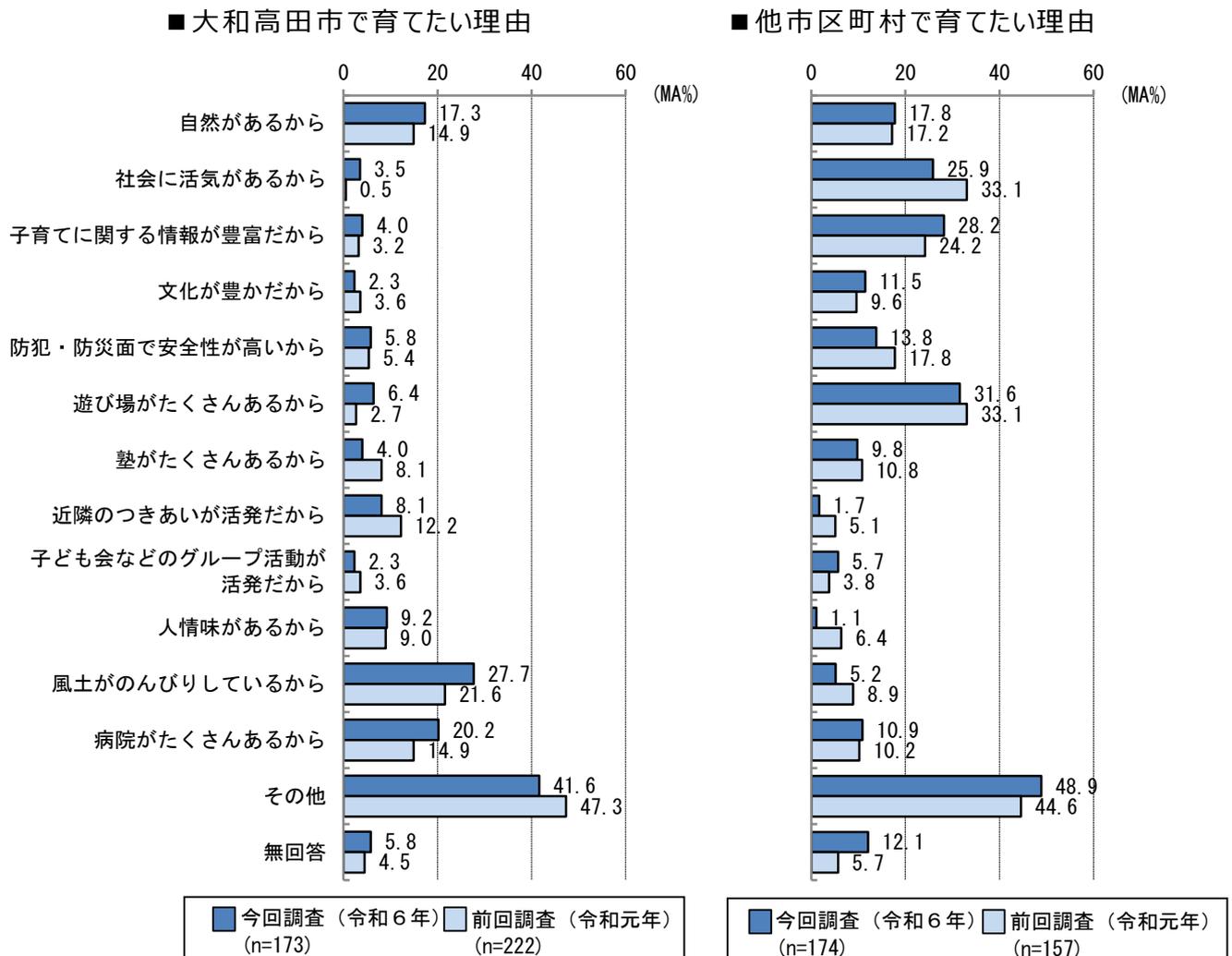
今後も大和高田市で子どもを育てたいかについては、「大和高田市で育てたい」が46.9%、「他市区町村で育てたい」が47.2%となっています。前回調査に比べて「他市区町村で育てたい」が8.6ポイント増加しています。

【他市区町村を選んだ方の市区町村名】

- 回答 98 件中 ※複数回答あり
- ・香芝市 (13 件) ・橿原市 (16 件) ・葛城市 (16 件) ・広陵町 (12 件)
  - ・大阪市 (10 件) ・明石市 (9 件) ・奈良市 (7 件) ・生駒市 (6 件) など
  - その他
  - ・支援が充実しているところ ・労働世代が多く住んでいるところ など

問7-11 問7-10で回答した理由をお答えください。(当てはまる全てに○)

※「1」に○をつけた方は「大和高田市で育てたい」理由を、「2」に○をつけた方は「他市区町村で育てたい」理由をお答えください。



今後も大和高田市で育てたい理由は、「風土がのんびりしているから」が 27.7%と最も多く、次いで、「病院がたくさんあるから」が 20.2%、「自然があるから」が 17.3%となっています。

今後は他市区町村で育てたい理由は、「遊び場がたくさんあるから」が 31.6%と最も多く、次いで、「子育てに関する情報が豊富だから」が 28.2%、「社会に活気があるから」が 25.9%となっています。

## Ⅱ-2. 小学生調査の結果

### 【大和高田市で育てたいその他の理由】

回答 60 件中 ※複数回答あり

環境などについて

- ・住み慣れている (9 件)
- ・実家がある (8 件)
- ・自分が育った (7 件)
- ・親族・知人がいる (6 件)
- ・地元 (5 件)
- ・子どもの友達がいる (5 件)
- ・子どもが慣れている (3 件)
- ・利便性がよい (3 件)
- ・交通の便がよい (2 件)
- ・持ち家がある (2 件)
- ・大阪に近い (1 件)

子育て支援などについて

- ・小中学校が近い (1 件)
- ・学校が少人数 (1 件)
- ・子どもへの経済的支援が多い (1 件)
- ・子供向けのイベントが楽しい (1 件)
- ・サークル、習い事 (1 件)

その他

- ・他を知らない (6 件)
- ・不満がない (3 件)
- ・仕方ない (2 件)
- ・引っ越ししない (1 件)

### 【他市区町村で育てたいその他の理由】

回答 82 件中 ※複数回答あり

環境などについて

- ・治安がよい (6 件)
- ・実家がある (2 件)
- ・親族・知人がいる (2 件)
- ・出身地 (1 件)
- ・公園が多い (7 件)
- ・施設が充実している (4 件)
- ・図書館が充実している (3 件)
- ・道路 (歩道) が広い (3 件)
- ・子どもが多い (2 件)
- ・利便性がよい (2 件)
- ・交通の便がよい (1 件)
- ・町がきれい (2 件)

子育て支援などについて

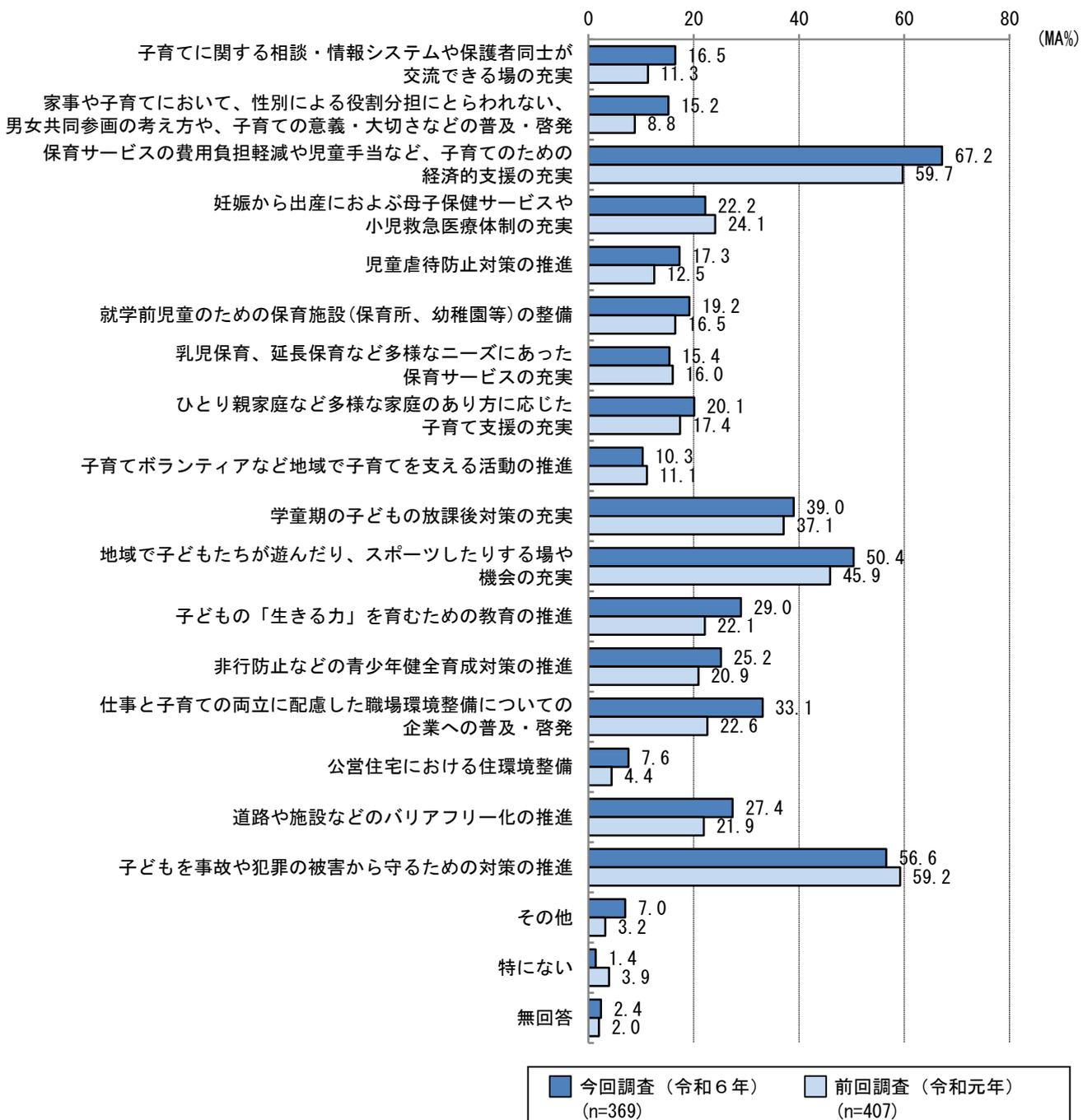
- ・支援制度が充実している (36 件)
- ・教育がよい (7 件)
- ・学校の設備がよい (4 件)
- ・医療費無償 (3 件)
- ・給食費無償 (1 件)
- ・小学校は私服、体操服でもよい (1 件)
- ・見守り隊の活動がある (1 件)
- ・若い世代を大切にしている (1 件)
- ・医療費補助がある (1 件)

その他

- ・土地柄、住民の人柄がよい (3 件)
- ・行政がよい (3 件)
- ・水道料金が安い (2 件)
- ・ゴミ収集が無料 (1 件)
- ・住民税が安い (3 件)
- ・財力がある (1 件)
- ・人からよいと聞いた (2 件)
- ・文化がある (1 件)
- ・労働世代が多い (1 件)
- ・元気になる (1 件)

〔11〕市に期待すること

問7-12 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。  
(当てはまる全てに○)



子どもを健やかに生み育てるために、市に期待することは、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」が67.2%と最も多く、次いで、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が56.6%、「地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実」が50.4%となっています。前回調査に比べて「仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発」が10.5ポイント増加しています。

〔12〕自由意見

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

学校教育について	26件
先生の質をあげたり、数をふやして教育の質をあげてほしい	5件
いじめの対応を被害者寄りにしてほしい	2件
地元の中学校の評判が悪く、進学に悩んでいる	2件
小学校の英語教育について、リズモー市との交流を高校だけでなく、小学校でも活かしてほしい	1件
学力差のある科目(特に算数)を習熟度別にしたり、もう少し深く自由に勉強できる環境があればありがたい	1件
学校でみんなが楽しく将来に夢を見れる、体験授業の取り組みをしてほしい	1件
コロナ禍から解放されても子どもは消極的なため、個別のアプローチに力を入れてほしい	1件
インフルエンザなどで登校できない場合、タブレットで授業をしてほしい	1件
夏休みにノートパソコンを使った宿題を出してほしい	1件
保育士や先生の待遇改善をしてほしい	1件
学校(園)の先生がもっと子どもたちと向き合えるように学校の掃除や雑務はシルバーまたはどこか会社に委託するべき	1件
学校内のサポーターの充実をしてほしい	1件
市の財政が厳しく教育に関わるものを制限されたり、人材を十分に確保できないことを複数の学校で聞いている。学校が十分に教育できる環境をつくっていただきたい	1件
学校のモンスターペアレンツ対策は分かるが、責任を負わないようにしているように見える。責任感、自立心など、子どもたちに影響を与えていると思う	1件
集団登校であるが、時間通り集まらず集団の意味がない	1件
登下校時の見守りをしてほしい	2件
幼稚園に不満がある	1件
安心できる教育環境が大切	1件
地元の中学校以外に進学する児童の支援をしてほしい	1件
学校の設備について	10件
学校のトイレをきれいにしてほしい	6件
校区によって施設に差がある	2件
学校の設備が古い	1件
体育館のマットが古くて汚い	1件
校則、制服について	3件
学校の規則が近代的でない	1件
学校の制服、制帽を男女で分けなくてほしい	1件
市内で学校の制服の有無などに差があるが、親への金銭的な負担があるので考えていただきたい	1件

校区について	3件
校区の見直しをしてほしい	1件
中学校区の見直し(片塩小学校は、片塩中学、高田中学の2つの中学に別れて進学する)をしてほしい	1件
校区を選びたい	1件
放課後などの過ごし方について	25件
放課後の活動(クラブ活動、習い事、勉強を教えてもらうところ)の支援をしてほしい	5件
気軽に一時預かりできる施設があればいい	3件
学童、児童ホームの内容や質の向上	3件
定員割れの幼稚園をこども園や学童ホームにしてほしい	2件
学童、児童ホームに給食がほしい	2件
児童ホームがせまい	1件
児童ホーム指導員の質の向上	1件
放課後に市の会館を利用しているが、子育て期において親が安心できる市の施設があることで、心の持ちようが全く違いありがたい	1件
下の子が上の子と一緒に下校できるよう、待機させるシステムがほしい	1件
放課後教室や塾、習い事の送迎を気軽に頼めるシステムがほしい	4件
文化的な習い事がしやすくなってほしい	1件
空き教室などで習い事があるとうれしい	1件
公園・遊び場について	55件
公園を増やす、良くする	22件
子どもが安心して遊べる公園にしてほしい	8件
公園の遊具が少ない、改善してほしい	6件
公園でボール遊びをしたい、バスケットボールのゴールがほしい	4件
公園がない地区がある	3件
五條市の公園みたいな小さな子供が遊べる公園がほしい	2件
小学校高学年から中学生でも体を動かせる場所がほしい(未就学児の遊び場は多い)	2件
香芝の遊び場のような施設がほしい	1件
室内の遊び場を作ってほしい	1件
プールは他の市に行かないといけないので、プールを作ってほしい	1件
他の子どもと交流できる遊び場がほしい	1件
体育館の個人への貸し出しをしてほしい	1件
公園、グラウンドのトイレの整備をしてほしい	1件
ふれっぱなどのとりくみをふやしてほしい	1件
ふれっぱが交通量の多い所にあり危ない	1件
地域環境について	47件
道路が狭い、見通しが悪い、交通量多い、危険運転の車が多い	13件
歩道、通学路の整備をしてほしい	13件
空き家の活用や対策をする	3件
用水路にフタを整備してほしい	3件
小児科、産科を増やしてほしい	3件
防犯カメラを増やしてほしい	2件

II-2. 小学生調査の結果

街灯を増やしてほしい	1件
信号がない横断歩道に信号の設置をしてほしい	1件
道路の浸水対策をしてほしい	1件
町をきれいにしてほしい	1件
もっと緑を多く自然豊かにしてほしい	1件
17時になったら、市全帯にスピーカーなどでお知らせの音楽などを流してほしい	1件
近所に同年代の子どもが少ない	1件
きぼう号の乗り継ぎが不便	1件
子供たちが安全に生活できるようにしてほしい	1件
ずっと住んでいる方には当たり前の風景と支援なのかもしれないが、県外から越してきた者にとってはすごく住みづらく、子どもにとって全くよい環境とは言えない	1件
公共施設について	6件
図書館の充実をしてほしい	3件
避難所指定の高田総合体育館の設備(冷房、トイレなど)の改善	2件
公共施設にWi-Fiがほしい	1件
子育て支援について	36件
給食の無償化	6件
医療費の無償化	4件
子育て世帯への支援	4件
多子世帯への支援	3件
医療費の助成について、一度に高額支払うのは大変なので、窓口で500円負担とかにしてほしい	3件
学童の無償化	2件
学用品を無料にしてほしい	2件
他市町村のような支援をしてほしい	2件
子育て費用負担軽減	2件
私立中学の無償化	2件
高校無償化	2件
保育料無償化	1件
3人きょうだいで年が離れていると2人とみなされ、手当てが受けられないことを改善してほしい	1件
インフルエンザ予防接種の助成	1件
塾の手当をしてほしい	1件
障がい児への支援について	5件
発達障がいの情報がほしい、支援を充実してほしい	2件
障がい児への配慮や理解をしてほしい	1件
養護学校なのでホーム、子ども会に参加できず、地域とのかかわりがなくなった	1件
障がい児の預け先がない	1件
働く親への支援について	8件
長期休暇中のみ学童ホームなど預かりを利用したい	2件
長期休暇中も子どもをあずかってほしい	2件

仕事が決まらなると児童ホームに申し込み出来ず困った	1件
フードバンクが土日中心なので土日仕事では利用しづらい	1件
始業式・終業式の日も給食ありにしてほしい	1件
教育、保育に親が時間をあてられるように、働く職場環境の整備が重要。環境支援を整備し、情報発信をいただきたい。	1件
PTA、子ども会について	4件
PTAが学校によって負担の差がある	1件
子ども会やPTAなど、役員の負担が多いが、周りとのしがらみで、なくすことができないのがもどかしい	1件
PTA、子ども会の負担が大きく、専業主婦でないと無理	1件
地域で子ども会など、子どもたちの交流する機会が少ない	1件
市に対する要望	31件
高齢者、ひとり親、非課税世帯以外にも支援を充実してほしい	7件
別居中や調停中の家庭の支援	2件
子供が楽しめるイベントやフリーマーケットの企画	3件
子育て経験者などにもっとニーズのある支援を考えてもらいたい	2件
「ラーケーション」などの取り入れ	1件
事業をするなら何のためにどのようなことをするのか明確にしてほしい	1件
もっと情報を開示してほしい	1件
アンケート調査の結果や声は開示してほしい	1件
子どもたちのために予算を組んでとりくんでほしい	1件
市役所全体で子育てしやすい環境を考えてほしい	1件
学校と教育委員会がもっと気軽に意見交換できる組織作りが必要	1件
もっと園や学校に赴き、子ども目線で改良ポイントを見つけてください	1件
もっとよりそい深く考えてほしい	1件
現場の声を聞いてほしい	1件
若く力ある市長さんになったので、今までの不明瞭な古い考えをひっくり返してほしい	1件
子育て・子どもに、とにかくお金を使ってください	1件
水道代が高い	1件
ひとり親の家賃補助	1件
市民一人一人のマナーの向上	1件
子どもが真似るので、大人が交通マナーを守る(横断歩道を渡るなど)	1件
子ども達の未来のためよろしく願います。	1件
その他	6件
以前に比べると、子育てのサポートはずいぶんよくなった	2件
給食費無料ありがとうございます	1件
児童ホームは7:30から受け入れていただけるのでありがたい	1件
先生達にめぐまれ、近所の人はいさつもするし、十分	1件
色々対策を考えてくださりありがとうございます	1件



## 調査票



## 大和高田市子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童用)



!! アンケートにご協力をお願いします !!

皆様には、日頃より大和高田市政にご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

大和高田市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年度～令和6年度（2020年度～2024年度）を計画期間とする「大和高田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各種の子育て支援施策を実施しています。

このたび、令和7年度(2025年度)を始期とする「第3期大和高田市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、幼稚園や認定こども園などの教育・保育施設のニーズや、一時預かりや病児保育などの子育てに関する支援サービスのニーズなどを把握するため調査を実施します。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

ご多忙のこととは存じますが、皆様のご意見を大和高田市政に反映させるため、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年3月

大和高田市長 堀内 大造

### 【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、調査対象のお子さんの保護者の方が、対象のお子さんについてご記入ください。**就学前のお子さんが複数おられる場合は、一番下のお子さんが調査の対象となります。**
- ご記入は、黒または青のボールペンか濃い鉛筆を使用し、用紙に直接記入してください。間違った場合は、消しゴムで消すか、二重線又は×印で訂正してください。
- 回答は、令和6年3月1日現在の内容で回答してください。
- 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。選択肢の「その他」に○をつけられた場合は( )内に具体的な内容を記入してください。
- 数字(年齢や時間帯等)をおうかがいする質問では、枠内右詰めに具体的な数字をご記入ください(1枠に1文字)。時間は、必ず「09～17時(例)」のように24時間制でご記入ください。
- 記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、令和6年3月27日(水)までにご返送ください。
- ご回答は無記名で、ご回答いただいた内容は統計的に処理しますので、皆さまのお名前や回答内容が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することは一切ありません。
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大和高田市 福祉部 保育幼稚園課 電話 0745-22-1101(内線)2582

# 1. 対象のお子さんご家族についてうかがいます。

問1-1 お住まいの校区と地区についてお答えください。【○は1つ】

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 片塩校区 | 2. 高田校区 | 3. 土庫校区 | 4. 浮孔校区  |
| 5. 磐園校区 | 6. 陵西校区 | 7. 菅原校区 | 8. 浮孔西校区 |

現在お住まいの地区の郵便番号をご記入ください。

6 3 5 — □ □ □ □

問1-2 対象のお子さんの生年月をお答えください。【□内に数字を記入】

平成・令和

□ □

年

□ □

月

生まれ

問1-3 お子さんは全員で何人ですか。【□内に数字を記入】

お子さんの合計は  
(対象のお子さんを含む)



□

人

(記入例) 対象のお子さんがひとりっ子の場合 → 1人  
きょうだい2人いる場合 → 3人

問1-4 調査票に記入いただく方はどなたですか。  
対象のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

1. 母親                      2. 父親                      3. その他 (                      )

問1-5 調査票に記入いただいている方の配偶者についてお答えください。【○は1つ】

1. 配偶者がいる                      2. 配偶者はいない

問1-6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

1. 父母ともに                      2. 主に母親                      3. 主に父親  
4. 主に祖父母                      5. その他 (                      )

## 2. 対象のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問2-1 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている方はどなた(どこ)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる全てに○】

- |          |        |           |            |
|----------|--------|-----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親  | 3. 父親     | 4. 祖父母     |
| 5. 幼稚園   | 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他 ( ) |

問2-2 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思う環境はどれですか。【当てはまる全てに○】

- |        |           |            |
|--------|-----------|------------|
| 1. 家庭  | 2. 地域     | 3. 幼稚園     |
| 4. 保育所 | 5. 認定こども園 | 6. その他 ( ) |

問2-3 日頃、対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【当てはまる全てに○】

- 1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

⇒ 問2-4 へ

⇒ 問2-5 へ

⇒ 問2-6 へ

問2-3で「1」または「2」に○をつけた方うかがいます。

問2-4 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【当てはまる全てに○】

- 1. 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2. 祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である
- 3. 祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6. その他 ( )

問2-3で「3」または「4」に○をつけた方うかがいます。

問2-5 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【当てはまる全てに○】

- 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6. その他 ( )

**問2-6** 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。【○は1つ】

1. いる／ある

⇒ 問2-7 へ

2. いない／ない

⇒ 問2-8 へ

**問2-6**で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。

**問2-7** 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に関して気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
【当てはまる全てに○】

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 祖父母などの親族           | 2. 友人や知人              |
| 3. 近所の人               | 4. 職場の人・同僚            |
| 5. 幼稚園・保育所などの保護者仲間    | 6. 子育て支援施設(児童館など)・NPO |
| 7. 子育てサポートクラブ         | 8. 子育てサークルの仲間         |
| 9. 保健所・保健センター         | 10. 保育士               |
| 11. 幼稚園教諭             | 12. 民生委員・児童委員         |
| 13. かかりつけの医師          | 14. 大和高田市の子育て関連担当窓口   |
| 15. インターネット掲示板・専用サイト等 | 16. 民間の電話相談           |
| 17. その他 ( )           |                       |

**問2-6**で「2. いない／ない」に○をつけた方にかがいます。

**問2-8** 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者)から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお答えください。

### 3. 対象のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問3-1 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。【○は1つ】

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイトなど:フルタイム以外の就労

※父子家庭の場合は「(1)母親」、母子家庭の場合は「(2)父親」の記入は不要

(1)母親	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2 へ
	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2、3-3 へ
	4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問3-4 へ
	6. これまで就労したことがない	
(2)父親	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2 へ
	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2、3-3 へ
	4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問3-4 へ
	6. これまで就労したことがない	

問3-1で「1」~「4」(就労している)のいずれかに○をつけられた方うかがいます。

問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。【□内に数字を記入、時間は24時間制、10分単位】

※就労日数・時間、時刻が一定でない場合は、一番多いパターンについて記入してください

※産休・育休・介護休業を取得中の方は、取得前の状況について記入してください

	(1)母親	(2)父親
就労日数	1週あたり <input type="text"/> 日	1週あたり <input type="text"/> 日
就労時間	1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 0 分	1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 0 分
家を出る時刻	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分
帰宅時刻	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分

問3-1で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方うかがいます。

問3-3 フルタイムへの変更の希望はありますか。【○は1つ】

(1)母親	(2)父親
1. フルタイムへの変更希望があり、実現の見込みがある	1. フルタイムへの変更希望があり、実現の見込みがある
2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない	2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない
3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する	3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問3-1で「5」または「6」(就労していない、就労したことがない)に○をつけた方うかがいます。

問3-4 就労したいという希望はありますか。【○は1つ、□内に数字を記入】

(1)母親	(2)父親
1. 就労の予定はない (子育てや家事などに専念したいなど)	1. 就労の予定はない (子育てや家事などに専念したいなど)
2. 1年以上先、1番下の子どもが □□ 才になった頃に就労したい	2. 1年以上先、1番下の子どもが □□ 才になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
<p><b>「2」「3」(就労したい)とお答えの方</b> 希望する就労形態</p> <p>1. フルタイム</p> <p>2. <u>パート・アルバイトなど</u></p> <p>1週あたり □□ 日</p> <p>1日あたり □□ 時間</p>	<p><b>「2」「3」(就労したい)とお答えの方</b> 希望する就労形態</p> <p>1. フルタイム</p> <p>2. <u>パート・アルバイトなど</u></p> <p>1週あたり □□ 日</p> <p>1日あたり □□ 時間</p>







## 5. 対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

**問5-1** 対象のお子さんは、現在、「地域子育て支援事業」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。  
【当てはまる全てに○、おおよその利用回数を口内に数字で記入】

1. 地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター、児童館等) を利用している

→ 1週あたり  回、もしくは 1ヶ月あたり  回程度

2. 大和高田市で実施している類似の事業 (例: 認定こども園の子育て支援室、すこやか広場) を利用している

→ 1週あたり  回、もしくは 1ヶ月あたり  回程度

3. 利用していない

**問5-2** 問5-1のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。

【○は1つ、おおよその利用希望回数を口内に数字で記入】

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります

1. 利用していないが、今後利用したい

→ 1週あたり  回、もしくは 1ヶ月あたり  回程度

2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい

→ 1週あたり 更に  回、もしくは 1ヶ月あたり 更に  回程度

3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

**問5-3** 次の事業の中で、知っているものや今までに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。A~Cのそれぞれについてお答えください。【「はい」「いいえ」のいずれかに○】

事業名	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
① ウェルカムベビー教室・もぐもぐ教室	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
② こんにちは赤ちゃん事業 (こども家庭課)	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
③ 保健センターの情報・相談事業	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
④ 児童館・支援センター・青少年会館での育児教室	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
⑤ 教育相談 (面談・電話)	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
⑥ 幼稚園・保育所・認定こども園の園庭等の開放	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
⑦ 児童総合相談窓口 (こども家庭課)	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
⑧ 情報誌「すこやか」・ホームページ	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
⑨ 子育てサポートクラブ	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ

**6. 対象のお子さんの土曜日・休日や長期休暇期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問6-1 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

【○は1つ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□に数字で記入】

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません

**(1)土曜日**

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯 □ □ 時 □ 0 分～  
 ※時間は24時間制、  
 10分単位で記入 □ □ 時 □ 0 分まで

**(2)日曜日・祝日**

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯 □ □ 時 □ 0 分～  
 ※時間は24時間制、  
 10分単位で記入 □ □ 時 □ 0 分まで

問6-1で、土曜日または日曜日・祝日で「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問6-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由についてうかがいます。【当てはまる全てに○】

- 1. 月に数回仕事があるため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いがあるため
- 4. リフレッシュのため
- 5. その他 ( )

現在、幼稚園・認定こども園(教育)を利用されている方うかがいます。

問6-3 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。【○は1つ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□に数字で記入】

1. 利用する必要はない

2. 休み中、ほぼ毎日利用したい

3. 休み中、週に数日利用したい

利用したい時間帯 □ □ 時 □ 0 分～  
 ※時間は24時間制、  
 10分単位で記入 □ □ 時 □ 0 分まで

問6-3で「3. 休み中、週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問6-4 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【当てはまる全てに○】

- 1. 週に数回仕事があるため
- 2. 買い物などの用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いがあるため
- 4. リフレッシュのため
- 5. その他 ( )

## 7. 対象のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

※平日の教育・保育事業を利用している方のみお答えください

問4-1で「1. (定期的な教育・保育事業を利用している)」に○をつけた方うかがいます。

問7-1 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで通常(普段利用している)の教育・保育事業を利用できなかったことがありましたか。【○は1つ】

1. あった

⇒ 問7-2 へ

2. なかった

⇒ 問8-1 へ

問7-1で「1. あった」に○をつけられた方うかがいます。

問7-2 対象のお子さんが通常の教育・保育事業を利用できなかった時の、この1年間に行った対処方法をお答えください。(半日程度の場合も1日としてカウントしてください)

【当てはまる全てに○、その日数を口内に数字で記入】

1年間の対処方法	日数(年間)
1. 母親が休んだ	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 父親が休んだ	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 母親又は父親のうち、就労していない方が子どもをみた	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを利用した	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 子どもだけで留守番をさせた	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
8. その他	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日

⇒ 問7-3 へ

⇒ 問7-6 へ

問7-2で「1」または「2」に○をした方うかがいます。

問7-3 その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いませんか。

【○は1つ、利用したいと思った場合はその日数を口内に数字で記入】

※病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい (利用希望日数    日/年)

⇒ 問7-4 へ

2. 利用したいとは思わなかった

⇒ 問7-5 へ

問7-3で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」に○をつけた方うかがいます。

問7-4 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いませんか。

【当てはまる全てに○】

1. 他の施設(例: 幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業

2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

3. 地域住民等が子育て家庭などの身近な場所で保育する事業

4. その他 ( )

問7-3で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方うかがいます。

問7-5 利用したいと思わなかった理由についてうかがいます。【当てはまる全てに○】

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数等）がよくない
4. 利用料がかかる、高い
5. 利用料がわからない
6. 事業の利用方法（手続きなど）がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する
8. その他（ )

問7-2で「3」～「8」に○をつけられた方うかがいます。

問7-6 対象のお子さんが病気やケガの時に、できれば父母のどちらかが仕事を休んで看たいと思いましたが。【○は1つ、「3」から「8」の日数のうち、仕事を休んで看たいと思った日数を□に数字で記入】

1. できれば仕事を休んで看たいと思った (その日数    日/年) ➡ 問8-1 へ
2. 仕事を休んで看ることはできない ➡ 問7-7 へ

問7-6で「2. 仕事を休んで看ることはできない」に○をつけられた方うかがいます。

問7-7 対象のお子さんが病気の時、仕事を休んでみるができない理由についてお答えください。【当てはまる全てに○】

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数がたりないので休めない
4. 休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない
5. その他（ )

**8. 対象のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

**問8-1** 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育やお子さんの病気やケガのため以外に、私用、親の通院、不特定の就労などで、不定期に利用している事業はありますか。  
【当てはまる全てに○、1年間のおおよその利用日数を口内に数字で記入】

利用している事業	日数 (年間)
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所、託児室等で一時的に子どもを保育する事業)	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常就園時間を延長し、預かる事業のうち不定期に利用する場合)	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 子育てサポートクラブ (地域住民が子どもを預かる事業)	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ (児童養護施設等で一定期間子どもを養育保護する事業)	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. その他 ( )	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 利用していない	<b>→ 問8-2 へ</b>

**→ 問8-3 へ**

**問8-1**で「7. 利用していない」に○をした方うかがいます。  
**問8-2** 現在、利用していない理由についてお答えください。【当てはまる全てに○】

- 1. 特に利用する必要がない
- 2. 利用したい事業が地域にない
- 3. 地域の事業の質に不安がある
- 4. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間、日数等) がよくない
- 5. 利用料がかかる、高い
- 6. 利用料がわからない
- 7. 自分が事業の対象となるかどうかわからない
- 8. 手続きなど事業の利用方法がわからない
- 9. その他 ( )

**問8-3** 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労などで、問8-1の「1」～「6」の事業を、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な日数を記入してください。【当てはまる全てに○、日数を口内に数字で記入】  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります

1. 利用したい	計 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
ア. 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院 等	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. 不特定の就労	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. その他 ( )	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日

**→ 問8-4 へ**

**→ 問8-5 へ**



## 9. 対象のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

対象のお子さんが5歳以上である方のみ →5歳未満の方は、問10-1へ

問9-1 対象のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年(1~3年)のうちと、小学校高学年(4~6年)になったときのそれぞれについてご記入ください。

【当てはまる全てに○、希望する週当たりの日数を□内に数字で記入。「6.放課後児童クラブ」を選んだ場合は利用を希望する時間帯も記入】

	(1)小学校低学年(1~3年)	(2)小学校高学年(4~6年) ※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ (児童ホーム) ※2	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分まで	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分まで
7. 子育てサポートクラブ	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他(公民館・公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1「放課後こども教室」 地域の方の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらずすべての小学生が利用できます。

※2「放課後児童クラブ」 大和高田市では、「児童ホーム」と呼んでいます。保護者が就労等により、昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと子どもの生活の場を提供しています。利用にあたっては、利用料がかかります。

問9-1で「6. 放課後児童クラブ(児童ホーム)」に○をつけた方にかがいます。

問9-2 対象のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日や長期休暇期間中(夏休み、冬休み、春休みなど)に放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【それぞれについて○は1つ、利用したい場合は希望する時間帯を口内に数字で記入】

※事業の利用には利用料が必要です

(1)土曜日 ※時間は24時間制、10分単位

1. 子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

2. 子どもが高学年(4~6年)になっても利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

3. 利用する必要はない

(2)日曜日・祝日 ※時間は24時間制、10分単位

1. 子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

2. 子どもが高学年(4~6年)になっても利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

3. 利用する必要はない

(3)長期休暇期間中(夏休み・冬休み・春休み) ※時間は24時間制、10分単位

1. 子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

2. 子どもが高学年(4~6年)になっても利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

3. 利用する必要はない





問10-8 お勤め先に育児のために3才まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何才何ヶ月の時まで取りたかったですか。【口内に数字で記入】

(1)母親	(2)父親
希望は、 <input type="text"/> 才 <input type="text"/> 月まで	希望は、 <input type="text"/> 才 <input type="text"/> 月まで

問10-7で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

問10-9 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1)「希望」より早く復帰した方【当てはまる全てに○】

(1)母親	(2)父親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ( )	5. その他 ( )

(2)「希望」より遅く復帰した方【当てはまる全てに○】

(1)母親	(2)父親
1. 子どもの成長を重視したため	1. 子どもの成長を重視したため
2. 希望する保育所に入れなかったため	2. 希望する保育所に入れなかったため
3. 自分や子どもの体調が思わしくなかったため	3. 自分や子どもの体調が思わしくなかったため
4. 配偶者や家族の希望があったため	4. 配偶者や家族の希望があったため
5. 職場の受け入れ体制が整っていなかったため	5. 職場の受け入れ体制が整っていなかったため
6. 子どもをみってくれる人がいなかったため	6. 子どもをみってくれる人がいなかったため
7. その他 ( )	7. その他 ( )

問10-5で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

問10-10 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度(労働時間や労働日数を短縮する制度)を利用しましたか。【○は1つ】

(1)母親	(2)父親
1. 短時間勤務制度を利用した	1. 短時間勤務制度を利用した
2. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	2. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)
3. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	3. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)

問10-10で「2. (短時間勤務制度を)利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問10-11 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。【当てはまる全てに○】

(1)母親	(2)父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するために退職した	7. 子育てや家事に専念するために退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ( )	10. その他 ( )

問10-5で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問10-12 対象のお子さんが1才になられた時に必ず利用できる事業があれば、お子さんが1才になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1才になる前に復帰しますか。【○は1つ】

(1)母親	(2)父親
1. 1才になるまで育児休業を取得したい	1. 1才になるまで育児休業を取得したい
2. 1才になる前に復帰したい	2. 1才になる前に復帰したい

問10-13 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。【○は2つまで】

1. 残業や休日出勤が多い、または急な残業や休日出勤が入ったりする
2. 急な用事ができた時や、子どもが病気になった時に面倒をみてくれる人がいない
3. 配偶者・パートナーや家族の理解・協力が得られない
4. 職場の理解・協力が得られない
5. 子どもの面倒をみてくれる保育施設がみつからない
6. 子どもと接する時間が少ない
7. その他 ( )
8. 特にない

## 11. 子育て全般についてうかがいます。

問11-1 子育てを楽しんでいることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。【○は1つ】

1. 楽しいと感じることが多い
2. つらいと感じることが多い
3. 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい
4. わからない
5. その他 ( )

問11-1で「2」または「3」(つらいと感じる)に○をつけた方にうかがいます。

問11-2 子育てがつらいと感じるのはいつ、どのようなときですか。自由にご記入ください。

問11-3 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。  
【当てはまる全てに○】

1. 子どもの発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 子どもの病気や障害に関すること
4. 育児・しつけの方法がよくわからないこと
5. 子どもへの接し方がよくわからないこと
6. 子どもとの時間を十分にとれないこと
7. 自分自身や夫婦で自由な時間がもてないこと
8. 話し相手や相談相手がいないこと
9. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
10. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力や理解が少ないこと
12. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
14. 子育てによる身体的な負担が大きいこと
15. 子育てによる精神的な負担が大きいこと
16. 子育ての経済的負担に関すること
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他 ( )
19. 特にない

問11-4 ふだん、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。【当てはまる全てに○】

1. 親族(親、兄弟姉妹など)
2. 隣近所の人、知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 保育所、幼稚園、学校
5. 子育て支援センター
6. 市役所や市の機関
7. 市の広報やパンフレット
8. 市のホームページ
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. インターネット(市のホームページ以外)
11. 子育て雑誌・育児書
12. その他の雑誌
13. その他 ( )
14. 情報の入手先がない
15. どこで入手すればよいかかわからない

問11-5 あなたは、ご近所や地域の人々と、どの程度のお付き合いをしていますか。【○は1つ】

- 付き合いの  
程度が深い ↑
1. とても親しい
  2. 付き合いがありやや親しい
  3. 少々付き合いがある
- ↓
- 付き合いの  
程度が浅い
4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
  5. 付き合いはほとんどない

問11-6 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。【○は1つ】

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

問11-6で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問11-7 誰に支えられていると感じますか。【当てはまる全てに○】

1. 近所の人
2. 同じ世代の子どもを持つ保護者
3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4. 地域活動を行っているNPOなどの人
5. その他 ( )

問11-6で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問11-8 誰に支えてほしいと思いますか。【当てはまる全てに○】

1. 近所の人
2. 同じ世代の子どもを持つ保護者
3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4. 地域活動を行っているNPOなどの人
5. その他 ( )
6. 特にいない

問11-9 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。【当てはまる全てに○】

1. 子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になったりしてほしい
2. 緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい
3. 危険な遊びやいじめをみつけたら注意してほしい
4. 子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい
5. 子どもが参加できる地域行事や催しなどに積極的に参加してほしい
6. 子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化などを教えてほしい
7. その他 ( )
8. 特にない

問11-10 大和高田市における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。【○は1つ】

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

問11-11 子どもを育てる場所を自由に選べるとしたら、今後も大和高田市で育てたいと思いますか。  
【○は1つ】

1. 大和高田市で育てたい
2. 他市区町村で育てたい (市区町村名: )

**問11-12 問11-11 で回答した理由をお答えください。【当てはまる全てに○】**

※「1」に○をつけた方は「大和高田市で育てたい」理由を、「2」に○をつけた方は「他市区町村で育てたい」理由をお答えください。

1. 自然があるから
2. 社会に活気があるから
3. 子育てに関する情報が豊富だから
4. 文化が豊かだから
5. 防犯・防災面で安全性が高いから
6. 遊び場がたくさんあるから
7. 塾がたくさんあるから
8. 近隣のつきあいが活発だから
9. 子ども会などのグループ活動が活発だから
10. 人情味があるから
11. 風土がのんびりしているから
12. 病院がたくさんあるから
13. その他 ( )

**問11-13 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。【当てはまる全てに○】**

1. 子育てに関する相談・情報システムや保護者同士が交流できる場の充実
2. 家事や子育てにおいて、性別による役割分担にとらわれない、男女共同参画の考え方や、子育ての意義・大切さなどの普及・啓発
3. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実
4. 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスや小児救急医療体制の充実
5. 児童虐待防止対策の推進
6. 就学前児童のための保育施設(保育所、幼稚園等)の整備
7. 乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
8. ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
9. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動の推進
10. 学童期の子どもの放課後対策の充実
11. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実
12. 子どもの「生きる力」を育むための教育の推進
13. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
14. 仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発
15. 公営住宅における住環境整備
16. 道路や施設などのバリアフリー化の推進
17. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進
18. その他 ( )
19. 特にない

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

## 大和高田市子育て支援に関するニーズ調査(小学生用)



### !! アンケートにご協力をお願いします !!

皆様には、日頃より大和高田市政にご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

大和高田市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年度～令和6年度（2020年度～2024年度）を計画期間とする「大和高田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各種の子育て支援施策を実施しています。

このたび、令和7年度(2025年度)を始期とする「第3期大和高田市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、放課後児童クラブ（児童ホーム）や一時預かり、病児保育などの子育てに関する支援サービスのニーズなどを把握するため調査を実施します。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

ご多忙のこととは存じますが、皆様のご意見を大和高田市政に反映させるため、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年3月

【ご記入にあたってのお願い】 大和高田市長 堀内 大造

- このアンケートは、小学校に通うお子さんの保護者の方が、対象のお子さんについてご記入ください。小学校に通うお子さんが複数おられる場合は、一番下のお子さんが調査の対象となります。
- ご記入は、黒または青のボールペンか濃い鉛筆を使用し、用紙に直接記入してください。間違った場合は、消しゴムで消すか、二重線又は×印で訂正してください。
- 回答は、令和6年3月1日現在の内容で回答してください。
- 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。選択肢の「その他」に○をつけられた場合は( )内に具体的な内容を記入してください。
- 数字(年齢や時間帯等)をおうかがいする質問では、枠内右詰めに具体的な数字をご記入ください(1枠に1文字)。時間は、必ず「09～17時(例)」のように24時間制でご記入ください。
- 記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、令和6年3月27日(水)までにご返送ください。
- ご回答は無記名で、ご回答いただいた内容は統計的に処理しますので、皆さまのお名前や回答内容が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することは一切ありません。
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大和高田市 福祉部 保育幼稚園課 電話 0745-22-1101(内線)2582

# 1. 対象のお子さんをご家族についてうかがいます。

問1-1 対象のお子さんが通う小学校とお住まいの地区をお答えください。【○は1つ】

- |          |          |          |           |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 片塩小学校 | 2. 高田小学校 | 3. 土庫小学校 | 4. 浮孔小学校  |
| 5. 磐園小学校 | 6. 陵西小学校 | 7. 菅原小学校 | 8. 浮孔西小学校 |

現在お住まいの地区の郵便番号をご記入ください。

6	3	5	—				
---	---	---	---	--	--	--	--

問1-2 対象のお子さんの生年月をお答えください。【□内に数字を記入】

平成

--	--

年

--	--

月 生まれ

問1-3 お子さんは全員で何人ですか。【□内に数字を記入】

お子さんの合計は  
(対象のお子さんを含む)

--

人

(記入例) 対象のお子さんがひとりっ子の場合 → 1人  
きょうだい2人いる場合 → 3人

問1-4 対象のお子さんは末子ですか。【○は1つ】

末子でない場合は末子の生年月についてもご記入ください。【□内に数字を記入】

1. はい

2. いいえ



末子の生年月  
平成・令和

--	--

年

--	--

月 生まれ

問1-5 調査票に記入いただく方はどなたですか。

対象のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

1. 母親

2. 父親

3. その他 ( )

問1-6 調査票に記入いただいている方の配偶者についてお答えください。【○は1つ】

1. 配偶者がいる

2. 配偶者がいない

問1-7 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください。【○は1つ】

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他 ( )

## 2. 対象のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問2-1 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている方はどなた(どこ)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる全てに○】

1. 父母ともに
2. 母親
3. 父親
4. 祖父母
5. その他 ( )

問2-2 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思う環境はどれですか。【当てはまる全てに○】

1. 家庭
2. 地域
3. 学校
4. その他 ( )

問2-3 対象のお子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。【当てはまる全てに○】

1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

⇒ 問2-4 へ

⇒ 問2-5 へ

⇒ 問2-6 へ

問2-3で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問2-4 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【当てはまる全てに○】

1. 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

問2-3で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問2-5 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【当てはまる全てに○】

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

問2-6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。【○は1つ】

1. いる/ある

➡ 問2-7 へ

2. いない/ない

➡ 問2-8 へ

問2-6で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

問2-7 対象のお子さんの子育て(教育を含む)に関して気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
【当てはまる全てに○】

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 祖父母などの親族         | 2. 友人や知人              |
| 3. 近所の人             | 4. 職場の人・同僚            |
| 5. 学校の保護者仲間         | 6. 子育て支援施設(児童館など)・NPO |
| 7. 子育てサポートクラブ       | 8. 子育てサークルの仲間         |
| 9. 保健所・保健センター       | 10. 学校の先生             |
| 11. 民生委員・児童委員       | 12. かかりつけの医師          |
| 13. 大和高田市の子育て関連担当窓口 | 14. インターネット掲示板・専用サイト等 |
| 15. 民間の電話相談         |                       |
| 16. その他 ( )         |                       |

問2-6で「2. いない/ない」に○をつけた方にうかがいます。

問2-8 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者)から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお答えください。

### 3. 対象のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問3-1 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。【○は1つ】

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイトなど:フルタイム以外の就労

※父子家庭の場合は「(1)母親」、母子家庭の場合は「(2)父親」の記入は不要

(1)母親	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2 へ
	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2、3-3 へ
	4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問3-4 へ
	6. これまで就労したことがない	
(2)父親	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2 へ
	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問3-2、3-3 へ
	4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問3-4 へ
	6. これまで就労したことがない	

問3-1で「1」~「4」(就労している)のいずれかに○をつけられた方にうかがいます。

問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。【□内に数字を記入、時間は24時間制、10分単位】

※就労日数・時間、時刻が一定でない場合は、一番多いパターンについて記入してください

※産休・育休・介護休業を取得中の方は、取得前の状況について記入してください

	(1)母親	(2)父親
就労日数	1週あたり <input type="text"/> 日	1週あたり <input type="text"/> 日
就労時間	1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 0 分	1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 0 分
家を出る時刻	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分
帰宅時刻	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分

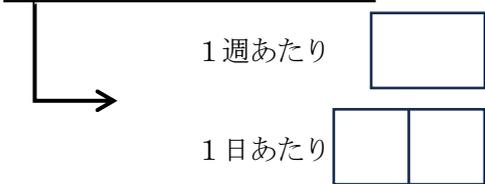
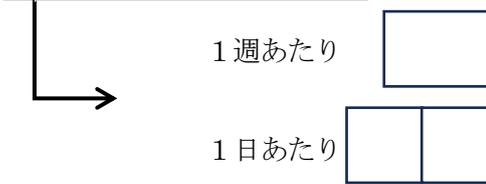
問3-1で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問3-3 フルタイムへの変更の希望はありますか。【○は1つ】

(1)母親	(2)父親
1. フルタイムへの変更希望があり、実現の見込みがある	1. フルタイムへの変更希望があり、実現の見込みがある
2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない	2. フルタイムへの変更希望はあるが、実現の見込みはない
3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する	3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問3-1で「5」または「6」(就労していない、就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。

問3-4 就労したいという希望はありますか。【○は1つ、□内に数字を記入】

(1)母親	(2)父親
1. 就労の予定はない (子育てや家事などに専念したいなど)	1. 就労の予定はない (子育てや家事などに専念したいなど)
2. 1年以上先、1番下の子どもが □□ 才になった頃に就労したい	2. 1年以上先、1番下の子どもが □□ 才になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
<b>「2」「3」(就労したい)とお答えの方</b> 希望する就労形態 1. フルタイム 2. パート・アルバイトなど 	<b>「2」「3」(就労したい)とお答えの方</b> 希望する就労形態 1. フルタイム 2. パート・アルバイトなど 

問3-5 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。【○は2つまで】

1. 残業や休日出勤が多い、または急な残業や休日出勤が入ったりする
2. 急な用事ができた時や、子どもが病気になった時に面倒をみってくれる人がいない
3. 配偶者・パートナーや家族の理解・協力が得られない
4. 職場の理解・協力が得られない
5. 子どもの面倒をみってくれる保育施設がみつからない
6. 子どもと接する時間が少ない
7. その他 ( )
8. 特にない

#### 4. 対象のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問4-1 対象のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、希望としては、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【当てはまる全てに○、それぞれの週当たりの日数を口内に数字で記入。放課後児童クラブを選んだ場合は時間帯も記入(24 時間制、10 分単位)】

	(1)現在の状況	(2)希望
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの延べ日数)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室※1	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ(児童ホーム)※2	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時～ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分まで	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時～ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 0 分まで
7. 子育てサポートクラブ	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他(公民館・公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1「放課後こども教室」 地域の方の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらずすべての小学生が利用できます。

※2「放課後児童クラブ」 大和高田市では、「児童ホーム」と呼んでいます。保護者が就労等により、昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと子どもの生活の場を提供しています。利用にあたっては、利用料がかかります。



すべての方にかがいます。

問4-6 放課後児童クラブ(児童ホーム)を現在利用している、していないにかかわらず、今後、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中(夏休み・冬休み・春休み)について、利用希望はありますか。【それぞれについて○は1つ、利用したい場合は希望する時間帯を口内に数字で記入】  
※事業の利用には利用料が必要です

(1)土曜日 ※時間は24時間制、10分単位

1. 子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

2. 子どもが高学年(4~6年)の間も利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

3. 利用する必要はない

(2)日曜日・祝日 ※時間は24時間制、10分単位

1. 子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

2. 子どもが高学年(4~6年)の間も利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

3. 利用する必要はない

(3)長期休暇期間中(夏休み・冬休み・春休み) ※時間は24時間制、10分単位

1. 子どもが低学年(1~3年)の間は利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

2. 子どもが高学年(4~6年)の間も利用したい

→ 利用したい時間帯 時 0分 ~ 時 0分

3. 利用する必要はない

問4-6で「1」または「2」(利用したい)に1つでも○をつけた方にかがいます。

問4-7 今後、放課後児童クラブ(児童ホーム)を利用したい理由をお答えください。【○は1つ】

1. 保護者が現在就労している
2. 保護者が近々就労予定がある
3. 保護者が求職中である
4. 保護者が近々就労予定はないが、そのうち就労したいと考えている
5. 保護者が家族・親族などを介護しなければならない
6. 保護者が病気や障がいがある
7. 保護者が学生である/就学したい
8. その他 ( )

**5. 対象のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。**

**問5-1** この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。【○は1つ】

1. あった      **⇒ 問5-2 へ**      2. なかった      **⇒ 問6-1 へ**

**問5-1**で「1. あった」に○をつけられた方にうかがいます。  
**問5-2** 対象のお子さんが学校を休んだ時の、この1年間に行った対処方法をお答えください。(半日程度の場合も1日としてカウントしてください)  
 【当てはまる全てに○、その日数を口内に数字で記入】

1年間の対処方法	日数(年間)	
1. 母親が休んだ	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	<b>⇒ 問5-3 へ</b>
2. 父親が休んだ	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. 母親又は父親のうち、就労していない方が子どもの面倒をみ	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	<b>⇒ 問5-6 へ</b>
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもの面倒をみてもらっ	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. ベビーシッターを利用した	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. 子どもだけで留守番をさせた	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
8. その他	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	

**問5-2**で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。  
**問5-3** その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。  
 【○は1つ、利用したいと思った場合はその日数を口内に数字で記入】  
 ※病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った (利用希望日数    日/年)      **⇒ 問5-4 へ**  
 2. 利用したいとは思わなかった      **⇒ 問5-5 へ**

**問5-3**で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」に○をつけた方にうかがいます。  
**問5-4** 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。  
 【当てはまる全てに○】

1. 他の施設 (例：幼稚園・保育所等) に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭などの身近な場所で保育する事業
4. その他 ( )

問5-3で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問5-5 利用したいと思わなかった理由についてうかがいます。【当てはまる全てに○】

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数等）がよくない
4. 利用料がかかる、高い
5. 利用料がわからない
6. 事業の利用方法（手続きなど）がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する
8. その他（ )

問5-2で「3」～「8」に○をつけられた方にうかがいます。

問5-6 対象のお子さんが病気やケガの時に、できれば父母のどちらかが仕事を休んで看たいと思いましたが。【○は1つ、「3」から「8」の日数のうち、仕事を休んで看たいと思った日数を□に数字で記入】

1. 仕事を休んで看たいと思った（仕事を休んで看たかった日数 

--	--	--

 日/年)
2. 仕事を休んで看ることはできない

問5-6で「2. 仕事を休んでみることはできない」に○をつけられた方にうかがいます。

問5-7 対象のお子さんが病気の時、仕事を休んでみるができない理由についてお答えください。【当てはまる全てに○】

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数がたりないので休めない
4. 休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない
5. その他（ )

**6. 対象のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

**問6-1** 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労などで、不特定に利用している事業はありますか。【当てはまる全てに○、1年間のおおよその利用日数を□内に数字で記入】

利用している事業	日数 (年間)
1. 子育てサポートクラブ (地域住民が子どもを預かる事業)	年 □ □ □ 日
2. 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ (児童養護施設等で一定期間子どもを養育保護する事業)	年 □ □ □ 日
3. ベビーシッター	年 □ □ □ 日
4. その他 ( )	年 □ □ □ 日
5. 利用していない	→ 問6-2 へ

→ 問6-3 へ

**問6-1**で「5. 利用していない」に○をした方にかがいます。

**問6-2** 現在、利用していない理由についてお答えください。【当てはまる全てに○】

- 1. 特に利用する必要がない
- 2. 利用したい事業が地域にない
- 3. 地域の事業の質に不安がある
- 4. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間、日数等) がよくない
- 5. 利用料がかかる、高い
- 6. 利用料がわからない
- 7. 自分が事業の対象となるかどうかわからない
- 8. 手続きなど事業の利用方法がわからない
- 9. その他 ( )

**問6-3** 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労などで、問6-1の「1」～「4」の事業を、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な日数を記入してください。【当てはまる全てに○、日数を□内に数字で記入】  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります

1. 利用したい	計 □ □ □ 日
ア. 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年 □ □ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院 等	年 □ □ □ 日
ウ. 不特定の就労	年 □ □ □ 日
エ. その他 ( )	年 □ □ □ 日
2. 利用する必要はない	

**問6-4** 対象のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、年間何日くらい、泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)\*の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号に○をつけ、必要な泊数を記入してください。

【当てはまる全てに○、利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字で記入】

\*短期入所生活援助事業(ショートステイ):児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります

1. 利用したい	計	<input type="text"/>	泊
ア. 冠婚葬祭	年	<input type="text"/>	泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	年	<input type="text"/>	泊
ウ. 保護者や家族の病気	年	<input type="text"/>	泊
エ. その他 ( )	年	<input type="text"/>	泊
2. 利用する必要はない			

## 7. 子育て全般についてうかがいます。

**問7-1** 子育てを楽しんでいることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。【○は1つ】

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 楽しいと感じることが多い               | 2. つらいと感じることが多い |
| 3. 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい | 4. わからない        |
| 5. その他 ( )                    |                 |

**問7-2** お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。【当てはまる全てに○】

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| 1. 子どもの発育・発達に関すること                            | 2. 子どもの食事や栄養に関すること         |
| 3. 子どもの病気や障害に関すること                            | 4. 育児・しつけの方法がよくわからないこと     |
| 5. 子どもへの接し方がよくわからないこと                         | 6. 子どもとの時間を十分にとれないこと       |
| 7. 自分自身や夫婦で自由な時間がもてないこと                       | 8. 話し相手や相談相手がいないこと         |
| 9. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと                      | 10. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること |
| 11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力や理解が少ないこと              |                            |
| 12. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと            |                            |
| 13. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと |                            |
| 14. 子育てによる身体的な負担が大きいこと                        | 15. 子育てによる精神的な負担が大きいこと     |
| 16. 子育ての経済的負担に関すること                           |                            |
| 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと       |                            |
| 18. その他 ( )                                   | 19. 特にない                   |

**問7-3 ふだん、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。【当てはまる全てに○】**

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 親族（親、兄弟姉妹など） | 2. 隣近所の人、知人、友人          |
| 3. 子育てサークルの仲間   | 4. 保育所、幼稚園、学校           |
| 5. 子育て支援センター    | 6. 市役所や市の機関             |
| 7. 市の広報やパンフレット  | 8. 市のホームページ             |
| 9. テレビ、ラジオ、新聞   | 10. インターネット（市のホームページ以外） |
| 11. 子育て雑誌・育児書   | 12. その他の雑誌              |
| 13. その他（        | ）                       |
| 14. 情報の入手先がない   | 15. どこで入手すればよいかかわからない   |

**問7-4 あなたは、ご近所や地域の人々と、どの程度のお付き合いをしていますか。【○は1つ】**

- |                |   |                          |
|----------------|---|--------------------------|
| 付き合いの<br>程度が深い | ↑ | 1. とても親しい                |
|                |   | 2. 付き合いがありやや親しい          |
| 付き合いの<br>程度が浅い | ↓ | 3. 少々付き合いがある             |
|                |   | 4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度 |
|                |   | 5. 付き合いはほとんどない           |

**問7-5 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。【○は1つ】**

1. 感じる                      2. やや感じる                      3. あまり感じない                      4. 感じない

**問7-5で「1」または「2」に○をつけた方うかがいます。**

**問7-6 誰に支えられていると感じますか。【当てはまる全てに○】**

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 近所の人                        | 2. 同じ世代の子どもを持つ保護者 |
| 3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人 |                   |
| 4. 地域活動を行っているNPOなどの人           | 5. その他（           |
|                                | ）                 |

**問7-5で「3」または「4」に○をつけた方うかがいます。**

**問7-7 誰に支えてほしいと思いますか。【当てはまる全てに○】**

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 近所の人                        | 2. 同じ世代の子どもを持つ保護者 |
| 3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人 |                   |
| 4. 地域活動を行っているNPOなどの人           | 5. その他（           |
|                                | ）                 |
| 6. 特にいない                       |                   |

**問7-8 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。【当てはまる全てに○】**

1. 子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になったりしてほしい
2. 緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい
3. 危険な遊びやいじめをみつけたら注意してほしい
4. 子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい
5. 子どもが参加できる地域行事や催しなどに積極的に参加してほしい
6. 子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化などを教えてほしい
7. その他 ( )
8. 特にない

**問7-9 大和高田市における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。【○は1つ】**

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

**問7-10 子どもを育てる場所を自由に選べるとしたら、今後も大和高田市で育てたいと思いますか。【○は1つ】**

1. 大和高田市で育てたい
2. 他市区町村で育てたい (市区町村名: )

**問7-11 問7-10で回答した理由をお答えください。【当てはまる全てに○】**

※「1」に○をつけた方は「大和高田市で育てたい」理由を、「2」に○をつけた方は「他市区町村で育てたい」理由をお答えください。

1. 自然があるから
2. 社会に活気があるから
3. 子育てに関する情報が豊富だから
4. 文化が豊かだから
5. 防犯・防災面で安全性が高いから
6. 遊び場がたくさんあるから
7. 塾がたくさんあるから
8. 近隣のつきあいが活発だから
9. 子ども会などのグループ活動が活発だから
10. 人情味があるから
11. 風土がのんびりしているから
12. 病院がたくさんあるから
13. その他 ( )

問7-12 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。

【当てはまる全てに○】

1. 子育てに関する相談・情報システムや保護者同士が交流できる場の充実
2. 家事や子育てにおいて、性別による役割分担にとらわれない、男女共同参画の考え方や、子育ての意義・大切さなどの普及・啓発
3. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実
4. 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスや小児救急医療体制の充実
5. 児童虐待防止対策の推進
6. 就学前児童のための保育施設(保育所、幼稚園等)の整備
7. 乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
8. ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
9. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動の推進
10. 学童期の子どもの放課後対策の充実
11. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実
12. 子どもの「生きる力」を育むための教育の推進
13. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
14. 仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発
15. 公営住宅における住環境整備
16. 道路や施設などのバリアフリー化の推進
17. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進
18. その他 ( )
19. 特にない

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

別紙、お子さん向けの質問票を1枚同封しています。

回答は任意ですが、今後の大和高田市のまちづくりの参考にさせていただきたく、お子さんたちのお声をお聞かせいただくと幸いです。

保護者の方がお子さんのご意見を聞き取って代筆していただいても結構です。

ご回答いただいた場合は、このアンケートと一緒に、返送用の封筒に入れて返送してください。



第3期大和高田市  
子ども・子育て支援事業計画策定業務に関する  
ニーズ調査結果報告書

令和6年3月

発行 大和高田市 福祉部 保育幼稚園課

〒 635-8511 奈良県大和高田市大字大中 98 番地 4

TEL 0745-22-1101

FAX 0745-22-0415